VersaPro/VersaPro J

NEC

UltraLite タイプ**VN**

VK22T/N-L、VJ22T/N-L

活用ガイド

Windows® 7 Professional 64ビット with Service Pack 1（SP1）（Windows 8.1 Pro Updateライセンスからのダウングレード）
Windows® 7 Professional 32ビット with Service Pack 1（SP1）（Windows 8.1 Pro Updateライセンスからのダウングレード）
Windows® 7 Professional 32ビット with Service Pack 1（SP1）

はじめに. 6

本マニュアルの表記や、商標などの情報を記載しています。
最初にご覧ください。

本機の機能. 16

本機の各部の名称やインターフェイスについて記載しています。

システム設定. 216

本機のBIOSセットアップユーティリティの使い方、設定項目一覧などを記載しています。

セキュリティチップ ユーティリティ. . . . 234

セキュリティチップの概要や使い方について記載しています。

便利な機能とアプリケーション. 283

本機にインストール、また添付されているアプリケーションの概要やインストール、アンインストール方法について記載しています。

トラブル解決Q&A. 344

本機をお使いになっているときのトラブル事例や解決法について記載しています。

仕様一覧（タイプ別仕様詳細）. 508

Webにて、仕様の詳細情報を公開しています（インターネットへの接続環境が必要です）。

目次

はじめに. 6
はじめに. 7
本マニュアルの表記について. 8
「ユーザー アカウント制御」について. 11
デバイス マネージャの開き方. 12
サポート技術情報について. 13
ご注意. 14

本機の機能. 16
各部の名称. 17
各部の名称と説明. 18
表示ランプ. 23
電源. 24
電源の入れ方と切り方. 25
電源の状態. 27
スリープ状態／休止状態使用上の注意. 28
スリープ状態. 30
休止状態. 33
電源の設定. 34
電源の自動操作. 37
省電力機能. 38
省電力機能について. 39
ECOモード機能. 40
ピークシフト機能. 44
Intel SpeedStep® テクノロジー. 47
バッテリ. 48
バッテリ（二次電池）について. 49
使用上の注意. 50
バッテリの充電. 51
バッテリの使い方と設定. 52
バッテリリフレッシュ. 54
バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール. 56
タッチパネル. 61
使用上の注意. 62
タッチパネルでの操作方法. 63
タッチパネルの設定. 65
キーボード. 67
キーの名称. 68
キーの使い方. 70
キーボードの設定. 72
NXパッド. 73
NXパッドの使い方. 74
NXパッドの設定. 75
NXパッドのドライバを変更する. 79
NXパッドドライバへ戻す. 81
マウス. 84
マウスを使用する. 85
マウスを接続するための設定方法. 87
マウスを接続する前の設定に戻す. 89
液晶ディスプレイ. 91
使用上の注意. 92
画面表示の調整. 93
液晶ディスプレイの回転. 94
画面の回転. 98
表示できる解像度と表示色. 99
ディスプレイストレッチ機能. 100
外部ディスプレイ. 101
使用上の注意. 102
外部ディスプレイ接続時の解像度と表示色. . . . 104
HDMIコネクタ. 107
Intel® WiDi. 110
外部ディスプレイ接続時の表示機能. 115
表示先、表示機能の設定. 116
画面の出力先を切り替える. 119
ディスプレイに合わせた設定. 120
Webカメラ. 122
Webカメラについて. 123
SSD. 125
使用上の注意. 126
光学ドライブ. 127
使用上の注意. 128
外付け光学ドライブの取り付け. 129
各部の名称と役割. 130
使用できるディスク. 131
読み込みと再生. 132
書き込みとフォーマット. 134
非常時のディスクの取り出し方. 135
SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロット. . . 136
使用上の注意. 137
セットのしかた／取り出し方. 139
サウンド機能. 141
音量の調節. 142
マイクの設定. 144
LAN機能. 145
本機を安全にネットワークに接続するために. . 146
使用上の注意. 148
LANへの接続. 149
LAN機能の設定. 151
無線LAN機能. 153
概要. 154
本機を安全にネットワークに接続するために. . 156
無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意. 158

使用上の注意. 160
無線LAN機能のオン／オフ. 162
無線LANの設定と接続. 165
PROSet/Wirelessのインストール. 175
PROSet/Wirelessのアンインストール. 177
インテル® スマート・コネクト・テクノロジー. 178
無線LANに関する用語一覧. 183
USBコネクタ. 186
使用上の注意. 187
USB機器の取り付け／取り外し. 189
Bluetooth機能. 190
概要. 191
セキュリティに関するご注意. 193
使用上の注意. 194
Bluetooth機能の設定と接続. 196
Bluetooth機能のオン／オフ. 201
セキュリティ機能. 203
セキュリティ機能について. 204
スーパバイザパスワード／ユーザパスワード. . 205
ハードディスクパスワード機能. 206
I/O制限. 207
盗難防止用ロック. 208
DEP（Data Execution Prevention）機能. . . . 209
暗号化ファイルシステム（EFS）. 210
インテル® アイデンティティー・プロテクション・テクノロジー. 211
ウイルス検出・駆除. 212
セキュリティチップ機能. 213
NASCA. 214
DeviceLock Lite. 215
システム設定. 216
BIOSセットアップユーティリティについて. . . . 217
BIOSセットアップユーティリティの起動. 218
BIOSセットアップユーティリティの基本操作. . 219
BIOSセットアップユーティリティの終了. 220
工場出荷時の設定値に戻す. 221
設定項目一覧. 222
「Main」メニュー. 223
「Advanced」メニュー. 224
「Security」メニュー. 227
「Boot」メニュー. 231
セキュリティチップ ユーティリティ. 234
概要. 235
セキュリティチップ機能を利用する準備. 237
セキュリティチップを有効にする. 238
スーパバイザパスワード／ユーザパスワードの設定. 240
セキュリティチップ ユーティリティのインストール. 241
Security Platformの初期化. 243
Security Platform ユーザーの初期化. 249
セキュリティチップ ユーティリティの使い方. . . 253
利用できるセキュリティ機能. 259
電子メールの保護機能. 260
ファイルとフォルダの暗号化（EFS）機能. . . . 261
Personal Secure Drive（PSD）機能. 264
辞書攻撃防御機能. 266
セキュリティチップ機能のバックアップと復元. . 267
セキュリティチップ機能のバックアップ. 268
セキュリティチップ機能の復元. 271
その他の注意事項. 276
本機を修理に出す前の準備. 277
本機を修理に出した後. 278
イベントビューアに記録される警告ログについて. 279
セキュリティチップ ユーティリティのアンインストール. 280
便利な機能とアプリケーション. 283
アプリケーションの種類と機能. 284
アプリケーションのインストール/アンインストールについて. 286
「Service Pack」について. 288
Internet Explorer 11. 289
Office Home and Business 2013. 291
Office Home & Business Premium. 297
Access Connections. 303
DeviceLock Lite. 310
Adobe Reader. 312
ECOモード設定ツール. 315
ピークシフト設定ツール. 316
画面表示設定切替ツール. 318
Roxio Creator LJB. 321
CyberLink PowerDVD. 325
セカンドブック グループ. 329
マカフィー リブセーフ. 332
WinZip. 338
PaintShop Pro X6. 341
トラブル解決Q&A. 344
電源. 345
はじめに確認してください. 346
電源が入らない. 347
ディスプレイに何も表示されない. 348
メッセージが表示されて、Windowsが起動しない. 350
「Windowsエラー回復処理」画面が表示された. 351
「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. 352
パスワードを忘れてしまった. 353
電源が切れない. 355
自動的にスリープ状態にならない. 357

スリープ状態または休止状態から復帰しようとしたらWindowsのログオン画面が表示された. . . 358
スリープ状態にできない. 359
スリープ状態から復帰できない、復帰に失敗した. 360
休止状態にできない. 361
「スタート」ボタンから休止状態にできない. . . 362
休止状態から復帰できない、復帰に失敗した. . 363
Windowsの電源設定ができない. 364
本機を一定時間放置すると、スリープ状態になってしまう. 365
USBマウスでスリープ状態から復帰する／しないを設定したい. 366
USBキーボードから復帰する際に使用したキーが復帰後に入力されていることがある. 367
バッテリ. 368
本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続してもバッテリの充電が始まらない. 369
タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示されない. 370
満充電したのに、バッテリ充電ランプが点灯する. 371
バッテリ充電ランプが点滅する. 372
NXパッド. 373
NXパッドが動作しない. 374
NXパッドの反応が鈍い. 377
NXパッドの拡張機能を使用したい. 378
文字入力中に、NXパッドのタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう. 379
一時的にNXパッドを無効にしたい. 380
タッチパネル. 381
タッチパネルで操作できない. 382
タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネルに反応しない領域がある. 383
マウス. 384
はじめに確認してください. 385
マウスを動かしても、何も反応しない. 386
マウスの動きが悪い. 387
表示. 388
はじめに確認してください. 389
電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる. 390
表示できるはずの高解像度を選択できない. . . . 391
ディスプレイに何も表示されない. 392
画面が回転しない. 394
画面の解像度を変更すると色数も変更される. . 395
画面の色調を調整したい. 396
再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない. 397
動画の再生中に画面が消えてしまう. 398
Windows Media PlayerでDVDが再生できない. 399
Windows Media Playerでディスクが認識されない、自動再生が始まらない. 400
Windows Media PlayerでDVDがなめらかに再生されない、画面が乱れる. 401
CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない. . 402
CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない. 403
個人設定で、Aero®に設定できない. 404
画面の表示位置やサイズがおかしい. 405
外部ディスプレイで画面が流れるように表示される. 406
外部ディスプレイ接続時にアイコンの位置がおかしい. 407
HDMI接続したテレビや外部ディスプレイに映像が表示されない. 408
HDMIでテレビに接続すると、画面の周りがはみ出してしまい、表示されない部分がある. 409
文字入力. 410
はじめに確認してください. 411
キーボードのキーを押しても、何も反応しない. 412
記号などで入力できない文字がある. 413
別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある. 414
文字入力中に、NXパッドのタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう. 415
ファイル保存. 416
はじめに確認してください. 417
SSDに保存できない. 418
DVD、CDにデータを書き込めない（保存できない）. 419
LAN機能. 420
はじめに確認してください. 421
ネットワークに接続できない. 422
ドライブやフォルダが共有できない. 423
動作が不安定になった. 426
無線LAN機能. 427
はじめに確認してください. 428
通信ができない. 429
通信がとぎれる、または通信速度が遅い. 430
「ネットワーク」で相手のコンピュータが表示されない. 432
「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない. 433
接続している無線LANアクセスポイントから、いつのまにか切断されてしまう. 434
サウンド. 435
はじめに確認してください. 436
音が出ない. 437

HDMI接続した機器から音声が出力されない. . . 438
音楽CDの再生音を調節したい. 440
音楽CDが再生されない. 441
音楽CDの再生中に音飛びする. 442
印刷. 443
はじめに確認してください. 444
プリンタから印刷が正しくできない. 445
PDF形式のマニュアルがうまく印刷できない. . . 446
セキュリティチップ機能. 447
パスワードを忘れてしまった. 448
「Security Platform サービスとの接続に失敗しました。」と表示される. 449
SSD. 450
SSDに障害が起きた. 451
SSDに保存できない. 452
SSDの空き領域が足りない. 453
領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない. 454
複数のパーティションを利用したい. 455
SSDをメンテナンスする方法を知りたい. 457
光学ドライブ. 458
はじめに確認してください. 459
「コンピューター」に光学ドライブが表示されない. 460
光学ドライブのディスクトレイを出し入れできない. 461
DVD、CDをセットしても自動再生しない. . . . 462
DVD、CDからデータを読み出せない. 463
DVD、CDの読み取りエラーメッセージが表示された. 464
DVD、CDにデータを書き込めない（保存できない）. 465
DVD、CDへの書き込み中にエラーになった. . . 466
Roxio Creator LJBでデータディスクを作成できない. 467
ドライブ文字がおかしい. 468
光学ドライブから異常な音がする. 469
添付されていたDVD、CDが使えなくなった、壊れた. 471
Windows Media PlayerでDVDが再生できない. 472
Windows Media Playerでディスクが認識されない、自動再生が始まらない. 473
Windows Media PlayerでDVDがなめらかに再生されない、画面が乱れる. 474
CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない. 475
CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない. 476
音楽CDの再生中に音飛びする. 477
音楽CDが再生されない. 478
周辺機器. 479
はじめに確認してください. 480
別売の周辺機器を取り付けたが動作しない、周辺機器を取り付けたら本機が起動しなくなった、他の機能が使えなくなった. 481
周辺機器のドライバをインストールできない、ドライバを更新できない. 484
Bluetooth機能. 485
はじめに確認してください. 486
アプリケーション. 487
はじめに確認してください. 488
起動しなくなった、動作が遅い、動かなくなることがある. 489
Windows Media PlayerでDVDが再生できない. 490
Windows Media Playerでディスクが認識されない、自動再生が始まらない. 491
Windows Media PlayerでDVDがなめらかに再生されない、画面が乱れる. 492
CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない. . 493
CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない. 494
アプリケーションをインストールできない. . . . 495
アプリケーションを強制的に終了させたい. . . . 496
アプリケーションが本機で使用できるか知りたい. 497
使用しているWindowsへの対応が明記されていないWindows用アプリケーションを使用したい. . 498
Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい. 499
再セットアップ. 500
「再セットアップをすることはできません。」と表示される. 501
「再セットアップ用ディスク」を要求する画面が繰り返し表示され、先に進めない. 502
その他. 503
日付や時刻が正しく表示されない. 504
クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった. 505
本機が動かなくなった（フリーズした）. 506
マニュアルをなくしてしまった. 507
仕様一覧（タイプ別仕様詳細）. 508
仕様一覧（タイプ別仕様詳細）. 509

はじめに

[010000-27]

- はじめに. 7
- 本マニュアルの表記について. 8
- 「ユーザー アカウント制御」について. 11
- デバイス マネージャの開き方. 12
- サポート技術情報について. 13
- ご注意. 14

はじめに

[010001-00]

本マニュアルには、本機の機能についての説明、添付またはインストールされているアプリケーションの情報、トラブル発生時などの対応方法を記載したQ&A、サポートに関する情報など、本機を利用する上での情報が記載されています。

本マニュアルは、Windowsの基本的な操作がひと通りでき、アプリケーションなどのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に記載されています。
もし、あなたがコンピュータに初めて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などでひと通り経験してから、本マニュアルをご利用になることをおすすめします。

本機の仕様、アプリケーションについては、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。
仕様についての詳細は、電子マニュアルビューアでお使いの機種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

本マニュアルの表記について

[010003-27]

本マニュアルで使用しているアイコンや記号、アプリケーション名などの正式名称、表記について、下記をご覧ください。

本マニュアルで使用しているアイコンの意味

アイコン	意味
チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
メモ	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれているところを示しています。

本マニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、Windows 7	次のいずれかを指します。 ● Windows® 7 Professional 64ビット with Service Pack 1（SP1）（Windows 8.1 Pro Updateライセンスからのダウングレード） ● Windows® 7 Professional 32ビット with Service Pack 1（SP1）（Windows 8.1 Pro Updateライセンスからのダウングレード） ● Windows® 7 Professional 32ビット with Service Pack 1（SP1）
Windows 7 Professional	次のいずれかを指します。 ● Windows® 7 Professional 64ビット with Service Pack 1（SP1）（Windows 8.1 Pro Updateライセンスからのダウングレード） ● Windows® 7 Professional 32ビット with Service Pack 1（SP1）（Windows 8.1 Pro Updateライセンスからのダウングレード） ● Windows® 7 Professional 32ビット with Service Pack 1（SP1）
Windows 7 Professional 64ビット	Windows® 7 Professional 64ビット with Service Pack 1（SP1）（Windows 8.1 Pro Updateライセンスからのダウングレード）
Windows 7 Professional 32ビット	● Windows® 7 Professional 32ビット with Service Pack 1（SP1）（Windows 8.1 Pro Updateライセンスからのダウングレード） ● Windows® 7 Professional 32ビット with Service Pack 1（SP1）

Windows 7 SP1	Windows® 7 Service Pack 1 (SP1)
Internet Explorer、Internet Explorer 11	Internet Explorer 11
Microsoft IME	次のいずれかを指します。 ● Microsoft® IME ● Microsoft Office IME 2010
Windows Media Player	Microsoft® Windows Media® Player 12
Office Home and Business 2013	Microsoft Office Home and Business 2013
Office Home & Business Premium	Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス
Adobe Reader	Adobe® Reader® XI
NASCA	NEC Authentication Agent
CyberLink PowerDVD	CyberLink PowerDVD
PROSet/Wireless	インテル® PROSet/Wireless 接続ユーティリティー
YouCam 5 BE	CyberLink YouCam 5 BE
WinZip	WinZip® 18
PaintShop Pro、PaintShop Pro X6	Corel® PaintShop® Pro X6 for NEC

本マニュアルで使用している表記の意味

本文中の表記	意味
本機、本体	本マニュアルの対象機種を指します。 特に周辺機器などを含まない対象機種を指す場合、「本体」と表記します。
光学ドライブ	DVDスーパーマルチドライブ、またはDVD-ROMドライブを指します。書き分ける必要のある場合は、そのドライブの種類を記載します。
光学ドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ、またはDVD-ROMドライブが添付されているモデルを指します。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブが添付されているモデルを指します。
DVD-ROMドライブモデル	DVD-ROMドライブが添付されているモデルを指します。
ワイヤレス機能	無線LAN機能、Bluetooth機能を指します。ご購入時に選択したモデルによって異なります。
Webカメラ搭載モデル	Webカメラが搭載されているモデルを指します。
Office Home and Business 2013モデル	Office Home and Business 2013のセットアップ モジュールがあらかじめインストールされているモデルを指します。

Office Home & Business Premiumモデル	Office Home & Business Premiumのセットアップ モジュールがあらかじめインストールされているモデルを指します。
アプリケーションディスク	Windows 7用の次のいずれかのディスクを指します。 ● 「アプリケーションディスク（64bit）」 ● 「アプリケーションディスク（32bit）」 利用しているOS用のディスクをご使用ください。
CyberLink PowerDVD ディスク	「CyberLink PowerDVD ディスク」または「CyberLink PowerDVD / Roxio Creator LJB ディスク」を指します。
Roxio Creator LJB ディスク	「CyberLink PowerDVD / Roxio Creator LJB ディスク」を指します。
SDカード、SDメモリーカード	「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」を指します。特定のSDカードを指す場合、個別に記載します。
BIOSセットアップユーティリティ	本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、画面上では「Aptio Setup Utility」と表示されます。
「スタート」ボタン	Windowsのタスク バーにある を指します。
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」	「スタート」ボタンをクリックし、表示されたスタートメニューから「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」を順にクリックする操作を指します。
「スタート」ボタン→「コントロール パネル」	「スタート」ボタンをクリックし、表示されたスタートメニューから「コントロール パネル」をクリックする操作を指します。また、コントロール パネルはカテゴリ表示された状態を指します。
【　】	【　】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。 【Ctrl】＋【Y】と表記してある場合、【Ctrl】キーを押したまま【Y】キーを押すことを指します。
『　』	『　』で囲んである文字は、マニュアルの名称を指します。
ECOボタン	【Fn】＋【F4】を指します。

本マニュアルで使用している画面、記載内容について

- 本マニュアルに記載の図や画面は、モデルによって異なることがあります。
- 本マニュアルに記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

「ユーザー アカウント制御」について

[010005-07]

アプリケーションを起動したり、本機を操作したりしているときに「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

「ユーザー アカウント制御」は、コンピュータウイルスなどの「悪意のあるソフトウェア」によって、本機のシステムに影響を及ぼす可能性のある操作が行われるのを防ぐため、これらの操作がユーザーが意図して行った操作によるものかを確認するためのものです。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、表示された内容をよく確認し、操作を行ってください。

チェック

「ユーザー アカウント制御」画面で管理者（Administrator）権限を持つユーザーのパスワード入力が求められる場合があります。その場合は、画面の内容を確認し入力を行ってください。

デバイス マネージャの開き方

[010006-07]

デバイス マネージャを開く場合は、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「システムとセキュリティ」をクリック

3 「システム」の「デバイス マネージャー」をクリック

「デバイス マネージャー」が表示されます。

サポート技術情報について

[010007-00]

マイクロソフトで確認された問題の説明や解決方法がサポート技術情報として公開されています。
サポート技術情報を参照するには、「マイクロソフト サポート」にアクセスし該当する文書番号を入力して検索してください。

マイクロソフト サポート
http://support.microsoft.com/

チェック

サポート技術情報のタイトルや内容は変更される場合があります。

ご注意

[010004-27]

1. 本マニュアルの内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
2. 本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本マニュアルの内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、または121コンタクトセンターへご連絡ください。
4. 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、3項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
6. 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス［UltraCareサービス］対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。
   サービスの詳細や対応機種については、以下のホームページをご覧ください。

   http://121ware.com/navigate/rescue/ultracare/jpn/index.html

7. 本機の内蔵SSDにインストールされているWindowsは本機でのみご使用ください。また、本機に添付のDVD-ROM、CD-ROMは、本機のみでしかご使用になれません（詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください）。
8. ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
9. ハードウェアの保守情報をセーブしています。
10. 本製品には、Designed for Windows® programのテストにパスしないソフトウェアを含みます。
11. 本マニュアルに記載されている内容は制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス［UltraCareサービス］対象機種については、日本への引取修理サービスを実施致します。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.

NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.

NEC*1 does not provide maintenance service or technical support for this product outside Japan.（Only some products which are eligible for Ultracare Services can be provided with acceptance service of repair inside Japan.）

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.
Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1:NEC Personal Computers, Ltd.

*　　*　　*

Microsoft、Windows、Aero、Internet Explorer、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
インテル、Intel、Intel SpeedStep、インテル Coreはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
McAfee、マカフィーは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
Adobe、およびReaderは合衆国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECパーソナルコンピュータはライセンスに基づきこのマークを使用しています。
HDMI、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi CERTIFIED、WPAおよびWPA2は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
PS/2は、IBM社が所有している商標です。
UltraLiteはNECパーソナルコンピュータ株式会社の登録商標です。
DeviceLockおよびDeviceLockロゴは、DeviceLock, Inc.の登録商標です。
Access Connectionsは、米国とその他の国々のいずれかまたはその両方におけるLenovoの商標です。
WinZip は WinZip International LLC の登録商標です。
Corel、Corel のロゴ、Roxio のロゴ、Roxio CreatorはCorel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。
Corel、PaintShopは、カナダ、米国および／またはその他の国におけるCorel Corporationおよび／またはその子会社の商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Personal Computers, Ltd. 2015
NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

本機の機能

[020000-27]

- 各部の名称. 17
- 電源. 24
- 省電力機能. 38
- バッテリ. 48
- タッチパネル. 61
- キーボード. 67
- NXパッド. 73
- マウス. 84
- 液晶ディスプレイ. 91
- 外部ディスプレイ. 101
- Webカメラ. 122
- SSD. 125
- 光学ドライブ. 127
- SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロット. 136
- サウンド機能. 141
- LAN機能. 145
- 無線LAN機能. 153
- USBコネクタ. 186
- Bluetooth機能. 190
- セキュリティ機能. 203

各部の名称

[020100-27]

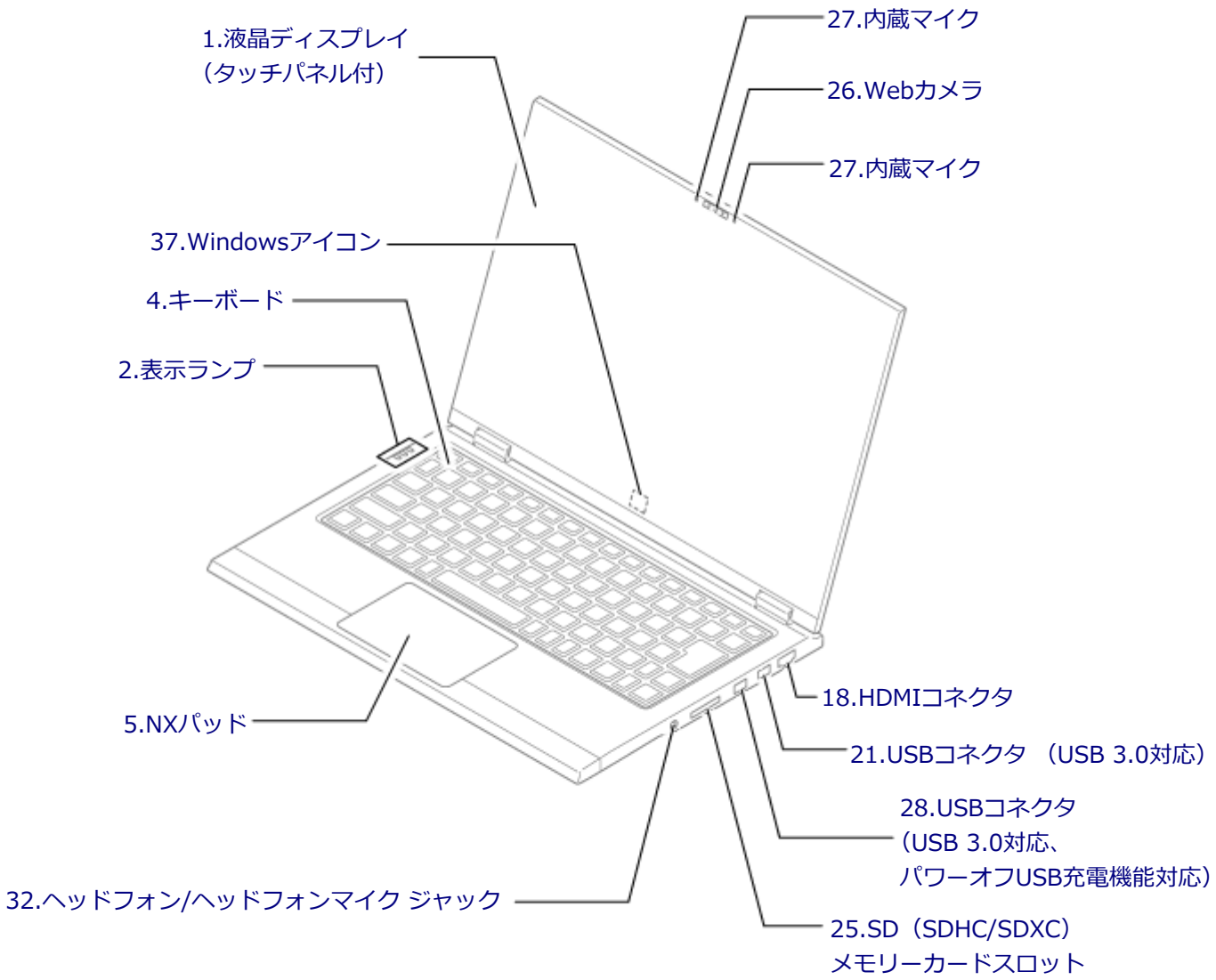
- 各部の名称と説明. 18
- 表示ランプ. 23

各部の名称と説明

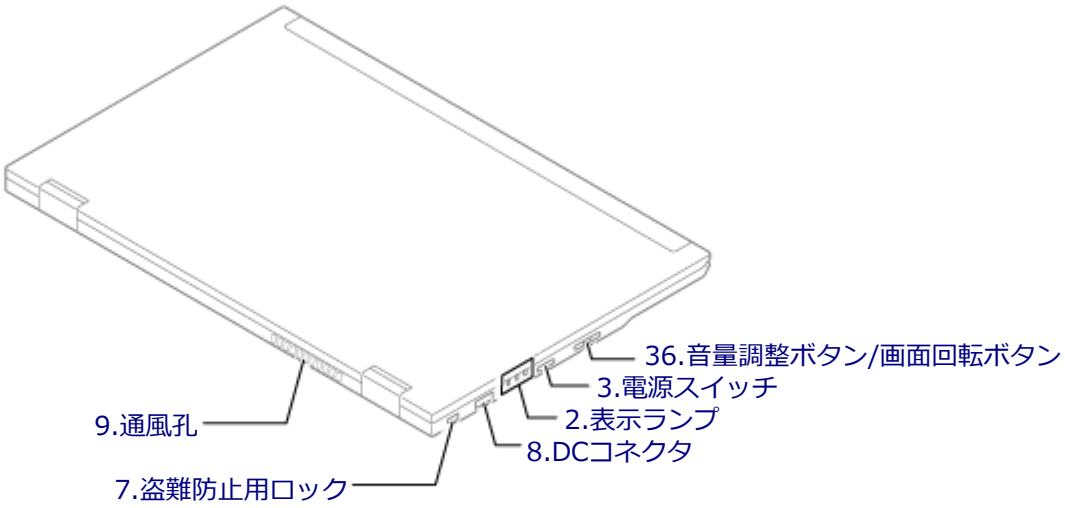
[020101-27]

各部の名称

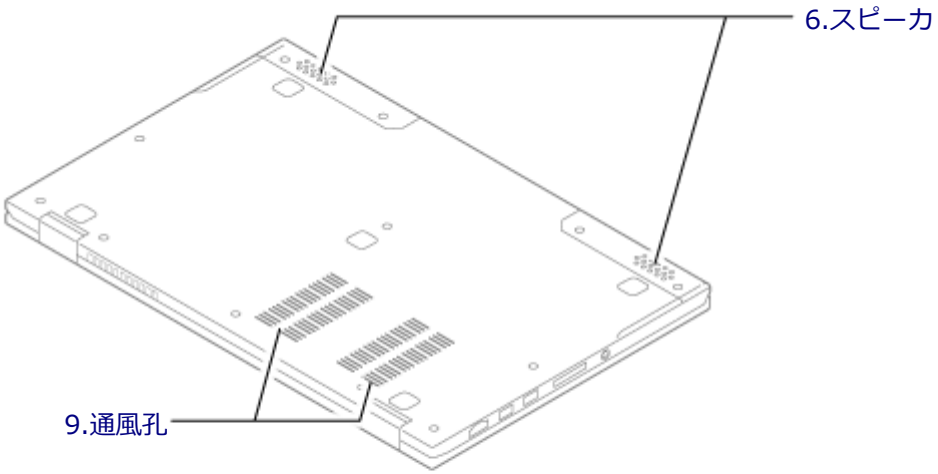
本体前面／右側面



本体背面／左側面



本体底面



各部の説明

1.液晶ディスプレイ（タッチパネル付）

本機のディスプレイです。タッチパネルが搭載され、Windowsの操作を指で行うことができます。
→「液晶ディスプレイ (P. 91)」
→「タッチパネル (P. 61)」

2.表示ランプ

本機の動作状態を表します。
→「表示ランプ (P. 23)」

3.電源スイッチ（⏻）

電源のオン／オフや電源状態の変更などで使用するスイッチです。
→「電源 (P. 24)」

4.キーボード

文字の入力や画面の操作をします。
→「キーボード (P. 67)」

5.NXパッド

Windowsでマウスカーソルの移動やクリックなどの操作をする際に使用します。
→「NXパッド (P. 73)」

6.スピーカ

内蔵のステレオスピーカです。
→「サウンド機能 (P. 141)」

7.盗難防止用ロック（🔒）

別売のセキュリティケーブルを取り付けることができます。
→「セキュリティ機能 (P. 203)」

8.DCコネクタ（⎓）

添付のACアダプタを接続するための端子です。

9.通風孔

本体内部の熱を逃がすための孔です。

チェック

布や手などでふさがないようにしてください。

18.HDMIコネクタ

HDMI対応の大画面テレビや、HDMI端子を持つ外部ディスプレイなどを接続するためのコネクタです。
→「外部ディスプレイ (P. 101)」

21.USBコネクタ（USB 3.0対応）（SS）

USB機器を接続するコネクタです。このUSBコネクタは、USB 3.0、USB 2.0およびUSB 1.1の機器に対応しています。
USB 3.0の転送速度を出すためには、USB 3.0対応の機器を接続する必要があります。
→「USBコネクタ (P. 186)」

25.SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロット

SDメモリーカードを読み書きするためのスロットです。
→「SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロット (P. 136)」

26.Webカメラ（Webカメラが搭載されているモデルのみ）

テレビ電話をするときなどに使用します。Webカメラ使用時は、Webカメラ横のランプが点灯します。
→「Webカメラ (P. 122)」

27.内蔵マイク

テレビ電話をするときなどに使用するマイクです。

チェック

このマイクを使用して録音している場合、録音している音を同時にスピーカなどで再生することはできません。

28.USBコネクタ（USB 3.0対応、パワーオフUSB充電機能対応）（SS）

USB機器を接続するコネクタです。このUSBコネクタは、USB 3.0、USB 2.0およびUSB 1.1の機器に対応しています。
USB 2.0の転送速度を出すためには、USB 2.0対応の機器を接続する必要があります。USB 3.0の転送速度を出すためには、USB 3.0対応の機器を接続する必要があります。
→「USBコネクタ (P. 186)」

またこのUSBコネクタは、パワーオフUSB充電機能に対応しています。USBケーブルを使って充電できる機器を充電するとき、このUSBコネクタでは電源が切れた状態でも充電できます。
この機能を使用するには、BIOSセットアップユーティリティの「Advanced」メニューで設定が必要です。

参照

「Advanced」メニューの設定について
「システム設定」の「設定項目一覧」-「「Advanced」メニュー (P. 224)」

32.ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャック（🎧）

ヘッドフォンやヘッドフォンマイク（4極（CTIA）ミニプラグ）、または外付けスピーカやオーディオ機器を接続し、音声信号を出力、入力するための端子です。
→「サウンド機能 (P. 141)」

チェック

入力機能としてはヘッドフォンマイク（4極（CTIA）ミニプラグ）のみ使用できます。市販のステレオマイクやモノラルマイクは使用できません。

36.音量調整ボタン/画面回転ボタン

内蔵スピーカや、ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャックから出力される音量を調節するためのボタンです。＋を押すと音量が大きくなり、－を押すと音量が小さくなります。
→「サウンド機能 (P. 141)」

音量調整ボタンは画面回転ボタンの機能を兼ねています。音量調整ボタンの中央を深く押すと、画面の表示方向を時計回りに90度回転します。
→「液晶ディスプレイ (P. 91)」

37.Windowsアイコン

Windows使用時にタップすると、キーボードで【⊞】を押したときと同様に、スタート画面を表示します。
また、Windowsアイコンを押しながら電源スイッチを押すと、キーボードで【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】を押したときと同様に、「ロック」、「ユーザーの切り替え」、「ログオフ」、「パスワードの変更」、または「タスク マネージャー」を選ぶ画面が表示されます。

表示ランプ

[020102-27]

電源ランプ

ランプの状態		本機の状態
青	点灯	電源が入っている
	点滅	スリープ状態
オレンジ	点灯	バッテリ容量が少ない
	点滅※1	スリープ状態でバッテリ容量が少ない
	速い点滅※2	バッテリ容量が残りわずか
消灯		電源が切れている、または休止状態

※1　約3秒に1回点滅

※2　約2秒に1回点滅

バッテリ充電ランプ

ランプの状態		本機の状態
オレンジ	点灯	バッテリ充電中
	点滅	バッテリのエラー※1
消灯		本機がAC電源に接続されていない、またはバッテリ充電完了※2

※1　バッテリ充電時のエラー、バッテリの寿命、または劣化時にエラーとなります。

※2　すでにバッテリが満充電されている場合や、満充電に近い状態の場合は、ランプが点灯せず、それ以上充電できない場合があります。

キャップスロックキーランプ

ランプの状態	本機の状態
緑点灯	【Caps Lock】がロックされている（英字を入力すると大文字になります。）
消灯	【Caps Lock】がロックされていない（英字を入力すると小文字になります。）

電源

[020300-27]

本機の電源の入れ方と切り方、スリープ状態や休止状態などについて説明しています。

- 電源の入れ方と切り方. 25
- 電源の状態. 27
- スリープ状態／休止状態使用上の注意. 28
- スリープ状態. 30
- 休止状態. 33
- 電源の設定. 34
- 電源の自動操作. 37

電源の入れ方と切り方

[020301-27]

電源を入れる

電源を入れる際は、次の手順に従って正しく電源を入れてください。

チェック

- 光学ドライブなどにディスクがセットされた状態で電源を入れると、Windowsが起動しない場合があります。その場合は、セットされているディスクを取り出してから、電源を入れなおしてください。
- いったん電源を切った後で、電源を入れなおす場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。
- ユーザー選択画面が表示された場合は、ログオンするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。

1 周辺機器の電源を入れる

2 本機の電源スイッチを押す

電源を切る

電源を切る際は、次の手順に従って正しく電源を切ってください。

チェック

- Windowsやアプリケーションの表示中や、アクセスランプなどが点灯している場合は、本機の電源を切らないでください。
- アプリケーションのエラーなどでWindowsの操作ができない場合の電源の強制切断方法については、「トラブル解決Q&A」の「電源」-「電源が切れない」-「強制的に電源を切る (P. 355)」をご覧ください。
- 通信を行っている場合は、通信が終了していることを確認してから電源を切ってください。通信中に電源を切ると、通信中のデータが失われる場合があります。

1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する

2 「スタート」ボタンをクリック

3 「シャットダウン」ボタンをクリック

シャットダウン処理終了後、電源が自動で切れます。

チェック

シャットダウン処理中は、電源スイッチを押さないでください。また、シャットダウン処理中に液晶ディスプレイを閉じると設定によってはスリープ状態または休止状態に移行してしまう場合があります。

4 電源ランプが消灯し、本機の電源が切れたことを確認したら、周辺機器の電源を切る

電源の状態

[020302-27]

本機の電源の状態には次のように「電源が入っている状態」「スリープ状態」「休止状態」「電源が切れている状態」の4つの状態があります。

- **電源が入っている状態**
  通常、本機を使用している状態です。
- **スリープ状態**
  作業中のメモリの状態を保持したまま、SSDやディスプレイを省電力状態にして消費電力を抑えている状態です。メモリには電力が供給され、メモリの状態を保持しているので、すぐに作業を再開できます。
  - **ハイブリッドスリープ**
    スリープ状態に移行する際に、SSDにもメモリの情報をすべて保存するスリープ状態です。SSDにもメモリの情報が保存されているため、スリープ状態中に電源が切れた場合でもSSDから復帰することができます。
- **休止状態**
  メモリの情報をすべてSSDに保存してから、本機の電源を切った状態です。もう一度電源を入れると、休止状態にしたときと同じ状態に復元します。
- **電源が切れている状態**
  本機の電源を完全に切った状態です。

電源の状態は、本機の電源ランプで確認することができます。

参照

電源ランプについて
「各部の名称」の「表示ランプ (P. 23)」

スリープ状態／休止状態使用上の注意

[020303-27]

スリープ状態または休止状態を使用する場合の注意

- 本機が正常に動かなくなったり、正しく復帰できなくなることがありますので、次のような場合は、スリープ状態または休止状態にしないでください。
  - プリンタへ出力中
  - 通信を行うアプリケーションを実行中
  - LANまたは無線LANを使用して、ファイルコピーなどの通信動作中
  - 音声または動画の再生中
  - SSD、DVD、CDなどにアクセス中
  - 「システムのプロパティ」画面を表示中
  - Windowsの起動／終了処理中
  - スリープ状態または休止状態に対応していないUSB機器などの周辺機器やアプリケーションを使用中
- ハイブリッドスリープを使用しない設定にしている場合、スリープ状態のときに次のことが起きると、作業中のデータが失われますので、ご注意ください。
  - バッテリのみで使用している状態で、バッテリが切れた
  - バッテリ駆動に十分なバッテリ残量が無いときに、停電やACアダプタが抜けるなどの理由で、バッテリのみで使用している状態になった
  - 電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切った
- スリープ状態または休止状態への移行、復帰などの電源状態の変更は、5秒以上の間隔をあけてから行ってください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ファイルコピーなどの通信動作が終了してからスリープ状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、あらかじめ、お使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スリープ状態または休止状態を使用してください。
- 通信を行うアプリケーションを使用中の場合は、通信を行うアプリケーションを終了させてから、休止状態にしてください。通信状態のまま休止状態にすると、強制的に通信が切断されることがあります。
- バッテリのみで使用する場合は、あらかじめバッテリの残量を確認しておいてください。また、バッテリ残量が少なくなってきた場合の本機の動作について設定しておくこともできます。

参照

バッテリについて

「バッテリ」の「バッテリの使い方と設定 (P. 52)」

- スリープ状態または休止状態への移行中は、各種ディスク、SDメモリーカードなどの各種メモリーカードの入れ替えなどを行わないでください。データが正しく保存されないことがあります。
- スリープ状態または休止状態中に、周辺機器の取り付けや取り外しなどの機器構成の変更を行うと、正常に復帰できなくなることがあります。
- スリープ状態に移行する前にUSB機器（マウスまたはキーボード以外）を外してください。USB機器を接続した状態ではスリープ状態に移行または復帰できない場合があります。

- スリープ状態時または休止状態時、スリープ状態または休止状態への移行中、スリープ状態または休止状態からの復帰中は、USB機器を抜き差ししないでください。
- 「電源オプション」で各設定を変更する場合は、管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。
- 光学ドライブにディスクをセットしたまま休止状態から復帰すると、正しく復帰できずにディスクから起動してしまうことがあります。休止状態にする場合は、ディスクを取り出してください。
- 光学ドライブにPhoto CDをセットしたままスリープ状態または休止状態にすると、復帰に時間がかかることがあります。
- スリープ状態または休止状態から復帰したときに、プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイが逆になったり、外部ディスプレイの設定情報を読み込めない場合があります。外部ディスプレイを再設定してください。
- スリープ状態または休止状態からの復帰を行った場合、本体は復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合は、NXパッドを操作するかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- 次のような場合には、復帰が正しく実行されなかったことを表しています。
  - アプリケーションが動作しない
  - スリープ状態または休止状態にする前の内容を復元できない
  - NXパッド、キーボード、電源スイッチを操作しても復帰しない

  このような状態になるアプリケーションを使用しているときは、スリープ状態または休止状態にしないでください。電源スイッチを押しても復帰できなかったときは、電源スイッチを4秒以上押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。
  この場合、BIOSセットアップユーティリティの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は再度設定してください。

参照

BIOSセットアップユーティリティについて

「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」

スリープ状態

[020304-27]

作業中のメモリの内容を保持したまま、SSDやディスプレイを省電力状態にして消費電力を抑えている状態です。メモリには電力が供給され、内容が保持されているので、すぐに作業を再開できます。

チェック

- スリープ状態への移行およびスリープ状態からの復帰は、状態の変更が完了してから5秒以上の間隔をあけて行ってください。
- 本機を長時間使用しない場合は電源を切るか、本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続したうえでスリープ状態にしてください。バッテリのみで長時間スリープ状態にしておくと、バッテリ残量がなくなることがあります。
- ハイブリッドスリープを使用しない設定にしている場合、スリープ状態でバッテリの残量がなくなると、作成中のデータが失われたり、データが壊れたりすることがあります。

スリープ状態にする

工場出荷時の設定で、電源が入っている状態から手動でスリープ状態にするには、次の方法があります。

「スタート」ボタンからスリープ状態にする

1 「スタート」ボタンをクリック

2 「シャットダウン」ボタンの横の▶をクリックし、表示されたメニューから「スリープ」をクリック

Windowsが終了し、スリープ状態になります。Windowsの終了処理中は電源スイッチを押さないでください。本機がスリープ状態になると、電源ランプが点滅します。

液晶ディスプレイを閉じる

電源スイッチを押す

チェック

電源スイッチでスリープ状態にする場合は、電源スイッチを4秒以上押さないでください。 電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に電源が切れて、保存していないデータは失われてしまいます。

スリープ状態から復帰する

スリープ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するためには、次の方法があります。

チェック

- ユーザー選択画面が表示された場合は、ログオンするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。
- スリープ状態で長時間経過した場合やバッテリ残量が少なくなった場合、自動的に本機が休止状態になっている場合があります。その場合は、電源スイッチで復帰させてください。
- USBキーボードから復帰する際、復帰のために押したキーが複数回入力され、正しくパスワードが入力されずログオンできない場合があります。詳しくは、「トラブル解決Q&A」の「電源」-「USBキーボードから復帰する際に使用したキーが復帰後に入力されていることがある (P. 367)」をご覧ください。

電源スイッチを押す

チェック

電源スイッチを押して復帰する場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保存していないデータが失われます。

液晶ディスプレイを開く

液晶ディスプレイを閉じてスリープ状態にした場合は、液晶ディスプレイを開くことでスリープ状態から復帰できます。

USBマウスを操作する

設定を行うことで、USBマウス接続時、USBマウスを操作することでスリープ状態から復帰できます。

チェック

USBマウス操作でスリープ状態から復帰できない場合は、他の方法でスリープ状態から復帰を行ってください。

参照

USBマウスでスリープ状態から復帰する/しないようにする設定について

「トラブル解決Q&A」の「電源」-「USBマウスでスリープ状態から復帰する／しないを設定したい (P. 366)」

ハイブリッドスリープ

スリープ状態に移行する際に、SSDにもメモリの情報をすべて保存するスリープ状態です。SSDにもメモリの情報が保存されているため、スリープ状態中に電源が切れた場合でもSSDから復帰することができます。

チェック

- 工場出荷時は、ハイブリッドスリープを使用しない設定になっています。使用するには設定の変更が必要です。
- ハイブリッドスリープを使用する設定にした場合、「休止状態」の「休止状態にする」の手順で休止状態にできなくなります。ハイブリッドスリープを使用する設定のときに、直接、休止状態にしたい場合は、「電源の設定」の「電源の状態を変更する操作の設定 (P. 36)」の手順で休止状態にする操作を設定し、その操作により休止状態にしてください。

参照

電源プランの設定の変更について

「電源の設定 (P. 34)」

休止状態

[020305-27]

メモリの情報をすべてSSDに保存し、本機の電源を切った状態です。もう一度電源を入れると、休止状態にしたときと同じ状態に復元しますので、本機での作業を長時間中断する場合、消費電力を抑えるのに有効です。

チェック

休止状態への移行および休止状態からの復帰は、状態の変更が完了してから5秒以上の間隔をあけて行ってください。

休止状態にする

工場出荷時の設定で、電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタンをクリック

2 「シャットダウン」ボタンの横の をクリックし、表示されたメニューから「休止状態」をクリック

休止状態への移行処理後、電源が自動で切れます。電源スイッチを押さないでください。
本機が休止状態になると、電源ランプが消灯します。

チェック

ハイブリッドスリープを使用する設定にした場合、この方法で休止状態にすることはできません。直接、休止状態にしたい場合は、「電源の設定」の「電源の状態を変更する操作の設定 (P. 36)」の手順で休止状態にする操作を設定し、その操作により休止状態にしてください。

参照

電源プランの設定の変更について
「電源の設定 (P. 34)」

休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、電源スイッチを押してください。

チェック

- ユーザー選択画面が表示された場合は、ログオンするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。

電源の設定

[020306-27]

電源の設定は、Windowsの「電源オプション」で行います。
「電源オプション」では、あらかじめ設定されている電源プランから使用するプランを選択するほか、新規のプランを作成することができます。
また、プランごとに電源の状態を変更する操作の設定や、電源の状態が変更されるまでの時間を設定することができます。

電源プランの選択

設定されている電源プランから選択する場合は、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

3 表示されているプランから使用したいプランを選択する

表示されているプラン以外から選択したい場合は、「追加のプランを表示します」をクリックし、表示されたプランから選択してください。

4 ボタンをクリック

以上で電源プランの選択は完了です。

電源プランの設定の変更

すでに登録されている電源プランの設定を変更する場合は、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

3 設定を変更したいプランの「プラン設定の変更」をクリック

4 表示された画面で設定を行う

電源の種類ごとに設定できます。

項目	説明
ディスプレイを暗くする	指定した時間、何も入力がない場合、ディスプレイの輝度を下げます。

ディスプレイの電源を切る	指定した時間、何も入力がない場合、ディスプレイの電源を切ります。
コンピューターをスリープ状態にする	指定した時間、何も入力がない場合、本機がスリープ状態になります。
プランの明るさを調整	ディスプレイの輝度を設定します。

チェック

設定時間を変更したときに、「コンピューターをスリープ状態にする」時間が「ディスプレイの電源を切る」時間よりも短くならないように、設定時間が自動的に変更される場合があります。個別に設定する場合は「詳細な電源設定の変更」をクリックして設定してください。

メモ

- 「詳細な電源設定の変更」をクリックすると、電源プランごとに詳細な設定が行えます。
- 「このプランの既定の設定を復元」を選択すると、設定値が既定の値に戻ります。

5 「変更の保存」ボタンをクリック

以上で電源プランの設定の変更は完了です。

電源プランの作成

新規の電源プランを作成する場合は、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

3 左のメニューから「電源プランの作成」をクリック

4 表示される電源プランから作成したいプランに近いプランを選択する

5 「プラン名」欄に作成する電源プラン名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

6 表示される画面で設定を行う

7 「作成」ボタンをクリック

以上で電源プランの作成は完了です。
作成した電源プランは、「電源プランの選択 (P. 34)」の手順で選択できます。

電源の状態を変更する操作の設定

電源スイッチを押す、液晶ディスプレイを閉じるなどの操作により移行する電源の状態を変更する場合は、次の手順で行います。

チェック

この手順で設定を行った場合、現在登録されているすべての電源プランの設定が変更されます。電源プランごとに設定を行いたい場合は、それぞれの電源プランの設定画面の「詳細な電源設定の変更」から行ってください。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「電源ボタンの動作の変更」をクリック

3 「電源ボタンとカバーの設定」欄で、動作を設定する

- **電源スイッチを押すことで移行する電源の状態を設定する場合**
  「電源ボタンを押したときの動作」欄で設定します。
- **液晶ディスプレイを閉じることで移行する電源の状態を設定する場合**
  「カバーを閉じたときの動作」欄で設定します。

チェック

工場出荷時の設定は次のようになっています。

- 「電源ボタンを押したときの動作」:「スリープ状態」
- 「カバーを閉じたときの動作」:「スリープ状態」

4 「変更の保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

電源の自動操作

[020307-27]

タイマによって、自動的に電源の操作を行うことができます。

チェック

タイマ の自動操作によるスリープ状態からの復帰を行った場合、本体はスリープ状態から復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合、NXパッドなどのポインティングデバイスを操作するかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが表示されます。

タイマ機能（電源オプション）

設定した時間を経過しても、NXパッドやキーボードからの入力やSSDへのアクセスなどがない場合、自動的にディスプレイの電源を切ったり、スリープ状態、休止状態にすることができます。
工場出荷時は次のように設定されています。

使用している電源	電源プランの名称	ディスプレイの電源を切る	SSDの電源を切る	スリープ状態にする	休止状態にする
AC電源	標準	約10分	約10分	約25分	なし
バッテリ		約2分	約3分	約5分	約15分

メモ

工場出荷時は、省電力のためスリープ状態になるように設定してあります。

省電力機能

[020400-27]

本機の省電力機能について説明しています。

- 省電力機能について. 39
- ECOモード機能. 40
- ピークシフト機能. 44
- Intel SpeedStep® テクノロジー. 47

省電力機能について

[020401-27]

Windowsには、一定時間本機を使用していない場合などに電源の状態を変更し、消費電力を抑えるように設定できる電源管理機能があります。
また、Windowsの電源管理機能に加え、本機には次の省電力機能があります。

- **ECOモード機能**
  ECOボタンまたはホットキーを押すことで、簡単にECOモード機能のモードを切り替えることができます。
- **ピークシフト機能**
  設定した時間帯の間、バッテリにより動作し、AC電源の使用を控えることで、電力需要がピークに達する時間帯の電力消費を他の時間帯に移行することができます。

- **Intel SpeedStep® テクノロジー**
  処理の負荷などによって、CPUの動作性能を切り替える機能です。

参照

- **Windowsの電源管理機能について**
  「電源 (P. 24)」
- **ECOモード機能について**
  「ECOモード機能 (P. 40)」
- **ピークシフト機能について**
  「ピークシフト機能 (P. 44)」
- **Intel SpeedStep® テクノロジーについて**
  「Intel SpeedStep® テクノロジー (P. 47)」

ECOモード機能

[020402-27]

本機では、2つの省電力設定から利用シーンにあわせて、最適な設定に切り替えることができます。
工場出荷時の設定では、ECOモード機能で切り替えることのできるモードには次の2つがあり、「標準」が選択された状態になっています。

◆モードの種類

モード	通知領域のアイコンおよび色	説明
標準	（青）	本機の速度を優先させる設定ですが、操作がない状態で一定の時間が経過した場合、スリープ状態に移行します。 電源プランは「標準」が割り当てられており、液晶ディスプレイの輝度は56%に設定されています。
ECO	（緑）	電力をもっとも節約する設定で、標準よりも早い時間でスリープ状態に移行します。電源プランは「ECO」が割り当てられており、液晶ディスプレイの輝度は10%に設定されています。

チェック

- 表中のアイコンは工場出荷時の設定のものです。実際に表示されるアイコンはモードに割り当てている電源プランにより異なります。
- 電源プラン「ECO」は固定的に割り当てられるモードのため変更はできません。
- Windowsのログオン画面が表示されている場合、ECOボタン、または設定したホットキーを押してもモードは変更されません。
- 電源プランの自動切替の実行中は、ECOボタンや設定したホットキーでの電源プランの切り替えはできません。
- 省電力を優先する電源プランを割り当てているモードを選択している場合、DVDの再生などの映像を表示するアプリケーションで、再生品質が低下する可能性があります。そのような場合は、「標準」などの性能を優先するモードを選択してください。

モードを切り替える

1 ECOボタンを押す

設定されているモードが表示され、以後、ECOボタンを押すごとに、モードが切り替わります。

参照

キーの使い方について
「キーボード」の「キーの使い方 (P. 70)」

チェック

- 現在のモードは、タスク バーの通知領域の をクリックすると表示されるアイコンで確認できます。
  また、通知領域に表示されたアイコンを選択し、クリックをしてもモードを切り替えることができます。
- 指定したホットキーに、モードの切り替えの機能を割当てることもできます。
  「ホットキーの設定 (P. 42)」

ECOモード機能の設定

モードの設定の変更

ECOモード機能で切り替える各モードの設定を変更する場合は、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ECOモード設定ツール」→「ECOモード設定ツール」をクリック

2 表示される画面で設定を行う

- **電源プラン**
  変更可能なモードに割り当てる電源プランを選択します。
- **「電源プランのカスタマイズ」ボタン**
  コントロール パネルの電源オプションが表示されます。
- **「初期設定に戻す」ボタン**
  2つのモードと電源プランの組み合わせを、工場出荷時の設定に戻します。

3 「OK」ボタンをクリック

チェック

「初期設定に戻す」ボタンで工場出荷時の設定に戻したときに、工場出荷時の設定で使用している電源プランが削除されていた場合も「設定なし」が設定されます。

以上で設定は完了です。

自動切替設定

電源プランを自動的に切り替える期間と時間帯の設定ができます。
設定した時間帯に応じて、本機の電源プランを変更し、消費電力を抑えることができます。

チェック

- 電源プランの自動切替の実行中は、ECOボタンや設定したホットキーでの電源プランの切り替えはできません。
- 電源プランの自動切替の実行中に、手動でECOボタンやWindowsの「電源オプション」などで電源プランを切り替えた場合は、自動切替時間の終了後もその電源プランを維持します。
- ECOモード設定の切り替わりには、数分かかる場合があります。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ECOモード設定ツール」→「ECOモード設定ツール」をクリック

2 「電源モード自動切替の設定」ボタンをクリック

「ECOモード設定ツール(自動切り替え設定)」画面が表示されます。

3 自動切替の設定を行う

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
時間帯により切り替える	チェックを付けると、時間帯に応じて、電源プランを切り替えます。
使用期間	電源プランの自動切り替えを使用する期間の開始日、終了日を設定します。 それぞれの欄の▼をクリックし、表示されるカレンダーから日付を選択してください。 さらに、各モードに時間帯を設定して電源プランの自動切替を実行します。 設定した時間帯は、使用できる電源プランが制限されます。 をクリックし、開始時刻、終了時刻を設定します。

4 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

ホットキーの設定

ECOボタンとは別に、モードの切り替えに使用するホットキーを1つ設定できます。
ホットキーの設定は、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ECOモード設定ツール」→「ECOモード設定ツール」をクリック

2 「ホットキーの設定」ボタンをクリック

3 使用するホットキーを選択し、「OK」ボタンをクリック

メモ

- ホットキーには、次のキーが設定できます。
  - 【Alt】＋【F1】～【F3】
  - 【Alt】＋【F5】～【F12】
  - 【Ctrl】＋【F1】～【F12】
- 「初期設定に戻す」ボタンをクリックすると、ホットキーの設定を工場出荷時の状態に戻します。

以上で設定は完了です。

ピークシフト機能

[020405-27]

電力需要がピークに達する時間帯の電力消費を、他の時間帯に移行することをピークシフトといいます。
本機は、「ピークシフト設定ツール」で設定を行うことで「ピークシフト機能」を使用できます。

使用上の注意

- ピークシフト機能の実行には、本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続しておく必要があります。
- ピークシフト機能の実行には、「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」がインストールされている必要があります。
- ピークシフト機能実行中にACアダプタを本機、またはACコンセントから取り外したり、本機をスリープ状態や、休止状態にする、シャットダウンを行うとピークシフト機能は中断します。
- ピークシフト機能の設定はユーザーごとに設定可能ですが、同時に実行できるピークシフト機能は1つのみです。
  ユーザーの切り替えを使用して複数のユーザーがログオンしている状態で、いずれかのユーザーが設定したピークシフト機能が実行中の場合、他の設定によるピークシフト機能は正常に動作しません。
- ピークシフト機能実行中に「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」でバッテリのリフレッシュを実行すると、ピークシフト機能が正常に動作しないことがあります。
- 「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」で、著しい劣化と診断され「警告」と表示されたバッテリは充電できません。ただちに新しいバッテリに交換してください。また、劣化したバッテリのままで、ピークシフト機能を使用しないでください。

  チェック

  バッテリの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。

- テキストやその他の項目の大きさを変更している場合、「ピークシフト設定ツール」の設定項目が表示されない場合があります。その場合は、次の手順でテキストなどの大きさを変更してから、設定を行ってください。

  1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

  2 「デスクトップのカスタマイズ」をクリック

  3 「ディスプレイ」の「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリック

  4 「小 - 100%(既定)」を選択し「適用」ボタンをクリック

  5 ログオフを促すメッセージが表示されたら、「今すぐログオフ」ボタンをクリック

  Windowsからログオフします。
  ログオン画面が表示されたら、ログオンしなおしてください。

- 「バッテリ駆動に切り換える」「バッテリへの充電を控える」の時間帯を長時間に設定した場合、バッテリの充電量が不足します。バッテリの充電時間が最低5時間は確保されるように「バッテリ駆動に切り換える」「バッテリへの充電を控える」の時間帯を19時間以上には設定しないようにしてください。

- バッテリへの充電を行わない時間の開始・終了は、本機の運用状況により若干の誤差が発生する場合があります。

ピークシフト機能の設定

ピークシフト設定ツールで、ピークシフト機能に関する各種設定を行うことができます。
ピークシフト機能の設定は、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ピークシフト設定ツール」→「ピークシフト設定ツール」をクリック

「ピークシフト設定ツール」が表示されます。

2 ピークシフト機能の設定を行う

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
使用期間	ピークシフト機能を使用する期間の開始日、終了日を設定します。 それぞれの欄の をクリックし、表示されるカレンダーから日付を選択してください。
バッテリ駆動に切り換える(更にバッテリ充電を控える)	チェックを付けると、時間帯を指定してピークシフト機能を使用します。 **「開始」「終了」** をクリックし、開始時刻、終了時刻を設定します。終了時刻は、「バッテリへの充電を控える」で設定している時間帯の範囲内になります。
バッテリの残容量が次を切ったら、AC電源駆動に切り換えます。	ピークシフト実施中に、バッテリ駆動からAC電源による駆動に切り換えるバッテリの残容量を10%～100%の間で設定します。 をクリックし、設定を行ってください。
バッテリ駆動する開始時間をランダムに分散させる。	チェックを付けると、バッテリ駆動を開始/終了する時間を分散させます。 **チェック** 終了時間の分散により設定画面で設定した終了時間を越えることがあります。
バッテリへの充電を控える	設定した時間帯はバッテリ充電を行いません。 **「終了」** をクリックし、バッテリへの充電を控える時間帯の終了時刻を設定します。開始時刻はバッテリ駆動開始時刻と同じ時間になります。
スリープ、電源オフ中に、AC電源からバッテリへ充電を行なわない。	チェックを付けると、ピークシフト実施中に本機がスリープ状態や休止状態、電源オフになってもバッテリの充電を行いません。
設定変更には管理者権限が必要	チェックを付けると、管理者（Administrator）権限を持つユーザーのみが、ピークシフト機能の設定を変更できるようになります。

3 「OK」ボタンをクリック

設定が保存され、「ピークシフト設定ツール」が閉じます。

メモ

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定を変更しないで「ピークシフト設定ツール」画面を閉じます。

以上でピークシフト機能の設定は完了です。

ピークシフト機能の動作状況は、ピークシフトの実施時間になるとタスク バーの通知領域に表示されるアイコンで確認できます。

通知領域のアイコン	説明
	ピークシフトが実施され、バッテリのみで動作しています。
	バッテリ残量が「ピークシフト停止バッテリ残容量」以下などの理由で、AC電源で動作しています。

Intel SpeedStep® テクノロジー

[020404-27]

Intel SpeedStep® テクノロジーに対応したCPUが搭載されているモデルでは、電源の種類やCPUの動作負荷によって、動作性能を切り替えることができます。

Intel SpeedStep® テクノロジーへの対応については、電子マニュアルビューアでお使いの機種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

設定を変更する場合は、「電源プランの設定の変更」の手順3で「詳細な電源設定の変更」をクリックし、表示される画面の「プロセッサの電源管理」の各項目で設定を行います。

参照

電源プランの設定の変更について

「電源の設定」-「電源プランの設定の変更 (P. 34)」

バッテリ

[020500-27]

本機のバッテリ（二次電池）の使い方やバッテリリフレッシュなどについて説明しています。

- バッテリ（二次電池）について 49
- 使用上の注意 50
- バッテリの充電 51
- バッテリの使い方と設定 52
- バッテリリフレッシュ 54
- バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール 56

バッテリ（二次電池）について

[020501-27]

- 本機はリチウムイオン電池を内蔵しています。バッテリの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。
- バッテリについてはJEITA（一般社団法人 電子情報技術産業協会）の「バッテリ関連Q&A集」（http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14）もあわせてご覧ください。
- 本機に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

使用上の注意

[020502-27]

- SSDなどへの読み書き中にバッテリ残量がなくなり、電源が切れてしまうと、作成中のデータが失われたり、SSDなどのデータが失われたり、壊れたりすることがあります。
- 充電を行う際にはできるだけ満充電するようにしてください。バッテリ残量が少ない場合などに少量の充放電を何度も繰り返して本機を使用すると、バッテリ残量に誤差が生じることがあります。
- バッテリ残量の表示精度を良くするには定期的にバッテリリフレッシュを実行してください。
- 満充電（バッテリを充電してバッテリ充電ランプが消灯した状態）にしても使用できる時間が短くなった場合は、バッテリリフレッシュを行ってください。

参照

バッテリリフレッシュについて
「バッテリリフレッシュ (P. 54)」

- 本機を長期間使用しない場合は、バッテリ残量を50%程度にして、涼しいところに保管しておくとバッテリの寿命を長くすることができます。
- バッテリだけで本機を長時間使用する場合は、スリープ状態や休止状態を利用したり、本機の省電力機能を使用してください。

参照

- **スリープ状態／休止状態について**
  「電源 (P. 24)」
- **省電力機能について**
  「省電力機能 (P. 38)」

- バッテリは、自然放電しています。 本機を長期間使用しない場合でも、2～3か月に一度は充電することをおすすめします。

バッテリの充電

[020504-27]

チェック

購入直後や長時間放置したバッテリでは、バッテリ駆動ができないことや動作時間が短くなること、バッテリ残量が正しく表示されないことなどがあります。必ず満充電してから使用してください。

バッテリの充電のしかた

本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続すると、自動的にバッテリの充電が始まります。
本機の電源を入れて使用していても充電されます。

メモ

充電できる電池容量は、周囲の温度によって変わります。また、高温になると充電が中断されることがありますので、18～28℃での充電をおすすめします。

バッテリの充電時間については、電子マニュアルビューアでお使いの機種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

充電状態を表示ランプで確認する

バッテリの充電状態を、バッテリ充電ランプで確認することができます。

参照

バッテリ充電ランプについて
「表示ランプ (P. 23)」

バッテリの使い方と設定

[020505-27]

バッテリ残量の確認

バッテリ残量は次の方法で確認できます。

タスク バーの通知領域で確認する

タスク バーの通知領域の または をクリックすると、現在のバッテリ残量と電源プランが表示されます。

電源ランプで確認する

電源ランプの状態で、バッテリ残量を確認できます。

参照

電源ランプについて

「表示ランプ (P. 23)」

バッテリ残量による動作の設定

バッテリ残量が一定の値以下になったときに通知したり、自動的にスリープ状態や休止状態になるように設定できます。

チェック

- 工場出荷時の状態では、バッテリ残量が10%以下になったときに通知し、5%以下になったときに再度通知し、自動的に休止状態になるように設定されています。
- バッテリ残量による動作は、電源プランごとに設定します。

バッテリ残量による動作の設定を変更するには、次の手順で行います。

1. 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック
2. 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック
3. 設定を変更したい電源プランの「プラン設定の変更」をクリック
4. 「詳細な電源設定の変更」をクリック
5. 「バッテリ」をダブルクリック

6 「バッテリ」以下に表示される項目で設定を行う

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
バッテリ切れの操作	バッテリ残量が「バッテリ切れのレベル」以下になったときに行う動作を設定します。
バッテリ低下のレベル	バッテリ残量がここで設定した値以下になると、「バッテリ低下の操作」を開始します。
バッテリ切れのレベル	バッテリ残量がここで設定した値以下になると、「バッテリ切れの操作」を開始します。
バッテリ低下の通知	バッテリ残量が「バッテリ低下のレベル」以下になったときに通知するかどうかを設定します。
バッテリ低下の操作	バッテリ残量が「バッテリ低下のレベル」以下になったときに行う操作を設定します。
省電源移行バッテリ レベル	バッテリ残量がここで設定した値以下になると、Windowsが省電源モードで動作するようになります。

7 「OK」ボタンをクリック

以上で設定の変更は完了です。

バッテリ駆動中にバッテリ残量が少なくなったときは

バッテリ駆動中にバッテリ残量が少なくなった場合は、状況に応じて次の操作を行ってください。

ACコンセントから電源を供給できる場合

ACアダプタを接続して、ACコンセントから電源を供給してください。バッテリ充電ランプが点灯し、バッテリの充電が始まります。また、バッテリを充電しながら本機を使用できます。

ACコンセントが使えない場合

本機を休止状態にするか、使用中のアプリケーションを終了して本機の電源を切ってください。

バッテリ残量が少ない状態で、ACコンセントから電源を供給しないまま本機を使用していると、バッテリ残量に応じて電源プランで設定されている動作が実行されます。

バッテリリフレッシュ

[020506-27]

バッテリリフレッシュは、一時的に低下したバッテリの性能を回復させるときに行います。次のような場合には、バッテリリフレッシュを実行してください。

- **バッテリでの駆動時間が短くなった**
- **購入直後や長期間バッテリを使用しなかったため、バッテリの性能が一時的に低下している**
- **バッテリの残量表示に誤差が生じている**

バッテリリフレッシュの実行

メモ

本機は、「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」でWindows上からバッテリリフレッシュを実行することができます。

参照

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールについて

「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール (P. 56)」

BIOSセットアップユーティリティからバッテリリフレッシュを実行するには、次の手順で行います。

1 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る

2 本機にACアダプタを接続していない場合は、ACアダプタを接続し、電源コードのプラグをACコンセントに接続する

3 バッテリを満充電（バッテリ充電ランプが消灯した状態）にする

4 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

参照

BIOSセットアップユーティリティについて

「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」

5 電源コードのプラグをACコンセントから抜き、ACアダプタを本機から取り外す

6 「Exit」メニューの「Battery Refresh」を選択し、【Enter】を押す

7 「Do you want to refresh battery?」と表示されたら、「Yes」を選択し【Enter】を押す

バッテリリフレッシュが始まります。

チェック

バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。

バッテリリフレッシュが完了しバッテリ内の電力がなくなると、自動的に本機の電源が切れますので、本機の電源が切れるまでお待ちください。

以上でバッテリリフレッシュは完了です。

バッテリリフレッシュを中断する

バッテリリフレッシュを中断するには、次の方法があります。

- **【Ctrl】+【Alt】+【Delete】を押す**

  本機が再起動します。

- **電源スイッチを押す**

  本機の電源が切れます。

- **【Esc】を押す**

  選択画面が表示されるので、【↑】【↓】で「Cancel Battery Refresh」を選択し、【Enter】を押してください。
  バッテリリフレッシュが中断し、本機が再起動します。

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール

[020507-27]

「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」を使用することで、バッテリリフレッシュと性能診断、バッテリリフレッシュと診断の自動実行ができます。

チェック

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールがインストールされていない場合、ピークシフト機能は使用できません。また、著しく劣化したバッテリの充電停止機能も使用できません。

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールの起動

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールの起動は次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」→「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」をクリック

2 バッテリリフレッシュや性能診断についての概要を説明する画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック

メモ

- 「起動時にこの画面を表示しない」にチェックを付けてから「次へ」ボタンをクリックすると、概要説明画面を次の起動時から表示しなくなります。
- 概要説明画面は、「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」を起動して、「はじめにお読みください」ボタンをクリックしても表示されます。

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールや診断結果については、バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールを起動し、「ヘルプ」ボタンをクリックすると表示されるヘルプをご覧ください。

バッテリリフレッシュと性能診断を実行する

バッテリリフレッシュと性能診断は、次の手順で行います。

チェック

バッテリリフレッシュと性能診断を行う場合には、本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続しておく必要があります。

1 「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」を起動する

2 「開始」ボタンをクリック

確認画面が表示されます。

3 内容を確認し、「はい」ボタンをクリック

バッテリリフレッシュが開始されます。
バッテリリフレッシュ終了後、性能診断が行われます。

メモ

確認画面、および実行中の画面で「終了後、自動的にスリープ状態にする」にチェックを付けると、バッテリリフレッシュと性能診断が終了した後、本機がスリープ状態になります。

チェック

- バッテリリフレッシュを中断する場合は、「中止」ボタンをクリックし、画面の指示に従ってください。また、バッテリリフレッシュを中断した場合、性能診断は行われません。
- 「バッテリ状態」に「劣化」と表示された場合、バッテリの交換をおすすめします。
- 「バッテリ状態」に「警告」と表示された場合、バッテリを交換してください。また、バッテリへの充電やバッテリリフレッシュは、安全のため行えなくなります。
- バッテリの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。

バッテリリフレッシュと性能診断を自動実行する

バッテリリフレッシュと性能診断の自動実行は、次の手順で設定します。

チェック

バッテリリフレッシュと性能診断を自動実行する場合には、設定した時間に本機が以下の状態であることが必要です。

- 本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続されている。
- 電源がシャットダウンされていない（起動中、スリープ状態、休止状態の場合は実行可能です）。
- 管理者（Administrator）権限を持たないユーザーで自動実行を設定した場合、設定したユーザーでログオンしている。
- 管理者（Administrator）権限を持ち、Windows パスワードを持たないユーザーで自動実行を設定した場合、設定したユーザーでログオンしている。

1 「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」を起動する

2 「次回開始日時の設定」ボタンをクリック

3 「次回の実行日時を指定する」を選択し、実行時間を設定する

必要に応じて以下の項目も設定してください。

- **「Windows パスワード」**
  Windowsのログオンパスワードを設定している場合は、この欄にパスワードを入力する
- **「終了後、自動的にスリープ状態にする」**
  自動実行終了後、本機をスリープ状態にする場合にはチェックを付ける

> **チェック**
>
> 管理者（Administrator）権限を持たないユーザーで設定を行っている場合、「Windows パスワード」欄は表示されません。

4 「OK」ボタンをクリック

以上でバッテリリフレッシュと性能診断の自動実行の設定は完了です。

バッテリの充電モードを設定する

バッテリの充電モードを設定できます。

> **チェック**
>
> 充電モードの設定は、バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールでのみ変更可能です。

> **メモ**
>
> - 現在内蔵しているバッテリの充電モードは、バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールの「現在のモード」欄で確認できます。
> - バッテリは、使い続けていくうちに、バッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が以前よりも短くなっていきます。このようなときは、バッテリリフレッシュを実行することでバッテリの性能を回復できます。

1 「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」を起動する

2 「充電モードの設定」ボタンをクリック

3 設定するモードを選択する

設定可能なモードは次のとおりです。

モード	説明
フル充電モード	100%まで充電する通常のモードです。
8割充電モード	充電を80%までにすることで、バッテリの劣化を抑えるモードです。
5割充電モード	50%まで充電します。

4 「OK」ボタンをクリック

以上で充電モードの設定は完了です。

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールのアンインストール

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールのアンインストールは、次の手順で行います。

チェック

アンインストールは管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

3 「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック

4 「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール をアンインストールしますか？」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリック

以上でバッテリ・リフレッシュ＆診断ツールのアンインストールは完了です。

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールの再インストール

アンインストールした「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」を再インストールする場合は、次の手順で行います。

チェック

- インストールには光学ドライブが必要です。
- インストールは管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。

1 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

3 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥NECBATT¥Setup.exe

メモ

光学ドライブがDドライブ以外の場合は、先頭の「D」を、お使いの光学ドライブのドライブ文字に置き換えて入力してください。

4 **「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール セットアップ ウィザードへようこそ」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック**

5 **「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールファイル使用中」画面が表示された場合は、「NEC Battery Refresh Utility-Scheduler（Process Id: XXXX）」をクリックし、「継続」ボタンをクリック**

6 **「インストールが完了しました。」画面が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック**

7 **再起動を促すメッセージが表示された場合は、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出し、「はい」ボタンをクリック**

Windowsが自動的に再起動します。

> **チェック**
>
> メッセージが表示されない場合は、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出し、Windowsを再起動してください。

以上でバッテリ・リフレッシュ＆診断ツールの再インストールは完了です。

タッチパネル

[023000-27]

本機のタッチパネル機能について説明しています。

- 使用上の注意. 62
- タッチパネルでの操作方法. 63
- タッチパネルの設定. 65

使用上の注意

[023001-27]

- 必要以上に強い力でタッチしないでください。故障の原因になります。
- 画面上に物を置くなど、長時間同じ位置に重量負荷をかけないようにしてください。画面がたわみ、故障の原因になります。
- 汚れた指でタッチしないでください。画面に汚れが付着して見にくくなる可能性があります。
- 万が一タッチパネルが割れた場合は指で触れたりせずに修理を依頼してください。
- タッチパネルの表面にフィルムなどを貼らないでください。また、汚れや水滴が付着した場合は柔らかい布で取り除いてください。タッチ操作が正常に行えなくなる可能性があります。
- 指の状態（乾燥している、汗や水で濡れているなど）によっては、タッチ操作が正常に行えなくなる可能性があります。
- 他の電気機器から離してお使いください。そばに置いて使用していると、タッチパネルの動作が不安定になることがあります。
- ACアダプタは、他の電気機器と同じACコンセントに接続しないでください。他の電気機器からノイズを受けて、タッチパネルの動作が不安定になることがあります。
  やむなく同じコンセントに接続していて、他の電気機器にアース線がある場合は、必ずアース線を接続してください。

タッチパネルでの操作方法

[023002-27]

本機のタッチパネルでの操作と対応するマウス操作について説明します。

メモ

操作をするときは指先で触れるようにし、また、2本の指で操作する場合は、1本目の指で画面に触れてから、2本目の指の操作を行ってください。

操作名	操作イメージ	説明	同じ動作をするマウス操作
タップ		画面上の対象に指1本で軽く触れ、指を離します。 アイコンや項目の選択や、ボタンを押すときに使用します。	クリック
プレスアンドホールド		指1本で画面上の対象に触れ続け、円が表示された後に指を離します。 右クリックメニューが表示されます。	右クリック
プレスアンドタップ		指1本で画面上の対象に触れたまま、もう一本の指で画面をタップします。 右クリックメニューが表示されます。	
ダブルタップ		画面上の対象を指で2回連続でタップします。 ダブルクリックと同様に、フォルダを開いたり、プログラムを実行するときに使用します。	ダブルクリック
ドラッグ		画面上の対象に触れ、指を離さずに目的の場所まで動かして指を離します。 アイコンの移動や範囲選択などで使用します。	ドラッグ

パン		指を画面上に軽くタッチした状態で動かします。 画面に表示しきれない大きなページや画像データを動かし、隠れていた部分を表示することができます。	スクロール
フリック		画面に触れ、指を払うように動かします。 指を動かした方向に表示内容がスクロールさせたり、ページをめくることができます。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。	–
ズーム		拡大の場合は、指1本で画面に触れたまま、別のもう1本の指で画面に触れ、2本の指先を開くように動かします。 縮小する場合は、逆に2本の指先でつまむように動かします。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。	【Ctrl】 + スクロールホイール
回転		指1本で画面に触れたまま、もう1本の指で画面に触れ、最初に触れた指を中心にして円を描くように動かします。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。	–

タッチパネルの設定

[023004-27]

操作や表示などの設定

ダブルタップなどの操作に関する設定や、タッチパネル操作時の表示などについて設定できます。

ダブルタップなどの操作に関する設定をする

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ハードウェアとサウンド」→「ペンとタッチ」をクリック

3 次のタブで設定を行う

- **「ペンのオプション」タブ**
  本機では使用しません。操作に関しては「タッチ」タブで設定します。
- **「フリック」タブ**
  フリック操作に割り当てる機能や、フリック操作時の感度を設定できます。
- **「手書き」タブ**
  手書き認識の自動学習を行うかどうかを設定できます。
- **「タッチ」タブ**
  ダブルタップやプレスアンドホールドの設定ができます。

  チェック

  「入力デバイスとして指を使う」のチェックは外さないでください。タッチパネルでの操作ができなくなります。

- **「パン」タブ**
  「パン」操作の有効／無効や、操作の設定ができます。

4 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

タッチパネル操作時の表示、画面の回転に関する設定をする

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ハードウェアとサウンド」→「Tablet PC 設定」をクリック

3 次のタブで設定を行う

- **「画面」タブ**
  画面の回転についての設定などができます。

  チェック

  「調整」をクリックしてタッチする位置の調整をしないでください。調整をすると、タッチの反応位置がずれてしまうことがあります。
  調整してしまった場合は、「画面」タブの「リセット」をタップして、ご購入時の設定に戻してください。

- **「その他」タブ**
  きき手などの設定ができます。

4 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

キーボード

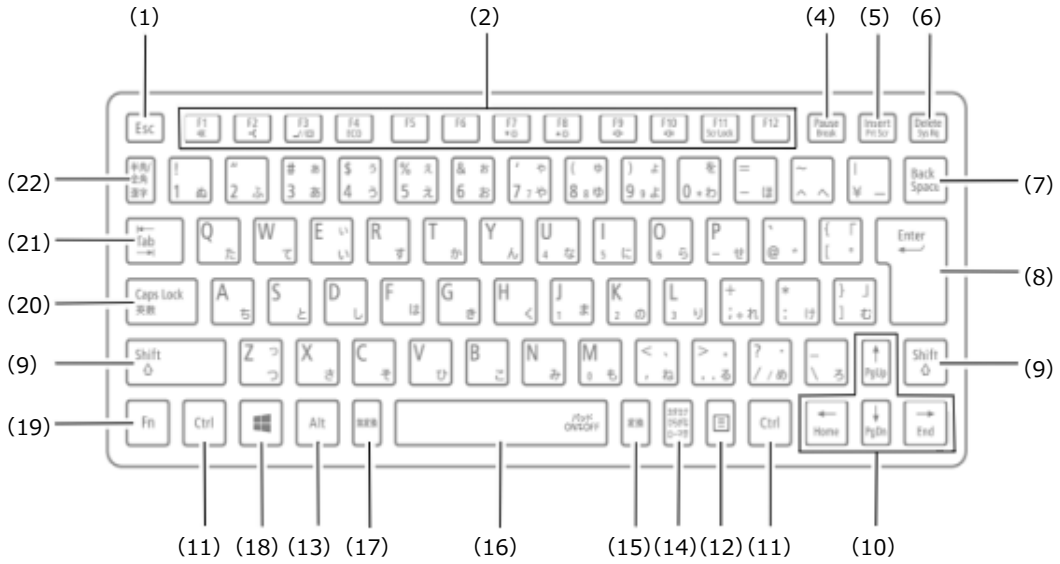
[020600-27]

本機のキーボードのキーの名称や、キーの使い方について説明しています。

- キーの名称. 68
- キーの使い方. 70
- キーボードの設定. 72

キーの名称

[020603-27]



番号	マニュアルでの表記	名称
(1)	【Esc】	エスケープキー
(2)	【F1】～【F12】	ファンクションキー
(4)	【Pause】	ポーズキー
(5)	【Insert】	インサートキー
(6)	【Delete】	デリートキー
(7)	【Back Space】	バックスペースキー
(8)	【Enter】	エンターキー（リターンキー）
(9)	【Shift】	シフトキー
(10)	【↑】【↓】【→】【←】	カーソルキー
(11)	【Ctrl】	コントロールキー
(12)	【]	アプリケーションキー
(13)	【Alt】	オルトキー
(14)	【カタカナ ひらがな】	かなキー
(15)	【変換】	変換キー
(16)	スペースキー	スペースキー
(17)	【無変換】	無変換キー
(18)	【]	Windowsキー

(19)	【Fn】	エフエヌキー
(20)	【Caps Lock】	キャップスロックキー
(21)	【Tab】	タブキー
(22)	【半角/全角】	半角/全角キー

キーの使い方

[020604-27]

日本語入力のオン／オフ

本機は、工場出荷時、日本語入力システムとしてMicrosoft IMEが設定されています。
工場出荷時の状態で日本語入力のオン／オフを切り替えるには【半角/全角】または【Caps Lock】を押してください。
また、入力を行う際の操作方法については、Microsoft IMEのヘルプをご覧ください。

- **Microsoft IMEのヘルプ**
  Microsoft IMEの言語バーの「ツール」→「ヘルプ」→「目次とキーワード」をクリック

ホットキー機能（【Fn】の使い方）

【Fn】と他のキーを組み合わせることで、パソコンの設定を変更したり、キーの役割を変えることができます。これをホットキー機能といいます。
組み合わせが可能なキーとその機能を表すアイコンは【Fn】と同じ色でキー上面に印字されているものもあります。

キー操作	機能	説明
【Fn】＋【F1】	音声のオン／オフ（ミュート機能）（ ）	音声のオン／オフを切り替えます。
【Fn】＋【F2】	ワイヤレススイッチ（ ）	ワイヤレス機能のオン／オフを切り替えます。詳しくは「無線LAN機能 (P. 153)」、「Bluetooth機能 (P. 190)」をご覧ください。
【Fn】＋【F3】※1	画面表示先の切り替え（ / ）	外部ディスプレイが接続されているとき、キーを押すごとに、画面の表示先を切り替えます。詳しくは「画面の出力先を切り替える (P. 119)」をご覧ください。
【Fn】＋【F4】※4	ECOボタン（ECO）	ECOモードを切り替えます。詳しくは「ECOモード機能 (P. 40)」をご覧ください。
【Fn】＋【F7】	輝度を下げる（▼ ）	液晶ディスプレイの輝度が下がります（11段階）。
【Fn】＋【F8】	輝度を上げる（▲ ）	液晶ディスプレイの輝度が上がります（11段階）。
【Fn】＋【F9】	音量を下げる（ ）	スピーカの音量を下げます。
【Fn】＋【F10】	音量を上げる（ ）	スピーカの音量を上げます。
【Fn】＋【F11】	スクロールロック	【Scr Lock】として機能します。
【Fn】＋【Insert】	プリントスクリーン	【Prt Scr】として機能します。
【Fn】＋【Pause】	Break	【Break】として機能します。
【Fn】＋【Delete】	システムリクエスト	【Sys Rq】として機能します。
【Fn】＋【↑】	Page Up	【Pg Up】として機能します。
【Fn】＋【↓】	Page Dn	【Pg Dn】として機能します。
【Fn】＋【←】	Home	【Home】として機能します。

【Fn】＋【→】	End	【End】として機能します。
【Fn】＋スペースキー ※5	NXパッドのオン／オフ	NXパッドのオン／オフを切り替えます。
【Fn】＋【 】	右Windows	右【 】として機能します。

※1　外部ディスプレイを接続していない場合は動作しません。

※2　本機の電源を切ったり、再起動を行った場合、設定した内容は解除されます。

※4　「ECOモード設定ツール」をアンインストールした場合は動作しません。

※5　NXパッドのドライバを「標準 PS/2 ポート マウス」に変更した場合は動作しません。

キーボードの設定

[020605-27]

Windowsでキーボードをより使いやすく設定することができます。

参照

キーボードの設定について
Windowsのヘルプ

NXパッド

[020800-27]

本機のNXパッドの使い方や拡張機能の設定、タッチパッドの設定、NXパッドのドライバを変更する方法などについて説明しています。

- NXパッドの使い方. 74
- NXパッドの設定. 75
- NXパッドのドライバを変更する. 79
- NXパッドドライバへ戻す. 81

NXパッドの使い方

[020802-27]

NXパッドでの操作

工場出荷時の状態で使用できるNXパッドでの操作には、次のようなものがあります。

操作名称	操作説明
マウスポインタの移動	パッドに触れ、マウスポインタを動かしたい方向に指を動かします。
クリック	パッドの右下以外の部分を押し込んで、すぐに離します。
右クリック	パッドの右下部分を押し込んで、すぐに離します。
ダブルクリック	アイコンやフォルダなどの上にポインタを合わせてからクリックの操作を2回続けてすばやくクリックします。
ドラッグ	アイコンやフォルダなどの上にポインタを合わせ、パッドを押し込んだままパッド上で指を動かします。
スクロール	スクロールバーが表示されているアプリケーションのウィンドウをクリックし、パッドの2カ所に触れます。触れる位置は少し離してください。 そのまま、スクロールバーを動かしたい方向に2本の指を動かします。
ズーム	拡大／縮小の操作を行いたいアプリケーションのウィンドウをクリックし、パッドの2カ所に触れます。 そのまま、指先の間を広げたり狭めたりすることで、拡大／縮小ができます。
回転	回転の操作を行いたいアプリケーションのウィンドウをクリックし、パッドの2カ所に触れます。 そのまま、2つの指をひねるように回転させます。

チェック

スクロールやズーム、回転は、対応していないアプリケーションでは使用できません。

メモ

- パッドを指先で軽くたたくとクリックと同じ操作になります。また、2回続けてすばやくパッドをたたくと、ダブルクリックと同じ操作になります。パッドを軽くたたいてクリックやダブルクリックの操作をすることを「タップ」や「ダブルタップ」と呼びます。
- クリックボタンを使わずに、ポインタを合わせた状態でパッドを軽くたたき、もう一度パッドに触れた状態で指を動かしてもドラッグの操作になります。

NXパッドの設定

[020803-27]

NXパッドのボタンやポインタの動作などの設定は「マウスのプロパティ」で行います。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック

「マウスのプロパティ」が表示されます。
「マウスのプロパティ」の各タブをクリックし、NXパッドの設定ができます。

マルチタッチやジェスチャーなどの機能の設定

マルチタッチやジェスチャー、スクロールなどの機能の設定は、「マウスのプロパティ」の「NXパッド」タブから「Elan Smart-Pad」画面を表示して行います。
「Elan Smart-Pad」画面の表示は、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック

「マウスのプロパティ」が表示されます。

3 「NXパッド」タブをクリック

4 「NXパッド」タブ内の「オプション」ボタンをクリック

NXパッドの「Elan Smart-Pad」画面が表示されます。

チェック

【Fn】＋【Space】でNXパッドを無効にしていた場合、「オプション」ボタンは操作できません。

設定できる項目

「オプション」画面では、次の項目の設定ができます。

項目		説明
基本	タッピング	有効にすると、タップ操作が使用可能になります。
	一本指	クリック/選択の操作が使用可能になります。

		二本指	二本指を使ったタップ操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
		三本指	三本指を使ったタップ操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
	クリック		パッドを押し込む操作がクリックとして機能します。
		一本指	クリック/選択の操作が使用可能になります。
		二本指	二本指を使ったクリック操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
		三本指	三本指を使ったクリック操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
		左隅	パッドの左下隅を使ったクリック操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
		右隅	パッドの右下隅を使ったクリック操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
	ドラッグ&ドロップ		有効にすると、ドラッグおよびドロップの操作が使用可能になります。操作の設定については、以下の項目から選択してください。 ● スクリーンから指を離すとフレーム選択が解除されます ● もう一度タッピングしてリリース ● 一定時間遅延後リリース
	エッジスクロール		パッドの右端や下端をなぞることでスクロールができるスクロール領域が使用可能になります。操作の設定については、以下の項目から選択してください。
		縦方向スクロール	縦方向へのスクロールが使用可能になります。
		横方向スクロール	横方向へのスクロールが使用可能になります。
		スクロールエリア	新しいスクロールエリアを設定できます。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
		スクロール速度	スクロール速度を設定できます。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
		円形スクロール	指で円を描く動作により、連続スクロールを可能にします。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
		連続スクロール	ウィンドウを、縦または横にスクロールし続けることができます。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
拡張	ズーム		有効にすると、ズームイン/ズームアウト機能が使用可能になります。
		ズーム率	ズーム機能を有効にすることで、ズーム率の速さを設定できます。
	スクロール		二本指でのスクロール機能が使用可能になります。操作の設定については、以下の項目から選択してください。
		縦方向スクロール	縦方向へのスクロールが使用可能になります。

		横方向スクロール	横方向へのスクロールが使用可能になります。
		スクロール速度	スクロール速度を設定できます。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
		慣性スクロール	有効にすると、慣性スクロール機能が使用できます。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
		逆方向	標準のマウスホイールの実装とスクロール方向が反対にできます。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
	回転		有効にすると、時計回り/反時計回りの回転機能が使用可能になります。
	三本指スワイプ		有効にすると、三本指でスワイプするジェスチャーが使用可能になります。 ● 左右にスワイプ：前ページ/次ページへの操作 ● 上下にスワイプ：スライドショーの開始/停止
追加	パーム測定		誤って手がパッドに触れたときなどに、ポインタが誤動作しないようにする感度を設定できます。
	感度		設定画面でパッドの感度が設定できます。
	スマートモーション		有効にすると、スマートモーション機能が使用可能になります。 ● 常に：スマートモーションが常に有効になります ● ドラッグ時のみ：スマートモーションがドラッグの動作時のみ有効になります ● モーション速度：スマートモーション速度を設定できます。

それぞれの項目の操作イメージを表示するには、「構成」画面の ▶ をクリックしてください。
それぞれの項目の設定画面を表示するには、「構成」画面の をクリックしてください。
項目のヘルプを見る場合は、項目を選択し、 ? をクリックしてください。

工場出荷時の設定に戻す

NXパッドの設定を工場出荷時の状態に戻す場合は、次の手順で行います。

1 「NXパッド」タブの「オプション」ボタンをクリック

NXパッドの「Elan Smart-Pad」画面が表示されます。

2 「すべてデフォルトに設定」ボタンをクリック

チェック

【Fn】＋【Space】でNXパッドを無効にしていた場合、「オプション」ボタンは操作できません。

NXパッドのオン／オフ

【Fn】＋スペースキーを押すことで、NXパッドのオン／オフを切り替えることができます。
ただし「マウスを接続した場合、NXパッドを無効にする。」にチェックを付けた状態でマウスを接続した場合、【Fn】＋スペースキーを押してもNXパッドは有効になりません。

また、USBマウスを接続しているときに、NXパッドが自動的に無効になるように設定できます。
設定する場合は、次の手順で行ってください。

メモ

工場出荷時の状態では、「マウスを接続した場合、NX パッドを無効にする。」にチェックが付いています。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック

「マウスのプロパティ」が表示されます。

3 「NXパッド」タブをクリック

4 「マウスを接続した場合、NX パッドを無効にする。」にチェックを付ける

5 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

NXパッドのドライバを変更する

[020804-27]

他社製のUSBマウスを使用する際など、NXパッドのドライバをOS標準のドライバ（標準 PS/2 ポート マウス、または PS/2 互換マウス）に変更する場合は、次の手順で行ってください。

チェック

- 管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。
- 使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。

1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2 「マウスとそのほかのポインティング デバイス」をダブルクリック

3 「NX PAD」をダブルクリック

4 「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新」ボタンをクリック

「ドライバー ソフトウェアの更新 - NX PAD」が表示されます。

5 「コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します」をクリック

6 「コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します」をクリック

7 「モデル」欄から「標準 PS/2 ポート マウス」または「PS/2 互換マウス」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

必要なファイルがコピーされます。
「ドライバー ソフトウェアが正常に更新されました。」と表示されます。

チェック

- **「モデル」欄に「標準 PS/2 ポート マウス」または「PS/2 互換マウス」が表示されない場合**
  「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外し、「製造元」欄から「(標準マウス)」を選択し、「モデル」欄から「標準 PS/2 ポート マウス」または「PS/2 互換マウス」を選択してください。
- **「モデル」欄に「標準 PS/2 ポート マウス」または「PS/2 互換マウス」が複数表示されている場合**
  一番上の「標準 PS/2 ポート マウス」または「PS/2 互換マウス」を選択してください。

8 「閉じる」ボタンをクリック

9 「閉じる」ボタンをクリック

「システム設定の変更」が表示されます。

10 「はい」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

以上でNXパッドのドライバの変更は完了です。

NXパッドドライバへ戻す

[020805-27]

他社製のUSBマウスを使用する際など、NXパッドのドライバを「標準 PS/2 ポート マウス」に変更した場合、NXパッドの拡張機能を使用するには、次の手順でドライバをNXパッドドライバへ戻してください。

チェック

- 管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。
- 使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。

1. 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
2. 「マウスとそのほかのポインティング デバイス」をダブルクリック
3. 「標準 PS/2 ポート マウス」をダブルクリック
4. 「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新」ボタンをクリック
5. 「コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します」をクリック
6. 「コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します」をクリック
7. 「モデル」欄から「NX PAD」を選択する

チェック

- 「モデル」欄に「NX PAD」が表示されていない場合は、次の手順を行ってください。

  1 「ディスク使用」ボタンをクリック

  2 参照から次のフォルダを開く

  - **Windows 7 Professional 64ビットをお使いの場合**

    「C:¥DRV¥NXPADE¥X64」
  - **Windows 7 Professional 32ビットをお使いの場合**

    「C:¥DRV¥NXPADE¥X86」

  3 「OK」ボタンをクリック

  4 「NX PAD」を選択する

- 「モデル」欄に「NX PAD」が複数表示されている場合は、一番上の「NX PAD」を選択してください。

8 「次へ」ボタンをクリック

必要なファイルがコピーされます。

この操作以降は、マウスポインタが動かない場合があります。その場合は、キーボードで操作してください。
コピーが完了すると、「ドライバー ソフトウェアが正常に更新されました。」と表示されます。

9 「閉じる」ボタンをクリック

10 「閉じる」ボタンをクリック

「システム設定の変更」画面が表示されます。

11 「はい」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

再起動後、NXパッドの拡張機能が有効になります。

チェック

再起動後、ポインタが動かない場合は、次の手順で、キーボードを使用して本機を再起動してください。

1. **【⊞】（Windowsキー）を押す**

   「スタート」メニューが表示されます。

2. **【→】を2回押す**

3. **【↑】【↓】で表示されたメニューから「再起動」を選択し、【Enter】を押す**

マウス

[020900-27]

本機でマウスを使用する場合の設定について説明しています。

- マウスを使用する. 85
- マウスを接続するための設定方法. 87
- マウスを接続する前の設定に戻す. 89

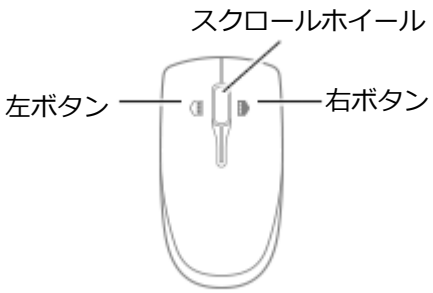
マウスを使用する

[020902-27]

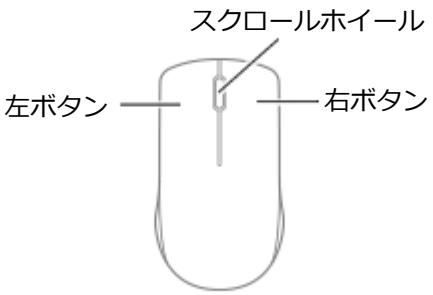
本機では、USB接続のマウスを使用することができます。
添付または別売の当社製USBマウスを使用する場合は、特に設定を行う必要はありません。そのままUSBコネクタに接続してください。
他社製のUSBマウスを使用する場合は、設定が必要になる場合がありますので、「マウスを接続するための設定方法」をご覧になり、設定を行ってください。

ご購入時に、マウスを選択した場合に添付されるマウスを例として説明します。

USBレーザーマウス



USB光センサーマウス



チェック

USBレーザーマウスやUSB光センサーマウスは、マウス底面に光源があり、それをセンサーで検知することでマウスの動きを判断しています。次のような表面では正しく動作しない（操作どおりにマウスポインタが動かない）場合があります。

- 反射しやすいもの（鏡、ガラスなど）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- USB光センサーマウスの場合、光沢があるもの（透明、半透明な素材を含む）

参照

- **マウスを接続するための設定方法**
  「本機の機能」の「マウス」-「マウスを接続するための設定方法 (P. 87)」
- **マウスの使い方**
  Windowsのヘルプ

スクロールホイールの使い方

チェック

スクロールホイールの機能に対応していないアプリケーションでは使用できません。

USBレーザーマウスの場合

- **垂直スクロール機能**
  スクロールホイールを奥または手前方向に回転させることで、画面を上下にスクロールさせることができます。
- **水平スクロール機能**
  スクロールホイールを左または右側に傾けると、画面を左右にスクロールさせることができます。
- **オートスクロール機能**
  スクロールホイールをクリックしたり、押し続けるとスクロールアイコンが表示されます。
  その状態で、三角マークの方向にマウスを動かして、画面を上下、または左右にスクロールさせることができます。
  スクロールホイールを再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

USB光センサーマウスの場合

- **垂直スクロール機能**
  スクロールホイールを奥または手前方向に回転させることで、画面を上下にスクロールさせることができます。
- **オートスクロール機能**
  スクロールホイールをクリックしたり、押し続けるとスクロールアイコンが表示されます。
  その状態で、三角マークの方向にマウスを動かして、画面を上下、または左右にスクロールさせることができます。
  スクロールホイールを再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

マウスを接続するための設定方法

[020903-27]

当社製USBマウス（添付または別売）を使用する

当社製USBマウス（添付または別売）を使用する場合は、特に設定を行う必要はありません。そのままUSBコネクタに接続してください。

チェック

当社製USBマウスとNXパッドを同時に使用できますが、工場出荷時の状態では、USBマウス接続時にNXパッドが無効になるように、NXパッドドライバで設定されています。

メモ

- USBマウスとNXパッドを同時に使用する場合は、「マウスのプロパティ」→「NXパッド」タブで「マウスを接続した場合、NX パッドを無効にする」のチェックを外してください。
- NXパッドを使用しない場合は、BIOSの設定でNXパッドを無効にできます。「他社製のUSBマウスを使用する (P. 87)」を参照してください。

他社製のUSBマウスを使用する

他社製のUSBマウスを使用する場合は、NXパッドのドライバをOS標準のドライバ（標準 PS/2 ポート マウス）へ変更してから、他社製USBマウスに添付のマニュアルをご覧になり、手順に従ってUSBマウスを接続してください。

チェック

- NXパッドドライバをOS標準のドライバに変更することで、他社製のUSBマウスとNXパッドを同時に使用できますが、NXパッドの拡張機能や【Fn】＋スペースキーでのNXパッドのオン／オフは利用できません。
- ドライバの変更を行う場合は、次の点に注意してください。
  - 管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。
  - 使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。
  - マウスポインタが動かない場合は、次の手順で、キーボードを使用して本機を再起動してください。

1 【⊞】（Windowsキー）を押す

「スタート」メニューが表示されます。

2 【→】を2回押す

3 【↑】【↓】で表示されたメニューから「再起動」を選択し、【Enter】を押す

メモ

NXパッドを無効にしたい場合は、BIOSセットアップユーティリティの「Advanced」メニュー→「Device Configuration」の「Internal Mouse」を「Disabled」に設定してください。

参照

- **NXパッドのドライバを変更する**
  「NXパッド」の「NXパッドのドライバを変更する (P. 79)」
- **NXパッドを無効にする**
  - 「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」
  - 「システム設定」の「設定項目一覧」-「「Advanced」メニュー (P. 224)」

マウスを接続する前の設定に戻す

[020904-27]

マウスを取り外すとき、「マウスを接続するための設定方法 (P. 87)」で変更する前の設定に戻す（NXパッドの拡張機能を使用する）場合は、次の操作を行ってください。

当社製USBマウス（添付または別売）を使用している場合

そのままUSBコネクタから取り外してください。

メモ

BIOSの設定でNXパッドを無効にした場合は、「他社製のUSBマウスを使用している場合」と同様に、NXパッドを有効に戻してください。

他社製のUSBマウスを使用している場合

チェック

ドライバの変更を行う場合は、次の点に注意してください。

- 管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。
- 使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- マウスポインタが動かない場合は、次の手順で、キーボードを使用して本機を再起動してください。

1 【⊞】（Windowsキー）を押す

「スタート」メニューが表示されます。

2 【→】を2回押す

3 【↑】【↓】で表示されたメニューから「再起動」を選択し、【Enter】を押す

メモ

- BIOSの設定でNXパッドを無効にした場合は、BIOSセットアップユーティリティの「Advanced」メニューで次の設定を行い、NXパッドを有効に戻してください。
  「Device Configuration」の「Internal Mouse」を「Enabled」に設定する
- NXパッドのドライバをOS標準のドライバ（標準 PS/2 ポート マウス）から、NXパッドドライバに戻すと、NXパッドの拡張機能が利用できるようになります。

参照

- **NXパッドドライバへ戻す**
  「NXパッド」の「NXパッドドライバへ戻す (P. 81)」
- **NXパッドを有効にする**
  - 「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」
  - 「システム設定」の「設定項目一覧」-「「Advanced」メニュー (P. 224)」

液晶ディスプレイ

[021100-27]

本機の液晶ディスプレイの表示の調整や表示できる解像度と表示色、表示に関する機能の設定などについて説明しています。

- 使用上の注意. 92
- 画面表示の調整. 93
- 液晶ディスプレイの回転. 94
- 画面の回転. 98
- 表示できる解像度と表示色. 99
- ディスプレイストレッチ機能. 100

使用上の注意

[021101-27]

- 液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、色調のズレなど個体差が発生する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。
- OpenGLのアプリケーションを使用した場合、アプリケーションによっては、画面が表示されない、または画面の表示が乱れることがあります。
- DVDの再生画面の上に他のウィンドウを重ねると、コマ落ちや音切れ、およびデスクトップ上のアイコンのちらつきが発生したり、再生画面にゴミが残る場合があります。
- DVDの再生時に画面がちらつく場合があります。また、再生するDVDの種類によっては、コマ落ちが発生する場合があります。
- DVDや動画の再生中は、休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 解像度、表示色、または画面の出力先の変更を行う場合は、動画や音楽を再生するアプリケーションを起動したまま行わないでください。
- 動画を再生するアプリケーションによっては、画質が低下する場合があります。
- 本機の液晶ディスプレイを開閉すると、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。

画面表示の調整

[021102-27]

輝度を調整する

キーボードから、一時的に輝度を調整できます。輝度は11段階で調整することができます。

機能	キー操作	説明
輝度を下げる（▼☼）	【Fn】＋【F7】	液晶ディスプレイの輝度が下がります。
輝度を上げる（▲☼）	【Fn】＋【F8】	液晶ディスプレイの輝度が上がります。

液晶ディスプレイの回転

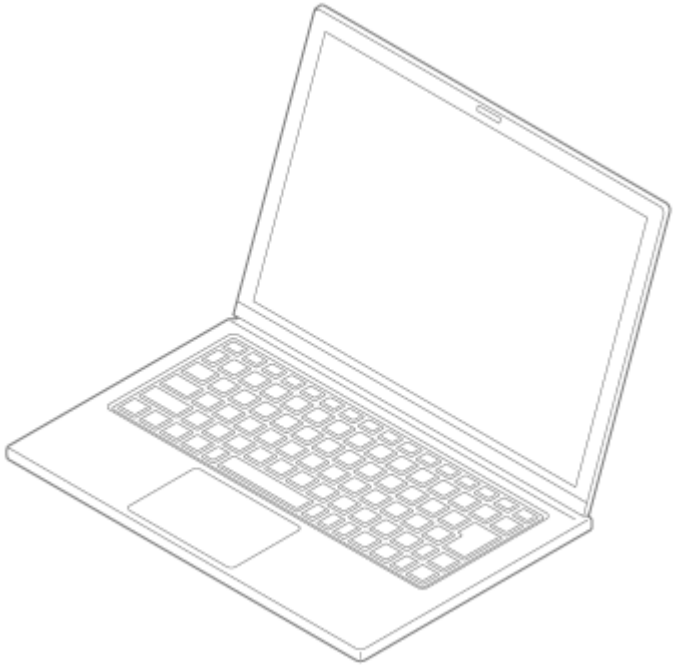
[021106-27]

本機は液晶ディスプレイを360度回転した状態で使用できます。

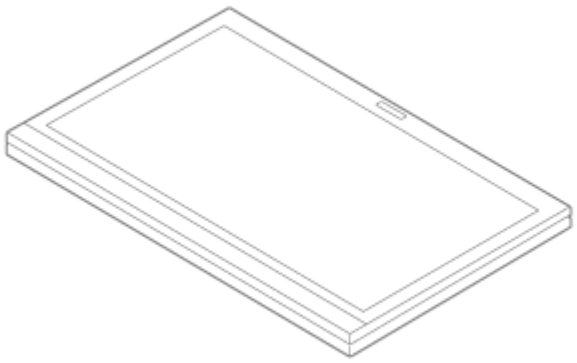
チェック

- タブレット スタイル、フラット スタイルの状態で机などに設置して使用する場合、そのまま本体を引きずらないでください。パソコンに傷が付いたり、塗装がはがれたりする可能性があります。
- 無理な力で液晶ディスプレイを開閉しないでください。液晶ディスプレイやヒンジ部分が損傷するおそれがあります。
- 液晶ディスプレイを約340度以上に開くと、キーボードとNXパッドが自動的にロックされ、入力できない状態になります。

- **ノートPC スタイル**
  文書やメールの作成などキーボードが必要な作業では、ノートPC スタイルが適しています。



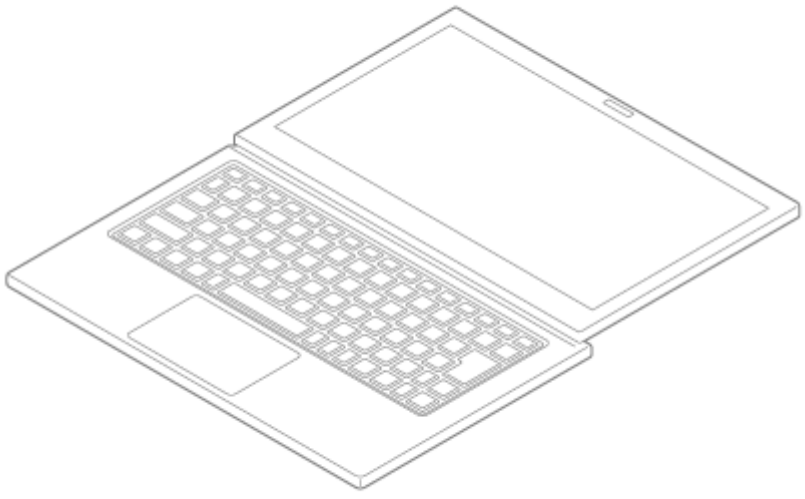
- **タブレット スタイル**
  インターネットを見たりゲームをしたりといった液晶ディスプレイを頻繁にタッチする場合は、タブレット スタイルが適しています。



チェック

「タブレット スタイル」のまま持ち運ばないでください。必ず、液晶ディスプレイを閉じた状態である「ノートPC スタイル」にして持ち運んでください。

- **フラット スタイル**
  手元で操作しながら対面の相手に図や表を表示したい場合は、フラット スタイルが適しています。



チェック

対面の相手に画面を見せる場合は、キーボードを使って画面を回転します。【Ctrl】＋【Alt】＋【↓】を押すと、画面を180°回転します。

参照

キーボードを使った画面の回転について

「液晶ディスプレイ」の「画面の回転 (P. 98)」

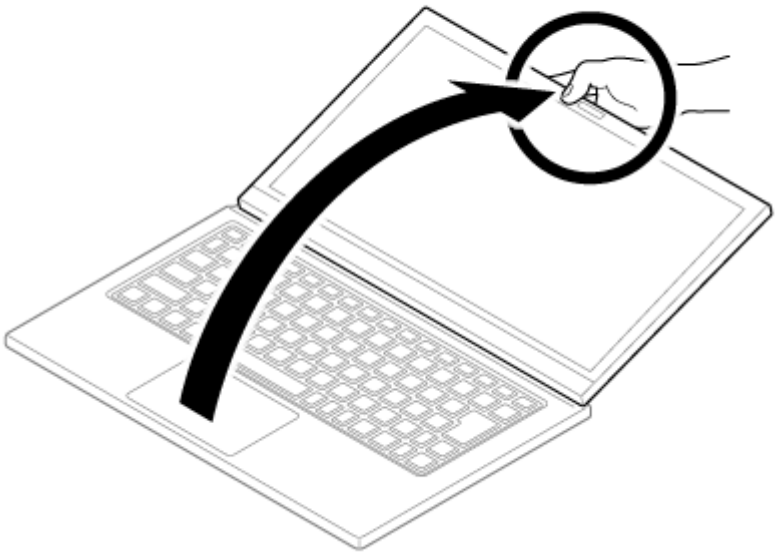
スタイルの変更のしかた

次の手順で、ノートPC スタイルからタブレット スタイルへスタイルを変更します。

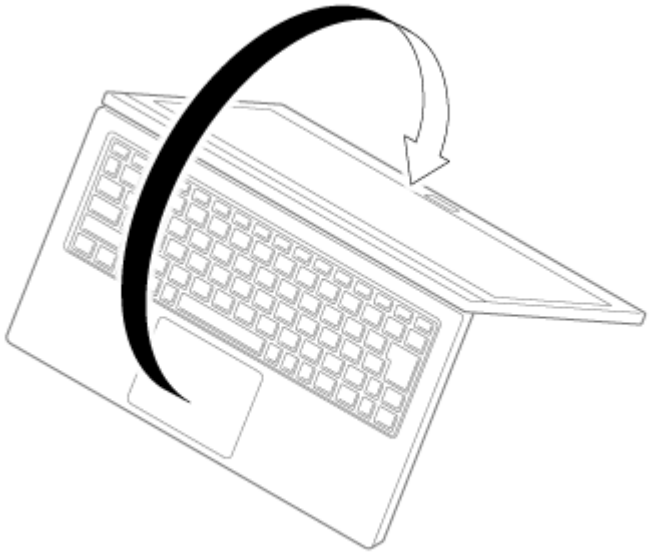
チェック

タブレット スタイルからノートPC スタイルに変更する場合は、逆の手順を行ってください。

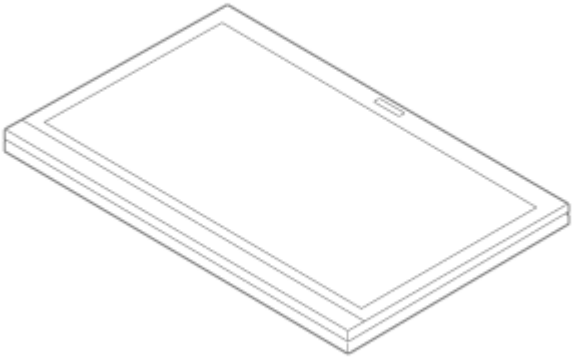
1 下図のように液晶ディスプレイの中央部分を持ち、後方に開く



2 本体底面へ液晶ディスプレイをさらに開く



3 本体底面と合わせる



チェック

液晶ディスプレイを約340度以上に開くと、キーボードとNXパッドが自動的にロックされ、入力できない状態になります。

画面の回転

[021105-27]

画面を回転させる

音量調整ボタンは画面回転ボタンの機能を兼ねています。音量調整ボタンの中央を深く押すと、画面の表示方向を時計回りに90度回転します。

チェック

- 工場出荷時の設定では、画面回転ボタンは有効に設定されています。
- 画面が回転しない場合は、「トラブル解決Q&A」の「表示」-「画面が回転しない (P. 394)」をご覧になり、設定を確認してください。

参照

- **BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について**
  「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」および「設定項目一覧 (P. 222)」
- **画面回転ボタンについて**
  「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 18)」

キーボードで画面を回転させる

キーボードを使って画面を任意の方向に回転させることができます。

押すキー	画面が回転する方向
【Ctrl】＋【Alt】＋【→】	時計回りに90度回転
【Ctrl】＋【Alt】＋【↓】	時計回りに180度回転
【Ctrl】＋【Alt】＋【←】	時計回りに270度回転
【Ctrl】＋【Alt】＋【↑】	時計回りに360度回転

参照

スタイルについて
「液晶ディスプレイ」の「液晶ディスプレイの回転 (P. 94)」

表示できる解像度と表示色

[021103-27]

チェック

設定により、次の表に記載されていない解像度を選択することができる場合がありますが、動作を保証するものではありません。必ず記載されている解像度で使用してください。

本機の液晶ディスプレイは、標準で次の解像度と表示色を表示できます。

解像度（ドット）	表示色	本機の液晶ディスプレイのみに表示
800×600	65,536色	拡大表示（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※2）
	1,677万色※1	
1,024×768	65,536色	
	1,677万色※1	
1,280×768	65,536色	
	1,677万色※1	
1,280×800	65,536色	拡大表示（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※2）
	1,677万色※1	
1,280×1,024	65,536色	拡大表示（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※2）
	1,677万色※1	
1,440×900	65,536色	拡大表示（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※2）
	1,677万色※1	
1,680×1,050	65,536色	拡大表示（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※2）
	1,677万色※1	
1,920×1,080	65,536色	フルスクリーン表示可能
	1,677万色※1	

※1　本機の液晶ディスプレイでは、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現します。

※2　拡大表示では文字や線などの太さが不均一になることがあります。実サイズ表示では画面中央に実サイズで表示され、まわりは黒く表示されます。

参照

外部ディスプレイ使用時の解像度と表示色、機能、設定について

「外部ディスプレイ (P. 101)」

ディスプレイストレッチ機能

[021104-27]

ディスプレイストレッチ機能とは、液晶ディスプレイの解像度よりもWindowsの解像度設定が低い場合に、液晶ディスプレイに画面イメージを拡大して表示する機能です。
ディスプレイストレッチ機能を使う場合は次の手順で行います。

チェック

ディスプレイストレッチ機能を使用して拡大表示を行っている場合、表示される文字などの線の太さが不均一になることがあります。

1. **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**
2. **「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック**
3. **「詳細設定」をクリック**
4. **「インテル(R) HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリックし、「グラフィックス・プロパティー」ボタンをクリック**
5. **「ディスプレイ」ボタンをクリック**
6. **左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「一般設定」をクリック**
7. **「ディスプレイの選択」欄で「内蔵ディスプレイ」を選択する**
8. **「スケーリング」欄で「全画面のスケールにする」を選択する**
9. **「適用」ボタンをクリック**

   設定の保存を確認するメッセージが表示されます。
10. **「はい」ボタンをクリック**
11. **「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」を閉じる**
12. **「OK」ボタンをクリック**

設定が有効になり、ディスプレイストレッチ機能が使用できます。

外部ディスプレイ

[021200-27]

外部ディスプレイで表示可能な解像度や表示色、画面の表示先の切り替えなどについて説明しています。

- 使用上の注意. 102
- 外部ディスプレイ接続時の解像度と表示色. 104
- HDMIコネクタ. 107
- Intel® WiDi. 110
- 外部ディスプレイ接続時の表示機能. 115
- 表示先、表示機能の設定. 116
- 画面の出力先を切り替える. 119
- ディスプレイに合わせた設定. 120

使用上の注意

[021201-27]

- DVDや動画の再生中は、休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 解像度、表示色、または画面の出力先の変更を行う場合は、動画や音楽を再生するアプリケーションを起動したまま行わないでください。
- 本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示を行っている場合、オーバーレイを使用して再生する動画は、プライマリ側のディスプレイにのみ表示されます。
- デュアルディスプレイ機能使用時に動画を再生し、表示が乱れた場合、デュアルディスプレイ機能を使用せずに本機の液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみで動画の再生をしてください。
- 高解像度で外部ディスプレイに表示している場合、DVD-Videoの種類によっては、コマ落ち、映像の乱れが発生する場合があります。その場合は、より低い解像度に設定することをおすすめします。
- 外部ディスプレイに表示している状態で、本機の液晶ディスプレイを開閉すると、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。
- 外部ディスプレイ接続時にアイコンがメイン ディスプレイに正しく表示されない場合があります。

参照

外部ディスプレイ接続時にアイコンの位置がおかしい場合
「トラブル解決Q&A」の「表示」-「外部ディスプレイ接続時にアイコンの位置がおかしい (P. 407)」

HDMIコネクタ使用時の注意

- すべてのHDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビでの動作確認はしておりません。そのため、HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビによっては正しく表示されない場合があります。
- HDMIケーブルは、別途市販のものをお買い求めください。
- 本機の電源が入っている状態、スリープ状態、および休止状態のときは、HDMIコネクタへのHDMIケーブルの取り付け、取り外しを行わないでください。
- 著作権保護されたコンテンツなどは出力されない場合があります。
- HDMIディスプレイ接続時、リフレッシュレートが30Hz（インターレース）に設定されていると、本機の操作中にちらつく場合があります。その場合はリフレッシュレートを60Hz（プログレッシブ）に変更してください。
- 使用環境によっては、60Hz（プログレッシブ）に変更するか解像度を低くしないと描画性能が上がらない場合があります。
- HDMIディスプレイのタイプによっては、解像度を変更しないと、60Hz（プログレッシブ）に変更できない場合があります。
- HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビに表示する際に、解像度によっては表示色の変更ができないことがあります。その場合は、いったん別の解像度に変更した後、表示色の変更を行ってから解像度を変更してください。

HDMIコネクタを制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で、HDMIコネクタからの出力を制限することができます。

参照

I/O制限について
「セキュリティ機能」の「I/O制限 (P. 207)」

Intel® WiDi使用時の注意

Intel® WiDi使用時の注意事項については、「Intel® WiDi (P. 110)」をご覧ください。

外部ディスプレイ接続時の解像度と表示色

[021202-27]

チェック

- お使いになる外部ディスプレイによっては、次の表に記載されている走査周波数や解像度に対応していない場合があります。外部ディスプレイをご使用の際は、外部ディスプレイのマニュアルで、対応している走査周波数や解像度を確認してください。
- 初回接続時の外部ディスプレイやテレビは、本機の液晶ディスプレイとのクローンモードに設定されます。
- 設定により、マニュアルに記載されていない解像度や周波数を選択できる場合がありますが、動作を保証するものではありません。必ずマニュアルに記載されている解像度や周波数で使用してください。
- 外部ディスプレイによっては、特定の解像度やリフレッシュレートに設定できないことがあります。

外部ディスプレイでは、次の解像度と表示色を表示できます。

VGA接続の外部ディスプレイ使用時の解像度と表示色

チェック

- VGA接続の外部ディスプレイと本機を接続するには、VGA変換アダプタが必要です。
- 著作権保護に対応したコンテンツは出力することができません。
- すべてのアナログRGBコネクタを持った外部ディスプレイ、テレビでの動作確認はしておりません。

解像度（ドット）	表示色	外部ディスプレイのみに表示※1	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイでの同時表示※1 ※2
1,024×768	65,536色 1,677万色	フルスクリーン表示可能 （表示可能な垂直走査線周波数は60Hzです）	拡大表示 （ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※4）
1,280×1,024	65,536色 1,677万色	フルスクリーン表示可能 （表示可能な垂直走査線周波数は60Hzです）	拡大表示 （ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※4）
1,920×1,080	65,536色 1,677万色	フルスクリーン表示可能 （表示可能な垂直走査線周波数は60Hzです）	フルスクリーン表示可能

※1　外部ディスプレイによっては、特定の解像度やリフレッシュレートに設定できないことがあります。

※2　外部ディスプレイ未接続時は、本機の液晶ディスプレイのみに表示されます。

※4　拡大表示では文字や線などの太さが不均一になることがあります。実サイズ表示では画面中央に実サイズで表示され、まわりは黒く表示されます。

メモ

高解像度（1,920×1,200<WUXGA>）の対応状況については、http://jpn.nec.com/bpc/versapro/でお使いの機種をクリックし、スペック詳細をご覧いただくか、http://121ware.comの「サービス＆サポート」→「商品情報検索」からお使いの機種を検索して、仕様をご確認ください。

HDMIコネクタ使用時の解像度と表示色

<table>
<tr><th>解像度（ドット）</th><th>表示色</th><th>映像信号形式</th><th>HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビのみに表示※3 ※4※5 ※6</th><th>本機の液晶ディスプレイとHDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビでの同時表示※1 ※3</th></tr>
<tr><td rowspan="2">720×480</td><td>65,536色</td><td rowspan="12">480p
720p
1080i
1080p</td><td rowspan="8">拡大表示
（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替えが可能※7）</td><td rowspan="2">表示不可※2</td></tr>
<tr><td>1,677万色</td></tr>
<tr><td rowspan="2">800×600</td><td>65,536色</td><td rowspan="4">拡大表示
（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替えが可能※7）</td></tr>
<tr><td>1,677万色</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1,024×768</td><td>65,536色</td></tr>
<tr><td>1,677万色</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1,280×720</td><td>65,536色</td><td rowspan="4">拡大表示
（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替えが可能※7）</td></tr>
<tr><td>1,677万色</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1,280×1,024</td><td>65,536色</td></tr>
<tr><td>1,677万色</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1,920×1,080</td><td>65,536色</td><td rowspan="2">フルスクリーン表示可能</td><td rowspan="2">フルスクリーン表示可能</td></tr>
<tr><td>1,677万色</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3,840×2,160
※8</td><td>65,536色</td><td rowspan="2">3840×2160p</td><td rowspan="2">フルスクリーン表示可能</td><td rowspan="2">表示不可※2</td></tr>
<tr><td>1,677万色</td></tr>
</table>

※1　別売の外部ディスプレイやテレビ未接続時は、本機の液晶ディスプレイのみに表示されます。

※2　デュアルディスプレイ機能時は、別売の外部ディスプレイやテレビで表示が可能です。

※3　すべてのHDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビでの動作確認はしておりません。
したがって、HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビによっては正しく表示されない場合があります。

※4　別売の外部ディスプレイやテレビによっては、選択できない解像度もあります。

※5　メニューには、59Hzと60Hzの2つのリフレッシュレートが表示されますが、どちらを選択しても実際のリフレッシュレートは同じです。
また、ご使用のシステム環境によっては、59Hzまたは60Hzに固定される場合があります。

※6　「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」ではリフレッシュレートの表記に●●p ヘルツ/●●i ヘルツと表記されます。
●●p ヘルツ時はプログレッシブ表示、●●i ヘルツ時はインターレース表示となります。

※7　実サイズ表示では画面中央に実サイズで表示され、まわりは黒く表示されます。

※8　リフレッシュレートは、24Hzと30Hzに対応しています。

HDMIコネクタ

[021204-27]

- HDMIコネクタへの接続. 107
- HDMIコネクタ使用時の音声出力について. 107
- VGA変換アダプタを使用した接続. 108

HDMIコネクタへの接続

1 本機と接続する外部ディスプレイやテレビの電源を切る

2 HDMIケーブルで、HDMIコネクタとHDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビなどを接続する

参照

HDMIコネクタの位置について

「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 18)」

3 外部ディスプレイやテレビと、本機の電源を入れる

詳しくは外部ディスプレイやテレビのマニュアルをご覧ください。

以上で外部ディスプレイの接続は完了です。

HDMIコネクタ使用時の音声出力について

HDMIコネクタに映像を出力すると、接続したHDMI機器が音声出力に対応している場合には音声を出力することができます。
自動で切り換わる場合もありますが、自動的に音声が切り替わらない場合は、次の手順で設定を行ってください。

1 サウンドデバイスを使用しているすべてのソフトを終了する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「ハードウェアとサウンド」をクリック

4 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。

5 「再生」タブをクリック

6 「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」を選択して、「既定値に設定」ボタンをクリック

7 「OK」ボタンをクリック

音声がHDMI経由で出力されるようになります。

チェック

HDMIコネクタに映像を出力しているときに音声が出力されなくなった場合は、本機を再起動すると改善されることがあります。

VGA変換アダプタを使用した接続

VGA変換アダプタを使用することで、本機とアナログインターフェースの外部ディスプレイやプロジェクタを接続することができます。

チェック

- VGA変換アダプタは、ご購入時に選択した場合に添付されます。また、別途購入することもできます。
- 著作権保護に対応したコンテンツは出力することができません。
- すべてのアナログRGBコネクタを持った外部ディスプレイやテレビでの動作確認はしておりません。そのため、接続する機器やケーブルによっては正しく表示されない、選択できない解像度もあります。

1 本機と接続する外部ディスプレイの電源を切る

2 本機のHDMIコネクタに、VGA変換アダプタを接続する

チェック

VGA変換アダプタは、HDMIコネクタにしっかりと取り付けてください。

参照

HDMIコネクタの位置について

「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 18)」

3 ディスプレイ用ケーブルをVGA変換アダプタに接続する

チェック

ディスプレイ用ケーブルは、VGA変換アダプタにしっかりと取り付けてください。

4 外部ディスプレイと本機の電源を入れる

詳しくは外部ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

以上で外部ディスプレイの接続は完了です。

チェック

プロジェクタの接続のしかたは、プロジェクタのマニュアルをご覧ください。また、使用する場合はプロジェクタのマニュアルを参考にして表示解像度（ドット）、垂直走査周波数（Hz）などを確認してください。

Intel® WiDi

[021209-27]

Intel® WiDi（インテル® ワイヤレス・ディスプレイ）は、Intel® WiDi用アダプターを取り付けた外部ディスプレイやテレビに、無線LAN機能を利用して接続し、本機の画面を表示する機能です。

チェック

外部ディスプレイやテレビに、別売のIntel® WiDi用アダプターを取り付ける必要があります。

必要な機器について

Intel® WiDiを使用するには、別売のIntel® WiDi用アダプターが必要です。
また、表示先の外部ディスプレイやテレビには、HDMI入力端子またはコンポジット映像・音声入力端子が搭載され、Intel® WiDi用アダプターが取り付け可能であることが必要です。

チェック

- お使いの外部ディスプレイやテレビで、Intel® WiDi用アダプターが使用可能かどうかについては、ご購入前にメーカーなどにご確認ください。
- 外部ディスプレイやテレビとIntel® WiDi用アダプターは、HDMIで接続することをおすすめします。コンポジット映像・音声入力端子での接続の場合、表示情報が読み取れないことがあります。
  詳しくはIntel® WiDi用アダプターの仕様をご確認ください。
- 接続するIntel® WiDi用アダプターは、WiDi 5.1に対応したパソコンとの接続に対応している必要があります。アダプターのメーカーにご確認ください。
- お使いの外部ディスプレイやテレビの仕様によっては、Intel® WiDiでの接続時に、外部ディスプレイやテレビの電源が自動でオンになる場合があります。
- 本機を無線LANアクセスポイントに接続していない場合、IEEE802.11g（2.4GHz）、またはIEEE802.11n（2.4GHz）の1～11chでのみIntel® WiDi用アダプターと接続します。
- 本機を無線LANアクセスポイントに接続している場合、Intel® WiDi用アダプターとの接続は、無線LANアクセスポイントと接続している通信規格のチャンネルでのみ使用できます。
  通信規格と使用できるチャンネルは次の通りです。
  - IEEE802.11g（2.4GHz）、またはIEEE802.11n（2.4GHz）：1～13ch
  - IEEE802.11a（5GHz）、またはIEEE802.11n（5GHz）：W52（36、40、44、48ch）のみ

  IEEE802.11a（5GHz）、またはIEEE802.11n（5GHz）で無線LANアクセスポイントに接続している場合、IEEE802.11g（2.4GHz）、またはIEEE802.11n（2.4GHz）の規格にのみ対応したIntel® WiDi用アダプターとは接続できません。

使用上の注意

- Intel® WiDiは、無線LAN機能を利用しています。また、高解像度の画面を転送するためには、高速で安定した無線LANの通信環境が必要です。ご使用の前に「無線LAN機能」をご覧になり、無線LAN機能使用時の注意事項や通信環境についてご確認ください。

参照

無線LAN機能について

「無線LAN機能 (P. 153)」

- 通信速度や通信処理の負荷によっては、外部ディスプレイやテレビの映像や音声が乱れる場合があります。
- 動画を表示する場合、カクツキやコマ落ちなどが目立つ場合があります。特にHD画質（1280×720p/毎秒30フレーム以上）の動画の場合、画質の低下が見られます。
- 外部ディスプレイやテレビに表示している映像と音声は、本機の映像や音声から約0.3秒の遅延があります。そのため、マウスでの操作や、キーボードでの操作、文字入力が行いにくい場合があります。
- Intel® WiDiはHDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応しています。
- コンテンツが採用している著作権保護方式によっては、再生できない場合があります。
- Intel® WiDi利用時に「表示画面を複製する」を選択した場合、選択可能な解像度が制限されます。
- Intel® WiDiで外部ディスプレイやテレビに接続中は、サウンドの設定を変更することができません。出力先を変更した場合、接続が切断されます。
- Intel® WiDiで外部ディスプレイやテレビに接続中、画面の表示先を本機の液晶ディスプレイのみに切り替えた場合、外部ディスプレイやテレビには何も表示されませんが、Intel® WiDiがCPUおよび無線LAN機能を使用したままの状態になっています。Intel® WiDiで接続した外部ディスプレイやテレビに表示する必要がない場合は、接続を切断することをおすすめします。
- Intel® WiDiで外部ディスプレイやテレビに接続中は、スリープ状態や休止状態に自動で移行しません。また、画面を暗くする設定をしても、接続している外部ディスプレイやテレビには適用されません。
- Intel® WiDi接続中に手動でスリープ状態、ハイブリッドスリープ状態、休止状態などに移行する場合、またはWindowsのユーザーアカウントを切り替えたい場合は、一度WiDiアプリケーションを終了させ、WiDiを切断してください。
- WiDiの「対話的使用に最適化」から、応答速度を優先するモード（「速度の優先順位を付ける」）を選択することができますが、このモードを選択した場合はHDCPが無効となり、外部ディスプレイやテレビ上でDVDなどの著作権保護コンテンツが再生できません。

外部ディスプレイやテレビとの接続

Intel® WiDiで外部ディスプレイやテレビに接続するには、次の手順で行います。

1 Intel® WiDi用アダプターを外部ディスプレイやテレビに取り付ける

2 Intel® WiDiの待ち受け画面が表示されるように準備する

参照

Intel® WiDi用アダプターのマニュアル

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Intel(R) WiDi」をクリック

初回起動時のみ「INTEL® WiDiソフトウェア使用許諾契約」が表示されるので、内容を確認し「同意」ボタンをクリックしてください。

「Intel® WiDi」画面が表示されます。

チェック

「アプリケーションに問題があります。アプリケーションを閉じて再起動するかIntel(R) WiDiヘルプで多くの問題の一般的な解決方法を参照してください」や「WiDiAppは動作を停止しました」などと表示された場合は、プログラムを終了し、時間をおいてからIntel® WiDiを起動しなおしてください。

4 「接続先のワイヤレス・ディスプレイを選択する」画面が表示されたら接続したいアダプターをクリック

初めて接続するアダプターの場合は、手順5に進んでください。
接続したことのあるアダプターの場合、以上で接続は完了です。

チェック

「スキャン中」の画面では、アダプターが検出されてもアダプターをクリックしないでください。何も検出されない場合は「スキャン」ボタンを何度かクリックして、表示内容を更新してください。

5 PINコードを入力する画面が表示された場合は、外部ディスプレイやテレビの画面に表示されているセキュリティコード（数字4桁または8桁）を半角英数文字で入力し、「続行」ボタンをクリック

接続が完了し、外部ディスプレイやテレビに本機の画面が表示されます。

参照

「Intel® WiDi」について
「Intel® WiDi」のヘルプ、およびヘルプ中の「トラブルシューティング」および「よくあるお問い合わせ(FAQ)」

外部ディスプレイやテレビの解像度の変更

外部ディスプレイやテレビの解像度を変更する場合は、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック

「ディスプレイ表示の変更」画面が表示されます。

3 「複数のディスプレイ」欄で表示したい設定を選択する

「表示画面を複製する」に設定した場合、選択可能な解像度が制限されます。

4 「適用」ボタンをクリック

4 確認のメッセージが表示されます。

5 「変更を維持する」ボタンをクリック

設定が変更されます。
「元に戻す」ボタンをクリックすると、変更前の設定に戻ります。

6 「ディスプレイ」欄で、接続した外部ディスプレイやテレビを選択する

7 「解像度」欄で、外部ディスプレイやテレビの解像度を設定する

「推奨」と表示されている解像度に設定してご利用ください。

8 「OK」ボタンをクリック

確認のメッセージが表示されます。

9 「変更を維持する」ボタンをクリック

設定が変更されます。
「元に戻す」ボタンをクリックすると、変更前の設定に戻ります。

以上で設定は完了です。

メモ

- 「表示色」や「リフレッシュレート」は変更できません。そのまま使用してください。
- 解像度変更後、外部ディスプレイやテレビの画面サイズと、表示されているサイズがあっていない場合は、次の手順で調整してください。
- ＋ －ボタンの表示が隠れている場合は、ウィンドウ内のスクロールバーを下にドラッグしてください。

1 「Intel® WiDi」画面の「画像サイズ」をクリック

2 ＋ －ボタンをクリックして表示サイズを調整する

3 「終了」ボタンをクリック

外部ディスプレイやテレビの切断

外部ディスプレイやテレビとの接続を切断するには、次の手順で行います。

1 「Intel® WiDi」画面の「切断」ボタンをクリック

外部ディスプレイ接続時の表示機能

[021205-27]

外部ディスプレイを接続して使用する場合、本機の液晶ディスプレイ、または接続した外部ディスプレイのみに表示する他、次の表示機能が使用できます。

デュアルディスプレイ

本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイを使用して、ひとつの画面として表示できる機能です。液晶ディスプレイと外部ディスプレイを続き画面として利用できるので、表示できる範囲が広くなります。

クローンモード

本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイで同時表示を行います。
表示される内容は同じものですが、選択した解像度によっては本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイが異なる表示状態になる場合があります。

チェック

接続している外部ディスプレイやプロジェクタによっては、これらの機能の選択時に、画面の解像度が変更される場合があります。その場合は、解像度を設定しなおしてください。

参照

表示先や表示機能の設定について
「表示先、表示機能の設定 (P. 116)」

表示先、表示機能の設定

[021206-27]

外部ディスプレイなどを接続した場合、次の方法で表示先、表示機能の設定ができます。

チェック

動画再生のソフトウェアを起動中は、設定の変更を行わないでください。設定の変更を行った場合は、動画再生のソフトウェアを再起動してください。

「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」で設定する

チェック

- DVDの再生中に設定を変更する場合は、DVDの再生を停止し、DVD再生のソフトウェアを終了させてから行ってください。
- 本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイに同時に表示している場合、DVDの種類によっては、映像の乱れが発生する場合があります。本機の液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみに表示させる設定にすることをおすすめします。
- 「拡張デスクトップ」から「クローン・ディスプレイ」へ、または「クローン・ディスプレイ」から「拡張デスクトップ」へ、設定を直接変更できない場合があります。
  その場合は、一度「シングル・ディスプレイ」に変更してから、「拡張デスクトップ」または「クローン・ディスプレイ」への変更を行ってください。
- デュアルディスプレイ機能を使用中は、プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイの交換はできません。一度、本機の液晶ディスプレイのみの表示などに設定を変更してから、プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイを設定しなおしてください。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック

3 「詳細設定」をクリック

4 「インテル(R) HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリックし、「グラフィックス・プロパティー」ボタンをクリック

5 「ディスプレイ」をクリック

6 左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「マルチ・ディスプレイ」をクリック

7 「ディスプレイ・モードの選択」欄で表示したい設定を選択する

選択できる表示先、表示機能の設定は次の通りです。

項目	設定される表示先、表示機能
シングル・ディスプレイ	「アクティブ・ディスプレイの選択」で選択した１つのディスプレイのみに表示
クローン・ディスプレイ	クローンモード
拡張デスクトップ	デュアルディスプレイ

8 「アクティブ・ディスプレイの選択」欄で、使用するディスプレイを選択する

一覧には「内蔵ディスプレイ」「PCモニター」などが表示されます。

メモ

- 「シングル・ディスプレイ」を選択した場合、「アクティブ・ディスプレイの選択」欄には、１つのみディスプレイを設定できる欄が表示されます。
- 「クローン・ディスプレイ」「拡張デスクトップ」を選択した場合は、「アクティブ・ディスプレイの選択」欄に、複数のディスプレイを設定できる欄が表示されます。
- 「拡張デスクトップ」を選択した場合は、「ディスプレイの配置」でディスプレイアイコンをドラッグして、位置を調整することが可能です。

9 「適用」ボタンをクリック

設定の保存を確認するメッセージが表示されます。

10 「はい」ボタンをクリック

11 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」を閉じる

12 「OK」ボタンをクリック

以上で表示先、表示機能の設定は完了です。

キーボードで設定を切り替える

本機では、キーボードで表示先や表示機能の設定を切り替えることができます。設定を切り替えるには、次の方法があります。

【⊞】＋【P】を押す

【⊞】＋【P】を押すと、選択できる表示先、表示機能が画面上に表示されます。【⊞】＋【P】を押すごとに、表示先、表示機能が切り替わります。選択できる表示先、表示機能は次の通りです。

項目	設定される表示先、表示機能
「コンピューターのみ」または「プロジェクターの切断」	本機の液晶ディスプレイのみに表示
複製	クローンモード
拡張	デュアルディスプレイ
プロジェクターのみ	外部ディスプレイまたはプロジェクターのみに表示

ホットキー機能を使う

ホットキー機能を使用して、表示先や表示機能の設定の切り替えが行えます。

参照

ホットキー機能を使った画面出力先の切り替えについて

「画面の出力先を切り替える (P. 119)」

画面の出力先を切り替える

[021207-27]

本機は、キーボードから画面の出力先の切り替えを行うことができます。

1 【Fn】＋【F3】を押す

選択できる出力先が画面上に表示され、【Fn】＋【F3】を押すごとに、出力先が切り替わります。

出力先	説明
コンピューターのみ ／プロジェクターの切断	本機の液晶ディスプレイ
複製	本機の液晶ディスプレイと接続した外部ディスプレイでのクローンモード
拡張	本機の液晶ディスプレイと接続した外部ディスプレイでのデュアルディスプレイ（本機の液晶ディスプレイがセカンダリ）
プロジェクターのみ	本機に接続した外部ディスプレイ

ディスプレイに合わせた設定

[021208-27]

外部ディスプレイ使用時に、表示が適切でない場合やプラグ＆プレイに対応していないディスプレイを使用しているときは、次の操作を行ってください。

チェック

プラグ＆プレイに対応したディスプレイを使用しても、ディスプレイの情報が反映されない場合があります。その場合も、次の操作を行ってください。

お使いのディスプレイにドライバが用意されている場合

ディスプレイのマニュアルをご覧になり、ドライバのインストールを行ってください。

お使いのディスプレイにドライバが用意されていない場合

次の手順で設定を行ってください。

1. **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**
2. **「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック**
3. **外部ディスプレイのモニタアイコンをクリックし、「詳細設定」をクリック**
4. **「モニター」タブをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック**
5. **「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新」ボタンをクリック**

   「ドライバー ソフトウェアの更新」が表示されます。
6. **「コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します」をクリック**
7. **「コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します」をクリック**
8. **「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外す**
9. **「製造元」と「モデル」を選択し、「次へ」ボタンをクリック**

   一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」欄で「(標準モニターの種類)」を選択し、「モデル」欄で接続したディスプレイに対応した解像度を選択してください。

10 「閉じる」ボタンをクリック

11 「閉じる」ボタンをクリック

12 「OK」ボタンをクリック

13 「OK」ボタンをクリック

以上でディスプレイの設定は完了です。

Webカメラ

[023600-27]

本機のWebカメラやWebカメラアプリケーション「YouCam 5 BE」について説明しています。

Webカメラについて 123

Webカメラについて

[023602-27]

- 「YouCam 5 BE」でできること. 123
- 「YouCam 5 BE」のインストール. 123
- 「YouCam 5 BE」のアンインストール. 124

「YouCam 5 BE」でできること

本機のWebカメラでは、動画・静止画の撮影や、本機に添付されているWebカメラアプリケーション「YouCam 5 BE」と組み合わせて以下のような機能を使用することができます。

- カメラに顔が写らなくなったときに、自動で画面オフ、休止状態、スリープ状態へ移行する（Face-out）
- コンピュータを監視カメラとして使う
- プレゼンテーションビデオを作成する
- Webカメラ映像にフリーハンドで描画を追加し、インスタントメッセンジャーを利用して、テレビ電話で共有する

参照

Webカメラの位置について
「各部の名称」-「各部の名称と説明 (P. 18)」

「YouCam 5 BE」のインストール

「YouCam 5 BE」を使用するには、インストールが必要です。
次の手順でインストールしてください。

チェック

YouCam 5 BEをインストールすると、YouCamのミラー機能が同時にインストールされます。
手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、画面の表示を確認し操作してください。

参照

「ユーザー アカウント制御」画面
「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「CyberLink YouCam 5 BE ディスク」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

<光学ドライブ名>:¥YC¥Setup.exe

以降は画面の指示に従ってください。

5 「InstallShield Wizard の完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上で、「YouCam 5 BE」のインストールは完了です。

「YouCam 5 BE」のアンインストール

「YouCam 5 BE」のアンインストールは次の手順で行います。

チェック

YouCam 5 BEをアンインストールすると、YouCamのミラー機能が同時にアンインストールされます。
手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

参照

「ユーザー アカウント制御」画面
「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

3 「CyberLink YouCam 5」を選択し、「アンインストール」をクリック

アンインストールの確認ダイアログが表示されます。

4 「これにより、CyberLink YouCam 5はコンピューターから削除されます。続行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上で、「YouCam 5 BE」のアンインストールは完了です。

使用上の注意

本機の画面回転機能で画面の表示方向を切り替えた場合、ご利用になるWebカメラ用ソフトウェアによっては、表示されるWebカメラの映像が正常な方向に回転しない場合があります。
そのような場合には、本体前面のWindowsアイコンが画面の下側に見える状態に戻してご使用ください。

SSD

[021400-27]

本機のSSDの使用上の注意について説明しています。

使用上の注意. 126

使用上の注意

[021401-27]

SSDは非常に精密に作られています。次の点に注意して使用してください。

- SSDのデータを破損させる外的な要因には次のようなものがあります。
  - 高熱
  - 落雷
- SSDが故障すると、記録されているデータが使用できなくなる場合があります。特に、お客様が作成したデータは再セットアップしても元には戻りません。定期的にバックアップをとることをおすすめします。
- SSDの領域の作成や削除、フォーマットは「コンピューターの管理」の「ディスクの管理」から行います。

参照

ドライブ構成の変更、および「ディスクの管理」の起動について

「トラブル解決Q&A」の「SSD」-「複数のパーティションを利用したい (P. 455)」

- 本機のSSDには、「ディスクの管理」でドライブ文字が割り当てられていない領域が表示されます。この領域には、再セットアップ時に必要になる再セットアップ用データが格納されています。
  なお、再セットアップ用データの保存されていた領域を削除することはできません。

チェック

SSD内の大切なデータを守り、トラブルを予防するには、定期的にメンテナンスを行うことも大切です。SSDのメンテナンスについては、『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

光学ドライブ

[021600-27]

本機の光学ドライブの使用上の注意や使い方などについて説明しています。

- 使用上の注意 . . . 128
- 外付け光学ドライブの取り付け . . . 129
- 各部の名称と役割 . . . 130
- 使用できるディスク . . . 131
- 読み込みと再生 . . . 132
- 書き込みとフォーマット . . . 134
- 非常時のディスクの取り出し方 . . . 135

使用上の注意

[021601-27]

- 光学ドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れによってデータが正しく読み取れなくなるおそれがあります。
- アクセスランプの点灯中は、ディスクを絶対に取り出さないでください。データの破損や本機の故障の原因になります。
- イジェクトボタンを押してからディスクトレイが排出されるまで数秒かかることがあります。
- ディスクの信号面（文字などが印刷されていない面）に傷を付けないように注意してください。
- 本機で、次のような形式や規格、異なった形やサイズのディスクは使用できません。無理に使用した場合、再生や作成ができないだけでなく、破損の原因になる場合があります。
  - AVCHD形式またはAVCREC形式のDVD
  - 名刺型、星型などの円形ではない、異形ディスク
  - 厚さが1.2mmを大きく越える、または大きく満たないディスク
  - 規格外に容量の大きな書き込みディスク

  また、特殊な形状のディスクや、ラベルがはってあるなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、ディスク使用時に異音や振動が発生する場合があります。このようなディスクは故障の原因になるため、使用しないでください。
- 光学ドライブにディスクをセットすると、「自動再生」画面が表示される場合があります。その場合は、実行したい操作をクリックしてください。実行したい操作がない場合は、ウィンドウの右上の をクリックしてください。
- ディスクに飲み物などをこぼした場合、そのディスクは使用しないでください。

光学ドライブを制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で、光学ドライブの有効／無効を設定して、使用を制限することができます。
また、添付のDeviceLockで、光学ドライブに対し、読み込みや書き込みを制御することができます。

参照

- **I/O制限について**
  「セキュリティ機能」の「I/O制限 (P. 207)」
- **DeviceLockについて**
  「セキュリティ機能」の「DeviceLock Lite (P. 215)」

外付け光学ドライブの取り付け

[021608-27]

接続のしかた

外付け光学ドライブを選択した場合に添付される光学ドライブをお使いになるには、次の手順で本機に接続してください。

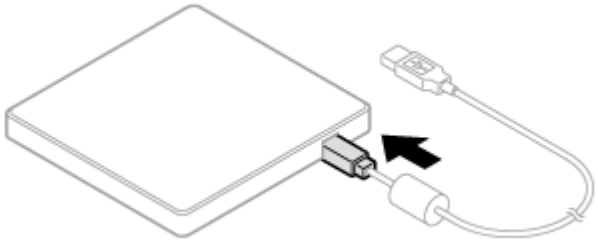
メモ

添付される光学ドライブは次の通りです。

- DVD-ROMドライブ（PC-VP-BU50）（DVD-ROM（外付け、USB接続）選択時）
- DVDスーパーマルチドライブ（PC-VP-BU51）（DVDスーパーマルチドライブ（外付け、USB接続）選択時）

1 光学ドライブ背面に、光学ドライブ用ケーブルのBマークのある方のプラグを接続する

プラグの向きに注意して、差し込んでください。



2 光学ドライブ用ケーブルを、本機のUSBコネクタに接続する

プラグの向きに注意して差し込んでください。

参照

USBコネクタ使用時の注意

「USBコネクタ (P. 186)」

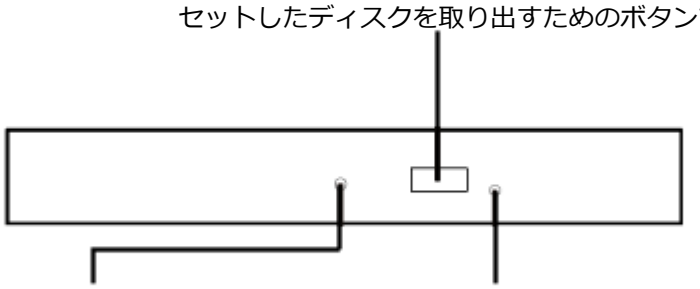
各部の名称と役割

[021602-27]

チェック

アクセスランプ点灯中は本機の電源スイッチやイジェクトボタンを押さないでください。故障の原因になります。

イジェクトボタン
セットしたディスクを取り出すためのボタンです。



アクセスランプ
ディスクアクセス中は点灯します。

非常時ディスク取り出し穴
非常時に、ディスクトレイを手動で引き出すために使用します。

メモ

イジェクトボタンやアクセスランプ、非常時ディスク取り出し穴の位置や形状は、図と多少異なることがあります。
また、アクセスランプがないものもあります。

使用できるディスク

[021603-27]

お使いのモデルの光学ドライブで使えるディスクは異なります。使用できるディスクについては、電子マニュアルビューアでお使いの機種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

ディスク利用時の注意

- 記録用のDVDには、録画用（for Video）とデータ用（for Data）とがありますので、ご購入の際にはご注意ください。
- DVD-RAMには、カートリッジなしのディスクと、TYPE1（ディスク取り出し不可）、TYPE2（ディスク取り出し可能）、TYPE4（ディスク取り出し可能）の4種類があります。本機の光学ドライブでは、カートリッジなし、またはカートリッジからディスクを取り出せるタイプ（TYPE2、TYPE4）のみご利用になることができます。ご購入の際には、ご注意ください。
- 片面2.6GBのDVD-RAMおよび両面5.2GBのDVD-RAMは使用できません。
- 両面9.4GBのDVD-RAMは面ごとに4.7GBの記録／再生が可能です。同時に両面への記録／再生はできません。ディスクを取り出して、裏返して使用してください。

読み込みと再生

[021604-27]

本機の光学ドライブで、読み込みや再生ができるディスクについては、電子マニュアルビューアでお使いの機種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

また、本機でDVDを再生するには、添付の「CyberLink PowerDVD」を使用してください。

チェック

- CyberLink PowerDVDは、工場出荷時にはインストールされていません。
- CyberLink PowerDVDでは音楽CD、ビデオCD、およびDVD-Audioは再生できません。

参照

CyberLink PowerDVDについて
「便利な機能とアプリケーション」の「CyberLink PowerDVD (P. 325)」

ディスク再生時の注意

本機でDVD、CDの読み込みや再生を行うときは、次のことに注意してください。

- 本機で記録したDVD、CDを他の機器で使用する場合、フォーマット形式や装置の種類などにより使用できない場合があります。
- 他の機器で記録したDVD、CDは、ディスク、ドライブ、記録方式などの状況により、本機では再生および再生性能を保証できない場合があります。
- コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Discの規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDについては、音楽の再生や取り込みができないことがあります。
- 本機で音楽CDを使用する場合、ディスクレーベル面にCompact Discの規格準拠を示すdisc（CD規格マーク）マークの入ったディスクを使用してください。
- CD（Compact Disc）規格外ディスクを使用すると、正常に再生ができなかったり、音質が低下したりすることがあります。
- CD TEXTのテキストデータ部は、読み出せません。
- 本機では、リージョンコード（国別地域番号）が「ALL」または「2」が含まれているDVDのみ再生することができます。
- 本機で再生できるCDまたはDVDのディスクサイズは8センチと12センチです。
- DVDや動画を再生する際は、再生に使用するアプリケーション以外のソフトウェアを終了することをおすすめします。本機での動画再生には高い処理能力が必要とされ、お使いのモデルや設定によっては、複数のアプリケーションを実行している状態で動画再生を行うと、映像の乱れやコマ落ちが発生する場合があります。詳しくは、「トラブル解決Q&A」の「表示 (P. 388)」をご覧ください。
- 「ECOモード機能」で、省電力を優先する電源プランを割り当てているモードを選択している場合、DVDや動画の再生品質が低下する可能性があります。そのような場合は、「標準」などの性能を優先するモードを選択してください。

参照

ECOモード機能について

「省電力機能」の「ECOモード機能 (P. 40)」

- 本機でDVDを再生する場合、次のことに注意してください。
  - デュアルディスプレイ機能使用時に動画を再生し、表示が乱れた場合、デュアルディスプレイ機能を使用せずに本機の液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみで動画の再生をしてください。
  - DVDの再生画面の上に他のウィンドウを重ねると、コマ落ちや音飛びが発生したり、再生画面にゴミが残る場合があります。DVDの再生中は、再生画面の上に他のウィンドウを重ねないでください。
  - DVDの再生時に画面がちらつく場合があります。また、再生するDVDの種類によっては、コマ落ちが発生する場合があります。

書き込みとフォーマット

[021605-27]

DVDスーパーマルチドライブモデルで、DVD、CDへの書き込み、書き換え、およびフォーマットをするには、「Roxio Creator LJB」を使用してください。

参照

Roxio Creator LJBについて

「便利な機能とアプリケーション」の「Roxio Creator LJB (P. 321)」

メモ

DVD、CDへの書き込みはWindowsの機能でも行うことができます。選択可能な各フォーマットの説明についてはWindowsのヘルプをご覧ください。

ご注意

- 書き込みに失敗したDVD、CDは読み込みできなくなります。書き込みに失敗したディスク、およびディスクに記録されていたデータの補償はできませんのでご注意ください。
- データの書き込みを行った後に、データが正しく書き込まれているかどうかを確認してください。
- 作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他の光学ドライブでは使用できない場合がありますのでご注意ください。
- お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCD、およびDVD-Videoなどの複製や改変を行う場合、著作権を保有していなかったり、著作権者から複製・改変の許諾を得ていない場合は、著作権法または利用許諾条件に違反することがあります。複製などの際は、オリジナルのCD-ROMなどの利用許諾条件や複製などに関する注意事項に従ってください。
- コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Discの規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDについては、音楽の再生や音楽CDの作成ができないことがあります。

非常時のディスクの取り出し方

[021606-27]

停電やソフトウェアの異常動作などにより、イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、非常時ディスク取り出し穴に太さ1.3mm程の針金を押し込むと、トレイを手動で引き出すことができます。針金は太めのペーパークリップなどを引き伸ばして代用できます。

チェック

- 強制的にディスクを取り出す場合は、本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。
- 光学ドライブのイジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこないといった非常時以外は、非常時ディスク取り出し穴を使用して取り出さないようにしてください。

SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロット

[022700-27]

SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロットの使用上の注意や使い方などについて説明しています。

- 使用上の注意. 137
- セットのしかた／取り出し方. 139

使用上の注意

[022701-27]

- Windows上でSDメモリーカードのフォーマットやディスクデフラグを行わないでください。各メモリーカード対応機器との互換性や性能などで問題が生じる場合があります。
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所ではSDメモリーカードを使わないでください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、それぞれのSDメモリーカード製品に添付のマニュアルや取扱説明などの指示に従ってください。
- 本機やSDメモリーカードの不具合により、音楽データの録音ができなかったり、データの破損、消去が起きた場合、データの内容の補償はいたしかねます。
- お客様が画像、音楽、データなどを記録（録画・録音などを含む）したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 大切なファイルはコピーして、バックアップを取ることをおすすめします。
- 本機のSSD以外からSDメモリーカードにデータを保存する場合は、一度、本機のSSDにデータを保存し、そこからSDメモリーカードにデータを保存してください。
- データの保存中にスリープ／休止状態にしないでください。メモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になります。
- 本機がスリープ／休止状態にあるときは、メモリーカードを抜き挿ししないでください。また、スリープ／休止状態から復帰する際は、Windowsのログオン画面またはデスクトップ画面が表示されるまでメモリーカードを抜き挿ししないでください。メモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になる場合があります。
- すべてのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- さまざまな規格のメディアがありますので、本機のSD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロットで使えるメディアかどうかや、メディアの使用方法をお確かめになり、お使いください。
- メモリーカードの端子面が汚れていると、メモリーカードを認識しなかったり、データの読み込み、書き出しができないことがあります。端子面が汚れた場合は、メモリーカードに添付のマニュアルをご覧になり、処置してください。
- メモリーカードにデータを保存中、または読み込み中に周辺機器を接続しないでください。
- DVD、CDを再生中にメモリーカードへの読み書きを行ったり、メモリーカード内の音声や動画ファイルを再生中にファイルのコピーを行うと、音声や動画がとぎれるなどの影響が出る場合があります。

SDメモリーカードを使用するときの注意

- SDメモリーカードは、標準フォーマットとして、それぞれ「SDメモリーカード」規格、「SDHCメモリーカード」規格、「SDXCメモリーカード」規格に準拠したフォーマットで出荷されており、すぐにお使いになれます。フォーマットが必要な場合は、デジタルカメラなどのSDメモリーカード対応機器か、SD規格対応フォーマット機能を搭載したアプリなどでフォーマットを行ってください。デジタルカメラなどでのフォーマット方法については、ご使用の機器などに添付のマニュアルをご覧ください。
- 「miniSDカード」「miniSDHCカード」「microSDカード」「microSDHCカード」を使用するときは、必ず使用するメモリーカードに対応した、SD/SDHC変換アダプタに装着してからセットしてください。詳しくはお使いのメモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
- 「microSDカード」「microSDHCカード」をご使用の際、miniSD/miniSDHC変換アダプタに装着し、さらにSD/SDHC変換アダプタに装着しての動作は保証しておりません。
- 本機では、2Gバイトまでの「SDメモリーカード」、32Gバイトまでの「SDHCメモリーカード」および128Gバイトまでの「SDXCメモリーカード」で動作確認を行っています。2Gバイトを超える容量の「SDメモリーカード」、32G

- バイトを超える容量の「SDHCメモリーカード」および128Gバイトを超える容量の「SDXCメモリーカード」での動作は保証しておりません。
- 本機では、「マルチメディアカード（MMC)」には対応していません。
- 本機は、SDIOには対応していません。
- 裏面に通電性（電気を通す性質）がある金属が使用されているSDメモリーカードや変換アダプタは使用しないでください。本機内部のコネクタと接触し本機やメモリーカードの故障の原因になる場合がありますので、ご注意ください。
- 高速転送規格「UHS-Ⅱ」はサポートしておりません。また、SDカード変換アダプタを利用した場合、高速転送規格「UHS-I」および「UHS-Ⅱ」はサポートしておりません。

SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロットを制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で、SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロットの有効／無効を設定して、使用を制限することができます。
また、添付のDeviceLockで、SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロットへの読み込みや書き込みを制限することができます。

参照

- **I/O制限について**
  「セキュリティ機能」の「I/O制限 (P. 207)」
- **DeviceLockについて**
  「セキュリティ機能」の「DeviceLock Lite (P. 215)」

セットのしかた／取り出し方

[022702-27]

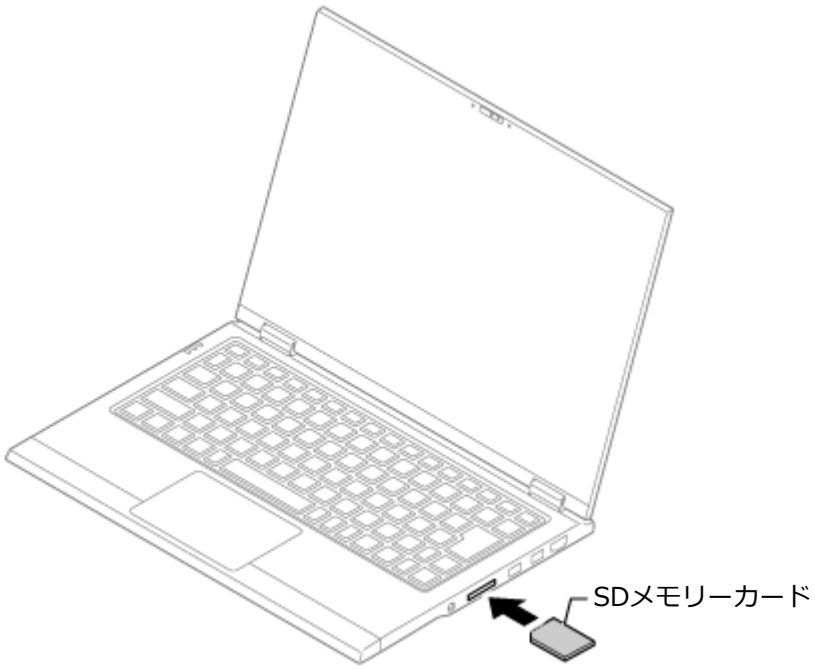
セットのしかた

チェック

- ダミーカードがセットされている場合は、セットをする前に「取り出し方」をご覧になり、ダミーカードを取り出してください。
- 「miniSDカード」、「miniSDHCカード」、「microSDカード」、および「microSDHCカード」も使用できます。ただしSD/SDHC変換アダプタが必要になります。詳しくは、「使用上の注意 (P. 137)」をご覧ください。
- SDメモリーカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理やり差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、SDメモリーカードに添付のマニュアルをご覧ください。

1 SDメモリーカードを向きに注意して、SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロットに奥までしっかり差し込む

表面を上にして差し込んでください。



取り外し方

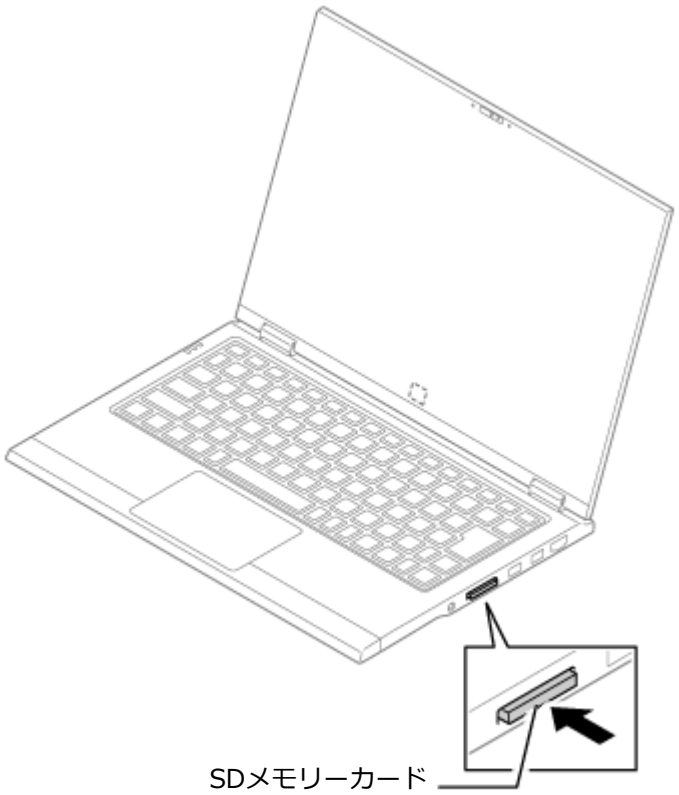
1 タスク バーの通知領域の▲をクリックし、または をクリック

2 表示される「×××××の取り出し」から、取り外す周辺機器をクリック

安全に取り外しができるという内容のメッセージが表示されます。
表示される「×××××の取り出し」に取り外す周辺機器がない場合は手順3に進んでください。

3 SDメモリーカードを押す

SDメモリーカードが飛び出します。



4 SDメモリーカードを水平に引き抜く

サウンド機能

[021700-27]

本機の音量の調節や、サウンド機能に関する設定などについて説明しています。

- 音量の調節. 142
- マイクの設定. 144

音量の調節

[021702-27]

音量ミキサーを使う

Windowsの「音量ミキサー」で音量を調節することができます。

1 タスク バーの通知領域の（音量）をクリック

2 表示されたウィンドウから「ミキサー」をクリック

「音量ミキサー」が表示されます。

3 調節したいデバイスやアプリケーションのスライドで音量を調節する

参照

音量ミキサーについて
Windowsのヘルプ

音量調整ボタンで調節する

＋を押すと音量を大きく、－を押すと音量を小さく調節することができます。

キーボードで調節する

【Fn】＋【F10】を押すと音量を大きく、【Fn】＋【F9】を押すと音量を小さく調節することができます。

音声のオン／オフ（ミュート機能）

【Fn】＋【F1】を押すと、音声のオン／オフを切り替えることができます。

参照

【Fn】について
「キーボード」の「キーの使い方 (P. 70)」

録音音量の調節

本機で録音音量を調節する場合は次の手順で行ってください。

1 タスク バーの通知領域の（音量）を右クリックし、表示されたメニューから「録音デバイス」をクリック

2 使用する録音デバイスをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック

チェック

- 使用する録音デバイスが表示されていない場合は「次のオーディオ録音デバイスがインストールされています」の枠内を右クリックし、「無効なデバイスの表示」にチェックを入れ、表示されたデバイスを有効にしてください。
- 録音デバイスが複数ある場合は、使用するデバイスをクリックし、「既定値に設定」ボタンをクリックしてください。

3 「レベル」タブをクリックし、表示される画面で録音音量を調節する

4 「OK」ボタンをクリック

5 「OK」ボタンをクリック

チェック

「内蔵マイクのプロパティ」や「ステレオミキサーのプロパティ」の「聴く」タブで「このデバイスを聴く」にチェックを入れないでください。チェックを入れると、常時ハウリングが発生します。

マイクの設定

[021706-27]

「Realtek HD オーディオマネージャ」で設定する

「Realtek HD オーディオマネージャ」でマイクの設定を行うことができます。マイクの設定では、マイクでの録音時のノイズ抑制やエコーの軽減、ビームフォーミング機能の設定などが行えます。マイクの設定は、次の手順で行ってください。

1 ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャックにヘッドフォンマイクを差し込む（ヘッドフォンマイクを使用する場合）

2 タスク バーの通知領域の をクリックし、（Realtek HD オーディオマネージャ）をダブルクリック

「Realtek HD オーディオマネージャ」が表示されます。

3 「外付けマイク」タブ、または「内蔵マイク」タブをクリック

4 設定する機能にチェックを付ける

設定できる機能には次のものがあります。

機能	説明
ノイズ抑制	録音時のノイズ抑制を行います。
音響エコーキャンセル	録音時にスピーカが引き起こすエコーを軽減します。
ビームフォーミング（指向性録音）	ステレオマイク使用時に、マイクを向けていない方向からの雑音を軽減します。

チェック

外付けのヘッドフォンマイク使用時は、ビームフォーミングを利用できません。

5 設定が完了したら「OK」ボタンをクリック

以上でマイクの設定は完了です。

LAN機能

[021800-27]

本機のLAN（ローカルエリアネットワーク）機能を使用する際の注意や設定などについて説明しています。

- 本機を安全にネットワークに接続するために. 146
- 使用上の注意. 148
- LANへの接続. 149
- LAN機能の設定. 151

本機を安全にネットワークに接続するために

[021801-27]

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。
本機のLAN機能や無線LAN機能を使用して、安全にネットワークに接続するために、次の対策を行うことを強くおすすめします。

チェック

稼働中のネットワークに接続する場合は、接続先のネットワークの管理者の指示に従って接続を行ってください。

メモ

Windowsのセキュリティ機能（アクション センター）では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウェア対策ソフトウェアの設定、インターネットセキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定などの、コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

セキュリティ対策アプリケーションの利用

コンピュータウイルスから本機を守るために、セキュリティ対策アプリケーションをインストールすることをおすすめします。

本機を利用する環境で、使用するセキュリティ対策アプリケーションが定められている場合は、そのアプリケーションを使用してください。
また、本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーションとしてマカフィー リブセーフが添付されています。

参照

マカフィー リブセーフについて
「便利な機能とアプリケーション」の「マカフィー リブセーフ (P. 332)」

ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスによっては、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されています。このようなコンピュータウイルスから本機を守るためにファイアウォール（パーソナルファイアウォール）を利用することをおすすめします。

本機を利用する環境で、ファイアウォールの利用についての規則などがある場合は、そちらの規則に従ってください。
また、本機にインストールされているOSでは、標準で「Windows ファイアウォール」機能が有効になっています。
「Windows ファイアウォール」について、詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

Windows® Update、またはMicrosoft® Update

最新かつ重要な更新プログラムが提供されています。

Windowsを最新の状態に保つため、ネットワークに接続後、定期的にWindows® Update、またはMicrosoft® Updateを実施してください。

チェック

- PCの安定動作およびセキュリティ向上のため、Windows® Update、またはMicrosoft® Updateを可能な限りOSのセットアップ直後に実施してください。アップデートの前にInternet Explorerのダウングレードなど、必要な作業項目がある場合は、各手順に従って対応してください。
- 本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。

使用上の注意

[021802-27]

LANに接続して本機を使用するときは、次の点に注意してください。

- システム運用中は、LANケーブルを外さないでください。ネットワークが切断されます。ネットワーク接続中にLANケーブルが外れたときは、すぐに接続することで復旧し、使用できる場合もありますが、使用できない場合は、Windowsを再起動してください。
- LAN回線を接続してネットワーク通信をする場合は、本機にACアダプタを接続して使用するようにしてください。バッテリのみで使用すると、使用時間が短くなります。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ネットワークの通信中にはスリープ状態または休止状態にしないでください。
- ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。
  あらかじめお使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スリープ状態または休止状態を使用してください。
- 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tシステムの保守については、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

ユニバーサル管理アドレスについて

ユニバーサル管理アドレスは、IEEE（米国電気電子技術者協会）で管理されているアドレスで、主に他のネットワークに接続するときなどに使用します。次のコマンドを入力することで、LANまたは無線LANのユニバーサル管理アドレスを確認することができます。
コマンド プロンプトで次のいずれかのコマンドを入力し、【Enter】を押してください。

コマンド	確認方法
net config workstation	アダプタがアクティブな場合、「アクティブなネットワーク（ワークステーション）」という項目の（　）内に表示されます。
ipconfig /all	アダプタごとに「物理アドレス」として表示されます。

LANへの接続

[021803-27]

LANの設置

初めてネットワークシステムを設置するためには、配線工事などが必要ですので、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。また、本機に接続するケーブル類やハブなどは、当社製品を使用してください。他社製品を使用し、システムに異常が発生した場合の責任は負いかねますので、ご了承ください。

接続方法

本機を有線ネットワークに接続するには、ご購入時に選択した場合に添付されるUSB-LAN変換アダプタと別売のLANケーブルが必要です。LANケーブルは、10BASE-Tで接続するにはカテゴリ3以上、100BASE-TXで接続するにはカテゴリ5以上、1000BASE-Tで接続するにはエンハンスドカテゴリ5以上のLANケーブルを使用してください。また、ネットワーク側のコネクタに空きがない場合、ハブやスイッチでコネクタを増やす必要があります。LANケーブルの接続は次の手順で行います。

チェック

- USB-LAN変換アダプタは、ご購入時に選択した場合に添付されますが、別途購入することもできます。
- USB-LAN変換アダプタは、本機のUSBポートに直接接続してください。USBハブでは使用できません。
- 本機を稼働中のLANに接続するには、システム管理者またはネットワーク管理者の指示に従って、ネットワークの設定とLANケーブルの接続を行ってください。
- 搭載されているLANアダプタは、接続先の機器との通信速度（1000Mbps/100Mbps/10Mbps）を自動検出して最適な通信モードで接続するオートネゴシエーション機能をサポートしています。なお、セットアップが完了したときに、オートネゴシエーション機能は有効に設定されています。接続先の機器がオートネゴシエーション機能をサポートしていない場合は、「ネットワークのプロパティ」で通信モードを接続先の機器の設定に合わせるか、接続先の機器の通信モードを半二重に設定してください。
- オートネゴシエーションのみサポートしているネットワーク機器でリンク速度を固定して接続する場合、「速度とデュプレックス／スピードと二重」の設定は「ハーフデュプレックス／半二重」に設定してください。「フルデュプレックス／全二重」に設定すると、通信速度が異常に遅かったり、通信ができないなどの問題が発生します。

1 本機の電源を切る

2 本機のUSBコネクタにUSB-LAN変換アダプタを接続する

チェック

USB-LAN変換アダプタは、USBコネクタにしっかりと取り付けてください。

参照

USBコネクタの位置

「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 18)」

3 LANケーブルをUSB-LAN変換アダプタに接続する

チェック

LANケーブルは、USB-LAN変換アダプタにしっかりと取り付けてください。

4 ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続する

5 本機の電源を入れる

ネットワーク側の接続や設定については、接続するネットワーク側の機器のマニュアルをご覧ください。

LAN機能の設定

[021804-27]

ここでは、LANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方法を簡単に説明します。

参照

必要な構成要素の詳細について
Windowsのヘルプの中にあるネットワーク関連の項目

ネットワーク接続のセットアップ

チェック

工場出荷時は、ネットワークプロトコル（TCP/IP）が設定されています。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック

3 左のメニューから「アダプターの設定の変更」をクリック

4 「ローカル エリア接続」を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック

5 「ネットワーク」タブで必要な構成要素の設定をする

メモ

必要な構成要素がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク管理者に相談してください。

6 「OK」ボタンをクリック

7 をクリック

以上でネットワーク接続のセットアップは完了です。
続いて、コンピュータ名などの設定を行います。

接続するネットワークとコンピュータ名の設定

接続するネットワークに関する設定と、ネットワークで表示されるコンピュータ名を設定します。

1 **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**

2 **「システムとセキュリティ」をクリックし、「システム」をクリック**

3 **「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」欄の「設定の変更」をクリック**

4 **「コンピューター名」タブの「変更」ボタンをクリック**

5 **「コンピューター名」、「ワークグループ」または「ドメイン」に必要な情報を入力する**

メモ

入力する情報がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク管理者に相談してください。

6 **「OK」ボタンをクリック**

確認のメッセージが表示されます。

7 **「OK」ボタンをクリック**

8 **「閉じる」ボタンをクリック**

9 **再起動を促すメッセージが表示された場合は、「今すぐ再起動する」ボタンをクリック**

本機が再起動します。

以上でLANの設定は完了です。

無線LAN機能

[021900-27]

本機の無線LAN機能の概要について説明しています。

- 概要. 154
- 本機を安全にネットワークに接続するために. 156
- 無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意. 158
- 使用上の注意. 160
- 無線LAN機能のオン／オフ. 162
- 無線LANの設定と接続. 165
- PROSet/Wirelessのインストール. 175
- PROSet/Wirelessのアンインストール. 177
- インテル® スマート・コネクト・テクノロジー. 178
- 無線LANに関する用語一覧. 183

概要

[021901-27]

無線LAN機能でできること

無線LAN機能を使用することで、次のようなことができます。

無線LAN対応周辺機器との無線接続

本機と無線LANに対応した別売の周辺機器を使用すると、ケーブルで接続せずにLANを利用できます。例えば、無線LANに対応したルータやターミナルアダプタなどを利用してインターネットに接続できます。

他の無線LAN対応コンピュータとの無線通信

本機と無線LANに対応した他のコンピュータとの間で、ケーブル接続やメモリーカードなどの媒体を使用せずに、ファイルのコピーなどが行えます。

チェック

- 無線LAN機能は、周囲にあるIEEE802.11a（5GHz）、IEEE802.11b（2.4GHz）、IEEE802.11g（2.4GHz）、IEEE802.11n（2.4/5GHz）およびIEEE802.11ac（5GHz）（IEEE802.11ac搭載無線LANモデルの場合）に対応した無線LAN機器を検出し、このうち1台を選択して接続できます。
- 40MHz、80MHzの帯域幅を利用した無線LAN通信を行うには、接続先の無線LAN機器もそれらの帯域幅に対応している必要があります。
- IEEE802.11n（2.4/5GHz）規格、またはIEEE802.11ac（5GHz）規格による無線通信を行う際は、暗号化方式をAESに設定してください。それ以外の方式に設定した場合、これらの規格が利用できません。
- WPA - エンタープライズ、WPA2 - エンタープライズまたは認証機能（IEEE802.1X）を使用した接続を行う場合は、各項目の設定内容をネットワークの管理者にお問い合わせください。
- IEEE802.11a（5GHz）モード、IEEE802.11n（2.4/5GHz）モード、IEEE802.11ac（5GHz）モード（IEEE802.11ac搭載無線LANモデルの場合）でのアドホック接続はサポートしていません。

無線LAN機能使用上の注意

- 通信速度・通信距離は、無線LAN対応機器や電波環境・障害物・設置環境などの周囲条件によって異なります。
- 電波の性質上、通信距離が離れるに従って通信速度が低下する傾向があります。 より快適にお使いいただくために、無線LAN対応機器同士は近い距離で使用することをおすすめします。
- 2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）を同時に使用した場合、2.4GHz無線LAN対応機器の通信速度、通信距離が低下する場合があります。2.4GHz無線LAN対応機器と2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）は離して使用することをおすすめします。
- Bluetooth機能やIntel® WiDiと、無線LAN機能を同時に使用した場合、それぞれの通信速度や通信距離が低下する場合があります。
- 2.4GHz無線LAN対応機器とBluetooth機器など、同じ周波数帯を利用する機器を同時に使用した場合、それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があります。同じ周波数帯を利用する機器はいずれかをオフにするか、離して使用することをおすすめします。

- ネットワークへの接続には、別売の無線LANアクセスポイントなどが必要です。
- 医療機関で使用する場合には、医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか無線LAN機能をオフにしてください。また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか無線LAN機能をオフにしてください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ファイルコピーなどの通信動作が終了してからスリープ状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、あらかじめお使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認の上、スリープ状態または休止状態を使用してください。

参照

無線LAN機能のオン／オフについて

「無線LAN機能のオン／オフ (P. 162)」

無線LAN対応製品との接続

無線LAN対応製品

本製品と接続できる無線LAN対応製品には、無線LAN内蔵コンピュータ、無線LANアクセスポイント、無線LAN周辺機器などがあります。

無線LAN機器同士の接続互換性については、業界団体Wi-Fi Alliance による「Wi-Fi®」認定を取得している、同じ規格の製品をご購入されることをおすすめします。

本機を安全にネットワークに接続するために

[021801-27]

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。
本機のLAN機能や無線LAN機能を使用して、安全にネットワークに接続するために、次の対策を行うことを強くおすすめします。

チェック

稼働中のネットワークに接続する場合は、接続先のネットワークの管理者の指示に従って接続を行ってください。

メモ

Windowsのセキュリティ機能（アクション センター）では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウェア対策ソフトウェアの設定、インターネットセキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定などの、コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

セキュリティ対策アプリケーションの利用

コンピュータウイルスから本機を守るために、セキュリティ対策アプリケーションをインストールすることをおすすめします。

本機を利用する環境で、使用するセキュリティ対策アプリケーションが定められている場合は、そのアプリケーションを使用してください。
また、本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーションとしてマカフィー リブセーフが添付されています。

参照

マカフィー リブセーフについて
「便利な機能とアプリケーション」の「マカフィー リブセーフ (P. 332)」

ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスによっては、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されています。このようなコンピュータウイルスから本機を守るためにファイアウォール（パーソナルファイアウォール）を利用することをおすすめします。

本機を利用する環境で、ファイアウォールの利用についての規則などがある場合は、そちらの規則に従ってください。
また、本機にインストールされているOSでは、標準で「Windows ファイアウォール」機能が有効になっています。
「Windows ファイアウォール」について、詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

Windows® Update、またはMicrosoft® Update

最新かつ重要な更新プログラムが提供されています。

Windowsを最新の状態に保つため、ネットワークに接続後、定期的にWindows® Update、またはMicrosoft® Updateを実施してください。

チェック

- PCの安定動作およびセキュリティ向上のため、Windows® Update、またはMicrosoft® Updateを可能な限りOSのセットアップ直後に実施してください。アップデートの前にInternet Explorerのダウングレードなど、必要な作業項目がある場合は、各手順に従って対応してください。
- 本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

[021902-27]

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピュータ等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- **通信内容を盗み見られる**
  悪意ある第三者によって、電波を故意に傍受され、
  - IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
  - メールの内容

  等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- **不正に侵入される**
  悪意ある第三者によって、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスされ、
  - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
  - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  - コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

  などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本機で設定できるセキュリティ

盗聴（傍受）を防ぐ

WEP機能を使用して暗号キーを設定すると、同じ暗号キーを使用している通信機器間の無線LAN通信データを暗号化できるので、通信の盗聴や、関係のないコンピュータや機器からの接続を防ぐことができます。WEP機能には64bitWEP対応、128bitWEP対応、152bitWEP対応のものがあり、本機の無線LAN機能は、64bitWEPと128bitWEPに対応しています。ただし、暗号キーを設定していても、暗号キー自体を第三者に知られたり、暗号解読技術によって暗号を解読されたりする可能性があるため、設定した暗号キーは定期的に変更することをおすすめします。

チェック

WEP機能を利用するには、接続する無線LAN対応機器もWEP機能に対応している必要があります。

不正アクセスを防ぐ

- 無線LANアクセスポイントに任意のネットワーク名（SSID）を設定することで、同じSSIDを設定していない通信機器からの接続を回避できます。 ただし、同じSSIDを設定していない機器でも、そのネットワークがどんなSSIDを使用しているかは検出できてしまうため、SSIDを設定しただけではセキュリティを保てません。これを回避するには、無線LANアクセスポイント側でSSIDを通知しないようにSSIDの隠ぺいの設定をする必要があります。
- 接続するコンピュータなどのMACアドレス（ネットワークカードが持っている固有の番号）を無線LANアクセスポイントに登録することで、登録した機器以外は無線LANアクセスポイントに接続できなくなります（MACアドレスフィルタリング）。

より高度なセキュリティ設定を行う

Wi-Fi Allianceが提唱するWPA（Wi-Fi Protected Access）やWPA2機能を利用します。IEEE802.1X/EAP（Extensible Authentication Protocol）規格によるユーザー認証、WEP機能に比べて大幅に暗号解読が困難とされる暗号化方式TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）やAES（Advanced Encryption Standard）を使用することで、より高度なセキュリティ設定が行えます。

チェック

WPA機能を利用するには、接続する無線LAN対応機器とネットワーク環境がWPA機能をサポートしている必要があります。WPA2機能を利用するには、接続する無線LAN対応機器とネットワーク環境がWPA2機能をサポートしている必要があります。

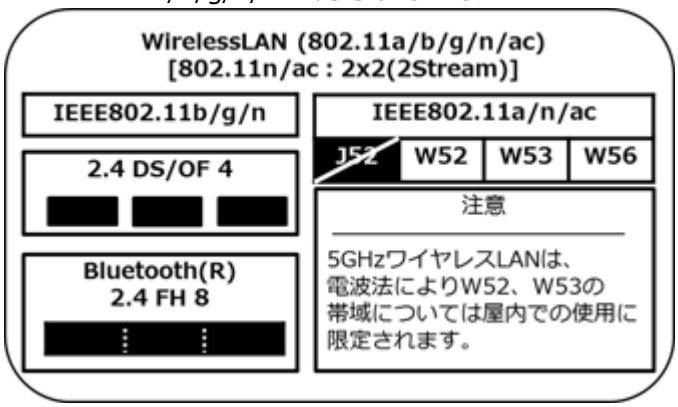
使用上の注意

[021903-27]

- 本製品には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz全帯域（2.4GHz～2.4835GHz）を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域（2.427GHz～2.47075GHz）が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式とOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。
- 本製品には、5GHz帯小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品に内蔵されている無線設備は、5GHz帯域（5.15GHz～5.35GHz、5.47GHz～5.725GHz）を使用しており、以下のチャンネルに対応しています。
  - W52：Ch36（5180MHz）,Ch40（5200MHz）,Ch44（5220MHz）,Ch48（5240MHz）
  - W53：Ch52（5260MHz）,Ch56（5280MHz）,Ch60（5300MHz）,Ch64（5320MHz）
  - W56：Ch100（5500MHz）,Ch104（5520MHz）,Ch108（5540MHz）,Ch112（5560MHz）,Ch116（5580MHz）,Ch120（5600MHz）,Ch124（5620MHz）,Ch128（5640MHz）,Ch132（5660MHz）,Ch136（5680MHz）,Ch140（5700MHz）
- W52、W53無線LANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
- 本製品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。
  分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。
  また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を下回っています。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- 自動ドアや火災報知機など、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります（本製品の電源を入／切することで影響の原因になっているかどうか判別できます）。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
  - 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
  - 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本製品の電力を供給してください。
  - 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。
- トラック無線（CB無線）やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。
  詳しくは、ご使用場所管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- 他の無線機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 電子レンジなど、本製品と同じ周波数帯域を使用する産業・科学・医療用機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。

ワイヤレス注意ラベル（本体底面）

- IEEE802.11a/b/g/n/acに対応していて、かつBluetoothにも対応している場合



無線LAN機能のオン／オフ

[021904-27]

無線LAN機能のオン／オフを切り替えるには、次の方法があります。

- ワイヤレススイッチ（【Fn】＋【F2】）で切り替える. 162
- 「ワイヤレス ネットワーク接続」で切り替える. 163
- 「Access Connections」で切り替える. 164

メモ

無線LAN機能のオン／オフの設定は、電源を切った後も保存されます。

チェック

- 無線LAN機能のオン／オフを行う場合は、切り替えが完了したのを確認してから行うようにしてください。
- 他の機器に影響を与える場合や無線LAN機能を使用しない場合は、無線LAN機能をオフにすることをおすすめします。
- 無線LAN機能をオフにすると、無線LAN機能を利用しているIntel® WiDiが使用できなくなります。
- BIOSセットアップユーティリティで無線LAN機能そのものを無効にしている場合、これらの方法で無線LAN機能を有効にすることはできません。BIOSセットアップユーティリティで無線LAN機能を有効に設定してから操作を行ってください。
- 無線LAN機能のオン／オフは、Windows モビリティ センターから確認できます。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「Windows モビリティ センター」をクリック

3 「ワイヤレス ネットワーク」を確認する

参照

- **Intel® WiDiについて**
  「外部ディスプレイ」の「Intel® WiDi (P. 110)」
- **BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について**
  「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」および「設定項目一覧 (P. 222)」

ワイヤレススイッチ（【Fn】＋【F2】）で切り替える

キーボードの【Fn】＋【F2】を押すことで、無線LAN機能のオン／オフを切り替えることができます。

チェック

- この方法でオフにした場合、無線LAN機能を含むすべてのワイヤレス機能がオフになります。
- 無線LAN機能を含むワイヤレス機能をオンにしたときに、Bluetoothのドライバのインストールが始まった場合は、インストールが完了するまでお待ちください。また、再起動を促すメッセージが表示された場合は、本機を再起動してください。
- 無線LAN機能を含むワイヤレス機能のオン／オフの際、Bluetoothのドライバの組み込み／取り外しに時間がかかる場合があります。
  再度、無線LAN機能を含むワイヤレス機能のオン／オフを行う場合は、Bluetooth機能の切り替えが完了したのを確認してから行うようにしてください。Bluetooth機能の切り替えが完了しないうちに、連続してオン／オフの操作を行わないようにしてください。

参照

【Fn】について
「キーボード」の「キーの使い方 (P. 70)」

「ワイヤレス ネットワーク接続」で切り替える

Windows標準の無線LAN機能を使って、無線LAN機能のオン／オフを切り替えることができます。

オンにする場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック
2. 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック
3. 左側の「アダプターの設定の変更」をクリック
4. 「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックし、表示されたメニューから「有効にする」をクリック

オフにする場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック
2. 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック
3. 左側の「アダプターの設定の変更」をクリック
4. 「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックし、表示されたメニューから「無効にする」をクリック

「Access Connections」で切り替える

「Access Connections」を使って、無線LAN機能のオン／オフを切り替えることができます。

参照

Access Connectionsについて

「Access Connections」の「Access Connectionsでの無線LAN機能のオン／オフ (P. 305)」

無線LANの設定と接続

[021905-27]

- 無線LANの設定をする. 167
- セキュリティとデータの暗号化について. 172
- 設定済みの接続先に接続する. 173
- 接続を切断する. 174
- 接続の確認. 174

メモ

- セキュリティ設定や周囲の無線環境によっては、接続までに時間がかかる場合や、通信速度が低下する場合があります。
- 工場出荷時の状態では、2.4GHzのみを使用できる設定になっています。5GHzを使用する場合は、次の手順で設定を変更してください。

1. 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
2. 「ネットワーク アダプター」をダブルクリック
3. 「Intel(R) Dual Band Wireless-AC 7265」をダブルクリック
4. 「詳細設定」タブをクリック
5. 「プロパティ」欄で「ワイヤレス モード」を選択する
6. 「値」欄の▼をクリックし、「6. 802.11a/b/g」を選択する
7. 「OK」ボタンをクリック

- WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応した無線LANアクセスポイントと接続する場合、PINの入力や、ルーターのボタンを押すことを要求する画面が表示されることがあります。
  これらの操作でも無線LANアクセスポイントと接続できますが、機器の組み合わせによっては接続に失敗することもありますので、その場合はセキュリティ キーを入力して接続を行ってください。
- WPSで接続する場合は、セキュリティが自動的に設定されます。
  設定されたセキュリティについては、無線LANアクセスポイントの設定画面かマニュアルなどで確認してください。
- PINの記載箇所については、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- 「電源の管理」タブの設定は変更しないでください。

メモ

- IEEE802.11n規格による無線LAN通信において、2.4GHz帯のチャンネルを40MHz幅で接続する場合は、次の手順で設定を確認してください。

  1. 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
  2. 「ネットワーク アダプター」をダブルクリック
  3. 「Intel(R) Dual Band Wireless-AC 7265」をダブルクリック
  4. 「詳細設定」タブをクリック
  5. 「プロパティ」欄で「2.4 GHz 用 802.11n チャネル幅」を選択する
  6. 「値」欄が「自動」になっているかを確認する

     「自動」になっていない場合は、▼をクリックして「自動」を選択してください。
  7. 「OK」ボタンをクリック

- IEEE802.11ac（5GHz）モード（IEEE802.11ac搭載無線LANモデルの場合）による通信を行う場合、次の手順で設定を行ってください。

  1. 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
  2. 「ネットワーク アダプター」をダブルクリック
  3. 「Intel(R) Dual Band Wireless-AC 7265」をダブルクリック
  4. 「詳細設定」タブをクリック
  5. 「プロパティ」欄で「HT モード」を選択する
  6. 「値」欄の▼をクリックし、「VHT モード」を選択する
  7. 「OK」ボタンをクリック

- Windows標準の無線LAN機能でサポートしていない認証機能（LEAPなど）をご利用になる場合は、PROSet/Wirelessをインストールする必要があります。
- 「Access Connections」を使用して、設定と接続を行う場合は「便利な機能とアプリケーション」の「Access Connections (P. 303)」をご覧ください。

参照

PROSet/Wirelessのインストールについて

「PROSet/Wirelessのインストール (P. 175)」

無線LANの設定をする

接続する機器によって、設定手順が異なります。お使いの環境にあわせて設定を行ってください。

ネットワーク名（SSID）を通知する無線LANアクセスポイントに接続する場合

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン／オフ」をご覧になり、無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。

参照

無線LAN機能のオン／オフについて

「無線LAN機能のオン／オフ (P. 162)」

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

4 「ネットワーク設定の変更」欄の「ネットワークに接続」をクリック

ネットワーク名（SSID）と信号状態の一覧が表示されます。

5 接続する無線LANアクセスポイントのネットワーク名（SSID）をクリック

チェック

- 選択した無線LANアクセスポイントに間違いがないか、ネットワーク名（SSID）を確認してください。
- ネットワーク名（SSID）の一覧に接続するネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、ボタンをクリックしてください。それでもネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、無線LANアクセスポイントがネットワーク名（SSID）を通知しない設定になっている場合があります。無線LANアクセスポイントの設定を確認し、「ネットワーク名（SSID）を通知しない無線LANアクセスポイントに接続する場合 (P. 168)」の手順で設定を行ってください。

6 「自動的に接続する」にチェックが付いていることを確認して、「接続」ボタンをクリック

メモ

- 「自動的に接続する」のチェックを外した場合、設定は保存されません。
- 自動的に接続する設定は、後から変更できます。

7 「セキュリティ キー」の入力を要求する画面が表示された場合は、接続先に設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力して、「OK」ボタンをクリック

これで設定は完了です。

ネットワーク名（SSID）を通知しない無線LANアクセスポイントに接続する場合

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン／オフ」をご覧になり、無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。

参照

無線LAN機能のオン／オフについて
「無線LAN機能のオン／オフ (P. 162)」

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

4 「ネットワーク設定の変更」欄の「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック

5 「ワイヤレス ネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

ワイヤレス ネットワークの情報を入力する画面が表示されます。

6 「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックを付ける

7 接続先の無線LANアクセスポイントにあわせて設定を行う

- **「ネットワーク名」**
  接続先の無線LANアクセスポイントのネットワーク名（SSID）を入力します。
- **「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」**
  接続先の無線LANアクセスポイントの設定にあわせて選択します。
  セキュリティと暗号化の種類については、「セキュリティとデータの暗号化について (P. 172)」をご覧ください。

- **「セキュリティ キー」**
  接続先の無線LANアクセスポイントに設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力します。
- **「この接続を自動的に開始します」**
  チェックを付けると、接続先が通信可能範囲にある場合、自動で接続するように設定されます。

8 「次へ」ボタンをクリック

9 「正常に <ネットワーク名（SSID）> を追加しました」と表示されたら、次の手順を行う

- **設定を変更しない場合**
  手順10に進んでください。
- **設定を変更する場合**
  「接続の設定を変更します」をクリックし、表示される画面で設定を行ってください。
  設定が完了したら「OK」ボタンをクリックし、手順10へ進んでください。

> **チェック**
>
> 接続先の無線LANアクセスポイントにWEPキーが設定されており、暗号化キー番号（キーインデックス）が「1」以外に設定されている場合は、ここで設定を変更する必要があります。「接続の設定を変更します」をクリックし、「セキュリティ」タブの「キー インデックス」で設定を行ってください。

10 「閉じる」ボタンをクリック

これで設定は完了です。
手順7で「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けなかった場合は、「設定済みの接続先に接続する (P. 173)」をご覧になり、手動で接続を行ってください。

コンピュータ同士で通信（アドホック通信）する場合

> **チェック**
>
> - 本機では、IEEE802.11a（5GHz）モード、IEEE802.11n（2.4/5GHz）モード、 IEEE802.11ac（5GHz）モード（IEEE802.11ac搭載無線LANモデルの場合）でのアドホック接続はサポートしていません。
> - アドホック接続の通信状況が不安定な場合は、一度接続を切断してから電波状況のよい場所にコンピュータを移動させ、再度接続設定を行ってください。

●他のコンピュータに本機を接続する場合

アドホック接続の設定が完了している他のコンピュータと本機を接続する場合は次の手順で行います。

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン／オフ」をご覧になり、無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。

参照

無線LAN機能のオン／オフについて
「無線LAN機能のオン／オフ (P. 162)」

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

4 「ネットワーク設定の変更」欄の「ネットワークに接続」をクリック

ネットワーク名（SSID）と信号状態の一覧が表示されます。

5 接続先のコンピュータのネットワーク名（SSID）を選択して、「接続」ボタンをクリック

6 「セキュリティ キー」または「パスフレーズ」の入力を要求する画面が表示された場合は、接続先に設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力して、「OK」ボタンをクリック

これで設定は完了です。

●他のコンピュータが本機に接続できるようにする場合

他のコンピュータが接続できるように本機を設定するには次の手順で行います。

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン／オフ」をご覧になり、無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。

参照

無線LAN機能のオン／オフについて
「無線LAN機能のオン／オフ (P. 162)」

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

4 「ネットワーク設定の変更」欄の「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック

5 「ワイヤレス アドホック(コンピューター相互) ネットワークを設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

6 「次へ」ボタンをクリック

ワイヤレス ネットワークの情報を入力する画面が表示されます。

7 「ネットワーク名」欄にアドホック接続に使用するネットワーク名（SSID）を入力する

8 「セキュリティの種類」を設定する

9 「セキュリティ キー」欄にネットワーク セキュリティ キーを入力する

10 「このネットワークを保存します」にチェックを付けて、「次へ」ボタンをクリック

11 「閉じる」ボタンをクリック

接続設定が保存され、アドホック接続待ちの状態になります。

これで設定は完了です。

アドホック接続を接続待ちの状態にする場合

設定済みのアドホック接続を接続待ちの状態にする場合は次の手順で行います。

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン／オフ」をご覧になり、無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。

参照

無線LAN機能のオン／オフについて

「無線LAN機能のオン／オフ (P. 162)」

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

4 「ネットワーク設定の変更」欄の「ネットワークに接続」をクリック

ネットワーク名（SSID）と信号状態の一覧が表示されます。

5 接続待ち状態にするアドホック接続のネットワーク名（SSID）を選択し、「接続」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

セキュリティとデータの暗号化について

セキュリティと暗号化の方式は、無線LANアクセスポイントや接続する機器同士で設定をあわせる必要があります。
本機の無線LAN機能で設定できる、セキュリティと暗号化の方式は次の通りです。

選択できるセキュリティと暗号化の方式

●無線LANアクセスポイントに接続する場合

セキュリティの種類	暗号化の種類
認証なし （オープン システム）	なし、WEP
共有キー	WEP
WPA2 - パーソナル	TKIP、AES
WPA - パーソナル	
WPA2 - エンタープライズ	
WPA - エンタープライズ	
802.1X	WEP

●コンピュータ同士で通信（アドホック通信）する場合

セキュリティの種類	暗号化の種類
認証なし （オープン システム）	なし、WEP
WPA2 - パーソナル	AES

メモ

- セキュリティは設定することを強く推奨します。セキュリティの設定を行わない場合は、「無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 (P. 158)」の内容をご確認の上、使用してください。
- WPA2 - エンタープライズ、WPA - エンタープライズ、および認証機能（IEEE802.1X）を使用した接続を行う場合は、各項目の設定内容をネットワークの管理者にお問い合わせください。

ネットワーク セキュリティ キー

データの暗号化を行う場合、ネットワーク セキュリティ キーを設定します。
ネットワーク セキュリティ キーは、通信を行う無線LANアクセスポイントや相手のコンピュータと同じ設定にします。

暗号化の方式と、ネットワーク セキュリティ キーとして使用できる文字種と文字数は以下の通りです。

●WEPの場合

キーの長さが長い（bit数が大きい）ほど、通信内容の解読がされにくくなり、安全性が高くなります。

入力形式	長さ	キーに使用する文字	説明
ASCIIテキスト	64bit	半角英数字で5文字	相手の機器が64bit暗号キーに対応している場合に使えます。64bitのうち40bitをユーザーが指定し、24bitはシステムが設定します。

16進数		16進数（0～9、A～Fの半角英数字）で10文字	
ASCIIテキスト	128bit	半角英数字で13文字	相手の機器が128bit暗号キーに対応している場合に使えます。128bitのうち104bitをユーザーが指定し、24bitはシステムが設定します。
16進数		16進数（0～9、A～Fの半角英数字）で26文字	

●WPA - パーソナル（TKIP、AES）またはWPA2 - パーソナル（TKIP、AES）の場合

入力されたネットワーク セキュリティ キーを元にして、一定時間ごとにキー自体が自動更新されるため、WEPよりも安全性が高くなります。

入力形式	キーに使用する文字
ASCIIテキスト	半角英数字で8文字以上63文字以下
16進数	16進数（0～9、A～Fの半角英数字）で64文字

チェック

WPA - パーソナルやWPA2 - パーソナルによる暗号化を使用するには、接続する相手の機器も同じセキュリティ機能に対応している必要があります。

設定済みの接続先に接続する

設定済みの接続先に接続するには、次の手順で行います。

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン／オフ」をご覧になり、無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。

参照

無線LAN機能のオン／オフについて

「無線LAN機能のオン／オフ (P. 162)」

2 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン（ ）をクリック

ネットワーク名（SSID）と信号状態の一覧が表示されます。

チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

3 接続先をクリックし、「接続」ボタンをクリック

以上で接続は完了です。

接続を切断する

接続中のネットワーク接続を切断するには、次の手順で行います。

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン（）をクリック

ネットワーク名（SSID）と信号状態の一覧が表示されます。

チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

2 切断する接続先をクリックし、「切断」ボタンをクリック

メモ

現在接続中の接続先には「接続」と表示されています。

チェック

接続の状態の表示は、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

以上で切断は完了です。

接続の確認

接続の状態を確認するには、次の手順で行います。

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン（）をクリック

ネットワーク名（SSID）と信号状態の一覧が表示されます。

チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

2 状態を確認したい接続先にマウスカーソルを合わせる

接続先の詳細な情報が表示されます。

参照

無線LANの設定について

Windows標準の無線LAN機能の詳細については、Windowsのヘルプをご覧ください。

PROSet/Wirelessのインストール

[021907-27]

本機の無線LANでは、PROSet/Wirelessを使用することで、Windows標準の無線LAN機能でサポートしていない認証機能（LEAPなど）をご利用になれます。

チェック

- 出荷時状態でPROSet/Wirelessはインストールされています。アンインストールした場合のみ、本手順でインストールしてください。
- PROSet/Wirelessは、ユーザー名が半角英数字のみのユーザーで使用してください。
- PROSet/Wirelessインストール後に、認証の種類で「EAP-AKA」、「EAP-SIM」を選択しても、本機では使用できません。

PROSet/Wirelessのインストールは次の手順で行います。

チェック

管理者（Administrator）権限を持つユーザー（ユーザー名は半角英数字）で行ってください。

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

3 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥DRV¥WLINSEV¥UTILITY¥APPS¥Setup.exe

「インテル® PROSet/Wireless ソフトウェア」画面が表示されます。

4 「エンドユーザー使用許諾契約(EULA)を確認し、同意します。」にチェックを付け、「カスタマイズ」ボタンをクリック

5 インストールする機能にチェックを付ける

- 「インテル® PROSet/Wireless WiFi インフラストラクチャーコンポーネント」にチェックを付ける
- 「インテル® My WiFi テクノロジー」のチェックを外す

チェック

「インテル® My WiFi テクノロジー」は、「インテル® PROSet/Wireless WiFi インフラストラクチャーコンポーネント」の横の三角ボタンをクリックすることで表示されます。

6 「インストール」ボタンをクリック

インストールが始まります。

7 インストールが完了したら、Windowsを再起動してください。

以上でPROSet/Wirelessのインストールは終了です。

PROSet/Wirelessのアンインストール

[021908-27]

PROSet/Wirelessのアンインストールは次の手順で行います。

チェック

- Intel® WiDiとあわせてPROSet/Wirelessをインストールしている場合、アンインストールの手順が異なります。「外部ディスプレイ」の「Intel® WiDi (P. 110)」をご覧になり、記載の手順に従ってIntel® WiDiとあわせてアンインストールを行ってください。
- 管理者（Administrator）権限を持つユーザー（ユーザー名は半角英数字）で行ってください。
- PROSet/Wirelessをアンインストールすると、インテル® スマート・コネクト・テクノロジーが使用できなくなります。

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

3 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥DRV¥WLINSEV¥UTILITY¥APPS¥Setup.exeΔ-qΔ-uninstall

※Δは半角スペースを意味しています。

アンインストールが始まります。

チェック

- アンインストール中は画面に何も表示されません。
- アンインストールが完了するまで、しばらくお待ちください。

4 ハードディスクのランプが消えたら、Windowsを再起動する

以上でPROSet/Wirelessのアンインストールは終了です。

インテル® スマート・コネクト・テクノロジー

[021917-27]

インテル® スマート・コネクト・テクノロジーでできること

インテル® スマート・コネクト・テクノロジーは、スリープ状態になっているパソコンを定期的に短時間起動することで、電子メールなどのアプリケーションが自動的に更新できるようになる機能です。

チェック

インテル® スマート・コネクト・テクノロジーを利用する間、インターネットによって自動的に更新するアプリケーションは常に起動しておく必要があります。

メモ

インテル® スマート・コネクト・テクノロジーは、以下のようなアプリケーションに対応しています。

- Outlook2013
- Windows Liveメール
- Seesmic for Windows（Seesmic Webは除く）

本機にインストールされていないアプリケーションを使用する場合は、それぞれアプリケーションのインストールやアカウントの設定などが必要です。

使用上の注意

- インテル® スマート・コネクト・テクノロジーは、スリープ中のパソコンを自動で起動させる機能です。無線機器および電子機器の使用を禁止されたエリア（航空機内や医療機関内）では必ず無線LAN機能をオフにしてください。

  参照

  「無線LAN機能のオン／オフ (P. 162)」

- インテル® スマート・コネクト・テクノロジーを利用している間にパソコンを屋外へ持ち出す場合には、必ず2.4GHz帯のIEEE802.11b/g/n対応アクセスポイントにのみ接続する設定でお使いください。
- インテル® スマート・コネクト・テクノロジーを利用しないときは、必ず設定を「OFF」にしてください。気が付かないうちにスリープ状態から復帰してしまう場合があります。
- 更新が長時間に及ぶ可能性がある場合（Windows® Updateなど）は、自動ではなく手動で確認しながら更新することをおすすめします。更新の途中で本機が再起動した場合は、再度スリープ状態になるまでインテル® スマート・コネクト・テクノロジーはキャンセルされます。
- インテル® スマート・コネクト・テクノロジーを有効にしている場合は、通常のスリープ状態よりもバッテリの消費電力が多くなります。
- インテル® スマート・コネクト・テクノロジーを利用するときは、バッテリ残量や本体の温度に注意してください。本機のバッテリ残量が少なくなったり、本体の温度が上昇している場合は、自動的に更新間隔を調整します。

- スリープ状態から一時的に復帰してデータを更新している間は、冷却ファンが回転したり、表示ランプが点灯・点滅する場合があります。

インテル® スマート・コネクト・テクノロジーの利用

インテル® スマート・コネクト・テクノロジーを利用するには、次の手順で設定を行います。
Outlook2013を使用する場合を例として説明します。

チェック

あらかじめ、無線LANの設定と接続、およびメールの設定をしておく必要があります。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

3 「スリープ解除時のパスワード保護」をクリック

「スリープ解除時のパスワード保護」欄にある「現在利用可能ではない設定を変更します」が表示されている場合はクリックします。

4 「パスワードを必要としない」をクリック

5 「変更の保存」ボタンをクリック

6 現在選択されている電源プランの、「プラン設定の変更」をクリック

7 「詳細な電源設定の変更」をクリック

「電源オプション」画面が表示されます。

8 リストにある「スリープ」をダブルクリック

9 「ハイブリッド スリープを許可する」をダブルクリック

10 「バッテリ駆動」と「電源に接続」を「オフ」にする

11 「次の時間が経過後休止状態にする」をダブルクリック

12 「バッテリ駆動」と「電源に接続」を「なし」にする

13 「OK」をクリック

14 をクリック

15 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Intel」→「Intel(R) Smart Connect Technology」をクリック

「インテル® スマート・コネクト・テクノロジー」画面が表示されます。

16 「データの更新」を「ON」にする

17 Outlook2013を起動する

以上で設定は完了です。この状態で本機がスリープ状態になると、インテル® スマート・コネクト・テクノロジーを利用することができます。

チェック

「コントロール パネル」→「システムとセキュリティ」→「電源オプション」→「スリープ解除時のパスワード保護」で「パスワードを必要とする (推奨)」が選択されていると、インテル® スマート・コネクト・テクノロジーを実行することができません。「パスワードを必要としない」に設定する必要があります。誰でも本機のデータにアクセスできるため、セキュリティには十分ご注意ください。

インテル® スマート・コネクト・テクノロジーの設定

利用シーンにあわせて、インテル® スマート・コネクト・テクノロジーを設定することができます。

1 「インテル® スマート・コネクト・テクノロジー」画面で、「設定を変更」をクリック

起動する頻度のみを設定する場合は、一覧から希望の頻度を選択して「保存」をクリックしてください。以上で設定は完了です。
曜日や時間帯も設定する場合は、手順2へ進んでください。

2 「スケジュールをカスタマイズ」をクリック

3 コンピュータが起動する頻度、開始時刻と終了時刻、曜日を選択する

4 「保存」をクリック

メモ

「デフォルトに戻す」をクリックすると、工場出荷時の設定に戻すことができます。

チェック

利用状況によっては自動で更新頻度を減らし、バッテリの消費を節約したり、本体の温度が上がらないように保ったりする場合があります。

イベント履歴

1 「インテル® スマート・コネクト・テクノロジー」画面で、「イベント履歴」をクリック

これまでの実行ごとの動作内容を確認することができます。

その他の動作

- スリープ状態に移行するときにインターネットに接続がない（無線LANアクセスポイントが見つからない）場合は、無線LANアクセスポイントが見つかるまで実行しなくなります。無線LAN機能はオンのままになっていますので、インターネット接続を行わない場合は、インテル® スマート・コネクト・テクノロジーの設定を「OFF」にするか、無線LAN機能をオフにすることをおすすめします。
- スリープ状態から一時的に復帰して情報を更新している間は、次の条件によりスリープ状態から復帰します。インテル® スマート・コネクト・テクノロジーは、必要な機能のみ起動させた状態で実行してください。
  - 液晶ディスプレイの開閉
  - 電源ボタンやマウスなどの操作
  - Windows® Updateの更新
  - 他のアプリケーションによる自動実行

ヘルプについての補足説明

インテル® スマート・コネクト・テクノロジーの「よくある質問」にある質問は、以下の通り読み替えてください。

質問	回答
リモート・ウェイクアップ機能の概要と使用法	リモートパワーオン（リモート・ウェイクアップ）機能はサポートしておりません。
インテル® スマートコネクトはPCを休止状態からウェイクアップしますか？	休止状態からの復帰はサポートしておりません。
インテル® スマート・コネクト・テクノロジーは有線 (LAN) 接続でも動作しますか？	有線接続でのサポートはしておりません。

インテル® スマート・コネクト・テクノロジー中のリンク先について

「ヘルプ」などにある詳細情報をクリックして英語サイトが表示された場合は、以下の日本語サイトで読み替えてください。

- 詳細/サポート：http://www.intel.com/p/ja_JP/support/highlights/sftwr-prod/smrt_cnct
- インテル® スマート･コネクト･テクノロジーについて：http://www.intel.com/content/www/jp/ja/architecture-and-technology/smart-connect-technology.html

本機にインストールされているインテル® スマート・コネクト・テクノロジーについては、NECサポート窓口にお問い合わせください。

無線LANに関する用語一覧

[021913-27]

ここでは無線LANに関する用語について説明します。無線LANの設定をするときにご覧になると便利です。

用語	説明
AES	Advanced Encryption Standardの略。 米国政府内での情報処理用に採用された「次世代標準暗号化方式」のこと。規定の基準（暗号強度、処理速度など）を満足しており、その仕様も公開されていることから、広い分野での利用が行われている。IEEE802.11iの暗号化方式の1つに採用されている。
ANYプローブ応答禁止	SSIDの問い合わせを拒否する設定。
ANY接続拒否	SSIDを「ANY」にセットした無線LAN端末もしくはSSIDに任意の文字列を入れた端末からの接続を拒否する設定。
EAP	Extensible Authentication Protocolの略。 任意の認証機能を用いるための仕様。ダイヤルアップで用いられるPPP（Point-to-Point Protocol）の拡張として開発された。 ユーザー名・パスワード以外にもスマートカード（ICカード）やデジタル証明書などさまざまな認証方式をサポートできる。EAP-TLS、EAP-TTLSなどがある。
EAP-TLS	Transport Layer Security の略。 EAP方式の認証プロトコルの１つで、利用にはクライアント証明書とサーバ証明書が必要となる。
EAP-TTLS	Tunneled Transport Layer Security の略。 EAP方式の認証プロトコルの１つで、EAP-TLSとは異なり、クライアント証明書は必要とせず、代わりにユーザー名・パスワードが用いられる。
IEEE802.11a	IEEEが標準化した5GHz帯の電波を使い最大54Mbpsの転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.11b	IEEEが標準化した2.4GHz帯の電波を使い最大11Mbpsの転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.11g	IEEEが標準化した2.4GHz帯の電波を使い最大54Mbpsの転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.11i	IEEEが標準化を進めている「無線LAN用セキュリティ規格」認証方式や暗号化方式、暗号化キーの取り扱いなどについて規定している。
IEEE802.11n	IEEEが標準化した2.4GHz、5GHz帯のいずれかの電波を使い最大600Mbps（理論値）の転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.11ac	IEEEが標準化した5GHz帯の電波を使い最大6.93Gbps（理論値）の転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.1X	無線LAN上で認証と動的なキーの生成と配送を行う仕組み。 IEEE標準。有線LANでポートアクセス管理を行うためにも用いられる。EAPとRADIUSを用いる。

<table>
<tr><td>MACアドレスフィルタリング</td><td>無線LAN端末固有のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに設定することで、無線LAN端末を無線LANアクセスポイントに接続するか否かを制御するセキュリティ方式。</td></tr>
<tr><td>PSK</td><td>Pre-Shared Keyの略。
暗号化キーを生成するために用いられる共有（秘密）鍵のこと。この鍵を用いて直接暗号化を行うものではなく、暗号鍵を生成するためのものであることから“事前共有鍵”と呼ばれる。PSKとは、事前共有鍵を用いる認証方式を表す場合がある。</td></tr>
<tr><td>RADIUS</td><td>Remote Authentication Dial-in User Serviceの略。
ネットワークアクセス全般に対する認証、アクセス承認、課金管理を行うプロトコル。</td></tr>
<tr><td>SSID</td><td>Service Set Identifierの略。
無線LANを構成する無線LANアクセスポイントと端末に付けられた識別子のこと。
無線LANをグループ化するために用いられる。
無線LANアクセスポイントと端末に同じSSIDが設定されていないと通信できない。無線LANアクセスポイントを中心とした1つのグループであるBSS（Basic Service Set）が、802.11による無線LANのインフラストラクチャ通信の最小単位となるが、複数の無線LANアクセスポイントにまたがった際のローミングを考慮し、BSSを複数束ねたESS（Extended Service Set）が定義されている。 このため、SSIDはESSIDと呼ばれることもある。
無線LAN接続ツールによっては、ネットワーク名と記載している場合もある。</td></tr>
<tr><td>SSIDの隠ぺい</td><td>SSIDを無線LANアクセスポイントにより定期的に送信されるビーコン中に含まないように設定すること。</td></tr>
<tr><td>TKIP</td><td>Temporal Key Integrity Protocol の略。
暗号化方式の一種で、WPAの暗号化方式として採用されている。
PSKと呼ばれる“事前共有鍵”を元に暗号化キーを一定のデータ量また時間ごとに生成し、暗号化を行う。</td></tr>
<tr><td>WEPキー</td><td>WEP暗号化方式で用いられる“暗号化キー”のこと。種類は共有（秘密）鍵である。</td></tr>
<tr><td>WPA</td><td>① Wi-Fi Protected Accessの略。
Wi-Fi Alliance が規格化した、新しいセキュリティ規格のこと。
WEP方式よりセキュリティ強度が強化されている。暗号化方式と認証プロトコルにより、以下の4つに分類できる。
<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="2">認証</th></tr>
<tr><th>PSK</th><th>EAP</th></tr>
<tr><td rowspan="2">暗号</td><td>TKIP</td><td>（1）</td><td>（2）</td></tr>
<tr><td>AES</td><td>（3）</td><td>（4）</td></tr>
</table>
※WPA仕様書では、暗号プロトコル「AES」は必須ではないため、WPAをサポートしていても、AESをサポートしていない場合がある。
② WPAにて認証に外部サーバを用いる方式を表す。上記表内の（2）または（4）の方式。</td></tr>
<tr><td>WPA - パーソナル</td><td>WPAにて認証に外部サーバも用いない方式を表す。上記表内の（1）または（3）の方式。</td></tr>
<tr><td>アドホック（ad hoc）通信</td><td>無線LANアクセスポイントを使わず、無線LAN端末同士で通信を行うモードの通信。</td></tr>
</table>

暗号化キー	暗号化を行う鍵のことで、暗号化方式により、公開鍵と共有（秘密）鍵の2種類ある。
インフラストラクチャ通信	無線LAN端末と無線LANアクセスポイントを利用した形態の通信。
オープンシステム認証	無線LANの認証方式の1つ。無線LAN端末からは資格情報なしに無線LANアクセスポイントに認証依頼を行い、無線LANアクセスポイントは依頼された認証をそのまま受け入れる。そのため、ネットワークキーによる認証は行われていない（サーバ認証とは別）。
キーインデックス	WEP暗号化方式では、仕様上4つのWEPキーを切り替えることができる。WEP暗号化方式では、無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の両方のキーインデックスを同じにしなければいけない。製品によってはキーインデックスの値が「0～3」のものと「1～4」のものがあり、設定に注意しなければならない。
キー更新間隔	暗号化キーを生成するデータ量間隔または時間間隔のこと。
共有キー認証	無線LANの認証方式の1つ。無線LANアクセスポイントと端末はネットワークキーを用いたチャレンジレスポンス認証を行う。
ネットワークキー	共有キー認証の「“認証キー”」と暗号化機能の「“暗号化キー”または“PSK”」の両方に用いられる“キー”のこと。
ネットワーク認証	無線LANの認証方式の総称。オープンシステム認証、共有キー認証、WPA、WPA - パーソナル、WPA2、WPA2 - パーソナルなどがある。
無線LANアクセスポイント	ネットワークに無線LAN端末を接続する機器であり、一般的には有線LANのHUBに相当する機能を持つ。

USBコネクタ

[022000-27]

- 使用上の注意. 187
- USB機器の取り付け／取り外し. 189

使用上の注意

[022001-27]

- 本機のUSBコネクタには、USB 1.1対応機器、USB 2.0対応機器、USB 3.0対応機器が取り付け可能です。
  ただし、対応する規格の異なるUSBコネクタにUSB機器を取り付けたときの、動作規格（転送速度）については次の表をご覧ください。

		本体側コネクタ
		USBコネクタ（USB 3.0対応）（SS）
取り付ける機器	USB 1.1対応機器	USB 1.1（12Mbps※1）
	USB 2.0対応機器	USB 2.0※2（480Mbps※1）
	USB 3.0対応機器	USB 3.0※3（5Gbps※1）

  ※1　記載の速度は理論値（最大）です。

  ※2　USBハブ、USBケーブルもUSB 2.0に対応したものを使用する必要があります。

  ※3　USBハブ、USBケーブルもUSB 3.0に対応したものを使用する必要があります。

- USB機器の取り付け／取り外しを行うときは、3秒以上の間隔をおいて行ってください。
- USBコネクタにプラグをすばやく抜き差ししたり斜めに差したり半差しにしたりすると、正常に認識されないことがあります。その場合はプラグをUSBコネクタから抜いて、正しく差しなおしてください。
- 初めてUSB機器を取り付けたときに、画面に何も表示されない場合は、USBコネクタにプラグを正しく差し込めていない可能性があります。いったんプラグを抜き、再度差し込んでみてください。
- スリープ状態に移行する前にUSB機器（マウスまたはキーボード以外）を取り外してください。USB機器を取り付けた状態ではスリープ状態に移行または復帰できない場合があります。
- 省電力状態（スリープ状態や休止状態）の時や、省電力状態への移行中、省電力状態からの復帰中は、USB機器の取り付け／取り外しをしないでください。
- 省電力状態への移行中は、取り付けているUSB機器を操作しないでください。
- 外付けUSBハブ経由でUSB機器を使用する場合は、USBハブを本機に取り付けてから、USBハブにUSB機器を取り付けるようにしてください。USB機器を取り付けた状態でUSBハブを本機に取り付けると、USB機器が正常に認識されないことがあります。
- USB機器の有無にかかわらず「デバイス マネージャー」にある「ユニバーサル シリアル バス コントローラー」は削除、無効にしないでください。
- 印刷中にプリンタが停止し、「印刷キュー」に印刷中のドキュメントが残っている場合は、すべてのドキュメントを一度キャンセルし、プリンタに取り付けているUSBケーブルを抜き差ししてから再度印刷してください。
  なお、印刷中ドキュメントのキャンセルには時間がかかる場合があります。

メモ

- 本機でのUSB機器の動作確認情報については、各機器に添付のマニュアルをご覧いただくか、各機器の発売元にお問い合わせください。なお、NEC製のUSB対応機器の情報は、NECの「ビジネスPC」サイト（http://jpn.nec.com/bpc/）から、次の手順で確認してください。

  1 **「サポート情報（ダウンロード）」をクリック**

  2 **「ご使用中のお客様」にある「製品検索一覧」をクリック**

  3 **「旧モデル検索（最新機種も含む）」にある「PC本体型番検索」をクリック**

  お使いのモデルの型番で検索し、取り付け可能なUSB対応機器を確認してください。
- 取り付ける機器によっては、接続ケーブルが必要な場合があります。

USB機器を制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で、USBコネクタの有効／無効を設定して、USB機器の使用を制限することができます。
また、添付のDeviceLockでも、取り付けているUSB機器単位で読み込みや書き込みを制限することができます。

参照

- **I/O制限について**
  「セキュリティ機能」の「I/O制限 (P. 207)」
- **DeviceLockについて**
  「セキュリティ機能」の「DeviceLock Lite (P. 215)」

USB機器の取り付け／取り外し

[022002-27]

取り付けの前に

機器によっては、使用するためにドライバやアプリケーションのインストール、設定の変更などが必要になる場合があります。
USB機器に添付のマニュアルなどをご覧になり、必要な準備を行ってください。

メモ

- 取り付けてすぐ使うことができるUSB機器がありますが、そのままではいくつかの機能が制限される可能性があります。必ず添付のマニュアルをよく読んでください。
- USB機器は、本機の電源を入れたままの状態でも取り付けることができます。取り付け前に電源を切る必要はありません。
- 外付けUSBハブ経由でUSB機器を使用する場合は、はじめにUSBハブを本機に取り付けてから、USBハブにUSB機器を取り付けるようにしてください。

USB機器の取り付け

1 USBコネクタ（USB 3.0対応）（または）にプラグを差し込む

プラグの向きに注意して、止まるまで軽く押し込んでください。

取り付けたUSB機器が正しく本機に認識されたかどうかを確認してください。確認する方法は、機器の種類によって異なります。機器によっては、取り付けた後で別の設定作業が必要になる場合があります。詳しくは、各USB機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。

USB機器の取り外し

1 タスク バーの通知領域のをクリックし、またはをクリック

このアイコンが表示されていない場合は手順3に進んでください。

2 表示された「×××××の取り出し」から、取り外したいUSB機器をクリック

安全に取り外しができるという内容のメッセージが表示されます。
表示された「×××××の取り出し」に取り外したいUSB機器がない場合は手順3に進んでください。

3 USB機器を取り外す

以上でUSB機器の取り外しは完了です。

Bluetooth機能

[023100-27]

本機のBluetooth機能について説明しています。

- 概要. 191
- セキュリティに関するご注意. 193
- 使用上の注意. 194
- Bluetooth機能の設定と接続. 196
- Bluetooth機能のオン／オフ. 201

概要

[023101-27]

Bluetooth機能について

Bluetooth（ワイヤレステクノロジー）機能は、Bluetoothワイヤレステクノロジーが搭載された機器とデータ通信を行うBluetooth Special Interest Group（SIG）が策定した世界標準の通信規格です。

Bluetooth機能でできること

次のような、Bluetooth機器とワイヤレスで接続することができます。

- マウスやキーボード
- 携帯電話、タブレット
- ヘッドセット、ヘッドフォン

など

最大で7台のBluetooth機器を同時に接続できます。

チェック

- Bluetooth機能をお使いになる前に、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- 同時に利用するBluetooth機器の台数が多い場合、通信負荷が大きくなり動作に影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth機器によっては、複数同時に使用できない仕様のものがあります。
- 同じ種類のBluetooth機器でも機能差がある場合があります。
- Bluetooth機能は、すべてのBluetooth機器に対して動作を保証するものではありません。Bluetooth機器の動作環境と接続の可否を確認してください。

接続できる機器

本機のBluetooth機能は、Ver.1.1以降でVer.4.0までのいずれかの規格に対応した機器（マウスやキーボードなど）と接続できます。ただし、接続する機器が、Bluetoothプロファイルに対応している必要があります。また、使用する機器やソフトによっては接続できないことがあります。機器をご購入する前に製造元や販売店に確認してください。
対応しているBluetoothプロファイルについては、電子マニュアルビューアでお使いの機種の「タイプ別仕様詳 細」をご覧ください。
http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

シンプルペアリング機能（Ver.2.1以降）に対応した機器と接続する場合は、パスキー（PINコード）を入力することなく機器同士をペアリングすることができます。

また、次の機能が強化されています。

- **省電力機能（Ver.2.1以降）**
  Ver.2.0＋EDRよりも省電力が強化され、マウスやキーボードなどのバッテリ駆動時間の延長に効果があります。
- **ペアリング機能**
  第三者の介入によって情報が傍受される可能性を排除する防御機能が搭載されています。
- **Enhanced Data Rate（EDR）機能**
  従来の規格の約3倍（理論上）の速度で通信を行えます。
- **Advanced Frequency Hopping（AFH）機能**
  無線LAN（IEEE802.11b/g/n）など、他の2.4GHz帯域を利用する無線機器が利用している周波数を避けて干渉の可能性を低減させます。

  チェック
  - 回避できる周波数帯域が確保できない場合は、この機能の効果が得られないことがあります。
  - 2.4GHz帯域の中でも無線LAN（IEEE802.11n）はより強い干渉を受ける場合があります。

- **Low Energy機能（Ver.4.0以降）**
  従来の機器に比べて低消費電力のBluetooth Smart機器（マウスなど）と接続することが可能です。

通信距離と速度

通信できる距離

本機は、相手の機器間と見通しで約10mの範囲まで通信できます。ただし、10m以内でもデータ通信タイミングを必要とする音楽データ通信などは音とびが発生する場合があります。

通信速度

実際の通信速度は、各通信モードの規格値の半分程度を目安にしてください。
Enhanced Data Rate（EDR）規格に対応した機器同士の最大通信速度は3Mbps（規格値）です。
前述のHSおよびEDRに対応していない機器の場合（Basic Rate:BR）は、最大通信速度（非同期）は1Mbps（規格値）です。

チェック

接続する機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のソフト、およびOSなどによって、通信速度や距離は大きく変化します。

セキュリティに関するご注意

[023102-27]

Bluetooth機能では、セキュリティを確保するため、機器ごとに割り振られた固有のIDで機器の識別をしています。さらにパスキー（PINコード）を設定して接続認証を行ったり、通信データを暗号化することで通信を傍受された場合にもデータの内容を守ることができます。また、通信中に使用する周波数帯域を接続単位ごとにランダムに変更しながら通信することで通信傍受されにくくなっています。

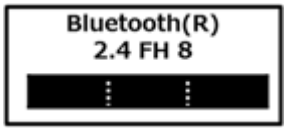
チェック

- これらの設定は危険性をより低くするための手段であり、安全性を100%保証するものではありません。
- 身に覚えのない接続を要求された場合は、無視するか受付をしないでください。

使用上の注意

[023103-27]

- 接続相手と通信中（ファイル転送中やプリンタで印刷中、オーディオ機器で音楽再生中など）に、本機を休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 本製品に標準内蔵以外のBluetooth® ワイヤレステクノロジー機器をセットアップして使用しないでください。
- Bluetooth対応オーディオ機器をご使用になる場合は、SCMS-T方式の著作権保護機能をサポートした機器をおすすめします。本機を用いて著作権保護されたデータのコピーを作成することは違法となる場合があります。
- 本製品には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz全帯域（2.4GHz～2.4835GHz）を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域（2.427GHz～2.47075GHz）と重複しており、この重複する周波数帯での干渉を回避することができません。変調方式としてFH-SS方式を採用しており、与干渉距離は80mです。



- 本製品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人 電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を下回っています。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- 自動ドアや火災報知機等、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります（本製品の電源を入／切することで影響の原因になっているかどうか判別できます）。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
  - 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
  - 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本製品の電力を供給してください。
  - 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。
- トラック無線（CB無線）やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。
  詳しくは、ご使用場所の管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。
- 本製品は、Bluetooth® パスキー（PINコード）や暗号化機能等を使用することにより、無線ネットワークでの不正アクセスを防止することが可能ですが、日頃からの接続デバイスの管理をされることをおすすめします。

- 病院内や航空機内など電子機器、無線機器の使用が禁止されている区域では使用しないでください。機器の電子回路に影響を与え、誤作動や事故の原因になるおそれがあります。
- 埋め込み型心臓ペースメーカーを装備されているかたは、本商品をペースメーカー装置部から30cm以上離して使用してください。
- その他、本製品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、NECまたはご購入元にお問い合わせください。

Bluetooth機能の設定と接続

[023104-27]

メモ

安定した通信のため、次の点にご注意ください。

- 本機と接続するBluetooth機器との距離は、できるだけ近くする
- 接続するBluetooth機器との間に障害物を置かないようにする
- 金属製のパソコンラックなどで本機を使用しない
- 通信中は近くで同じ周波数帯域を使用する電子レンジや他の無線機器を使用しない

Bluetooth機器の接続

Bluetooth機器を接続するときは、機器に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

1 接続するBluetooth機器を接続可能な状態にする

2 タスク バーの通知領域の▲をクリックして表示されるBluetooth（Bluetooth デバイス）をクリックし、表示されたメニューから「デバイスの追加」をクリック

メモ

Bluetooth（Bluetooth デバイス）がない場合は、「Bluetooth機能のオン／オフ (P. 201)」をご覧になり、Bluetooth機能をオンにしてください。

「デバイスの追加」画面が表示され、Bluetooth機器が検索され一覧に表示されます。

3 接続するBluetooth機器を選択し、「次へ」ボタンをクリック

チェック

デバイスの追加で認証エラーが発生し自動で接続できない場合には「再実行」をクリックし、デバイスを選んで「次へ」をクリックします。「ペアリングオプションの選択」でデバイスのマニュアルに記載のデバイスのペアリングコードを入力するか、もしくはペアリングコードを使用しないを選択して接続を繰り返してみてください。

メモ

- 接続したい対象が表示されない場合は画面下の「Windowsでデバイスが検出されない場合の対処方法」をクリックして対処を実施してください。
- 登録済みのデバイスを確認する場合は、タスク バーの通知領域の をクリックして表示される （Bluetooth デバイス）をクリックし、「Bluetooth デバイスの表示」をクリックして一覧を開いて確認してください。

4 「このデバイスは、このコンピューターに正常に追加されました」と表示されたら「閉じる」ボタンをクリック

チェック

- Bluetoothキーボードを接続するときにパスキー（PINコード）の入力を求められたときは、画面に表示されたコードを入力して最後に【Enter】を押してください。その他の機器でパスキー（PINコード）の入力を求められたときは、その製品に添付のマニュアルなどでご確認ください。
- ドライバのインストール中に本機の動作が遅くなる場合があります。
- ドライバによっては再起動を求められる場合があります。
- Bluetooth対応オーディオ機器を使用する場合は、SCMS-T方式の著作権保護機能をサポートした機器をおすすめします。
- Bluetooth機器によってサポートしている機能に差分があったりアプリケーションソフトが対応できなかったりする場合がありますので、ご購入前にサポート機能の確認を行ってください。

メモ

- Bluetooth対応オーディオ機器（ステレオヘッドフォンなど）を接続していて音が切れる（音飛びする）場合は、一度切断して本機のBluetooth側から再接続することをおすすめします。これはオーディオ機器によるホスト処理の負荷が高いため、遅れが出る場合があるからです。解決しない場合は、本機と接続機器の距離を近くするか、バッテリ駆動の機器の場合はバッテリ容量の残量を確認してください。
- 無線LANを使用していない（アクセスポイントに接続していない）ときに、接続しているBluetooth機器の動作が不安定（オーディオ機器のノイズ、マウスのカクツキなど）な場合は、無線LAN機能のみをオフにしてください。システム処理の負荷を軽減することができます。

参照

無線LAN機能のオン／オフについて
「無線LAN機能」の「無線LAN機能のオン／オフ (P. 162)」

Bluetooth機能の設定を変更する

必要に応じてBluetooth機能の設定を変更することができます。設定の変更は次の手順で行ってください。

1 タスク バーの通知領域の をクリックして表示される （Bluetooth デバイス）をクリックし、表示されたメニューから「設定を開く」をクリック

メモ

（Bluetooth デバイス）がない場合は、「Bluetooth機能のオン／オフ (P. 201)」をご覧になり、Bluetooth機能をオンにしてください。

「Bluetooth 設定」-「オプション」タブの詳細は、「Bluetooth デバイスの設定を変更します。」をクリックして表示される「Windows ヘルプとサポート」を参照ください。
「Bluetooth 設定」-「COM ポート」タブの詳細は、「Bluetooth デバイスの COMポートを選択します。」をクリックして表示される「Windows ヘルプとサポート」を参照ください。

チェック

接続したBluetooth機器の設定変更の方法は、機器に添付のマニュアルを参照ください。

Bluetooth接続でのファイルの送受信

Bluetooth機器間で一時的に小さなファイルを簡単にやりとりすることができます。

ファイルの送信

ファイルの送信は次の手順で行います。

1 送信するファイルを右クリックし、表示されたメニューから「送る」→「Bluetooth」をクリック

チェック

複数のファイルをまとめて送信したい場合でも、フォルダの送信はできません。ファイルを送信してください。

2 「次へ」をクリック

3 リストに表示される送信先のデバイスを選択し、「次へ」ボタンをクリック

送信先が見つからない場合は「更新」ボタンをクリックしてください。

4 受信側（送信先）でファイルの受け取りを承諾する

メモ

受信側のBluetooth機器でのファイル受信については、機器により異なるので受信側の機器のマニュアルをご覧ください。

受信側で受信を許可すると、「Bluetoothデバイスのファイル送信ウィザード」上でファイルの送信が開始されます。
「転送が完了しました。」と表示されれば送信終了です。

5 「完了」ボタンをクリック

メモ

タスク バーの通知領域の をクリックして表示される （Bluetooth デバイス）をダブルクリックし、ファイルの受け渡しをするデバイスのアイコンをダブルクリックすると表示されるウィンドウの「操作」で、ファイルの送信や相手のファイルの参照ができます。

ファイルの受信

1 送信元のBluetooth機器で、本機へファイルを送信する処理を行う

メモ

送信元のBluetooth機器でのファイル送信については、機器により異なるので送信元の機器のマニュアルをご覧ください。

2 「ファイルを受信中」画面で「承諾」をクリック

チェック

身に覚えのない相手の場合は、「拒否」をクリックし、キャンセルしてください。

3 ファイルの受信が終了し、「受信したオブジェクト」画面が表示されたら、リストの受信したファイル名を選び「開く」をクリック

受信したファイルを確認することができます。
ファイルの受信に使用するフォルダは、工場出荷時の状態では、次のフォルダに設定されています。

- **ファイル受信時の格納先、フォルダ共有時の共有フォルダ：**「スタート」ボタン→「ドキュメント」の「受信したファイル」

Bluetooth機器の接続の切断

接続先のデバイスのマニュアルを参照し、切断してください。

Bluetooth機器の登録削除

使用しないBluetooth機器の登録を削除する場合は、次の手順で行います。

1 **タスク バーの通知領域の をクリックして表示される（Bluetooth デバイス）をクリックし、表示されたメニューから「Bluetooth デバイスの表示」をクリック**

> **メモ**
>
> （Bluetooth デバイス）がない場合は、「Bluetooth機能のオン／オフ (P. 201)」をご覧になり、Bluetooth機能をオンにしてください。

Bluetooth機器の一覧が表示されます。

2 **登録を削除したいBluetooth機器のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「デバイスの削除」をクリック**

デバイス削除の確認画面が表示されます。

3 **「はい」ボタンをクリック**

Bluetooth機能のオン／オフ

[023105-27]

Bluetooth機能のオン／オフを切り替えるには、次の方法があります。

- ワイヤレススイッチ（【Fn】＋【F2】）で切り替える. 201
- 「デバイス マネージャー」で切り替える. 202

チェック

他の機器に影響を与える場合やBluetooth機能を使用しない場合、Bluetooth機能が使用できない環境で本機を使用する場合は、Bluetooth機能をオフにしてください。

Bluetooth機能の状態については、タスク バーの通知領域の をクリックして表示されるアイコンで確認できます。

アイコン	Bluetooth機能の状態
	スタンバイ／動作中
アイコン無し	オフ

ワイヤレススイッチ（【Fn】＋【F2】）で切り替える

【Fn】＋【F2】を押すことで、Bluetooth機能を含むワイヤレス機能のオン／オフを切り替えることができます。

チェック

- この方法でオフにした場合、Bluetooth機能を含むすべてのワイヤレス機能がオフになります。
- Bluetooth機能を含むワイヤレス機能をオンにした時に、Bluetoothのドライバのインストールが始まった場合は、インストールが完了するまでお待ちください。また、再起動を促すメッセージが表示された場合は、本機を再起動してください。
- Intel® WiDiを使用している場合、接続に利用している無線LAN機能もオフになるため使用できなくなります。
- この方法でBluetooth機能を含むワイヤレス機能のオン／オフを切り替えた場合、BIOSセットアップユーティリティの「Advanced」メニュー-「Wireless Device RF」の設定値が変更されます。
- Bluetooth機能のオン／オフ切り替え時、ドライバの組み込み／取り外しに時間がかかる場合があります。再度、Bluetooth機能のオン／オフを行う場合は、切り替えが完了したのを確認してから行うようにしてください。切り替えが完了しないうちに、連続してオン／オフの操作を行わないようにしてください。

参照

- **【Fn】について**
  「キーボード」の「キーの使い方 (P. 70)」
- **BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について**
  「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」および「設定項目一覧 (P. 222)」

「デバイス マネージャー」で切り替える

Bluetooth機能のみをオフにしたい場合は、「デバイス マネージャー」でBluetooth機能をオフにしてください。
「デバイス マネージャー」でのBluetooth機能のオン／オフの切り替えは、次の手順で行います。

チェック

オンにする

1. 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
2. 「Bluetooth 無線」をダブルクリック
3. 「インテル(R) ワイヤレス Bluetooth(R) 」を右クリックし、表示されたメニューから「有効」をクリック

オフにする

1. 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
2. 「Bluetooth 無線」をダブルクリック
3. 「インテル(R) ワイヤレス Bluetooth(R) 」を右クリックし、表示されたメニューから「無効」をクリック

   確認画面が表示されます。

4. 「はい」ボタンをクリック

セキュリティ機能

[022500-27]

本機で利用可能なセキュリティ機能について説明しています。

- セキュリティ機能について . . . 204
- スーパバイザパスワード／ユーザパスワード . . . 205
- ハードディスクパスワード機能 . . . 206
- I/O制限 . . . 207
- 盗難防止用ロック . . . 208
- DEP（Data Execution Prevention）機能 . . . 209
- 暗号化ファイルシステム（EFS） . . . 210
- インテル® アイデンティティー・プロテクション・テクノロジー . . . 211
- ウイルス検出・駆除 . . . 212
- セキュリティチップ機能 . . . 213
- NASCA . . . 214
- DeviceLock Lite . . . 215

セキュリティ機能について

[022501-27]

本機には、機密データの漏えいや改ざんを防止したり、コンピュータウイルスの侵入を防ぐために、次のようなセキュリティ機能があります。

チェック

- お使いのモデルによっては使用できない場合があります。詳しくは各機能の説明をご覧ください。
- 工場出荷時にインストールされていない機能やアプリケーションのインストールには、光学ドライブが必要です。
- 本機の各種セキュリティ機能は、完全なセキュリティを保証するものではありません。セキュリティ機能を使用している場合でも、重要なデータなどの管理や取り扱いには十分注意してください。

- スーパバイザパスワード／ユーザパスワード . . . 205
- ハードディスクパスワード機能 . . . 206
- I/O制限 . . . 207
- 盗難防止用ロック . . . 208
- DEP（Data Execution Prevention）機能 . . . 209
- 暗号化ファイルシステム（EFS） . . . 210
- インテル® アイデンティティー・プロテクション・テクノロジー . . . 211
- ウイルス検出・駆除 . . . 212
- セキュリティチップ機能 . . . 213
- NASCA . . . 214
- DeviceLock Lite . . . 215

スーパバイザパスワード／ユーザパスワード

[022502-27]

スーパバイザパスワード／ユーザパスワードは、BIOSセットアップユーティリティの起動や設定、本機の使用を制限するためのパスワードです。

BIOSセットアップユーティリティの使用者の制限

スーパバイザパスワード／ユーザパスワードを設定すると、BIOSセットアップユーティリティ起動時にパスワードの入力画面が表示されます。スーパバイザパスワードまたはユーザパスワードを入力しない限り、BIOSセットアップユーティリティは起動できません。
また、ユーザパスワードを入力してBIOSセットアップユーティリティを起動した場合、設定可能な項目が制限されます。本機の管理者と使用者が異なるときに、使用者が設定変更してしまうことを防止する場合などに有効です。

本機の不正使用の防止（BIOS認証）

スーパバイザパスワード／ユーザパスワードを設定し、BIOSセットアップユーティリティの「Security」メニューで「Password Check」を「Always」に変更してください。

本機の起動時にパスワード入力画面が表示され、本機を使用するにはスーパバイザパスワードまたはユーザパスワードの入力が必要になります。

チェック

- ユーザパスワードは、スーパバイザパスワードが設定されていなければ設定できません。
- NECに本機の修理を依頼される際は、設定してあるパスワードは解除しておいてください。
- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは本機を再セットアップしても解除できません。パスワードを忘れてしまった場合、有償での解除処置となります。詳しくは「トラブル解決Q&A」の「電源」-「パスワードを忘れてしまった (P. 353)」をご覧ください。

参照

BIOSセットアップユーティリティについて
「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」

ハードディスクパスワード機能

[022503-27]

本機のSSDにハードディスクパスワードを設定することで、本機のSSDを本機以外のパソコンに取り付けて使用するときにパスワードの入力が必要になり、不正使用や重要なデータの漏えいを防止できます。

ハードディスクパスワードには、ハードディスクマスタパスワードとハードディスクユーザパスワードの2つがあります。

ハードディスクマスタパスワード

管理者がハードディスクの認証やハードディスクパスワードの設定変更を行うパスワードです。

ハードディスクユーザパスワード

使用者がSSDの認証やハードディスクパスワードの設定変更を行うためのパスワードです。

チェック

- ハードディスクユーザパスワードは、ハードディスクマスタパスワードが設定されていなければ設定できません。
- 購入元またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除または無効にしておいてください。また、起動できずにパスワードを解除または無効にできない場合は、修理から戻ってきた際に、使用していたマスタパスワードとユーザパスワードを再設定してください。
- ハードディスクパスワードを忘れてしまった場合、NECに持ち込んでもロックの解除はできません。SSDに保存されているデータは二度と使用できなくなり、SSDも有償で交換することになります。ハードディスクパスワードは忘れないように十分注意してください。

参照

ハードディスクパスワードの設定について

「システム設定」の「設定項目一覧」-「「Security」メニュー (P. 227)」

I/O制限

[022504-27]

本機では、BIOSセットアップユーティリティで、各種デバイスのI/O（データの入出力）を制限することができます。この機能を利用することで、部外者のデータアクセスや、システムに影響を及ぼすアプリケーションのインストールを制限することができます。
本機では、主にこれらのデバイスのI/Oを制限することができます。

- 光学ドライブ※1
- SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロット
- USBコネクタ
- HDMIコネクタ

※1 USB接続の光学ドライブを使用する場合は、USBコネクタを制限することで使用を制限します。

参照

I/O制限について
「システム設定」の「設定項目一覧」-「「Advanced」メニュー (P. 224)」

盗難防止用ロック

[022505-20]

別売のセキュリティケーブル（PC-VP-WS16）を利用することで、本機を机などに繋ぐことができ、本機の盗難防止に効果的です。

チェック

当社製セキュリティケーブル（PK-SC/CA01）は、本機では使用できません。ご注意ください。

参照

盗難防止用ロックについて

「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 18)」

DEP（Data Execution Prevention）機能

[022507-27]

不正なプログラムやデータの実行をハードウェア的に防止する機能です。コンピュータウイルスが不正にプログラムコードを書き込んだり、実行しないようにすることができます。

暗号化ファイルシステム（EFS）

[022510-27]

EFS（Encrypting File System）は、Windows 7 Professionalの標準ファイルシステムであるNTFSが持つファイルやフォルダの暗号化機能です。暗号化を行ったユーザー以外、データ復号化が行えないため、高いセキュリティ効果をもたらすことが可能です。

インテル® アイデンティティー・プロテクション・テクノロジー

[022519-27]

本機は、インテル® アイデンティティー・プロテクション・テクノロジーに対応しています。

インテル® アイデンティティー・プロテクション・テクノロジーに対応したWebサイトにアクセスする際、ユーザー名やパスワードなどに、30秒ごとに更新されるワンタイムパスワードを組み合わせて使用することで、不正アクセス防止を強化します。

ウイルス検出・駆除

[022508-27]

チェック

マカフィー リブセーフは、工場出荷時にはインストールされていません。

コンピュータウイルスの検出、識別、および駆除を行うためのアプリケーションとして「マカフィー リブセーフ」が添付されています。

参照

マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「マカフィー リブセーフ (P. 332)」

セキュリティチップ機能

[022509-27]

本機はTPM（Trusted Platform Module）と呼ばれるセキュリティチップを実装しており、セキュリティチップ内で暗号化や復号化、鍵の生成を行うことで、強固なセキュリティを実現します。
また、セキュリティチップ上に暗号化キーを持つため、SSDを取り外して持ち出されても、セキュリティチップ上の暗号化キーを用いて暗号化したデータは読み取られることはありません。

参照

セキュリティチップ機能について
「セキュリティチップ ユーティリティ」-「概要 (P. 235)」

NASCA

[022513-27]

チェック

NASCAは、工場出荷時にはインストールされていません。

NASCAは、複数の認証方法を使用した高度な個人認証機能です。
認証情報を登録していない第三者が本機を使用することを防止したり、Webサイトへのアクセスやアプリケーションの実行に必要な情報（パスワードなど）を自動的に保存、入力することができます。
保存された情報は、セキュリティチップと連携することによって、安全に管理されます。

参照

NASCAについて
「アプリケーションディスク」の「NASCA」フォルダの「NASCA User's Guide.chm」

DeviceLock Lite

[022514-27]

チェック

DeviceLock Liteは、工場出荷時にはインストールされていません。

DeviceLock Lite（以下、DeviceLock）は、各種周辺機器の使用を制限することができるアプリケーションです。

参照

DeviceLockについて

「便利な機能とアプリケーション」の「DeviceLock Lite (P. 310)」

システム設定

[030000-27]

- BIOSセットアップユーティリティについて. 217
- 設定項目一覧. 222

BIOSセットアップユーティリティについて

[030100-27]

- BIOSセットアップユーティリティの起動. 218
- BIOSセットアップユーティリティの基本操作. 219
- BIOSセットアップユーティリティの終了. 220
- 工場出荷時の設定値に戻す. 221

BIOSセットアップユーティリティの起動

[030101-27]

1 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

チェック

BIOSセットアップユーティリティが表示されない場合は、【F2】を押す間隔を変えてください。

BIOSセットアップユーティリティの基本操作

[030102-27]

チェック

BIOSセットアップユーティリティで設定を行っている間は、本機の電源スイッチで電源を切らないでください。
電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切るか、設定を保存しても良い場合は「Exit」メニューから「Save Changes and Power Off」を選択して電源を切ってください。

BIOSセットアップユーティリティの操作、設定はキーボードで行います。

BIOSセットアップユーティリティでの使用する主なキーについては次をご覧ください。

キー	機能・操作
【←】【→】	「Main」「Advanced」などのメニューバーの項目を選択します。
【↑】【↓】	● 設定項目を選択します。 ● 設定可能な値を一覧表示している場合は、設定値を選択します。
【Enter】	● 現在の項目に設定可能な値を一覧表示し、選択するメニューを表示します。また設定値を決定しメニューを閉じます。 ● ▶印が付いた設定項目でサブメニューを表示します。 ● 「System Time」「System Date」で設定する桁を移動します。
【Esc】	● 設定を保存せず、BIOSセットアップユーティリティを終了します。 ● サブメニュー表示時、前の画面に戻ります。
【F9】	BIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻します。
【F10】	設定の変更を保存し、本機を再起動します。
【Tab】	「System Time」「System Date」で設定する桁を移動します。

BIOSセットアップユーティリティの終了

[030103-27]

チェック

BIOSセットアップユーティリティ終了後に電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切るか、設定を保存しても良い場合は「Exit」メニューから「Save Changes and Power Off」を選択して電源を切ってください。

変更を保存して終了する

1 【F10】を押す

確認の画面が表示されます。中止したいときは【Esc】を押してください。

2 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

メモ

メニューバーの「Exit」で「Save Changes and Reset」または「Save Changes and Power Off」を選択し、BIOSセットアップユーティリティを終了することもできます。「Save Changes and Power Off」を選択した場合は、BIOSセットアップユーティリティ終了後に本機の電源が切れます。

変更を保存せず終了する

1 キーボードの【←】【→】でメニューバーの「Exit」を選択する

メニューが表示されます。

2 キーボードの【↓】で「Discard Changes and Reset」を選択し、【Enter】を押す

設定の保存についての確認画面が表示された場合は、「Yes」を選択して【Enter】を押してください。
設定値を変更せずにBIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

工場出荷時の設定値に戻す

[030104-27]

チェック

BIOSセットアップユーティリティ終了後に電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切るか、設定を保存しても良い場合は「Exit」メニューから「Save Changes and Power Off」を選択して電源を切ってください。

設定を工場出荷時の値に戻すときは、次の手順で行ってください。

1 BIOSセットアップユーティリティを起動する

2 【F9】を押す

確認の画面が表示されます。
中止したいときは【Esc】を押してください。

3 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

工場出荷時の設定値を読み込みます。

4 【F10】を押す

確認の画面が表示されます。

メモ

メニューバーの「Exit」で「Save Changes and Reset」または「Save Changes and Power Off」を選択し、BIOSセットアップユーティリティを終了することもできます。「Save Changes and Power Off」を選択した場合は、BIOSセットアップユーティリティ終了後に本機の電源が切れます。

5 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

以上で設定は完了です。

設定項目一覧

[030200-27]

- 「Main」メニュー. 223
- 「Advanced」メニュー. 224
- 「Security」メニュー. 227
- 「Boot」メニュー. 231

「Main」メニュー

[030201-27]

設定項目	設定値	説明
BIOS Version	–	BIOSのバージョンを表示します。
EC Version	–	ECのバージョンを表示します。
ME FW Version	–	ME FWのバージョンを表示します。
Product Name	–	型番を表示します。
Serial Number	–	製造番号を表示します。
System Time※1	–	現在の時刻を「時：分：秒」（24時間形式）で設定します。
System Date※1	–	現在の日付を「曜日（表示のみ）月/日/年」（西暦）で設定します。
SATA Port3	–	現在マザーボードのSATAインターフェイスに接続されているSSDを表示します。
PCIE Port6	–	現在マザーボードのPCIEインターフェイスに接続されているSSDを表示します。
CPU Type	–	CPUタイプを表示します。
CPU Speed	–	CPU速度を表示します。
System Memory	–	搭載されているメモリ容量と規格、速度を表示します。

※1　ユーザパスワードでBIOSセットアップユーティリティを起動した場合でも設定可能な項目です。

「Advanced」メニュー

[030202-27]

チェック

休止状態からBIOSセットアップユーティリティを起動した場合は、「Advanced」メニューの設定項目は変更しないでください。

設定値欄の【】で囲まれた値は、工場出荷時の設定です。

設定項目	設定値	説明
Fn/Left Ctrl key replacement※1	Enabled **【Disabled】**	「Enabled」に設定すると、本体キーボードの【Fn】と【Ctrl】の機能を入れ換えます。
Wireless Device RF※1 ※2	**【Enabled】** Disabled	「Disabled」に設定すると、ワイヤレス機能の電波を停止します。ワイヤレススイッチ（【Fn】＋【F2】）でワイヤレス機能のオン／オフを行った場合、この項目の設定値が変更されます。
Power Off USB Charge※1	AC AC/Battery **【Disabled】**	スリープ状態、休止状態、および電源オフ時のUSBポート充電の有効／無効を設定します。 ● **AC**：本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続している場合のみ有効 ● **AC/Battery**：有効 ● **Disabled**：無効
No-Execute Memory Protection	**【Enabled】** Disabled	No-Execute Memory Protection機能を有効にします。通常は「Enabled」で使用してください。
Panel Open Power On※1 ※3	Enabled **【Disabled】**	「Enabled」に設定すると、ディスプレイを開けたときに、スリープ状態や休止状態から復帰したり、電源オフ状態から電源をオンにすることができます。
Rotate Function	**【Enabled】** Disabled	画面回転ボタンの有効／無効を設定します。
USB Debug Support※4	Enabled **【Disabled】**	USBによるデバッグ機能を設定します。
Legacy USB Support※4	**【Enabled】** Disabled	USBレガシー機能の有効／無効を設定します。
USB Storage Device Support※4 ※5	**【Enabled】** Disabled	USBストレージデバイスのレガシーエミュレーションの有効／無効を設定します。
USB Storage Device Configuration※4 ※5 ※6	–	接続されたUSBストレージデバイスのエミュレーションタイプを設定します。【Enter】を押すとサブメニューが表示されるので、デバイスごとにエミュレーションタイプを設定してください。 設定できるエミュレーションタイプは次の通りです。

		● **Auto**：接続されているデバイスを自動で判別し、エミュレートします。 ● **Forced FDD**：強制的にフロッピーディスクドライブとしてエミュレートします。 ● **Hard Disk**：ハードディスクドライブとしてエミュレートします。 ● **CD-ROM**：DVD/CDドライブとしてエミュレートします。
Intel Feature Configuration	–	Intel社の各種技術の設定をします。【Enter】を押すとサブメニューが表示されます。 設定については「Intel Feature Configuration (P. 225)」をご覧ください。
Device Configuration	–	周辺入出力機器の設定をします。【Enter】を押すとサブメニューが表示されます。 設定については「Device Configuration (P. 226)」をご覧ください。

※1　ユーザパスワードでBIOSセットアップユーティリティを起動した場合でも設定可能な項目です。

※2　「Device Configuration」で「Wireless LAN」を「Disabled」に設定した場合は表示されません。

※3　「Disabled」に設定していても、コントロール パネルの「電源オプション」で、「カバーを閉じたときの動作」を以下のように設定していると、ディスプレイを開くことでスリープ状態から復帰します。
- 「スリープ状態」
- 「休止状態」

※4　「Device Configuration」で「USB Port」を「Disabled」に設定した場合は表示されません。

※5　「Legacy USB Support」を「Disabled」に設定した場合は表示されません。

※6　「USB Storage Device Support」を「Enabled」に設定し、起動時にUSBストレージデバイスを接続している場合のみ表示されます。

Intel Feature Configuration

設定項目	設定値	説明
Intel(R) VT-x	**【Enabled】** Disabled	「Enabled」を選択すると、Intel® VT-x機能を有効にします。
LCD Panel Power Management※2	Disabled PSR/DPST PSR Only **【DPST Only】**	バッテリ駆動時に有効にする液晶ディスプレイの省電力機能を選択します。 ● **Disabled**：バッテリ駆動時にインテル®ディスプレイ・パワー・セービング・テクノロジーおよびパネル・セルフリフレッシュ機能を有効にしません。 ● **PSR/DPST**：バッテリ駆動時にインテル®ディスプレイ・パワー・セービング・テクノロジーおよびパネル・セルフリフレッシュ機能を有効にします。 ● **PSR Only**：バッテリ駆動時にパネル・セルフリフレッシュ機能を有効にします。 ● **DPST Only**：バッテリ駆動時にインテル®ディスプレイ・パワー・セービング・テクノロジー機能を有効にします。

※2　ユーザパスワードでBIOSセットアップユーティリティを起動した場合でも設定可能な項目です。

Device Configuration

設定項目	設定値	説明
Internal Mouse	**【Enabled】** Disabled	USBマウスを使用するときなど、NXパッドを無効にしたい場合は、「Disabled」に設定します。
USB Port	**【Enabled】** Disabled	「Disabled」に設定すると、USBコネクタ（USB 3.0対応）が使用できなくなります。
Touch Panel	**【Enabled】** Disabled	「Disabled」に設定すると、タッチパネルが使用できなくなります。
Internal Camera※2	**【Enabled】** Disabled	「Disabled」に設定すると、内蔵のWebカメラが使用できなくなります。
SD Card Slot	**【Enabled】** Disabled	「Disabled」に設定すると、内蔵のSD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロットが使用できなくなります。
Wireless LAN	**【Enabled】** Disabled	「Disabled」に設定すると、内蔵の無線LANが使用できなくなります。
HDMI Port	**【Enabled】** Disabled	「Disabled」に設定すると、HDMIポートが使用できなくなります。

※2　Webカメラ搭載モデルを選択した場合のみ表示されます。

「Security」メニュー

[030203-27]

設定値欄の【】で囲まれた値は、工場出荷時の設定です。

設定項目	設定値	説明
Supervisor Password	–	スーパバイザパスワードが設定されているかどうかが表示されます。
User Password	–	ユーザパスワードが設定されているかどうかが表示されます。
Change Supervisor Password	–	スーパバイザパスワードの設定、変更を行います。【Enter】を押すと設定画面が表示されます。
Change User Password※1 ※2	–	ユーザパスワードの設定、変更を行います。【Enter】を押すと設定画面が表示されます。
Password Check※1	**【Setup】** Always	システム起動時にパスワードの入力を求めるかどうかを設定します。
Hard Disk Security		
SATA Port3 : xxxxxxxxx	–	SSDのパスワードの設定をします。【Enter】を押すとサブメニューが表示されます。設定については「Hard Disk Security (P. 228)」をご覧ください。 SSDが接続されていない場合は、本項目は表示されません。
Security Chip Configuration	–	セキュリティチップの設定をします。【Enter】を押すとサブメニューが表示されます。設定については「Security Chip Configuration (P. 229)」をご覧ください。

※1　スーパバイザパスワードを設定すると表示されます。

※2　ユーザパスワードでBIOSセットアップユーティリティを起動した場合でも設定可能な項目です。

スーパバイザパスワード、ユーザパスワードの設定

「Change Supervisor Password」または「Change User Password」にカーソルを合わせて【Enter】を押すと表示される設定画面で設定します。

新しくパスワードを設定する場合は、「Create New Password」欄に設定するパスワードを入力して【Enter】を押し、「Confirm New Password」欄に確認のために同じパスワードを入力して【Enter】を押してください。

設定済みのパスワードを変更する場合は、「Enter Current Password」欄に現在のパスワードを入力して【Enter】を押した後で、新しくパスワードを設定する場合と同様にパスワードを入力してください。

チェック

- パスワードは半角50文字以内で、以下の文字のみ使用することができます。大文字／小文字の区別はありません。
  - A～Z、a～z、0～9
  - -^@[;:],./+
  - 半角スペース
- スーパバイザパスワードの場合、新しいパスワードに何も入力しないで【Enter】を押せば、スーパバイザパスワード、ユーザパスワードの両方が解除されます。
- ユーザパスワードでBIOSセットアップユーティリティを起動した場合、ユーザパスワードを解除することはできません。
- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは本機を再セットアップしても解除できません。パスワードを忘れてしまった場合、有償での解除処置となります。詳しくは「トラブル解決Q&A」の「電源」-「パスワードを忘れてしまった (P. 353)」をご覧ください。

Hard Disk Security

チェック

ハードディスクパスワードの設定を変更する場合は、本機の電源が切れている状態からBIOSセットアップユーティリティを起動し、設定を行ってください。

ハードディスクパスワードの設定を行います。

設定項目	設定値	説明
Hard Disk Security		
HDD Password is	–	内蔵SSDにパスワードが設定されているかどうかが表示されます。
Set Master Password	–	内蔵SSDのマスタパスワードの設定、変更を行います。【Enter】を押すと設定画面が表示されます。
Set User Password※2	–	内蔵SSDのユーザパスワードの設定、変更を行います。【Enter】を押すと設定画面が表示されます。

※2　ユーザパスワードでBIOSセットアップユーティリティを起動した場合でも設定可能な項目です。

ハードディスクパスワードの設定

設定するパスワードの項目にカーソルを合わせて【Enter】を押すと設定画面が表示されます。
すでにパスワードが設定されている場合は「Enter Current Password」欄が表示されるので、現在のパスワードを入力し【Enter】を押します。
「Create New Password」欄に新しいパスワードを入力して【Enter】を押し、「Confirm New Password」欄に確認のために同じパスワードを入力して【Enter】を押すと設定されます。
ハードディスクパスワードを設定しても、ハードディスクマスタパスワードやハードディスクユーザパスワードを本機の起動時に入力する必要はありません。

チェック

- パスワードは半角32文字以内で、以下の文字のみ使用することができます。大文字／小文字の区別はありません。
  - A～Z、a～z、0～9
  - -^@[;:],./+
  - 半角スペース
- ハードディスクパスワードは必ずハードディスクマスタパスワード／ハードディスクユーザパスワードの両方を設定してください。
- ユーザパスワードは、マスタパスワードが設定されていなければ設定できません。
- 購入元またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除または無効にしておいてください。また、起動できずにパスワードを解除または無効にできない場合は、修理から戻ってきた際に、使用していたマスタパスワードとユーザパスワードを再設定してください。
- ハードディスクパスワードを忘れてしまった場合、NECに持ち込んでもロックの解除はできません。SSDに保存されているデータは二度と使用できなくなり、SSDも有償で交換することになります。ハードディスクパスワードは忘れないように十分注意してください。

ハードディスクのロックの解除

本機の起動時にSSDがロックされたという内容のメッセージが表示された場合は、次の手順でハードディスクパスワードを再設定し、SSDのロックを解除してください。

- **ハードディスクユーザパスワードがわかる場合**
  本機の電源を切り、もう一度電源を入れてBIOSセットアップユーティリティを起動し、ハードディスクユーザパスワードを再設定してください。
- **ハードディスクマスタパスワードがわかる場合**
  本機の電源を切り、もう一度電源を入れてBIOSセットアップユーティリティを起動し、ハードディスクマスタパスワードとハードディスクユーザパスワードを再設定してください。

チェック

- SSDがロックされたという内容のメッセージが表示された状態で、ハードディスクユーザパスワードまたはハードディスクマスタパスワードを入力すると一時的にロックを解除することができます。
- ロックを一時的に解除している状態では、スリープ状態および休止状態にしないでください。

ハードディスクパスワードの解除

パスワードを解除したいSSDのマスタパスワードの項目にカーソルを合わせて【Enter】を押し設定画面を表示させます。「Enter Current Password」欄に現在のパスワードを入力し【Enter】を押し、「Create New Password」欄および「Confirm New Password」欄に何も入力しないで【Enter】を押すとパスワードが解除されます。

Security Chip Configuration

セキュリティチップの設定を行うことができます。

設定項目	設定値	説明

TPM Support※1	**【Enabled】** Disabled	「Enabled」に設定すると、セキュリティチップが利用可能になります。
Current TPM State	–	現在のセキュリティチップの設定状態を表示します。
Change TPM State※1 ※2	**【No Change】** Enable&Activate Deactivate&Disable Clear	セキュリティチップの設定を変更します。 「Clear」（セキュリティチップの初期化）は、「Current TPM State」の表示が「Enabled&Activated」の場合のみ選択できます。また、初期化を行うと「Current TPM State」は「Disabled&Deactivated」になります。
Password Authentication ※3	Enabled **【Disabled】**	「Enabled」に設定すると、セキュリティチップの状態を変更するときにスーパバイザパスワードの入力が必要になります。

※1　ユーザパスワードでBIOSセットアップユーティリティを起動した場合でも設定可能な項目です。ただし、「Password Authentication」が「Enabled」に設定されている場合は変更できません。

※2　「TPM Support」を「Enabled」に設定している場合のみ設定可能となります。

※3　スーパバイザパスワードが設定済みで、かつ「TPM Support」の設定が「Enabled」の場合のみ設定できます。

チェック

- 本機能を使用する場合は、スーパバイザパスワード／ユーザパスワードを併用し、BIOSセットアップユーティリティのセキュリティを強化してお使いください。また、「Boot」メニューで、「1st Boot」に「Hard Disk」を設定することをおすすめします。
- 「Password Authentication」を「Enabled」に設定した場合、起動時にパスワードの入力画面が表示されます。設定の変更を有効にするには、スーパバイザパスワードを入力してください。間違ったパスワードやユーザパスワードを入力した場合、設定の変更は無効になります。
- セキュリティチップ機能のユーザー情報を初期化すると、Windows上で保護したデータが参照できなくなりますので、必要なデータは参照可能な場所に退避してから初期化を行ってください。また、本機を廃棄する際には、ユーザー情報を初期化することで、データの漏えいを防ぐことができます。

参照

セキュリティチップ機能について

「セキュリティチップ ユーティリティ (P. 234)」

「Boot」メニュー

[030204-27]

チェック

「Boot」メニューは、ユーザパスワードで起動したときには変更できません。

設定値欄の【】で囲まれた値は、工場出荷時の設定です。

設定項目	設定値	説明
Boot Mode	**【Legacy】** UEFI	Boot Modeの設定をします。この項目の設定は変更しないでください。
Boot Device Priority		
1st Boot	**【USB CD/DVD】** USB Floppy Hard Disk USB Hard Disk Disabled	本機を起動するときに、OSを検索するデバイスの順番を設定します。 「1st Boot」から順番に、設定したデバイスからの起動を試みます。設定できるデバイスは次の通りです。 ● **USB CD/DVD**：USB接続の光学ドライブ ● **USB Floppy**：USB接続のフロッピーディスクドライブ ● **Hard Disk**：SSD ● **USB Hard Disk**：USB接続のハードディスクドライブ ● **Disabled**
2nd Boot	USB CD/DVD **【USB Floppy】** Hard Disk USB Hard Disk Disabled	
3rd Boot	USB CD/DVD USB Floppy **【Hard Disk】** USB Hard Disk Disabled	
4th Boot	USB CD/DVD USB Floppy Hard Disk **【USB Hard Disk】** Disabled	
Hard Disk Drive BBS Priorities※1	–	起動するSSDの優先順位を設定します。【Enter】を押すとサブメニューが表示されます。 設定については「Hard Disk Drive BBS Priorities (P. 232)」をご覧ください。
USB Hard Disk Drive BBS Priorities※4	–	起動するUSB接続のハードディスクドライブの優先順位を設定します。【Enter】を押すとサブメニューが表示されます。 設定については「USB Hard Disk Drive BBS Priorities (P. 232)」をご覧ください。
USB CD/DVD Drive BBS Priorities※5	–	起動するUSB接続の光学ドライブの優先順位を設定します。 【Enter】を押すとサブメニューが表示されます。

		設定については「USB CD/DVD Drive BBS Priorities (P. 232)」をご覧ください。
USB Floppy Drive BBS Priorities※3	–	起動するUSB接続のフロッピーディスクドライブの優先順位を設定します。【Enter】を押すとサブメニューが表示されます。設定については「USB Floppy Drive BBS Priorities (P. 232)」をご覧ください。

※1　SSDが接続されている場合に本項目は表示されます。

※3　USB接続のフロッピーディスクドライブが接続されている場合に本項目は表示されます。

※4　USB接続のハードディスクドライブが接続され、かつ「Advanced」メニューの「USB Storage Device Support」を「Enabled」に設定した場合に本項目は表示されます。

※5　USB接続の光学ドライブが接続されている場合に本項目は表示されます。

Hard Disk Drive BBS Priorities

設定項目	設定値	説明
1st Boot	【XXXXX】 Disabled	1st Bootに設定したSSDから起動します。

USB Hard Disk Drive BBS Priorities

設定項目	設定値	説明
1st Boot※1	【XXXXX】 Disabled	1st Bootに設定したUSB接続のハードディスクドライブから起動します。

※1　複数のドライブが存在する場合は、「2nd Boot」のように設定項目が追加されます。

USB CD/DVD Drive BBS Priorities

設定項目	設定値	説明
1st Boot※1	【XXXXX】 Disabled	1st Bootに設定したUSB接続の光学ドライブから起動します。

※1　複数のドライブが存在する場合は、「2nd Boot」のように設定項目が追加されます。

USB Floppy Drive BBS Priorities

設定項目	設定値	説明
1st Boot※1	【XXXXX】 Disabled	1st Bootに設定したUSB接続のフロッピーディスクドライブから起動します。

※1　複数のドライブが存在する場合は、「2nd Boot」のように設定項目が追加されます。

本機の起動時に、OSを起動するデバイスを手動選択する

本機の起動時に、OSを起動するデバイスを手動選択する場合は、次の手順で行います。

チェック

他の設定項目を変更している場合や、【F9】を押すなどで工場出荷時の設定値に戻した場合は、一度変更を保存してBIOSセットアップユーティリティを終了してから本機能を使用してください。

1 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

チェック

- 「Security」メニューのスーパバイザパスワード、ユーザパスワードを設定している場合、パスワード入力画面が表示されます。その場合は、スーパバイザパスワードを入力してください。ユーザパスワードを入力した場合、本機能は使用できません。
- BIOSセットアップユーティリティが表示されない場合は、【F2】を押す間隔を変えてください。

2 キーボードの【←】【→】でメニューバーの「Exit」を選択する

3 「Boot Override」から【↑】【↓】で起動するデバイスを選択し、【Enter】を押す

セキュリティチップ ユーティリティ

[040000-27]

- 概要. 235
- セキュリティチップ機能を利用する準備. 237
- セキュリティチップ ユーティリティの使い方. 253
- 利用できるセキュリティ機能. 259
- セキュリティチップ機能のバックアップと復元. 267
- その他の注意事項. 276
- セキュリティチップ ユーティリティのアンインストール. 280

概要

[040101-27]

セキュリティチップ ユーティリティでは、電子メールの保護機能や、ファイルとフォルダの暗号化（EFS）機能、Personal Secure Drive（PSD）機能を利用することができます。
セキュリティチップ ユーティリティで保護されたファイルは、認証パスワードがないと開くことはできません。
本機は、本体にハードウェア的にTPM（Trusted Platform Module）と呼ばれるセキュリティチップを実装し、セキュリティチップ内で暗号化や復号化、鍵の生成を行うことで、強固なセキュリティを実現します。
また、セキュリティチップ上に暗号化キーを持つため、SSDを取り外して持ち出されても、セキュリティチップ上の暗号化キーを用いて暗号化したデータは読み取られることはありません。

セキュリティチップ ユーティリティをインストールすると、セキュリティチップ ユーティリティで暗号化したファイルを開くときなどに「Infineon Security Platform ユーザー認証」画面が表示されます。ここでパスワードを入力しなかった場合、暗号化されているファイルなどを開くことはできません。パスワードを入力し、認証されたユーザーだけがアクセスできます。
管理者はセキュリティポリシーを設定できるので、必要に応じてユーザーのアクセス権限を変更してセキュリティを管理できます。

機能や操作方法の詳細については、以下をご覧ください。

機能や操作方法の詳細

Infineon Security Platform 設定ツールのオンラインヘルプ（セキュリティチップ ユーティリティを起動し、「Infineon Security Platform 設定ツール」画面にある「ヘルプ」ボタンをクリック）

参照

セキュリティチップ ユーティリティの起動について
「セキュリティチップ ユーティリティの使い方 (P. 253)」

チェック

- セキュリティチップ ユーティリティをインストールした場合は、Windows 7標準のセキュリティチップ機能は使用しないでください。
- セキュリティチップは、データやハードウェアの完全な保護を保証していません。重要なデータなどの管理や取り扱いには十分注意して、運用を行ってください。

メモ

カスタムテキストサイズの設定（DPI）が100%以外の場合、セキュリティチップ ユーティリティの画面からはみ出る場合があります。 その場合は、カスタムテキストサイズの設定（DPI）を下げて（または100%に変更して）ご使用ください。

セキュリティチップ機能を利用する準備

[040200-27]

- セキュリティチップを有効にする. 238
- スーパバイザパスワード／ユーザパスワードの設定. 240
- セキュリティチップ ユーティリティのインストール. 241
- Security Platformの初期化. 243
- Security Platform ユーザーの初期化. 249

セキュリティチップを有効にする

[040201-27]

本機のセキュリティチップ機能を利用するには、BIOSセットアップユーティリティでセキュリティチップを有効にする必要があります。

チェック

- BIOSセットアップユーティリティでセキュリティチップ機能を有効にしていない場合、本機にセキュリティチップ ユーティリティをインストールすることはできません。
- 本機の再セットアップやOSの再インストールを行った場合、または別売のOSを利用する場合は、セキュリティチップ機能を有効にする前にセキュリティチップの初期化を行ってください。
  セキュリティチップの初期化手順については、「トラブル解決Q&A」の「セキュリティチップ機能」-「パスワードを忘れてしまった (P. 448)」をご覧ください。

セキュリティチップ機能を有効にするには、次の手順でBIOSセットアップユーティリティの設定をしてください。

1 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

参照

BIOSセットアップユーティリティについて
「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」

2 「Security」メニューの「Security Chip Configuration」を選択し、【Enter】を押す

3 「TPM Support」が「Enabled」になっていることを確認する

「Disabled」の場合は「Enabled」に変更してください。

4 「Change TPM State」を「Enable&Activate」にする

5 【F10】を押す

確認の画面が表示されます。

6 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

これでセキュリティチップ機能が有効になりました。

チェック

本機のセキュリティチップ機能の設定は、「Change TPM State」を「Clear」にすることで初期化することができます。
このため、セキュリティチップ機能をご利用になる場合は、第三者にセキュリティチップの設定を初期化されないように、スーパバイザパスワード／ユーザパスワードを設定して、セキュリティを強化することをおすすめします。

スーパバイザパスワード／ユーザパスワードの設定

[040202-27]

本機でセキュリティチップ機能をお使いになる場合は、BIOSセットアップユーティリティにスーパバイザパスワード、またはユーザパスワードを設定して管理することをおすすめします。BIOSセットアップユーティリティにパスワードを設定しておくことで、第三者にセキュリティチップ機能を初期化、または無効化されることを防ぐことができます。

スーパバイザパスワード／ユーザパスワードの設定をしない場合は「セキュリティチップ ユーティリティのインストール (P. 241)」をご覧になり、設定を行ってください。

参照

スーパバイザパスワード、ユーザパスワードについて

「システム設定」の「設定項目一覧」-「「Security」メニュー (P. 227)」

セキュリティチップ ユーティリティのインストール

[040203-27]

本機のセキュリティチップ機能を利用するためには、セキュリティチップ ユーティリティのインストール、初期設定が必要になります。

チェック

- セキュリティチップ ユーティリティのインストールは必ず管理者（Administrator）権限を持つユーザー（ユーザー名は半角英数字）で行ってください。
- 光学ドライブが添付されていないモデルをお使いの場合は、別売の光学ドライブが必要です。
- BIOSセットアップユーティリティでセキュリティチップ機能を有効にしていない場合、セキュリティチップ ユーティリティのインストールはできません。「セキュリティチップを有効にする (P. 238)」をご覧になり、設定してください。

次の手順で、セキュリティチップ ユーティリティをインストールしてください。

チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」をクリック

4 「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

5 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥TPM¥SETUP.EXE

メモ

光学ドライブがDドライブ以外の場合は、先頭の「D」を、お使いの光学ドライブのドライブ文字に置き換えて入力してください。

6 **「Infineon TPM Professional Package - InstallShield Wizard」画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック**

7 **「使用許諾契約」と表示されたらライセンス契約を読み、「ライセンス契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック**

8 **「ユーザ情報」と表示されたら「ユーザー名」と「所属」を入力し、「次へ」ボタンをクリック**

9 **「セットアップ タイプ」と表示されたら「すべて」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック**

10 **「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら「インストール」ボタンをクリック**

11 **「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら「完了」ボタンをクリック**

「Readme ファイルを表示する」にチェックを付けていると、Readmeファイルが表示されます。

12 **再起動を促すメッセージが表示されたら「いいえ」ボタンをクリック**

13 **光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出し、Windowsを再起動する**

以上でセキュリティチップ ユーティリティのインストールは完了です。
「Security Platformの初期化 (P. 243)」に進んでください。

Security Platformの初期化

[040204-27]

セキュリティチップ ユーティリティのインストールが完了したら、次にSecurity Platformの初期化を行います。

Security Platformの初期化には、「クイック初期化 (P. 243)」と「詳細設定初期化 (P. 245)」の2つがあります。「クイック初期化」では、Security Platformの基本的な機能の設定を一度に行うことができます。より詳細な設定を行いたい場合は、「詳細設定初期化」を選択してください。

チェック

「詳細設定初期化」では、セキュリティチップ機能のバックアップに必要なファイルの設定、各機能のファイルの保存先の変更など、より詳細な設定を行うことができます。「詳細設定初期化」は、Infineon Security Platform 設定ツールのオンラインヘルプをご覧になり、行うことをおすすめします。

クイック初期化

クイック初期化を行う場合は、次の手順で行ってください。

チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

1 タスク バーの通知領域のをクリック

2 を右クリックし、表示されたメニューから「 Security Platform の初期化」をクリック

「Security Platform クイック初期化ウィザード」が表示されます。

3 「クイック初期化」を選択する

4 「使用するドライブ」欄でシークレットデータの保存先を選択し、「次へ」ボタンをクリック

保存先にリムーバブルメディア以外を選択した場合は、確認のメッセージが表示されるので、内容を確認し「はい」ボタンをクリックしてください。

チェック

クイック初期化選択時に作成されるシークレットデータは、管理と緊急時に必要になります。
データの保存先には、リムーバブルメディアの使用をおすすめします。保存先にリムーバブルメディアを選択しない場合、初期化設定完了時に追加のデータ保護が必要になります。
詳しくはInfineon Security Platform 設定ツールのオンラインヘルプをご覧ください。

5 「設定」画面が表示されたら、Security Platformで使用する機能にチェックを付ける

選択できる機能は次の通りです。

- ハードウェアによる暗号化ファイル システム（EFS）
- Personal Secure Drive（PSD）

参照

各機能の概要について

- 「利用できるセキュリティ機能 (P. 259)」
- Infineon Security Platform 設定ツールのオンラインヘルプ

6 「基本ユーザー パスワードを設定してください。Security Platform 機能を使うために必要な基本ユーザー キーをこのパスワードで保護します」欄と「新しいパスワードの確認入力」欄にパスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

「サマリー」画面が表示されます。

7 「次へ」ボタンをクリック

「ウィザードが正常に終了しました」と表示されます。
手順4でシークレットデータの保存先にリムーバブルメディアを選択した場合は、手順12へ進んでください。
リムーバブルメディア以外を選択した場合は、手順8へ進んでください。

8 「詳細」ボタンをクリック

9 「プロトコル ファイル」画面が表示されたら、「保存」または「印刷」を選択し、作成したシークレットデータを保管する

チェック

シークレットデータを含んだプロトコル ファイルを保存、もしくは印刷して保管することをおすすめします。
詳しくはInfineon Security Platform 設定ツールのオンラインヘルプをご覧ください。

10 シークレットデータを含んだプロトコル ファイルを保存、もしくは印刷が完了したら、「閉じる」ボタンをクリック

11 確認のメッセージが表示されたら、内容を確認し「OK」ボタンをクリック

12 「完了」ボタンをクリック

13 Windowsを再起動する

以上でSecurity Platformのクイック初期化は完了です。

チェック

- クイック初期化でSecurity Platformの初期化を行ったユーザーは、「Security Platform ユーザーの初期化」は完了しています。「Security Platform ユーザーの初期化」を行う必要はありません。クイック初期化完了後に詳細な設定を行いたい場合は、「Security Platform 設定ツール」から設定を行うことができます。
- Security Platformの初期化の途中でフリーズした場合は、本機の電源を切り、「トラブル解決Q&A」の「セキュリティチップ機能」-「パスワードを忘れてしまった (P. 448)」で、BIOSセットアップユーティリティからセキュリティチップを初期化してから、Security Platformの初期化をやりなおしてください。
- 初期化完了後は、設定ツールの「バックアップ」タブからバックアップを行ってください。
  バックアップについて詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。

詳細設定初期化

詳細設定初期化を行う場合は、次の手順で行ってください。

チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

1 タスク バーの通知領域の をクリック

2 を右クリックし、表示されたメニューから「 Security Platform の初期化」をクリック

「Security Platform クイック初期化ウィザード」が表示されます。

3 「詳細設定初期化」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

「Infineon Security Platform 初期化ウィザードへようこそ」画面が表示されます。

4 「次へ」ボタンをクリック

5 「初期化」画面が表示されたら、「Security Platform の初期化」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

6 「Security Platform 所有者の作成」と表示されたら、「パスワード」欄と「パスワードの確認入力」欄に所有者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

> **チェック**
>
> 「所有者パスワード」は、Security Platformの復元などの際に必要なパスワードです。パスワードを忘れてしまった場合、Security Platformの設定や、暗号化ファイルの復元などができなくなってしまうので、忘れないように注意してください。

7 「Security Platform の機能を選択してください」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

「自動バックアップ」画面が表示されます。

8 「参照」ボタンをクリックし、自動バックアップを行う場所とファイル名を指定して「保存」ボタンをクリック

9 「スケジュール」ボタンをクリック

10 自動で緊急時復元用のバックアップ アーカイブを作成するスケジュールを設定し、「OK」ボタンをクリック

11 「次へ」ボタンをクリック

「緊急時復元」画面が表示されます。

12 「新しい復元用トークンを作成する」を選択する

13 復元用トークンを保存する場所を変更する場合は「参照」ボタンをクリックし、復元用トークンを保存する場所とファイル名を指定して、「保存」ボタンをクリック

> **チェック**
>
> 復元用トークンは、セキュリティチップが破損した場合など、緊急時のSecurity Platform復元の際に必要となります。USBメモリなどの外部メディアに保存し、紛失しないよう保管してください。

メモ

「ファイルの場所」には初期値として、「ドキュメント」の「Security Platform ¥SPEmRecToken.xml」が指定されています。

14 「パスワード」欄と「パスワードの確認入力」欄に復元用トークンのパスワードを入力する

15 「次へ」ボタンをクリック

「パスワード リセット」画面が表示されます。

16 「新しいトークンを作成する」を選択する

17 パスワードリセットトークンを保存する場所を変更する場合は「参照」ボタンをクリックし、パスワードリセットトークンを保存する場所とファイル名を指定して、「保存」ボタンをクリック

メモ

「ファイルの場所」には初期値として、「ドキュメント」の「Security Platform ¥SPPwdResetToken.xml」が指定されています。

18 「パスワード」欄と「パスワードの確認入力」欄にパスワードリセットトークンのパスワードを入力する

19 「次へ」ボタンをクリック

「サマリー」画面が表示されます。

20 「次へ」ボタンをクリック

「ウィザードが正常に終了しました。」と表示されます。

21 「自動バックアップを今すぐ実行する」にチェックが付いていることを確認する

チェックが付いていない場合は、チェックを付けてください。

メモ

バックアップのファイル名は「SPSystemBackup_<コンピュータ名>.xml」です。このファイルおよび、同時に作成される「SPSystemBackup_<コンピュータ名>」フォルダ内のファイル「SPSystemBackupConfig.xml」、「SPSystemBackupData.xml」は復元処理に必要不可欠のファイルです。

22 Security Platformの初期化終了後に、Security Platform ユーザー初期化ウィザードを起動する場合は、「Security Platform ユーザー初期化ウィザードを起動する」にチェックを付ける

23 「完了」ボタンをクリック

Security Platformの初期化終了と同時に自動でバックアップファイルが作成されます。

以上でSecurity Platformの初期化は完了です。
「Security Platform ユーザーの初期化 (P. 249)」に進んでください。

チェック

Security Platformの初期化の途中でフリーズした場合は、本機の電源を切り、「トラブル解決Q&A」の「セキュリティチップ機能」-「パスワードを忘れてしまった (P. 448)」で、BIOSセットアップユーティリティからセキュリティチップを初期化してから、Security Platformの初期化をやりなおしてください。

Security Platform ユーザーの初期化

[040205-27]

Security Platformの初期化が完了したら、次の手順でSecurity Platform ユーザーの初期化を行ってください。

チェック

- Security Platformの初期化を「クイック初期化」で行ったユーザーは、「Security Platform ユーザーの初期化」を行う必要はありません。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

1 タスク バーの通知領域の をクリック

2 を右クリックし、表示されたメニューから「Security Platform ユーザーの初期化」をクリック

「Security Platform クイック初期化ウィザード」が表示されます。

3 「詳細設定初期化」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

「Infineon Security Platform ユーザー初期化ウィザードへようこそ」画面が表示されます。

チェック

「クイック初期化」を選択した場合は、「クイック初期化 (P. 243)」の手順をご覧になり、ユーザーの初期化を行ってください。

4 「次へ」ボタンをクリック

「基本ユーザー パスワード」画面が表示されます。

5 「パスワード」欄と「パスワードの確認入力」欄に基本ユーザー パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

「基本ユーザー パスワードのリセット」画面が表示されます。

6 「緊急時の基本ユーザー パスワードのリセットを有効にする」にチェックが付いていることを確認する

7 個人シークレットを保存する場所を変更する場合は「参照」ボタンをクリックし、個人シークレットを保存する場所とファイル名を指定して、「保存」ボタンをクリック

メモ

「ファイルの場所」には初期値として、「ドキュメント」の「Security Platform¥SpPwdResetSecret_<コンピュータ名>_<ユーザー名>.xml」が指定されています。

8 「次へ」ボタンをクリック

「パスワードと認証」画面が表示されます。

9 「次へ」ボタンをクリック

「Security Platform の機能を選択してください」と表示されます。

10 Security Platformで使用する機能にチェックを付けて、「次へ」ボタンをクリック

選択できる機能は次の通りです。

- 電子メールの保護
- ファイルとフォルダの暗号化 - 暗号化ファイルシステム（EFS）
- ファイルとフォルダの暗号化 - Personal Secure Drive（PSD）

参照

各機能の概要について

- 「利用できるセキュリティ機能 (P. 259)」
- Infineon Security Platform 設定ツールのオンラインヘルプ

11 電子メールの設定について確認する

手順10で「電子メールの保護」にチェックを付けた場合は、電子メールの保護の設定を確認する画面が表示されます。
必要に応じて、電子メールの設定についての確認を行ってください。
手順10で「電子メールの保護」のみにチェックを付けた場合は、「次へ」ボタンをクリックし手順21へ進んでください。

12 「次へ」ボタンをクリック

13 「暗号化証明書」と表示されたら、次の操作を行う

- **自動で新規に作成される証明書を使用する場合**
  手順15に進んでください。
- **すでにある証明書を使用するなど、手動で証明書を選択する場合**
  「変更」ボタンをクリックし、手順14に進んでください。

14 リストから使用する証明書を選択し、「選択」ボタンをクリック

チェック

利用できる証明書がない場合は、ドメイン内の証明機関へ証明書を要求したり、「作成」ボタンで自己署名付きの証明書を作成したりできます。また、「インポート」ボタンで別のファイルからインポートすることや外部の証明機関へ証明書を要求することもできます。 証明書は「表示」ボタンで情報を確認できます。
詳しくは「ヘルプ」ボタンをクリックして表示されるヘルプをご覧ください。

15 「次へ」ボタンをクリック

手順10で「ファイルとフォルダの暗号化 - 暗号化ファイルシステム（EFS）」にチェックを付けた場合は、「暗号化ファイル システム（EFS）を設定してください」と表示されます。
手順16に進んで設定を行ってください。
チェックを付けていない場合は、手順17に進んでください。

チェック

「古い暗号証明書は既存の暗号化されたデータを復号化するために必要です。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。

16 「EFS フォルダ」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック

必要に応じて、「デスクトップ ショートカット」にもチェックを付けてください。

17 Personal Secure Driveに割り当てるドライブ文字とドライブラベルを設定する

手順10で「ファイルとフォルダの暗号化 - Personal Secure Drive（PSD）」にチェックを付けた場合は、「Personal Secure Drive を設定してください」と表示されます。
チェックを付けていない場合は、手順20に進んでください。

チェック

Personal Secure Driveに使用するドライブ文字は、既存のドライブ文字と重複しない未使用の文字を選択してください。

18 必要に応じて次の設定を行い、「次へ」ボタンをクリック

- **Personal Secure Driveをログオン時にロードする場合**
  「Personal Secure Drive をログオン時にロードする」にチェックを付ける

- **デスクトップにPersonal Secure Driveのショートカットを作成する場合**
  「デスクトップ ショートカットの作成」にチェックを付ける

19 Personal Secure Driveの容量と保存するドライブを設定して、「次へ」ボタンをクリック

チェック

Personal Secure Driveの実際の容量は、ここで設定した値よりも少なめになります。使用したい容量よりも多めの値を設定するようにしてください。

20 「設定の確認（ステップ 2)」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

21 「ウィザードが正常に終了しました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

22 Windowsを再起動する

以上でSecurity Platform ユーザーの初期化は完了です。

チェック

Security Platform ユーザーの初期化の途中でフリーズした場合は、本機の電源を切り、「トラブル解決Q&A」の「セキュリティチップ機能」-「パスワードを忘れてしまった (P. 448)」で、BIOSセットアップユーティリティからセキュリティチップを初期化してから、「Security Platformの初期化 (P. 243)」からやりなおしてください。

セキュリティチップ ユーティリティの使い方

[040301-27]

セキュリティチップ ユーティリティの起動

セキュリティチップ ユーティリティを使うと、ファイルとフォルダの暗号化（EFS）機能、Personal Secure Drive（PSD）機能のほか、ユーザーの管理や暗号化キー、証明書の発行や移行、復元などができます。

セキュリティチップ ユーティリティには、管理者特権がある状態と管理者特権のない状態があり、それぞれ次の手順で起動します。

管理者特権のある状態で起動する場合

チェック

- 管理者特権のある状態でセキュリティチップ ユーティリティを起動するには、Windowsに管理者（Administrator）権限を持つユーザーでログオンしてください。標準ユーザーのアカウントでは、管理者特権のある状態でセキュリティチップ ユーティリティを起動することはできません。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

●通知領域から起動する場合

1 タスク バーの通知領域のをクリック

2 を右クリックし、表示されたメニューから「 Security Platform を管理する」をクリック

「Infineon Security Platform 設定ツール」画面が表示されます。
「Infineon Security Platform 設定ツール」の左側に「管理者」と表示されます。

●「スタート」メニューから起動する場合

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」をクリック

2 「Infineon Security Platform ソリューション」→「Security Platform の管理」を右クリック

3 表示されたメニューから「 管理者として実行」をクリック

「Infineon Security Platform 設定ツール」画面が表示されます。
「Infineon Security Platform 設定ツール」の左側に「管理者」と表示されます。

管理者特権のない状態で起動する場合

チェック

管理者特権のない状態でセキュリティチップ ユーティリティを起動した場合、設定可能な項目が制限されます。

●通知領域から起動する場合

1 タスク バーの通知領域の▲をクリック

2 を右クリックし、表示されたメニューから「Security Platform を管理する」をクリック

「Infineon Security Platform 設定ツール」画面が表示されます。

●「スタート」メニューから起動する場合

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」をクリック

2 「Infineon Security Platform ソリューション」→「Security Platform の管理」をクリック

「Infineon Security Platform 設定ツール」画面が表示されます。

メモ

セキュリティチップ ユーティリティは、「コントロール パネル」から起動することもできます。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「Infineon Security Platform」をクリック

「Infineon Security Platform 設定ツール」画面が表示されます。

タブの機能、パスワードリセット

タブの機能

「Infineon Security Platform 設定ツール」画面右下の「ヘルプ」ボタンをクリックすると、表示されているタブごとに設定できる機能や、関連した機能について説明しているオンラインヘルプが起動します。
それぞれのタブにあるボタンや機能について詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。

- **「全般」タブ**
  セキュリティチップの状態や、Infineon Security Platform 設定ツールのバージョンや設定内容を確認することができます。
- **「ユーザー設定」タブ**
  基本ユーザーのパスワード変更や、Security Platformの機能を設定できます。
- **「バックアップ」タブ**
  自動システムバックアップの設定や、システムバックアップからの復元、ユーザーごとの手動バックアップと復元を行うことができます。

  チェック

  管理者特権のない状態では、現在のユーザーの手動バックアップと復元のみ利用可能です。

- **「移行」タブ**
  Infineon Security Platform 設定ツールで設定した暗号化キーや証明書を、他のセキュリティチップ搭載コンピュータでも利用できるように移行や認証を行うことができます。

  チェック

  - 管理者特権のない状態では、Security Platformの情報の保存と移行の承認は行えません。
  - 暗号化キーや証明書の移行ができるのは、Windows 7 Professionalをインストールしたコンピュータ同士のみです。

- **「パスワード リセット」タブ**
  各ユーザーのパスワードリセット トークンの作成や、パスワードのリセットを行うことができます。

チェック

管理者特権のない状態では、現在のユーザーに対しての、パスワードリセットの有効化とパスワードリセットのみ行えます。

- **「アドバンス」タブ**
  Infineon Security Platform 設定ツールの所有者パスワードの変更や、各機能の設定の変更ができます。また、セキュリティポリシーの設定を変更することができます。
  セキュリティポリシーを設定することで、利用可能な機能や設定を制限できます。

チェック

「アドバンス」タブは管理者特権がある場合のみ表示されます。管理者特権のない状態では設定できません。

パスワードのリセット

基本ユーザー パスワードを忘れてしまった場合、次の手順で基本ユーザー パスワードをリセットすることができます。ここでは、管理者に「Administrator」、一般ユーザーに「User1」がセットアップされている場合を例として説明します。

チェック

管理者ユーザーのパスワードリセット機能はサポートしておりません。

1 「Administrator」としてログオンする

2 管理者特権のある状態で「Infineon Security Platform 設定ツール」を起動する

3 「パスワード リセット」タブをクリックし、「基本ユーザー パスワードのリセット」-「管理タスク」にある「準備」ボタンをクリック

「Infineon Security Platform パスワード リセット ウィザード」が起動します。

4 パスワードをリセットするユーザーを選択する

「User1」を選択します。

5 「次へ」ボタンをクリック

6 「リセット トークンの場所」欄にファイルを指定し、「パスワード」欄にこのファイルへのパスワードを入力する

7 「次へ」ボタンをクリック

リセット承認コードとチェックサムが表示されます。

8 リセット承認コードおよびチェックサムをメモする、または「ファイルに保存」ボタンでファイルに保存する

デフォルト名は「SPPwdResetCode.xml」となります。

9 「次へ」ボタンをクリック

10 「完了」ボタンをクリック

ウィザードが終了します。

11 「閉じる」ボタンをクリック

12 Windowsをログオフする

以上で管理者の作業は終了です。
続いてパスワードをリセットするユーザー「User1」が作業を行います。

13 「User1」でWindowsにログオンする

14 「Infineon Security Platform 設定ツール」を起動する

15 「パスワード リセット」タブをクリックし、「基本ユーザー パスワードのリセット」-「ユーザー タスク」にある「リセット」ボタンをクリック

「Infineon Security Platform パスワード リセット ウィザード」が起動します。

16 「ファイルを参照するか、あるいは個人シークレットを入力してください」欄にファイルを指定し、「ファイルを参照するか、リセット承認コードを直接入力してください」欄に管理者から渡されたコードを直接入力する、または、「ファイルから取得」をクリックして、手順8で管理者が作成したファイルを指定して入力する

17 「次へ」ボタンをクリック

18 新しいパスワードを「パスワード」欄と「パスワードの確認入力」欄に入力し、「次へ」ボタンをクリック

「設定を確認してください」と表示されます。

19 「次へ」ボタンをクリック

基本ユーザーパスワードがリセットされます。

20 「完了」ボタンをクリック

ウィザードが終了します。

21 「閉じる」ボタンをクリック

利用できるセキュリティ機能

[040400-27]

- 電子メールの保護機能. 260
- ファイルとフォルダの暗号化（EFS）機能. 261
- Personal Secure Drive（PSD）機能. 264
- 辞書攻撃防御機能. 266

電子メールの保護機能

[040401-27]

お使いの電子メールソフトで、セキュリティチップ ユーティリティの証明書を利用して、暗号化による送受信メールの保護や、電子署名による安全な電子メールのやり取りをする機能です。
電子メールの保護機能について詳しくは、ヘルプをご覧ください。
また、お使いの電子メールソフトで証明書を利用する方法については、電子メールソフトに添付のマニュアルなどをご覧ください。

参照

電子メールの保護機能について
Infineon Security Platform 設定ツールのオンラインヘルプ

ファイルとフォルダの暗号化（EFS）機能

[040402-27]

指定したファイルやフォルダを、AESやRSAなどのアルゴリズムを用いた高度な技術で暗号化する機能です。
暗号化したファイルやフォルダは、Infineon Security Platform 設定ツールで認証されたユーザー以外は読み書きできなくなるので、第三者にファイルを盗み見られたり、改ざんされたりすることがなく、機密性と安全性が確保されます。

ファイルやフォルダの暗号化は、次の手順で設定できます。

チェック

- FAT32でフォーマットされたドライブでは、ファイルやフォルダの暗号化はできません。
- 次のフォルダは暗号化しないでください。
  「C:¥Users¥<ユーザー名>¥AppData¥Local¥Microsoft」
  「C:¥Users¥<ユーザー名>¥AppData¥Roaming¥Microsoft」
- デスクトップ（C:¥Users¥<ユーザー名>¥Desktop）にあるフォルダまたはショートカットの暗号化を行うと、Windowsログオン時に「Infineon Security Platform ユーザー認証」画面を表示します。Windowsログオン時での基本ユーザーパスワードの入力を省きたい方は、デスクトップにあるフォルダまたはショートカットの暗号化を解除し、対象ファイルを個別に暗号化してください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。
- ファイルを個別に暗号化する場合は、エクスプローラの詳細ウィンドウが非表示になっている必要があります。
  エクスプローラの「整理」→「レイアウト」メニューで、「詳細ウィンドウ」のチェックを外してください。

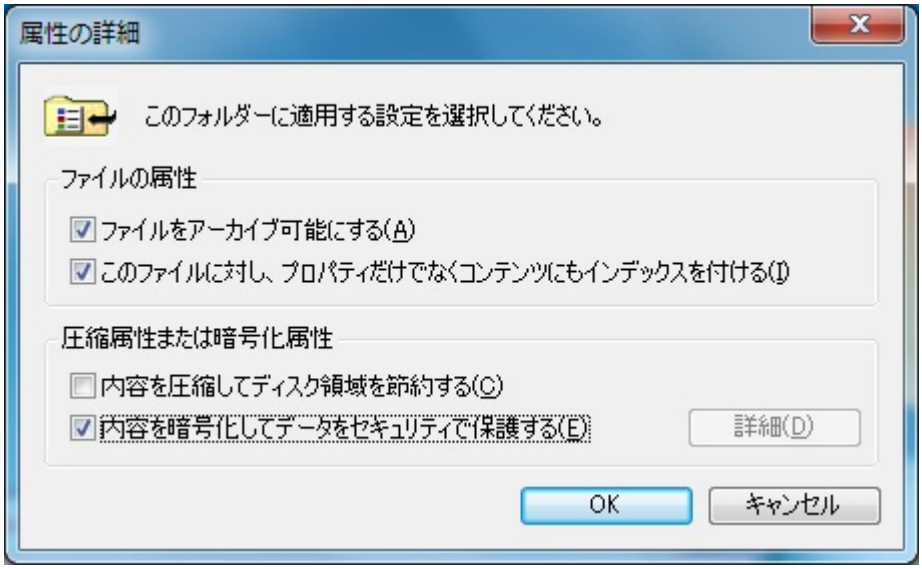
参照

「ユーザー アカウント制御」画面
「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

1 暗号化したいファイルやフォルダを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック

2 「全般」タブをクリックし、「詳細設定」ボタンをクリック

3 「内容を暗号化してデータをセキュリティで保護する」にチェックを付ける



4 「OK」ボタンをクリック

5 「OK」ボタンをクリック

6 「暗号化に関する警告」画面または「属性変更の確認」画面が表示された場合は、動作を選択して「OK」ボタンをクリック

7 「Infineon Security Platform ユーザー認証」画面が表示された場合は、「基本ユーザー パスワード」欄に基本ユーザーパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック

暗号化したファイルをロックする

EFS機能を利用してファイルやフォルダを暗号化している場合でも、一度パスワードを入力して認証を行うと、以後は暗号化したファイルにアクセスが可能になります。

再度、暗号化したファイルやフォルダをロックするには次の手順でEFSからのログアウトを行います。
EFSからのログアウトの機能は、本機の再起動やWindowsからのログオフをせず、一時的に別の人に本機を使用させる際に、暗号化したファイルやフォルダへのアクセスを制限するのに有効です。

1 タスク バーの通知領域の をクリック

2 を右クリックし、表示されたメニューから「暗号化ファイル システム(EFS)からログアウトする」をクリック

また、EFSからログアウトする以外にも、次の場合に暗号化したファイルやフォルダがロックされ、アクセスする際にはパスワードの入力が必要になります。

- 本機をシャットダウンする
- 本機を再起動する

- 本機をスリープ状態にする
- 本機を休止状態にする
- Windowsからログオフする

Personal Secure Drive（PSD）機能

[040403-27]

Personal Secure Drive（PSD）機能とは、SSDの一部に暗号化された仮想ドライブを作成して重要なデータを保護する機能のことです。ファイルやフォルダをPersonal Secure Driveに保存すると、自動的にデータが暗号化されます。
Personal Secure Driveは、Infineon Security Platform 設定ツールで認証されたユーザーが使用する場合、データの暗号化と復号化が自動的に行われるので、暗号化や復号化を意識することなく利用できます。
また、Personal Secure Driveは作成したユーザー以外には、ドライブ自体が見えなくなるため、第三者にアクセスされることがありません。

Personal Secure Drive（PSD）機能は、保護したいファイルやフォルダをPersonal Secure Driveとして設定したドライブに移動、またはコピーすることで、自動的に暗号化され、パスワードを入力していないユーザーからはアクセスできなくなります。

チェック

- Personal Secure Drive機能を利用する設定にしていない場合は、Infineon Security Platform 設定ツールの「ユーザー設定」タブで、「Security Platform の機能」の「設定」ボタンをクリックし、Personal Secure Driveの設定を行ってください。設定方法については、「Security Platform ユーザーの初期化 (P. 249)」を参照してください。
- Personal Secure Driveを利用する設定にした場合は、Infineon Security Platform 設定ツールの「バックアップ」タブから手動バックアップを行い、PSD バックアップ イメージ ファイルを作成することをおすすめします。設定を行っただけではPSD バックアップ イメージ ファイルが作成されないため、復元時にPersonal Secure Driveが復元されません。
- Guestアカウントでログオンしている場合、Personal Secure Driveの作成はできません。

Personal Secure Drive のロード

Personal Secure Drive（PSD）をロードする方法は、必要なときにロードする方法とログオン時にロードする方法があります。
次にそれぞれのロード方法を説明します。

必要なときにロードする

次の手順に従って、PSDをロードします。

1 タスク バーの通知領域の をクリック

2 を右クリックし、表示されたメニューから「Personal Secure Drive」→「ロードする」をクリック

「Infineon Security Platform ユーザー認証」画面が表示されます。

3 「基本ユーザーパスワード」欄にパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリック

PSDがロードされます。

ログオン時にロードする

1 タスク バーの通知領域の をクリック

2 を右クリックし、表示されたメニューから「Personal Secure Drive」→「ログオン時にロードする」を選択

次回ログオン時にPSDがロードされます。

メモ

ログオンからPSDをロードするまでの手順は次の通りです。

1 ログオンする

2 「Personal Secure Drive」画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリック

「Infineon Security Platform ユーザー認証」画面が表示されます。

3 「基本ユーザー パスワード」欄にパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリック

PSDがロードされます。

辞書攻撃防御機能

[040404-27]

パスワードで保護されたセキュリティを破るために用いられる「辞書攻撃」という手法から、本機を防御するための機能です。

セキュリティチップ ユーティリティやWindowsのBitLocker ドライブ暗号化など、セキュリティチップに関連する機能で、誤ったパスワードを10回入力すると一時的にパスワードの入力ができなくなります。
再度、パスワードの入力を行うには、本機の再起動と一定時間の経過が必要です。
なお、再度、パスワードの入力が可能になるまでの時間は、誤入力の回数によって決定され、誤入力の回数が多ければ多いほど、入力可能になるまでの時間も長くなります。

参照

辞書攻撃防御、辞書攻撃防御機能
Infineon Security Platform 設定ツールのオンラインヘルプ

セキュリティチップ機能のバックアップと復元

[040500-27]

- セキュリティチップ機能のバックアップ. 268
- セキュリティチップ機能の復元. 271

セキュリティチップ機能のバックアップ

[040501-27]

セキュリティチップ機能のバックアップに関する注意

セキュリティチップやSSDの故障による修理後など、セキュリティチップ機能を故障前の状態に復元するためには、あらかじめ必要なデータ、ファイルのバックアップと情報の確認が必要です。

- 復元処理に必要なアーカイブファイル、バックアップファイルを必ず作成してください。バックアップについて、詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。
- 復元を行うには、復元作業時に必要なファイルにアクセスできる環境が必要です。
  SSDの故障などにより、復元に必要なファイルを破損、消去した場合や、復元作業時にアクセスできないメディアに保存されている場合は復元は行えませんのでご注意ください。復元に必要なファイルは、USBメモリなどアクセスが容易な外部メディアに保存しておくことをおすすめします。

アーカイブファイル、バックアップファイルなどに関する注意

セキュリティチップのバックアップを実行することにより、「アーカイブファイル」「バックアップファイル」「復元用トークン」などのファイルが作成されます。これらのファイルは、ハードウェアの故障やSSDの故障などが発生した場合にセキュリティチップに格納されているユーザーキーや証明書などの復旧に利用します。そのため、これらのファイルを暗号化した場合、緊急時の復元ができなくなりますので、暗号化しないでください。

なお、バックアップファイルや復元用トークンなどのファイルは、バックアップ用のデータですので、サーバやリムーバブルメディアへの保存を強く推奨します。

下記のファイル名やフォルダ名は、詳細設定初期化を行った場合の初期設定の値です。
お使いの環境やSecurity Platformの初期化の方法によって内容が異なる場合がありますので、下記のファイルの詳細に関しては、オンラインヘルプをご覧ください。

- 【自動バックアップファイル】
  ファイル名：**SpSystemBackup_<コンピュータ名>.xml**
- 【自動バックアップデータ格納フォルダ】
  フォルダ名：**SpSystemBackup_<コンピュータ名>**
  （自動バックアップファイル（SPSystemBackup_<コンピュータ名>.xml）が作成されるフォルダに、サブフォルダとして作成されます。）
- 【復元用トークン】
  ファイル名：**SPEmRecToken.xml**
- 【パスワードリセットトークン】
  ファイル名：**SPPwdResetToken.xml**
- 【パスワードリセットシークレットファイル】
  ファイル名：**SpPwdResetSecret_<コンピュータ名>_<ユーザー名>.xml**
- 【キーと証明書用バックアップ】
  ファイル名：**SpBackupArchive.xml**
- 【PSD バックアップ イメージ ファイル】
  ファイル名：***-Personal Secure Drive.fsb**（*には任意の文字が入ります）

参照

バックアップについて
Infineon Security Platform 設定ツールのオンラインヘルプ

復元に必要な情報とファイル

セキュリティチップ機能の復元には、次の情報とファイルが必要になります。

セキュリティチップの内容の復元に必要な情報・ファイル

- 所有者パスワード
- 緊急時復元用のバックアップ アーカイブ
  セキュリティチップの内部情報やユーザー固有情報の一部を含む、重要なファイルです。
  緊急時復元用のバックアップ アーカイブは、Infineon Security Platform 初期化ウィザードまたはInfineon Security Platform 設定ツールで設定した内容に従って、自動で作成されます。
- 復元用トークン
  Infineon Security Platform 初期化ウィザードで作成した復元用トークンのファイルです。
- 復元用トークンのパスワード
  Infineon Security Platform 初期化ウィザードで設定した、復元用トークンを使用するために必要なパスワードです。

ユーザー環境の復元に必要な情報・ファイル

- 基本ユーザー パスワード
- PSD バックアップ アーカイブ
  Personal Secure Driveの内容を復元する場合は、PSD バックアップ イメージ ファイルが必要です。PSD バックアップ イメージ ファイルは、Infineon Security Platform 設定ツールの「バックアップ」タブで作成できます。

電子メールの保護機能を使用している場合、SSD故障時に受信済みの自分あての暗号メールも復号できる環境に復元するには、電子メールソフトのデータのバックアップも必要になります。

- 電子メールソフトのデータのバックアップ

チェック

- 復元に必要なファイルのうち、PSD バックアップ イメージ ファイルと電子メールソフトのデータのバックアップを除くファイルの保存に必要な容量は大きくても数10KB程度です。
- PSD バックアップ イメージ ファイルの容量は、Personal Secure Driveに設定した容量により異なります。
- 電子メールソフトのデータのバックアップは、環境にもよりますが数10MBから数100MBの容量が必要になる場合があります。
- 電子メールソフトのデータのバックアップについては、電子メールソフトに添付のマニュアルなどをご覧ください。

復元に必要な情報の確認とファイルのバックアップ

ここでは、セキュリティチップ機能の復元に必要な情報の確認とファイルのバックアップを行います。

設定、作成済みの情報、ファイルの確認

◆Infineon Security Platform 初期化ウィザードで設定済み、または作成済みのファイル

「復元に必要な情報とファイル」で説明した情報・ファイルのうち、次のものは、Infineon Security Platform 初期化ウィザードで設定済み、または作成済みのものです。

- 所有者パスワード
- 復元用トークン
- 復元用トークンのパスワード
- 基本ユーザー パスワード

チェック

- それぞれのパスワードは復元作業の際に入力が必要になる場面があります。
- 復元用トークンについては、復元用トークンのファイルを保存したUSBメモリなどの外部メディアを用意しておいてください。Security Platform初期化時にSSD上に作成した場合は、外部メディアにコピーしておくことをおすすめします。

◆設定により自動で作成されるファイル

次のファイルはInfineon Security Platform 初期化ウィザードまたはInfineon Security Platform 設定ツールで設定した内容に従って自動的に作成されます。

- 緊急時復元用のバックアップ アーカイブ

チェック

自動で作成する設定にしていない場合は、Infineon Security Platform 設定ツールで設定を変更し、自動的に作成するように設定することをおすすめします。

◆Infineon Security Platform 設定ツールで作成するファイル

次のファイルはInfineon Security Platform 設定ツールで作成します。

- PSD バックアップ アーカイブ

参照

PSD バックアップ アーカイブの作成
Infineon Security Platform 設定ツールのオンラインヘルプ

お使いの電子メールソフトのデータのバックアップ

◆メールデータのバックアップ

お使いの電子メールソフトのメールデータやアドレス帳のバックアップを行ってください。

メモ

データのバックアップについては、電子メールソフトに添付のマニュアルなどをご覧ください。

セキュリティチップ機能の復元

[040502-27]

セキュリティチップ機能の復元に関する注意

- セキュリティチップやSSDの故障による修理後など、セキュリティチップ機能を故障前の状態に復元するためには、あらかじめバックアップしたデータ、ファイルや情報が必要です。
- 復元作業は必ずSecurity Platformの「所有者」が行ってください。

メモ

ここでいう「所有者」とは、Security Platformの初期化を行ったユーザーを指します。

参照

復元について

Infineon Security Platform 設定ツールのオンラインヘルプ

復元時のユーザー選択に関する注意

本機を複数のユーザーで利用している場合、復元処理実行中の「ユーザーの選択」で、セキュリティチップを利用しているユーザーをすべて選択し、復元を行う必要があります。

本機をドメインに接続した状態で運用している場合の注意

本機をドメインに接続した状態で運用している場合は、ドメインへの接続が可能な状態で復元作業を行ってください。

ネットワークに接続されていないなどドメインへの接続ができない状態で、ローカルの管理者でログオンして復元作業を行うと、「現在のユーザー」や「ユーザー名」にドメインのユーザーが表示されない場合があります。
その場合は、復元作業をキャンセルしドメインへの接続が可能な状態にしてください。
その後で、再度復元作業を開始し、ドメインのユーザー名が表示されることを確認してから、復元作業を継続してください。

チェック

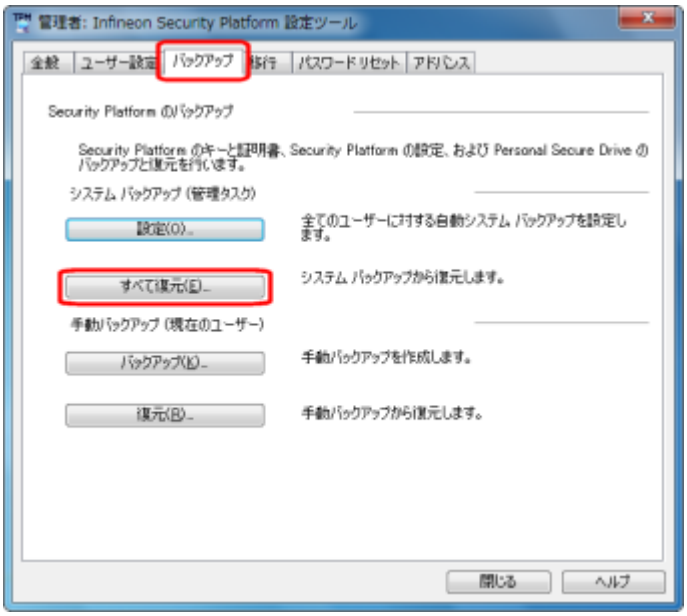
ドメインのユーザーが表示されない状態のまま、復元作業を継続すると、ドメインのユーザーのセキュリティチップの設定が失われ、問題が発生します。

各ユーザーを復元する場合の注意

復元後にそれぞれのユーザーでログオンすると「基本ユーザーキーがロードできません」もしくは「キーと証明書及び設定を復元してください。」などのメッセージが表示されます。
その場合は、指示に従って復元を行ってください。
本機でセキュリティチップ機能を利用している、それぞれのユーザーでログオンして行ってください。

セキュリティチップ機能の復元方法

ここでは「Infineon Security Platform 設定ツール」の「バックアップ」タブの「すべて復元」ボタンからの復元方法を説明します。



復元手順

チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

1 所有者のアカウントでログオンする

2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Infineon Security Platform ソリューション」→「Security Platform の管理」を右クリックし、表示されたメニューから「管理者として実行」をクリック

「Infineon Security Platform 設定ツール」画面が表示されます。

3 「バックアップ」タブをクリック

4 「Security Platform の状態は、[初期化未了]です。初期化を開始しますか？」と表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリック

5 「すべて復元」ボタンをクリック

「Infineon Security Platform バックアップ ウィザード」が表示されます。

6 「参照」ボタンをクリックし、「復元するバックアップ データのあるファイルを指定してください」欄に、復元するバックアップファイルとして緊急時復元用のバックアップ アーカイブを指定して「次へ」ボタンをクリック

7 「所有者の設定」画面で「パスワード」欄、「パスワードの確認入力」欄にパスワードを入力して、「次へ」ボタンをクリック

8 「トークンの選択」画面が表示された場合は、「緊急時復元用トークンの場所を指定してください」欄に、復元用トークンを指定する

9 「パスワード」欄に、緊急時復元用トークンファイルを保護しているパスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

「ユーザーの選択」画面が表示されます。

10 「バックアップ データからのユーザー」欄で現在のユーザーアカウントに対して復元するユーザーを選択して、「次へ」ボタンをクリック

チェック

Infineon Security Platform バックアップウィザードで「ユーザーの選択」画面の表示時、本機にユーザーアカウントが設定されており、セキュリティチップ機能を利用するユーザーに対して、バックアップアーカイブ内の対応するユーザーを選択する必要があります。

メモ

コンピュータの別のユーザーアカウントに対する追加ユーザーを復元する場合は、「ユーザー名」欄に表示されているユーザーアカウントに対して、復元する追加ユーザーを「バックアップ データからのユーザー」欄で選択してください。

11 「パスワード」欄に基本ユーザー パスワードを入力して、「次へ」ボタンをクリック

12 「復元プロセスが開始するまでは、パスワードまたはパスフレーズを確認することができないことに注意してください。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリック

13 「サマリー」画面が表示されるので、内容を確認し「次へ」ボタンをクリック

14 「ウィザードが正常に終了しました。」と表示されたら「完了」ボタンをクリック

15 「閉じる」ボタンをクリック

これで復元は完了です。

この作業の後、「電子メールの保護」、「EFS」、「PSD」機能の設定は、個別のユーザーによって行われる必要があります。

参照

復元について
Infineon Security Platform 設定ツールのオンラインヘルプ

再セットアップ時およびユーティリティ再インストール時の復元について

本機の再セットアップやセキュリティチップ ユーティリティを再インストールした後に復元を行う場合は、復元を行う前に「セキュリティチップ機能を利用する準備 (P. 237)」の「セキュリティチップを有効にする」から「セキュリティチップ ユーティリティのインストール」までの手順を行い、セキュリティチップ ユーティリティのインストールを完了させてください。
完了したら「Security Platformの初期化」は行わず、セキュリティチップ機能の復元を行ってください。

チェック

- 本機の再セットアップ時およびセキュリティチップ ユーティリティの再インストール時にトラブルが発生した場合、重要なデータの紛失につながります。
  本機の再セットアップおよびセキュリティチップ ユーティリティの再インストールを行う場合は、セキュリティチップの初期化を行い、バックアップファイルから復元処理をすることを強く推奨します。
- セキュリティチップの初期化手順については、「トラブル解決Q&A」の「セキュリティチップ機能」-「パスワードを忘れてしまった (P. 448)」をご覧ください。

セキュリティチップ故障時の復元について

復元を行う前に、「セキュリティチップ機能を利用する準備 (P. 237)」の「セキュリティチップを有効にする」から「セキュリティチップ ユーティリティのインストール」までの手順を行い、セキュリティチップ ユーティリティのインストールを完了させてください。
完了したら「Security Platformの初期化」は行わず、セキュリティチップ機能の復元を行ってください。

SSD故障時の復元について

電子メールの保護機能を利用していなかった場合

復元を行う前に、「セキュリティチップ機能を利用する準備 (P. 237)」の「セキュリティチップを有効にする」から「セキュリティチップ ユーティリティのインストール」までの手順を行い、セキュリティチップ ユーティリティのインストールを完了させてください。
完了したら「Security Platformの初期化」は行わず、セキュリティチップ機能の復元を行ってください。

電子メールの保護機能を利用していた場合

セキュリティチップ ユーティリティのインストールを行う前に、メールデータやアドレス帳の復元を行ってください。

メモ

データの復元については電子メールソフトに添付のマニュアルなどをご覧ください。

その他の注意事項

[040600-27]

- 本機を修理に出す前の準備. 277
- 本機を修理に出した後. 278
- イベントビューアに記録される警告ログについて. 279

本機を修理に出す前の準備

[040601-27]

本機の故障などの理由で修理に出される場合、必ずBIOSセットアップユーティリティのスーパバイザパスワード、およびユーザパスワードを解除し、情報の漏えい防止のため、セキュリティチップの初期化を行ってください。

修理後、セキュリティチップ機能を復元するためにはあらかじめ必要なデータ、ファイルのバックアップと情報の確認が必要になりますので、「セキュリティチップ機能のバックアップ (P. 268)」をご覧になり、バックアップを行ってください。
また、セキュリティチップ機能の復元を行う場合は、「セキュリティチップ機能の復元 (P. 271)」をご覧になり、復元を行ってください。

チェック

セキュリティチップの初期化手順については、「トラブル解決Q&A」の「セキュリティチップ機能」-「パスワードを忘れてしまった (P. 448)」をご覧ください。

本機を修理に出した後

[040602-27]

本機を修理に出し、「マザーボード交換」や「セキュリティチップ交換」、「SSD交換」、「再セットアップ」等が行われた場合には、セキュリティチップの初期化を行ってからセキュリティチップ機能を有効にしてください。

セキュリティチップ機能の復元を行う場合は、「セキュリティチップ機能の復元 (P. 271)」をご覧になり、復元を行ってください。

チェック

セキュリティチップの初期化手順については、「トラブル解決Q&A」の「セキュリティチップ機能」-「パスワードを忘れてしまった (P. 448)」をご覧ください。

イベントビューアに記録される警告ログについて

[040603-27]

イベントビューア内に以下のログが記録される場合がありますが、運用上問題はありません。

- 「ソース：TBS、イベントID：16385、レベル：エラー、 内容：内部 TBS エラーが検出されました。エラーコードは 0x8007001fでした。これは通常、予期しない TPMまたはドライバの動作が原因で発生するエラーで、一時的な現象である可能性があります。」
- 「ソース：TBS、イベントID： 516、レベル：エラー、内容：TPMとの通信中にエラーが発生しました。ドライバから 0x8007001fが返されました。」
- 「ソース：WMI、イベントID：63、レベル：警告、内容：プロバイダー TPMHostSWProvider は LocalSystem アカウントを使うために Windows Management Instrumentation 名前空間 root¥Infineon¥TpmSoftware に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダーがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。」

また、スリープ状態や休止状態からの復帰時に、イベントビューア内に以下のログが記録される場合がありますが、運用上問題はありません。

- 「ソース：TBS、イベントID：541、レベル：警告、内容：実行中の操作は電源管理イベントにより中断されました。」
- 「ソース：TBS、イベントID：16385、レベル：エラー、内容：内部 TBSエラーが検出されました。エラーコードは 0x800703e3でした。これは通常、予期しない TPMまたはドライバの動作が原因で発生するエラーで、一時的な現象である可能性があります。」
- 「ソース：TBS、イベントID： 516、レベル：エラー、内容：TPMとの通信中にエラーが発生しました。ドライバから 0x800703e3が返されました。」
- 「ソース：TPM、イベントID： 15、レベル：エラー、内容：TPM ハードウェアでトラステッド プラットフォーム モジュール(TPM)のデバイス ドライバーに回復不能なエラーが発生しました。このエラーのため、TPM サービス(データの暗号化など)は使用できません。詳細については、コンピューターの製造元に問合せてください。」

セキュリティチップ ユーティリティのアンインストール

[040701-27]

次の手順で、セキュリティチップ ユーティリティをアンインストールできます。

チェック

- セキュリティチップ ユーティリティのアンインストールは必ず管理者（Administrator）権限を持つユーザー（ユーザー名は半角英数字）で行ってください。
- セキュリティチップ ユーティリティのアンインストールを実行する前に、セキュリティチップ ユーティリティで暗号化したファイルやフォルダの暗号化を解除し、Personal Secure Driveに保存したファイルやフォルダをバックアップしてください。
  セキュリティチップ ユーティリティで保護されていたデータは、セキュリティチップ ユーティリティをアンインストールした後では、アクセスできなくなります。
- BIOSセットアップユーティリティで「Security Chip Configuration」メニューの「TPM Support」を「Disabled」に設定したときは、必ずセキュリティチップ ユーティリティをアンインストールしてください。

セキュリティチップ ユーティリティのアンインストール

チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

参照

「ユーザー アカウント制御」画面
「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」をクリック

2 「Infineon Security Platform ソリューション」→「Security Platform の管理」を右クリック

3 表示されたメニューから、「管理者として実行」をクリック

「Infineon Security Platform 設定ツール」画面が表示されます。

4 「アドバンス」タブをクリックし、「Security Platform の状態」の「無効にする」ボタンをクリック

5 所有者のパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック

6 「閉じる」ボタンをクリック

7 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

8 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

9 「Infineon TPM Professional Package」を選択し、「アンインストール」ボタンをクリック

「Infineon TPM Professional Packageをアンインストールしますか？」と表示されます。

10 「はい」ボタンをクリック

「Infineon Security Platform」画面が表示されます。

11 「いいえ」ボタンをクリック

アンインストールが始まります。
アンインストールが完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。

12 「はい」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

セキュリティチップ ユーティリティのアンインストール後、次の手順を行い、BIOSセットアップユーティリティから本機のセキュリティチップを無効にしてください。

セキュリティチップを無効にする

1 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

> **参照**
>
> **BIOSセットアップユーティリティについて**
> 「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」

2 「Security」メニューの「Security Chip Configuration」を選択し、【Enter】を押す

3 「Change TPM State」を「Deactivate&Disable」にする

4 【F10】を押す

確認の画面が表示されます。

5 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

以上でセキュリティチップ ユーティリティのアンインストールは完了です。

チェック

デスクトップ上にPersonal Secure Drive、もしくは暗号化ファイルシステム（EFS）のショートカットが残っている場合は、削除してください。

便利な機能とアプリケーション

[060000-27]

- アプリケーションの種類と機能. 284
- アプリケーションのインストール/アンインストールについて. 286
- 「Service Pack」について. 288
- Internet Explorer 11. 289
- Office Home and Business 2013. 291
- Office Home & Business Premium. 297
- Access Connections. 303
- DeviceLock Lite. 310
- Adobe Reader. 312
- ECOモード設定ツール. 315
- ピークシフト設定ツール. 316
- 画面表示設定切替ツール. 318
- Roxio Creator LJB. 321
- CyberLink PowerDVD. 325
- セカンドブック グループ. 329
- マカフィー リブセーフ. 332
- WinZip. 338
- PaintShop Pro X6. 341

アプリケーションの種類と機能

[060100-27]

本機にインストール、または添付されているアプリケーションはモデルによって異なります。

標準でインストール、または添付されているアプリケーション

アプリケーション	機　能
Internet Explorer	インターネットへ接続する ファイルをダウンロードする
Access Connections	ネットワークの設定、接続、切り替えおよびロケーション・プロファイルのインポートとエクスポートをする
Adobe Reader	PDF形式のマニュアルを表示、閲覧、印刷する
DeviceLock Lite	周辺機器の使用を制限する
ECOモード設定ツール	ECOボタン、または設定したホットキーでモード（電源プラン）を切り替える
ピークシフト設定ツール	電力需要がピークに達する時間帯の電力消費を他の時間帯に移行する
画面表示設定切替ツール	利用シーンに応じたPC画面最適化
バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール※2	バッテリリフレッシュと性能診断
NASCA※3	ID・パスワードの保護と管理
ハードディスクデータ消去ツール※4 ※5	SSDのデータを消去する
セカンドブック グループ	書類を安全に持ち出せる
マカフィー リブセーフ	ウイルス対策とマルウェア対策などを行う包括的で高速なセキュリティソフトウェア
WinZip	ファイルの圧縮、保護、共有
PaintShop Pro※6	高度な写真編集、画像処理

※2　機能の詳細、使用方法については「本機の機能」-「バッテリ」の「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール (P. 56)」をご覧ください。

※3　インストール／アンインストールについては「アプリケーションディスク」の「NASCA」フォルダの「NASCA User's Guide.chm」をご覧ください。

※4　ハードディスクデータ消去ツールをご使用になる場合、再セットアップ用ディスクが必要です。詳細については、『再セットアップガイド』をご覧ください。

※5　機能の詳細、使用方法については『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

※6　Windows 7 Professional 64ビットのみに添付されます。

モデルによってインストール、または添付されているアプリケーション

◆Office Home and Businesss 2013モデル

アプリケーション	機　能
Word 2013	文章を作成する HTMLを作成する
Excel 2013	表計算をする
Outlook 2013	予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 電子メールを送受信する
PowerPoint 2013	プレゼンテーションや企画書を作成する
OneNote 2013	電子ノートブック機能

◆Office Home & Businesss Premiumモデル

アプリケーション	機　能
Word 2013	文章を作成する HTMLを作成する
Excel 2013	表計算をする
Outlook 2013	予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 電子メールを送受信する
PowerPoint 2013	プレゼンテーションや企画書を作成する
OneNote 2013	電子ノートブック機能

◆Webカメラ搭載モデル

アプリケーション	機　能
YouCam 5 BE※1	Webカメラを利用して省電力動作へ移行させたり、コンピュータを監視カメラとして使用する

※1　機能の詳細、使用方法については「本機の機能」の「Webカメラ」-「Webカメラについて (P. 123)」をご覧ください。

◆DVD-ROMドライブモデル

アプリケーション	機　能
CyberLink PowerDVD	DVDを再生する

◆DVDスーパーマルチドライブモデル

アプリケーション	機　能
CyberLink PowerDVD	DVDを再生する
Roxio Creator LJB	CD-Rなどにデータを保存する

アプリケーションのインストール/アンインストールについて

[060200-27]

本機にインストールまたは添付されているアプリケーションの概要とインストール方法およびアンインストール方法について説明します。
インストールやアンインストールをする場合、Windowsおよびインストールされているアプリケーションについての知識が必要になります。

インストールについて

本機にインストール、または添付されているアプリケーションをインストールする場合の手順を説明します。

チェック

- アプリケーションのインストールは、必ず管理者（ユーザー名は半角英数字）でログオンして行ってください。
- 再セットアップの後に続けてアプリケーションのインストールを行う場合は必ずWindowsの再起動後に行ってください。
- 光学ドライブが添付されていないモデルをお使いの場合は、別売の光学ドライブが必要です。
- 本マニュアルを表示しながらインストールの操作をすることができます。
  【Alt】＋【Tab】で画面を切り替えてご利用ください。
- アプリケーションの修復インストールはできません。
  いったんアンインストールしてから、インストールし直してください。

メモ

- 「管理者」とはAdministrator権限を持つユーザーを指し、コンピュータの全体的な構成を管理することができます。
  ユーザーアカウントに関する詳細についてはWindowsのヘルプをご覧ください。
- 光学ドライブをDドライブとした場合の手順を説明します。
  必要に応じて読み替えてください。

アンインストールについて

本機にインストールされているアプリケーションまたは購入後にインストールされた本機添付のアプリケーションのアンインストールの手順を説明します。
ご自分でインストールされた別売のアプリケーションのアンインストールについては、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。

チェック

- アプリケーションのアンインストールは、必ず管理者（ユーザー名は半角英数字）でログオンして行ってください。
- 「コントロール パネル」の「プログラムのアンインストール」で、アプリケーションを選択して「アンインストール」、または「アンインストールと変更」をクリックした後は、中断してもそのままではアプリケーションを使用できない場合があります。
  その際にはWindowsを再起動後、アプリケーションを使用してください。
- アプリケーションをアンインストールした後に、システムの復元機能でアンインストール前の状態に復元しても、復元されたアプリケーションは正常に動作しない場合があります。
  また、復元されたアプリケーションを「コントロール パネル」の「プログラムのアンインストール」からアンインストールしても、アンインストールできない場合があります。
  その場合は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧になり、インストールの操作を行ってください。
  復元の状況によって、インストールもしくはアンインストールが開始されます。
  アンインストールが開始されたら、画面の指示に従い、アンインストールを行ってください。
  インストールが開始されたら、画面の指示に従ってインストールを行い、インストール完了後にマニュアルをご覧になり、アンインストールを行ってください。
- 本マニュアルを表示しながらアンインストールの操作をすることができます。
- アプリケーションのアンインストール中に、すでにアンインストールされている旨のメッセージが表示されることがあります。その場合でも正常にアンインストールは完了しており、動作に影響はありません。

「Service Pack」について

[060400-07]

概要

本機には「Windows 7 SP1」がインストールされています。
Windows 7 SP1は、Windows 7で発見された問題の改善および更新プログラムを集めたものです。

以下のWebサイトではWindows 7 のService Packについての最新情報などを提供しています。
定期的にアクセスしてください。

http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows/downloads/service-packs

Internet Explorer 11

[060500-07]

- 概要. 289
- インストール. 289
- アンインストール. 290

概要

インターネットへの接続を行い、ホームページを表示します。
機能の詳細や操作方法については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

ヘルプ（Internet Explorer 11上で【Alt】を押し、「ヘルプ」→「Internet Explorer ヘルプ」をクリック）

チェック

Internet Explorer 11のヘルプやオンライン サポートなどを確認するには、インターネットに接続している必要があります。

●Internet Explorerの最新情報

http://windows.microsoft.com/ja-JP/internet-explorer/products/ie/home

チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」をクリック

Internet Explorer 11画面が表示されます。

インストール

チェック

Internet Explorer 11をインストールする場合は、再セットアップを行うことをおすすめします。
『再セットアップガイド』をご覧ください。

アンインストール

チェック

- Internet Explorer 11をアンインストールした場合、Internet Explorer 11、および更新プログラムで修正されていた問題が発生する可能性があります。
- Internet Explorer 11をアンインストールする場合は、ご購入時のセットアップ直後、または再セットアップ直後のいずれかの状態で行ってください。
  なお、アンインストールするとWindows® Internet Explorer® 8 になります。
- Internet Explorer 11が起動している場合は、終了させてください。

Internet Explorer 11のアンインストール

チェック

- Internet Explorer 11のアンインストール後、お気に入りフォルダに以下のフォルダが追加されます。
  - 「Microsoft の Web サイト」
  - 「MSN の Web サイト」
  - 「Windows Live」
- Internet Explorer 11のアンインストール後は、Windows® Updateを行い、Windows® Internet Explorer® 8用の最新の更新プログラムを適用することをおすすめします。

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 左側に表示されている「インストールされた更新プログラムを表示」をクリック

5 「更新プログラムのアンインストール」の「Microsoft Windows」配下にある「Internet Explorer 11」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

6 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「今すぐ再起動する」ボタンをクリック

再起動を促すメッセージが表示されない場合は、Windowsを再起動してください。

以上でInternet Explorer 11のアンインストールは終了です。

Office Home and Business 2013

[063600-07]

- 概要. 291
- 初回起動手順. 291
- 使用上の注意. 293
- インストール. 294
- アンインストール. 294

概要

Word 2013、Excel 2013、Outlook 2013、PowerPoint 2013、OneNote 2013が同梱されています。
機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアル、および各Office アプリケーションのヘルプ

●Office Home and Business 2013の最新の情報

http://office.microsoft.com/ja-jp/

チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

初回起動手順

Office Home and Business 2013では、工場出荷時の状態で、Office Home and Business 2013のセットアップ モジュールがインストールされています。
初回起動によりライセンス認証を含めインストールを完了させる必要があります。
以下の初回起動手順を行ってください。
ライセンス認証については、Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアル、各Office アプリケーションのヘルプ、または下記ホームページを参照してください。

http://office.microsoft.com/ja-jp/

チェック

- 初回起動はインターネットに接続した環境で行ってください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。
- 初回起動手順を実施中に「ライセンスを確認できませんでした」と表示される場合があります。

  文書番号：2813348
  「Office 2013 のインストール中にアプリケーションを起動すると "ライセンスを確認できませんでした" メッセージが表示される場合がある」

  詳しくは「サポート技術情報について (P. 13)」を参照してください。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Microsoft Office」をクリック

2 「Office をお選びいただき、ありがとうございます。それでは始めましょう。」と表示されたら、「ライセンス認証」をクリック

3 「プロダクト キーを入力してください」と表示されたら、プロダクト キーを入力し、「インストール」ボタンをクリック

Office のインストールが開始されます。

チェック

プロダクト キーはOffice Home and Business 2013のパッケージに同梱されているカード、またはパッケージ内に記載されています。

4 「新しい Office へようこそ。」と表示されたら、「次へ」をクリック

5 「最初に行う設定です。」と表示されたら、画面にある「推奨設定を使用する」または「いいえ」のいずれかを選択する

6 画面右下にある「使用許諾契約書を読む」をクリックし、内容を確認後、「OK」ボタンをクリック

7 「同意する」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

チェック

以下の画面が表示されますので、内容の確認や設定を行ってください。

- 「サインインしてOfficeを最大限に活用しましょう。」
- 「OneDriveについての説明をご覧ください。」
- 「新機能に関する説明をご覧ください。」

8 「準備が整いました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上で初回起動手順は終了です。

使用上の注意

Microsoft® Updateについて

Office の安定性と安全性を向上させるための更新プログラムが提供されています。
Office を最新の状態に保つために、Microsoft® Updateを定期的に実施してください。

チェック

- Microsoft® Updateを行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- Microsoft® Updateは必ずOfficeの「初回起動手順 (P. 291)」を済ませてから実施してください。

その他

- 以下の場合にイベントビューアに「警告」または「エラー」が表示されることがありますが、動作上問題ありません。
  - Office Home and Business 2013をインストールした時
  - 新規ユーザーでサインイン後、Office Home and Business 2013に含まれるアプリケーションのいずれかを初めて起動した時
- Office に含まれるアプリケーションを起動した状態ではスリープ状態にできない場合があります。
  その場合は、アプリケーションを終了させてから再度スリープ状態にしてください。
- Office に含まれるアプリケーションを起動した状態でWindowsを終了するとエラーが表示される場合があります。
  すべてのアプリケーションを終了してからWindowsを終了してください。
- カスタムテキストサイズの設定（DPI）を100%から125%以上に変更した場合、以下の問題が発生しますが動作上問題ありません。
  - Word 2013の書式設定と編集の制限ウィンドウが表示不正となる
- Word 2013の「はがき印刷」を使用するにはMicrosoft® .NET Framework 4以上をインストールする必要があります。

インストール

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。
その他のインストール方法については、Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアルをご覧ください。

チェック

インストールを行うには、インターネットへの接続環境が必要となります。

Office Home and Business 2013のインストール

Internet Explorerのお気に入りに登録されている「Office を再インストールする」へアクセスするか、Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアルの説明に従って、再インストールを行ってください。

アンインストール

チェック

- Office Home and Business 2013のアンインストール後にInternet Explorerでの右クリックメニューに表示が残る問題が発生する場合があります。

  文書番号：826917
  「Internet Explorer で "Microsoft Excel にエクスポート" コマンドを使用しようとしても何も起こらない」

  文書番号：2212044
  「Internet Explorer で [OneNote に送る] コマンドが機能しない」

  詳しくは「サポート技術情報について (P. 13)」を参照してください。
- Office Home and Business 2013に含まれるアプリケーションを起動している場合は、終了させてください。

「Microsoft Office IME 2010 (Japanese)」のアンインストール

チェック

Office Home and Business 2013をアンインストールする前に「Microsoft Office IME 2010 (Japanese)」をアンインストールする必要があります。

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Microsoft Office IME 2010 (Japanese)」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、「OK」ボタンをクリック

6 Windowsを再起動する

以上で「Microsoft Office IME 2010 (Japanese)」のアンインストールは終了です。
次に「「Microsoft OneDrive」のアンインストール (P. 295)」へ進んでください。

「Microsoft OneDrive」のアンインストール

チェック

「プログラムのアンインストール」に「Microsoft OneDrive」と表示されている場合は、以下の手順を行ってください。
表示されていない場合は、「Office Home and Business 2013のアンインストール (P. 295)」へ進んでください。

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Microsoft OneDrive」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上で「Microsoft OneDrive」のアンインストールは終了です。
次に「Office Home and Business 2013のアンインストール (P. 295)」へ進んでください。

Office Home and Business 2013のアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Microsoft Office」を選択し、「アンインストール」をクリック

チェック

「Microsoft Office Home and Business 2013 - ja-jp」と表示される場合もあります。

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、「閉じる」ボタンをクリック

6 Windowsを再起動する

以上でOffice Home and Business 2013のアンインストールは終了です。

Office Home & Business Premium

[060700-07]

- 概要. 297
- 初回起動手順. 297
- 使用上の注意. 299
- インストール. 300
- アンインストール. 300

概要

Word 2013、Excel 2013、Outlook 2013、PowerPoint 2013、OneNote 2013が同梱されています。
機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

各Office アプリケーションのヘルプ

●Office Home & Business Premiumの最新の情報

http://office.microsoft.com/ja-jp/

チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

初回起動手順

Office Home & Business Premiumでは、工場出荷時の状態で、Office Home & Business Premiumのセットアップ モジュールがインストールされています。
初回起動によりライセンス認証を含めインストールを完了させる必要があります。
以下の初回起動手順を行ってください。
ライセンス認証については、各Office アプリケーションのヘルプ、または下記ホームページを参照してください。

http://office.microsoft.com/ja-jp/

チェック

- 初回起動はインターネットに接続した環境で行ってください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。
- 初回起動手順を実施中に「ライセンスを確認できませんでした」と表示される場合があります。

  文書番号：2813348
  「Office Premium のインストール中にアプリケーションを起動すると "ライセンスを確認できませんでした" メッセージが表示される場合がある」

  詳しくは「サポート技術情報について (P. 13)」を参照してください。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Microsoft Office」をクリック

2 「では、始めましょう」と表示されたら、「次へ」をクリック

3 「プロダクト キー」画面が表示されたら、プロダクト キーを入力し、「次へ」ボタンをクリック

チェック

プロダクト キーはOffice Home & Business Premiumのパッケージに同梱されているカード、またはパッケージ内に記載されています。

4 「サインイン」画面が表示されたら、「サインイン」ボタンをクリック

5 「サインイン」と表示されたら、Microsoftアカウントとパスワードを入力し、「サインイン」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

チェック

Microsoft アカウントをお持ちの場合は、そのアカウントを使ってサインインしてください。また、お好きなメールアドレスを新しいMicrosoft アカウントのユーザー名として利用できます。

6 「新しい Office へようこそ。」と表示されたら、「次へ」をクリック

7 「最初に行う設定です。」と表示されたら、画面にある「推奨設定を使用する」または「いいえ」のいずれかを選択する

8 画面右下にある「使用許諾契約書を読む」をクリックし、内容を確認後、「OK」ボタンをクリック

9 「同意する」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

チェック

以下の画面が表示されますので、内容の確認や設定を行ってください。

- 「OneDrive についての説明をご覧ください。 」
- 「Officeの見た目を自分の好みに合わせて変えてみましょう 」
- 「新機能に関する説明をご覧ください。」

10 「準備が整いました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上で初回起動手順は終了です。

使用上の注意

Microsoft® Updateについて

Office の安定性と安全性を向上させるための更新プログラムが提供されています。
Office を最新の状態に保つために、Microsoft® Updateを定期的に実施してください。

チェック

- Microsoft® Updateを行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- Microsoft® Updateは必ずOfficeの「初回起動手順 (P. 297)」を済ませてから実施してください。

その他

- 以下の場合にイベントビューアに「警告」または「エラー」が表示されることがありますが、動作上問題ありません。
  - Office Home & Business Premiumをインストールした時
  - 新規ユーザーでサインイン後、Office Home & Business Premiumに含まれるアプリケーションのいずれかを初めて起動した時
- Office に含まれるアプリケーションを起動した状態ではスリープ状態にできない場合があります。
  その場合は、アプリケーションを終了させてから再度スリープ状態にしてください。
- Office に含まれるアプリケーションを起動した状態でWindowsを終了するとエラーが表示される場合があります。
  すべてのアプリケーションを終了してからWindowsを終了してください。
- カスタムテキストサイズの設定（DPI）を100%から125%以上に変更した場合、以下の問題が発生しますが動作上問題ありません。

- Word 2013の書式設定と編集の制限ウィンドウが表示不正となる
- Word 2013の「はがき印刷」を使用するにはMicrosoft® .NET Framework 4以上をインストールする必要があります。

インストール

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。

チェック

インストールを行うには、インターネットへの接続環境が必要となります。

Office Home & Business Premiumのインストール

Internet Explorerのお気に入りに登録されている「Office を再インストールする」へアクセスして、再インストールを行ってください。

アンインストール

チェック

- Office Home & Business Premiumのアンインストール後にInternet Explorerでの右クリックメニューに表示が残る問題が発生する場合があります。

  文書番号：826917
  「Internet Explorer で "Microsoft Excel にエクスポート" コマンドを使用しようとしても何も起こらない」

  文書番号：2212044
  「Internet Explorer で [OneNote に送る] コマンドが機能しない」

  詳しくは「サポート技術情報について (P. 13)」を参照してください。
- Office Home & Business Premiumに含まれるアプリケーションを起動している場合は、終了させてください。

「Microsoft Office IME 2010 (Japanese)」のアンインストール

チェック

Office Home & Business Premiumをアンインストールする前に「Microsoft Office IME 2010 (Japanese)」をアンインストールする必要があります。

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Microsoft Office IME 2010 (Japanese)」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、「OK」ボタンをクリック

6 Windowsを再起動する

以上で「Microsoft Office IME 2010 (Japanese)」のアンインストールは終了です。
次に「「Microsoft OneDrive」のアンインストール (P. 301)」へ進んでください。

「Microsoft OneDrive」のアンインストール

チェック

「プログラムのアンインストール」に「Microsoft OneDrive」と表示されている場合は、以下の手順を行ってください。
表示されていない場合は、「Office Home & Business Premiumのアンインストール (P. 301)」へ進んでください。

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Microsoft OneDrive」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上で「Microsoft OneDrive」のアンインストールは終了です。
次に「Office Home & Business Premiumのアンインストール (P. 301)」へ進んでください。

Office Home & Business Premiumのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Microsoft Office」を選択し、「アンインストール」をクリック

> **チェック**
>
> 「Microsoft Office Home and Business Premium - ja-jp」と表示される場合もあります。

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、「閉じる」ボタンをクリック

6 Windowsを再起動する

以上でOffice Home & Business Premiumのアンインストールは終了です。

Access Connections

[061100-27]

- 概要. 303
- 使用上の注意. 304
- Access Connectionsでの無線LAN機能のオン／オフ. 305
- Access Connectionsでの無線LANの設定と接続. 306
- Access Connectionsでの有線LANの設定と接続. 307
- インストール. 307
- アンインストール. 308

概要

Access Connectionsはネットワークの設定、接続、切り替えおよびロケーション・プロファイルのインポートとエクスポートができます。
機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。

メモ

Windows標準の無線LAN機能を使用して無線LANのオン／オフや設定、接続をする場合は、「本機の機能」の「無線LAN機能 (P. 153)」をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

Access Connectionsのヘルプ（Access Connectionsを起動し、 ボタンをクリック→「Access Connections ヘルプ」をクリック）

チェック

ヘルプに記載されている機能は、実際に利用できる機能と多少異なる場合があります。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Access Connections」をクリック

Access Connectionsのメインウィンドウが表示されます。

チェック

Access Connectionsは複数のユーザーで同時に使用することはできません。
複数のユーザーがログオンしている環境で他のユーザーがAccess Connectionsのメインウィンドウを起動すると「Access Connectionsは、別のユーザーによって使用されています。別のユーザーをログオフし、もう一度実行してください。」と表示され、Access Connectionsを使用することができません。
ユーザーの切り替えを行う場合、Access Connectionsのメインウィンドウを閉じてからユーザーを切り替えてください。

使用上の注意

- 本アプリケーションを使用する前に、「本機の機能」の「無線LAN機能」に記載している以下の内容をあわせてご覧ください。

  - 概要. 154
  - 本機を安全にネットワークに接続するために. 156
  - 無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意. 158
  - 使用上の注意. 160

- ネットワークの切断について
  ネットワークの切断を行うと無線LAN機能が自動的にオフに変更されます。無線LAN機能がオフになった場合、下記の手順で無線LAN機能をオンにしてください。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「Windows モビリティ センター」をクリック

3 「ワイヤレス ネットワーク」にある「ワイヤレスをオンにする」ボタンをクリック

- カスタムテキストサイズの設定について
  カスタムテキストサイズの設定（DPI）を既定の100%から150%に変更した場合、Access Connectionsが画面からはみ出る場合があります。その場合は、カスタムテキストサイズの設定（DPI）を既定の150%から100%に変更してご使用ください。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「デスクトップのカスタマイズ」をクリック

3 「ディスプレイ」の「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリック

4 「小 - 100% 」を選択し「適用」ボタンをクリック

カスタムテキストサイズの設定（DPI）でテキストのサイズを変更する場合は、左側の「カスタム テキストサイズの設定（DPI)」をクリックして設定してください。

5 ログオフを促すメッセージが表示されたら、「今すぐログオフ」ボタンをクリック

Windowsからログオフします。
ログオン画面が表示されたら、ログオンしなおしてください。

- インターネットに接続されていない場合について
  本アプリケーションは.NET Frameworkの仕様で、起動時にMicrosoft社のサーバーへアクセスを試みます。本機がインターネットに接続されていない場合は、サーバーを見つけようとするために通常より起動に時間がかかることがあります。

Access Connectionsでの無線LAN機能のオン／オフ

タスク バーの通知領域から「ワイヤレス ステータス アイコン（ ）」を使って、無線LAN機能のオン／オフを切り替えることができます。

チェック

インストール直後の状態では、タスク バーの通知領域に「ワイヤレス ステータス アイコン（ ）」は表示されません。
以下の手順でタスク バーの通知領域に「ワイヤレス ステータス アイコン（ ）」を表示する設定を行ってください。

1. **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Access Connections」をクリック**
2. **「切替」が「アドバンスへ」と表示されている場合は「アドバンスへ」ボタンをクリック**

   「切替」が「ベーシックへ」と表示されている場合は手順3へ進んでください。
3. **「ツール」にある「グローバル設定」をクリック**
4. **「グローバル設定」画面の「通知」タブにある「タスク トレイにワイヤレス ステータス アイコンを表示する」にチェックを付ける**
5. **「OK」ボタンをクリック**

無線LAN機能をオンにする場合

チェック

この方法で切り替えるには、ワイヤレス機能がオンになっている必要があります。

1. **タスク バーの通知領域にある「ワイヤレス ステータス アイコン（ ）」をクリック**
2. **表示されるメニューから「無線をオンにする」をクリック**

無線LAN機能をオフにする場合

1. **タスク バーの通知領域にある「ワイヤレス ステータス アイコン（ ）」をクリック**

2 表示されるメニューから「無線をオフにする」をクリック

Access Connectionsでの無線LANの設定と接続

無線LANの設定をする

「ベーシック・ビュー」で設定する方法を説明します。
「アドバンス・ビュー」の「インターネットに接続」や「アドバンス・ビュー」の「プロファイル」で設定したい場合は、「Access Connections ヘルプ」をご覧ください。

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

無線LAN機能がオフになっている場合は、「Access Connectionsでの無線LAN機能のオン／オフ (P. 305)」をご覧になり、無線LAN機能をオンにしてください。

2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Access Connections」をクリック

3 「切替」が「アドバンスへ」と表示されている場合は「アドバンスへ」ボタンをクリック

「切替」が「ベーシックへ」と表示されている場合は手順4へ進んでください。

4 「インターネットに接続」タブをクリック

ネットワーク名（SSID）の一覧が表示されます。

5 接続する無線LANアクセスポイントのネットワーク名（SSID）をクリック

チェック

- 選択した無線LANアクセスポイントに間違いがないか、ネットワーク名（SSID）を確認してください。
- ネットワーク名（SSID）の一覧に接続するネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、「再検索」ボタンをクリックしてください。それでもネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、無線LANアクセスポイントがネットワーク名（SSID）を通知しない設定になっている場合があります。無線LANアクセスポイントの設定を確認し、「Access Connections ヘルプ」をご覧になり「アドバンス・ビュー」の「ロケーション プロファイルの作成」で無線LANの設定を行ってください。

6 「接続」ボタンをクリック

7 「ネットワークにはネットワーク･キーが必要です。」と表示されたら、「パスワード」を入力して「接続」ボタンをクリック

8 「この接続をロケーションの１つとして保存しますか？」と表示されたら、「ロケーション名」を入力して「保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

設定済みの接続先に接続する

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

無線LAN機能がオフになっている場合は、「Access Connectionsでの無線LAN機能のオン／オフ (P. 305)」をご覧になり、無線LAN機能をオンにしてください。

2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Access Connections」をクリック

3 「切替」が「アドバンスへ」と表示されている場合は「アドバンスへ」ボタンをクリック

「切替」が「ベーシックへ」と表示されている場合は手順4へ進んでください。

4 「ロケーション」にある接続先から接続するロケーション プロファイルを選択し、「接続」ボタンをクリック

以上で接続は完了です。

Access Connectionsでの有線LANの設定と接続

Access Connectionsで有線LANの設定や接続をする場合は、「Access Connections ヘルプ」をご覧ください。

インストール

Access Connectionsのインストール

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥Nxsetup.exe

5 「Access Connections」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

6 **「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック**

7 **再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック**

8 **Windowsを再起動後、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す**

以上でAccess Connectionsのインストールは終了です。

アンインストール

Access Connectionsのアンインストール

チェック

アンインストールはネットワークに接続した状態で行ってください。ネットワークに切断した状態でアンインストールを行うと無線LAN機能がオフになります。
無線LAN機能がオフになった場合、「ネットワークの切断について (P. 304)」を参照して無線LAN機能をオンにしてください。

1 **Windowsを起動する**

2 **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**

3 **「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック**

4 **「Access Connections」を選択し、「アンインストール」をクリック**

5 **「Access Connections をアンインストールしますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック**

チェック

「ユーザー アカウント制御」画面にある「発行元」が「不明」と表示されますが問題ありません。

6 **「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック**

7 **「Access Connections プロファイルを続けてご利用になりますか？」と表示されたら、「いいえ」ボタンをクリック**

アンインストール後に再度Access Connectionsをインストールしてご使用になる場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

8 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

以上でAccess Connectionsのアンインストールは終了です。

DeviceLock Lite

[061200-27]

- 概要. 310
- 使用上の注意. 310
- インストール. 310
- アンインストール. 311

概要

DeviceLock Lite（以下、DeviceLock）は、外部デバイスへのデータ漏えいを防止する情報漏えい対策ソフトウェアです。
機能の詳細や操作方法、制限事項については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法、制限事項

DeviceLock User Manual（「アプリケーションディスク」内の「DeviceLock¥DeviceLock User Manual.chm」）

使用上の注意

Roxio Creator LJBと同時に使用する場合の注意

DeviceLockで書き込みを制限していると、Roxio Creator LJBを使用してメディアへ書き込みやファイルバックアップはできません。
メディアへ書き込みやファイルバックアップを行う場合は、DeviceLockで光学ドライブを機器単位で有効に設定するか、書き込み制限を解除してください。

Bluetoothの制御をする場合の注意

Bluetoothの制御機能は、マウス、キーボードのみ使用禁止にできます。
携帯電話等とのファイル送受信については使用禁止にできません。

インストール

DeviceLockのインストール

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥Nxsetup.exe

5 「DeviceLock」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

6 インストールが終了したら、Windowsを再起動する

7 Windowsを再起動後、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

以上でDeviceLockのインストールは終了です。

アンインストール

DeviceLockのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「DeviceLock」を選択し、「アンインストール」をクリック

5 「DeviceLockをアンインストールしますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

6 「DeviceLockのアンインストールは正しく完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

以上でDeviceLockのアンインストールは終了です。

Adobe Reader

[061300-07]

- 概要. 312
- インストール. 313
- アンインストール. 314

概要

Adobe ReaderはPDF（Portable Document Format）形式のマニュアルの表示、閲覧、印刷を行うことができるビューアです。
機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

ヘルプ（Adobe Readerを起動し、「ヘルプ」→「Adobe Reader XI ヘルプ」をクリック）

チェック

ヘルプを参照するにはインターネットに接続できる環境が必要です。

●Adobe Readerの最新の情報

http://www.adobe.com/jp/index.html

チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Adobe Reader XI」をクリック

チェック

インストール後、初めてお使いになる場合は、起動時に「Adobe Reader XI - パーソナル コンピューターでの使用に関する配布の使用許諾契約」画面が表示されます。
内容を確認し「同意する」ボタンをクリックしてください。

Adobe Readerの画面が表示されます。

インストール

チェック

「C:¥DRV¥AdobeReader¥AdbeRdr11007_ja_JP.exe」をダブルクリックすることで簡単にインストールできます。

Adobe Readerのインストール

アプリケーションディスクをご利用になる場合は、次の手順でインストールしてください。

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3 「D:¥AdobeReader」フォルダをSSDの任意の場所にコピーする

メモ

ここでは「C:¥TEMP」にコピーした場合の手順を説明します。
必要に応じて読み替えてください。

4 光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

5 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

6 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥TEMP¥AdobeReader¥AdbeRdr11007_ja_JP.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

7 インストールが完了したら、Windowsを再起動する

メモ

手順3でコピーしたフォルダは自動的に削除されません。
Adobe Readerのインストールが終了したら削除することをおすすめします。

以上でAdobe Readerのインストールは終了です。

アンインストール

Adobe Readerのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Adobe Reader XI (11.0.07) - Japanese」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でAdobe Readerのアンインストールは終了です。

ECOモード設定ツール

[061400-27]

概要

ECOボタン、または設定したホットキーで簡単にモード（電源プラン）を切り替えることができます。
機能の詳細、操作方法については、以下をご覧ください。

チェック

本機では、ECOモード設定ツールはインストールされています。
追加の必要はありません。

参照

機能の詳細、操作方法について
「本機の機能」の「省電力機能」-「ECOモード機能 (P. 40)」

設定方法

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ECOモード設定ツール」→「ECOモード設定ツール」をクリック

ECOモード設定ツールの設定画面が表示されます。

ピークシフト設定ツール

[061500-27]

- 概要. 316
- インストール. 316
- アンインストール. 317

概要

電力需要がピークに達する時間帯の電力消費を、他の時間帯に移行することをピークシフトといいます。
本機は、「ピークシフト設定ツール」で設定を行うことで「ピークシフト機能」を使用できます。
機能の詳細や使用上の注意、操作方法については、以下をご覧ください。

参照

機能の詳細や使用上の注意、操作方法について
「本機の機能」の「省電力機能」-「ピークシフト機能 (P. 44)」

インストール

ピークシフト設定ツールのインストール

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥Nxsetup.exe

5 「ピークシフト設定ツール(タイプVG/VN)」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

チェック

「ピークシフト設定ツール」が複数表示されている場合は、お使いの機種のピークシフト設定ツールを選択してください。

6 「ピークシフト設定ツール セットアップ ウィザードへようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

7 「インストールが完了しました。」画面が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック

8 再起動を促すメッセージが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリック

9 光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出し、Windowsを再起動する

以上でピークシフト設定ツールのインストールは終了です。

アンインストール

ピークシフト設定ツールのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「ピークシフト設定ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック

5 「ピークシフト設定ツール をアンインストールしますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

6 「インストールを続行するには、次のアプリケーションを終了する必要があります」と表示された場合は、「セットアップの完了後、アプリケーションを自動的に終了して、再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリック

7 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

以上でピークシフト設定ツールのアンインストールは終了です。

画面表示設定切替ツール

[062100-27]

- 概要. 318
- 使用上の注意. 319
- インストール. 319
- アンインストール. 320

概要

画面表示設定切替ツールは、タッチパネルモデルご利用時のタッチパネル操作や高解像度モデルご利用時の操作・閲覧を快適にするために、Windowsの表示設定を切り替える設定ツールです。
利用シーンに応じて設定を3種類まで保存し、表示設定をかんたんに切り替えることができます。

機能の詳細や操作方法については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

画面表示設定切替ツールのヘルプ（「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「画面表示設定切替ツール」→「画面表示設定切替ツール ヘルプ」）

チェック

画面表示設定切替ツールは、工場出荷状態でインストールされています。

モードの切り替え方法

チェック

- モードの切り替えを行った後、Windowsのログオフが必要な場合があります。
- モードの切り替えを行う前にデータを保存し、アプリケーションを終了させてください。
- ログオフ確認画面が表示されなかった場合には、Windowsのログオフは必要ありません。

1 デスクトップの「画面表示設定切替ツール」をダブルクリック

画面表示設定切替ツール画面が表示されます。

2 切り替えたい設定をクリック

3 ログオフを促すメッセージが表示されたら、「今すぐログオフ」をクリック

使用上の注意

- 画面表示設定切替ツールは、表示の切り替えを行うたびに以下の項目に対してWindowsの設定を変更します。
  このため、お客さまが「コントロール パネル」等で個々に変更された設定値は保持されず、切り替え時に画面表示設定切替ツールによって変更されてしまいますので、ご注意ください。
  - テキストやその他の項目のサイズ（DPI）
  - デスクトップのアイコンサイズ
  - タイトルバーのサイズ/フォントのサイズ/ボタンサイズ
  - ウィンドウの境界の太さ
  - スクロールバーの太さ
  - メニューのサイズ/フォントのサイズ
  - マウスのポインタ
  - 文字入力時のカーソルのサイズ
  - 文字入力時のカーソルの点滅速度
- 「コントロール パネル」等から「テキストやその他の項目の大きさの変更(DPI)」の変更を行ったり、個人設定でテーマを変更すると、画面表示設定切替ツールで変更した以下の項目はWindowsによって再設定されてしまいます。
  この場合は、再度画面表示設定切替ツールにて表示の切り替えを行ってください。
  - タイトルバーのサイズ/フォントのサイズ/ボタンサイズ
  - ウィンドウの境界の太さ
  - スクロールバーの太さ
  - メニューバーのサイズ/フォントのサイズ
- 「メニューのサイズ、および メニューのフォントサイズ」や「タイトルバーのサイズとフォントサイズ、タイトルのボタンのサイズ」を「大」に設定すると、Windowsの仕様により、エクスプローラの左下に表示されるプロパティなどの文字列が途切れたり、重なったりする場合があります。

インストール

画面表示設定切替ツールのインストール

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥Nxsetup.exe

5 「画面表示設定切替ツール (タイプVN)」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

6 インストールが完了したら、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出し、Windowsを再起動する

以上で画面表示設定切替ツールのインストールは終了です。

アンインストール

画面表示設定切替ツールのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「画面表示設定切替ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上で画面表示設定切替ツールのアンインストールは終了です。

Roxio Creator LJB

[061900-27]

- 概要. 321
- 使用上の注意. 322
- インストール. 323
- アンインストール. 324

概要

Roxio Creator LJBは、CD-Rなどの対応している媒体にデータを書き込むことができるライティングソフトです。
Roxio Creator LJBは、CD-RなどへRoxio Creator LJBのウィンドウ上でコピーするデータを選択し、一括してコピーすることができますので、大量のデータを記録するのに適しています。
Roxio Creator LJBは、Roxio BackOnTrackのファイルバックアップ機能を利用してファイルをバックアップすることができます。

対応している媒体は以下の通りです。

ドライブ	対応している媒体
DVDスーパーマルチドライブ	CD-R、CD-RW
	DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW
	DVD+R、DVD+R DL、DVD+RW
	DVD-RAM

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

チェック

お使いのモデルによってはRoxio Creator LJBはインストールまたは添付されていない場合があります。
「アプリケーションの種類と機能 (P. 284)」をご覧になり確認してください。

●機能の詳細や操作方法

- **Roxio Creator LJBのヘルプ**

  1 Roxio Creator LJBを起動する

  2 「ヘルプ」メニューの「ヘルプ」をクリック

- **Roxio BackOnTrackのファイルバックアップのヘルプ**

  1 Roxio Creator LJBを起動する

  2 「データ - コピー」タブの「バックアップ/リストア」をクリック

Roxio BackOnTrackが起動します。

チェック

初回起動時のみ、バックアップの保存先を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

3 「ヘルプ」メニューの「ヘルプ」をクリック

●Roxio Creator LJBの最新の情報

http://www.roxio.jp/jpn/support/

チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Roxio」→「Roxio Creator LJB」をクリック

Roxio Creator LJB の画面が表示されます。

チェック

Roxio Creator LJBを初めて起動する場合、「製品の登録」の画面が表示されます。
ユーザー登録を行う場合は、画面の指示に従って手続きを完了させてください。ユーザー登録を中止した場合は、以下の手順で、ユーザー登録を行うことができます。
なお、「製品の登録」を行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。

1 Roxio Creator LJBを起動する

2 「ヘルプ」メニューをクリック

3 「今すぐ登録」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

使用上の注意

- Roxio Creator LJBはCD TEXT情報をサポートしていますが、Windows Media Player上ではCD TEXT情報は反映されません。
- 書き込みに失敗した媒体は使用できなくなります。書き込みの失敗による媒体の補償はできません。

媒体に傷が付いていたり、誤ってデータを削除してしまうと、データの復旧ができません。重要なデータは必ずバックアップを取るようにしてください。

- 書き込みまたはフォーマットを行っている際、スリープ、休止、またはシャットダウンを行うとメディアが破損する場合があります。
- 「データ - コピー」の「ディスクイメージを作成」を実行する際、ISOイメージファイル、またはグローバルイメージファイル（以下、giファイル）で作成することができます。
  giファイルでイメージを作成する際、データの容量が大きい場合はイメージファイルが複数に分割されることがあります。
  その場合、giファイルのファイル名を変更するとDVDおよびCDへのイメージの書き込みができなくなりますので、giファイルのファイル名は変更しないでください。
- 媒体へのデータ書き込み中に他のアプリケーションを使用したり、自動的に省電力機能が働いたり、一定時間が経過すると動作するスクリーンセーバーやメールの自動受信プログラムなどが常駐していると、書き込みエラー（バッファアンダーラン）が発生する場合があります。
  書き込みエラーの発生を抑えるため、データ書き込みの際は他の動作プログラムを終了し、省電力機能や常駐するプログラムを無効（オフ）にすることをおすすめします。
- 本機や、外付けドライブに振動や衝撃をあたえないでください。書き込みエラーの原因となります。
- 媒体をコピーする場合、SSD内（1つのパーティション）にコピーするデータ分の空き容量が必要になります。
  必要な容量を確保できないと媒体をコピーすることができませんので、大量のデータが入っている媒体をコピーする場合は、SSDに十分な空き容量があることを事前に確認してください。
- バッテリの残量がなくなると、書き込みエラーの原因になります。書き込みを行う場合は、ACアダプタを接続してACコンセントから電源を供給してください。
- オプション製品の光学ドライブなどをご利用の場合は、オプション製品に添付のアプリケーションを使用してください。
- 書き込みまたはフォーマットを行っている際に表示される進捗状況バー、および推定残り時間は、実際の処理と合わない場合がありますが動作に影響はありません。
- ファイルバックアップを実行中に「<ファイル名>は他のプログラムで排他的に開かれています。再試行しますか?」と表示された場合は、そのファイルを開いているプログラムを終了してから「はい」ボタンをクリックしてください。
  ファイルを開いているプログラムが分からない場合や終了できない場合はバックアップすることはできませんので、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

DeviceLockと同時に使用する場合の注意

DeviceLockにより光学ドライブに対して書き込みを制限している状態で、媒体へのデータの書き込みを行うと、「プロジェクトは正常に完了しました。」と表示されますが、書き込みはできていません。DeviceLockの書き込み制限を解除した状態で書き込みを実行してください。

インストール

Roxio Creator LJBのインストール

チェック

Roxio Creator LJBをインストールすると、Roxio BackOnTrackのファイルバックアップ機能が同時にインストールされます。

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「Roxio Creator LJB ディスク」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥RC¥setup.exeΔDisableProducts=MSXMLMSI_40SP3ΔDISABLE_XML4=1

※Δは半角スペースを意味しています。

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 再起動を促すメッセージが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリック

6 光学ドライブから「Roxio Creator LJB ディスク」を取り出し、Windowsを再起動する

以上でRoxio Creator LJBのインストールは終了です。

アンインストール

Roxio Creator LJBのアンインストール

チェック

Roxio Creator LJBをアンインストールすると、Roxio BackOnTrackのファイルバックアップ機能が同時にアンインストールされます。

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Roxio Creator LJB」を選択し、「アンインストールと変更」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でRoxio Creator LJBのアンインストールは終了です。

CyberLink PowerDVD

[062000-27]

- 概要. 325
- 使用上の注意. 325
- インストール. 327
- アンインストール. 328

概要

DVDを再生することができます。
機能の詳細、操作方法については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

「CyberLink PowerDVD」のヘルプ（画面右上の 「？」ボタンをクリックすることで開くことができます）

チェック

- **CyberLink PowerDVDでは音楽CD、ビデオCD、およびDVD-Audioの再生はサポートしていません。**
- **本機では、リージョンコード（国別地域番号）が「ALL」または「2」が含まれているDVDのみ再生することができます。**
- お使いのモデルによってはCyberLink PowerDVDは添付されていない場合があります。「アプリケーションの種類と機能 (P. 284)」をご覧になり確認してください。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「CyberLink PowerDVD」→「CyberLink PowerDVD」をクリック

CyberLink PowerDVD画面が表示されます。

使用上の注意

- CyberLink PowerDVDの起動中は、次のことに注意してください。
  - 他のソフトを起動しないでください。コマ落ちが発生する場合があります。
  - ソフトによっては（同じように映像を表示するタイプのソフトなど）、他のソフトが起動できないことがあります。
  - 再生中は省電力状態（スリープや休止状態）へ移行しないようになっています。電源スイッチやスタートメニューなどを使って強制的にスリープや休止状態にしないでください。
- CyberLink PowerDVDを起動中に解像度/表示色/表示するディスプレイ/デュアルディスプレイ環境時のモニタ位置の変更など、おこなわないでください。
- デュアルディスプレイ機能を使っているときにディスクを再生すると、プライマリに設定されているデバイスのみに表示される場合があります。

- HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応していない外部ディスプレイでは、著作権保護された映像をデジタル出力できません。
- Intel® WiDi機能を使用して、HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応していない外部ディスプレイに接続した場合は再生できません。
- 画面回転機能使用時、画面の向きが90度と270度での再生はサポートしていません。
- 電源プランを「ECO」にすると、CyberLink PowerDVDは正常に動作しない可能性があります。その場合は電源プランを「標準」に変更してください。
- DVD再生開始時やDVDディスク内タイトルの切り替え時に時間がかかることがあります。
- ビットレートの高い映像では、スムーズな再生品質を得られない場合があります。
- DVDコンテンツの作り方により、メニュー等でマウス選択できない場合があります。
- DVDタイトルの中には、DVD再生用アプリケーションを含んだものがありますが、インストールする必要はありません。
- ディスク再生時にACアダプタを接続した状態で使用することをおすすめします。
- CyberLink PowerDVD でディスクが認識しない場合は、次のような原因が考えられます。

<ディスクの確認>

- 記録面に傷や指紋などの汚れがついている
  ディスクに傷が付いていると、使用できない場合があります。
  また、汚れている場合は、乾いたやわらかい布で内側から外側に向かって拭いてから使用してください。

- ディスクが光学ドライブに正しくセットされていない
  セットされているディスクの表裏を確認して、光学ドライブのディスクトレイの中心に、きちんとセットしてください。

- 書き込みに失敗したディスク
  書き込みに失敗したディスクは読み込めない場合があります。

- ファイナライズされていないディスク
  デジタルビデオカメラや、ライティングソフトで作成した場合、ファイナライズを行わないと、光学ドライブで読めない場合があります。

- 映像データファイルを記録したディスク
  CyberLink PowerDVDはファイル再生には対応しておりません。
  他の映像再生アプリケーション（Windows Media Playerなど）をご利用ください（その場合には、他社・コミュニティなどが用意するコーデックが必要になることがあります）。

- ディスクの劣化
  記録ディスクの品質により、経年劣化、光劣化などを起こすことがあります。
  ディスクを交換して試してみてください。

<ディスクの規格の確認>

AVCREC、AVCHD、ブルーレイディスクを再生させようとした可能性があります。
本機で使用できるディスクの規格を確認してください。

- AVCREC規格で記録されたDVD
  著作権保護付きで、DVD媒体にハイビジョン画質のデータを記録するための規格

- AVCHD規格で記録されたDVD
  ハイビジョン映像を撮影・録画するデジタルビデオカメラの規格

> **参照**
>
> **本機で使用できるディスク**
>
> 電子マニュアルビューアでお使いの機種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。
> http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

<光学ドライブの確認>

- 光学ドライブの読み取りレンズが汚れているため読み取り不良になる。
  ほこりや油膜などによりレンズが汚れていると、読み込みに失敗したり、読み込み時間が長くなったりすることがあります。
  レンズクリーナーでレンズをクリーニングしてください。

- 光学ドライブが、使用可能ハードウェアとして認識されていない。
  BIOSセットアップユーティリティのI/O制限、DeviceLockは周辺機器の使用を制限することができます。
  光学ドライブを使用不可に設定していないか確認してください。

- VGA変換アダプタを使用して外部ディスプレイに接続した環境では、著作権保護されたコンテンツの再生はサポートしていません。

インストール

CyberLink PowerDVDのインストール

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「CyberLink PowerDVD ディスク」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥POWERDVD¥setup.exe

「CyberLink PowerDVD の InstallShield Wizard へようこそ」画面が表示されます。
これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 「InstallShield Wizard の完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

6 光学ドライブから「CyberLink PowerDVD ディスク」を取り出し、Windowsを再起動する

以上でCyberLink PowerDVDのインストールは終了です。

アンインストール

CyberLink PowerDVDのアンインストール

1. **Windowsを起動する**
2. **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**
3. **「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック**
4. **「CyberLink PowerDVD」を選択し、「アンインストール」をクリック**
5. **「これにより、CyberLink PowerDVD はコンピューターから削除されます。 続行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック**
6. **「CyberLink PowerDVD の個人設定を保持しますか？」と表示されたら、「いいえ」をクリック**
7. **「InstallShield Wizard の完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック**

以上でCyberLink PowerDVDのアンインストールは終了です。

セカンドブック グループ

[062500-27]

- 概要. 329
- インストール. 330
- アンインストール. 330

概要

PCを使うことで、安全に書類を持ち出すことができます。

●機能の詳細や操作方法

「セカンドブック グループ ディスク」内に格納している操作ガイドを参照してください。

「セカンドブック グループ ディスク」→「SB」→「SBG操作ガイド.pdf」

チェック

セカンドブック グループでは以下のポートを使います。お使いのファイアウォール設定をご確認ください。
TCP: 37897,37898 / UDP: 37895,37896

マカフィー リブセーフの場合の設定手順は、「セカンドブック グループ ディスク」内に格納しているFWポート解放手順を参照してください。
「セカンドブック グループ ディスク」→「SB」→「FWポート解放手順_SB.pdf」

起動方法（ホスト用アプリ／クライアント用アプリ）

メモ

次の手順はホスト用アプリの場合です。クライアント用アプリの場合は、アプリの名称を「SecondBookWinClient」と読み替えてください。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「SecondBookGroup」→「SecondBookGroup」をクリック

「セカンドブック グループ」の画面が表示されます。

メモ

初回起動時は、「プロファイル」画面が表示されます。

インストール

セカンドブック グループのインストール（ホスト用アプリ／クライアント用アプリ）

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「セカンドブック グループ ディスク」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

- **ホスト用アプリの場合**
  D:¥SB¥SBGH¥SecondBookGroupSetup.msi
- **クライアント用アプリの場合**
  D:¥SB¥SBGWC¥SecondBookWinSetup.msi

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。（「セカンドブック グループ ディスク」→「SB」→「SBG操作ガイド.pdf」）

5 インストールが完了したら、光学ドライブから「セカンドブック グループ ディスク」を取り出す

以上でセカンドブック グループのインストールは終了です。

アンインストール

セカンドブック グループのアンインストール（ホスト用アプリ／クライアント用アプリ）

メモ

次の手順はホスト用アプリの場合です。クライアント用アプリの場合は、アプリの名称を「SecondBookWinClient」と読み替えてください。

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「SecondBookGroup」を選択し、「アンインストール」をクリック

5 「SecondBookGroupをアンインストールしますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

6 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でセカンドブック グループのアンインストールは終了です。

マカフィー リブセーフ

[063000-27]

- 概要. 332
- 使用上の注意. 333
- インストール. 336
- アンインストール. 336

概要

マカフィー リブセーフは、リアルタイムのウイルス対策とマルウェア対策、迷惑メール対策、双方向ファイアウォールの脆弱性対策、保護者機能などを搭載した包括的なセキュリティソフトウェアです。
機能の詳細、操作方法、制限事項、および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

定期的にウイルスを検索するスケジュール スキャン、ネットワークや外付けドライブを経由したウイルスの侵入を常に見張る機能やウイルスを駆除する機能などがあります。

チェック

マカフィー リブセーフのヘルプやサポート情報などを確認するには、インターネットに接続して行います。

●動作環境、制限事項に関する情報

試用期間は、初めてマカフィー リブセーフをセットアップした時点から60日間になります。60日間は無料で試用することができますが、試用期間が終了するとウイルス定義ファイル(DAT)、ウイルス検索エンジンを含む製品のアップデートを行なうことができなくなります。
マカフィー リブセーフのすべての機能を引き続きご利用になる場合は、マカフィー リブセーフを購入する必要があります。
購入に関する詳細な情報は以下のホームページをご覧ください。
http://www.mcafee.com

チェック

試用期間の終了後もウイルス定義ファイル・ウイルス検索エンジンによる本体でのウイルス検索は、引き続き行なうことができます。 ただし、試用期間の終了後に発見されたウイルスに対して検出・駆除が実施されませんのでご注意ください。

●マカフィー リブセーフの最新の情報

http://www.mcafee.com

チェック

- マカフィー リブセーフに関する緊急アップデート等の重要な製品情報が掲載されますので、マカフィーのホームページにて定期的に最新情報を確認することをおすすめします。
- コンピュータウイルスを検出した場合は、『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧の上、対処してください。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「マカフィー」→「マカフィーリブセーフ - インターネットセキュリティ」をクリック

マカフィー リブセーフの画面が表示されます。

使用上の注意

マカフィー リブセーフについて

パソコンのデータとWeb閲覧を保護するために、マカフィーセキュリティ対策の最新の更新をインストールしてください。
新しいウイルス、ハッカーの攻撃など、パソコンやデータはオンライン脅威に常にさらされています。セキュリティ対策の更新により、新しいウイルス、スパイウェアなどの脅威を阻止するだけでなく、マカフィーソフトウェアの機能強化もインストールすることができます。

チェック

- マカフィー リブセーフの更新やクラウドを使用したウイルスチェックなどはインターネットに接続して行います。インターネットに接続のために必要なインターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯電話など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。
- インターネットに接続していない場合は、パソコンに保存されている情報をもとにウイルスチェックを行うため、最新の情報でない場合があります。
- コンピュータ全体のバックアップを定期的に作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

アップデートについて

新たに発生する脅威からパソコンを保護するために、マカフィーソフトウェアを常に最新の状態にしてください。

チェック

- マカフィーソフトウェアを購入して登録すると、更新が自動的に確認され、インストールされます。
- マカフィー リブセーフの更新は、インターネットに接続して行います。

◆更新の確認

自動更新が有効になっている場合でも、更新を確認することができます。更新を確認するときは、次の手順で行います。

1 「ホーム」にある「マカフィー 更新」をクリック

2 「更新の確認」をクリック

メモ

通知領域にあるマカフィーのアイコンを右クリックして「更新の確認」を選択しても、更新を確認することができます。

◆更新オプションの選択

自動更新では、新しいウイルスやスパイウェアなどの脅威に対する保護機能だけでなく、マカフィーソフトウェアの機能強化もインストールされます。また、更新の方法を手動で変更することができます。更新オプションを選択するときは、次の手順で行います。

1 「ホーム」にある「マカフィー 更新」をクリック

2 「更新の設定」をクリック

3 自動更新を受信するオプションを選択する

- 「更新を自動的にダウンロードしてインストールする。」
- 「更新をダウンロードするが、インストール前に通知する。」
- 「更新が使用可能になったら通知する。」

4 「適用」をクリック

◆自動更新の有効/無効の設定

自動更新は、次の手順で有効または無効にすることができます。

チェック

更新を受信することで、新たに発生する脅威からパソコンを保護することができるため、自動更新を無効にしないことをおすすめします。

1 「ホーム」にある「マカフィー 更新」をクリック

2 「更新の設定」をクリック

3 「有効にする」または「無効にする」をクリック

スケジュール スキャンについて

スケジュール スキャンを設定すると、パソコンを定期的にスキャンし、ウイルス、スパイウェアなどの脅威を確認することができます。
次の手順で、スケジュール スキャンを設定してください。

1 「ホーム」にある「ウイルスおよびスパイウェア対策」をクリック

2 「スケジュール スキャン」をクリック

3 「スケジュール スキャン」で、ステータスが「無効」の場合は「有効にする」をクリック

4 「スキャン スケジュールの設定」をクリックし、スキャンのスケジュールを選択する

> **チェック**
> 独自のスキャンスケジュールを設定する場合は、「独自のスキャンスケジュールを作成」にチェックをつけ、スキャンを開始する時刻と、月/週/日のいずれかを設定してください。

5 スキャン中のパソコンのリソース消費を最小限にするには、「最小限のコンピューターリソースを使用してスキャンを実行する」を選択する

6 パソコンのバッテリ消費を最小限にするには、「電源プラグ使用時にのみスキャンを開始する」を選択する

7 「適用」をクリック

以上でスケジュール スキャンの設定は終了です。

ファイル/フォルダのセキュリティ監視について

アプリケーションのインストール、アンインストール、または使用中に警告を受けたときは、対象のアプリケーションが安全なものであることを確認した上で、マカフィー リブセーフのヘルプをご覧になり、スキャン対象外に設定してください。

ボリューム削除時のウィンドウについて

「ディスクの管理」より「ボリュームの削除」を行うと、ボリューム使用中を表す警告ウィンドウが表示される場合がありますが動作に影響はありません。
警告ウィンドウが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

インストール

チェック

- デスクトップにある「LiveSafe」アイコンをダブルクリックすることで簡単にインストールできます。
- 本機を再セットアップした場合は、デスクトップに「LiveSafe」アイコンは表示されません。

マカフィー リブセーフのインストール

本機を再セットアップした場合は、次の手順に従ってマカフィー リブセーフをインストールしてください。

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥Nxsetup.exe

5 「マカフィー リブセーフ」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

6 「インストール完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

7 Windowsを再起動後、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

以上でマカフィー リブセーフのインストールは終了です。

アンインストール

マカフィー リブセーフのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「マカフィーリブセーフ - インターネットセキュリティ」を選択し、「アンインストールと変更」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 「ソフトウェアが削除されました。」と表示されたら、「今すぐ再起動」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

以上でマカフィー リブセーフのアンインストールは終了です。

WinZip

[063300-07]

- 概要. 338
- 使用上の注意. 339
- インストール. 339
- アンインストール. 340

概要

ファイルの圧縮、保護、共有を行うことができるユーティリティです。

チェック

画面に表示されている「WinZip XX」は各バージョン名が表示されます。

機能の詳細および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や最新情報

ヘルプ（WinZip の試用版を起動し、「ヘルプ」→「ホームページ」をクリック）

チェック

ヘルプを参照するにはインターネットに接続できる環境が必要です。

●動作環境、制限事項に関する情報

試用期間は、初めてWinZipをセットアップした時点から45日間になります。引き続きご利用になる場合は、WinZipを購入しアクティベーションを実行する必要があります。試用期間が終了する前に、WinZipのアクティベーションを実行することをおすすめします。

チェック

ご購入いただいたバージョンと異なるバージョンの体験版がインストールされている場合は、アクティベーションができません。必ず、バージョンをご確認の上アクティベーションを行ってください。バージョンが異なる場合には、アンインストールの上、ご購入されたプログラムをインストールしなおしてください。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「WinZip」→「WinZip XX」をクリック

WinZipの画面が表示されます。

使用上の注意

●更新の確認

更新を確認するときは、次の手順で行います。

1 画面にある「ヘルプ」をクリック

2 「アップデートをチェックする」をクリック

> **チェック**
>
> WinZipの更新は、インターネットに接続して行います。

●WinZip Express アドオンについて

WinZip Express アドオンは以下のソフトウェアに対応しています。本機能を使用することにより、圧縮、暗号化、共有化の設定を指定することができます。

- Windows Explorer
- Microsoft Office
- Microsoft Outlook
- Microsoft SharePoint
- フォト管理

> **チェック**
>
> アドオンには、登録済みのWinZip インストール版が必要です。

インストール

> **チェック**
>
> - デスクトップにある「WinZip」アイコンをダブルクリックすることで簡単にインストールできます。
> - 本機を再セットアップした場合は、デスクトップに「WinZip」アイコンは表示されません。

WinZip のインストール

本機を再セットアップした場合は、次の手順に従ってWinZipをインストールしてください。

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3 「D:¥WinZip」フォルダをの任意の場所にコピーする

メモ

ここでは「C:¥TEMP」にコピーした場合の手順を説明します。
必要に応じて読み替えてください。

4 光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

5 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

6 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥TEMP¥WinZip¥winzip.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

7 インストールが完了したら、Windowsを再起動する

メモ

手順3でコピーしたフォルダは自動的に削除されません。
WinZipのインストールが終了したら削除することをおすすめします。

以上でWinZip のインストールは終了です。

アンインストール

WinZip のアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「WinZip XX」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でWinZip のアンインストールは終了です。

PaintShop Pro X6

[063400-07]

- 概要. 341
- 使用上の注意. 341
- インストール. 342
- アンインストール. 342

概要

PaintShop Pro は、写真編集やデザイン作成などの機能を備えた画像編集ソフトウェアです。
機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

- **オンラインとローカルのヘルプ**

  インターネットに接続している場合は、アプリケーションはオンラインヘルプを表示します。オンラインの場合は、最新情報、ビデオ、役立つリンクを利用することができます。
  インターネットの接続が利用できない場合は、アプリケーションはコンピューターにインストールされるローカルヘルプを表示します。

  ヘルプシステムを使用するには、次のいずれかの操作を行います。

  1 「Corel PaintShop Pro X6 for NEC」画面にある「ヘルプ」→「ヘルプ トピック」をクリック

  2 【F1】を押す

起動方法

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Corel PaintShop Pro X6 for NEC」→「Corel PaintShop Pro X6 for NEC」をクリック

Corel PaintShop Pro X6 for NEC の画面が表示されます。

使用上の注意

●プログラムのアップデート

製品の更新を確認できます。更新により、プログラムに関する新しい重要情報が通知されます。更新を確認するときは、次の手順で行います。

1 「Corel PaintShop Pro X6 for NEC」画面にある「ヘルプ」をクリック

2 「更新のチェック」をクリック

チェック

PaintShop Pro X6の更新は、インターネットに接続して行います。

インストール

チェック

- PaintShop Pro X6は、Windows 7 Professional 64ビットのみに添付されています。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますが、「はい」をクリックして進んでください。
- PaintShop Pro X6をインストールすると、Restore Databaseの復元機能が同時にインストールされます。

PaintShop Pro X6のインストール

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「PaintShop Pro X6 for NEC ディスク」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥PaintSP¥setup.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 インストールが完了したら、光学ドライブから「PaintShop Pro X6 for NEC ディスク」を取り出し、Windowsを再起動する

以上でPaintShop Pro X6のインストールは終了です。

アンインストール

チェック

PaintShop Pro X6をアンインストールすると、Restore Databaseの復元機能が同時にアンインストールされます。

PaintShop Pro X6のアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Corel PaintShop Pro X6」を選択し、「アンインストールと変更」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 「アンインストールの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上でPaintShop Pro X6のアンインストールは終了です。

トラブル解決Q&A

[100000-27]

- 電源. 345
- バッテリ. 368
- NXパッド. 373
- タッチパネル. 381
- マウス. 384
- 表示. 388
- 文字入力. 410
- ファイル保存. 416
- LAN機能. 420
- 無線LAN機能. 427
- サウンド. 435
- 印刷. 443
- セキュリティチップ機能. 447
- SSD. 450
- 光学ドライブ. 458
- 周辺機器. 479
- Bluetooth機能. 485
- アプリケーション. 487
- 再セットアップ. 500
- その他. 503

Q&A：電源

[100100-27]

- はじめに確認してください. 346
- 電源が入らない. 347
- ディスプレイに何も表示されない. 348
- メッセージが表示されて、Windowsが起動しない. 350
- 「Windowsエラー回復処理」画面が表示された. 351
- 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. 352
- パスワードを忘れてしまった. 353
- 電源が切れない. 355
- 自動的にスリープ状態にならない. 357
- スリープ状態または休止状態から復帰しようとしたらWindowsのログオン画面が表示された. 358
- スリープ状態にできない. 359
- スリープ状態から復帰できない、復帰に失敗した. 360
- 休止状態にできない. 361
- 「スタート」ボタンから休止状態にできない. 362
- 休止状態から復帰できない、復帰に失敗した. 363
- Windowsの電源設定ができない. 364
- 本機を一定時間放置すると、スリープ状態になってしまう. 365
- USBマウスでスリープ状態から復帰する／しないを設定したい. 366
- USBキーボードから復帰する際に使用したキーが復帰後に入力されていることがある. 367

はじめに確認してください

[100102-27]

本機とACアダプタやバッテリ、電源コード、ACコンセントなど、周辺機器の接続を確認してください。

電源が入らない、画面が表示されない、などの場合、本機と電源コード・ACコンセント、バッテリ、周辺機器などの接続が正しく行われていない可能性があります。
本機や使用している周辺機器のマニュアルをご覧になり、一度接続をやりなおしてみてください。

使用しているアプリケーションや周辺機器が、スリープ状態や休止状態に対応しているか確認してください。

アプリケーションや周辺機器によっては、使用しているとスリープ状態や休止状態にならないものや、正常に動作しないものがあります。
正常に動作しなくなった場合は、一度本機の電源を切って、電源を入れなおしてください。

チェック

本機の電源を切った場合、スリープ状態になる前の状態に復帰できません。作業中だったデータは失われます。

Q：電源が入らない

[100101-27]

チェック

次のことをチェックしても電源が入らない、起動しない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元に相談するか、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定＆修理に関するご案内』

A：バッテリが切れている可能性があります。

本機をバッテリのみで使用している場合、バッテリが切れている可能性があります。
本機にACアダプタを接続し、ACコンセントに接続して充電を行ってください。バッテリを充電しながら、本機を使用することもできます。

参照

バッテリの充電について
「本機の機能」の「バッテリ」-「バッテリの充電 (P. 51)」

A：購入後、最初に電源を入れるときは、必ずACアダプタを使用します。

ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。バッテリを使用するには、充電が必要になります。

Q：ディスプレイに何も表示されない

[100603-27]

A：電源ランプを確認してください。

チェック

本機は、バッテリの残量が残りわずかの状態になると、電源が入っているかスリープ状態になっているかに関わらず、電源ランプがオレンジ色に点滅します。その場合は、本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続してから、電源ランプの状態を確認してください。

参照

電源ランプについて

「本機の機能」の「各部の名称」-「表示ランプ (P. 23)」

●電源ランプが点灯していない場合

本機の電源が入っていないか、休止状態になっています。電源スイッチを押して、本機を起動するか、休止状態から復帰させてください。

●電源ランプが点滅している場合

本機はスリープ状態になっています。本機をスリープ状態から復帰させてください。

参照

スリープ状態からの復帰について

「本機の機能」の「電源」-「スリープ状態 (P. 30)」

●電源ランプが点灯している場合

本機の電源は入っています。次のことを試して、ディスプレイが表示されないか確認してください。

- **外部ディスプレイのみに画面を出力する設定になっていないか確認してください**
  外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイのみにしている場合、本機の液晶ディスプレイに画面は表示されません。画面の出力先を確認してください。

  参照

  画面の出力先の切り替えについて

  「本機の機能」の「外部ディスプレイ (P. 101)」

- **NXパッドなどのポインティングデバイスを操作してみてください**
  電源プランの設定などにより、ディスプレイが省電力状態になっている可能性があります。NXパッドなどのポインティングデバイスを操作して、ディスプレイの省電力状態が解除されないか確認してください。
- **液晶ディスプレイの輝度が適切か確認してください**
  液晶ディスプレイの輝度が、画面が見えにくい値になっている可能性があります。
  液晶ディスプレイの輝度を調整してみてください。

参照

液晶ディスプレイの輝度の調整について
「本機の機能」の「液晶ディスプレイ」-「画面表示の調整 (P. 93)」

- **液晶ディスプレイで表示できない解像度になっていないか確認してください**
  強制的に本体の電源を切った後、セーフモードでWindowsを起動して解像度を確認し、表示できない解像度だった場合は、表示可能な解像度に設定してください。

参照

- **強制的に電源を切る方法**
  「電源」の「電源が切れない」-「強制的に電源を切る (P. 355)」
- **セーフモードでWindowsを起動する方法**
  「周辺機器」の「別売の周辺機器を取り付けたが動作しない、周辺機器を取り付けたら本機が起動しなくなった、他の機能が使えなくなった」-「セーフモードでWindowsを起動する (P. 481)」

- **DirectXを使用するアプリケーションを使用している場合は、アプリケーションの設定を確認してください**
  DirectXを使用するアプリケーションを実行すると、画面が表示されなくなることがあります。アプリケーションに添付のマニュアルを参照し、表示解像度を320×200ドット、640×400ドット以外に変更すると、障害を回避できることがあります。

メモ

本機では、320×200ドット、640×400ドットの解像度でしか使えないアプリケーションは、正常に動作しない場合があります。

チェック

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されない場合は、故障が考えられます。ご購入元、またはNECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定＆修理に関するご案内』

Q：メッセージが表示されて、Windowsが起動しない

[100103-27]

A：DVD、CDがドライブにセットされている場合は、それらを取り出してください。

DVD、CDがセットされたままで本機の電源を入れると、セットされた媒体から本機を起動しようとしてWindowsが起動しない場合があります。媒体を取り出して本機を再起動してください。

A：USBメモリや外付けのディスクドライブなどを使用している場合は、それらを取り外してください。

起動ディスクとして使用可能な周辺機器が取り付けられていると、それらの機器から起動しようとしてWindowsが起動しない場合があります。

A：BIOSセットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。

BIOSセットアップユーティリティの設定が不正になっている可能性があります。
「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて」-「工場出荷時の設定値に戻す (P. 221)」をご覧になり、BIOSセットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してみてください。

チェック

上記のことをすべてチェックしても、Windowsが起動できない場合は、SSDがフォーマット（初期化）されてしまったか、システムが壊れている可能性があります。『再セットアップガイド』をご覧になり、本機のシステムを修復、または再セットアップしてください。

参照

システムの修復、再セットアップについて
『再セットアップガイド』

Q：「Windowsエラー回復処理」画面が表示された

[100104-07]

A:エラーによる再起動や、システム停止などで強制的に電源を切った場合などWindowsが正常にシャットダウンされなかった場合に表示されます。

【↑】【↓】で起動方法を選択し、【Enter】を押してください。
システムに問題がある場合は、「セーフ　モード」を選択して問題の解決を試みることができます。
操作を誤って電源を強制切断した場合など、特に問題が発生していない場合は「Windowsを通常起動する」を選択することでWindowsを通常起動できます。

Q：「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された

[100106-27]

A：キャップスロックキーランプ（A）の状態を確認し、もう一度パスワードを入力してください。

キャップスロックの状態によって、入力される文字が異なり、パスワードを正しく入力できない場合があります。
キャップスロックキーランプ（A）でキャップスロックの状態を確認し、オン／オフを切り替えて、もう一度パスワードを入力してください。

キャップスロックのオン／オフは【Shift】＋【Caps Lock】で切り替えることができます。

参照

表示ランプについて
「本機の機能」の「各部の名称」-「表示ランプ (P. 23)」

A：ユーザー名を確認し、もう一度パスワードを入力してください。

選択したユーザー名を確認し、選択したユーザーのパスワードをもう一度正しく入力してください。

Q：パスワードを忘れてしまった

[100107-27]

Windowsのパスワードを忘れてしまった場合

A：忘れてしまったパスワードを復元することはできません。次のいずれかの方法で対処してください。

- ログオンに失敗した場合、再度表示されるWindowsのログオン画面にパスワードのヒントが表示されるので、そのヒントを確認しパスワードを思い出す
- 別のユーザーでログオンする
- 管理者（Administrator）権限を持つユーザーでログオンして、パスワードを変更する
- 「パスワード リセット ディスク」を使って新しいパスワードを作成する

メモ

「パスワード リセット ディスク」について
「コントロール パネル」→「ユーザー アカウントと家族のための安全設定」→「ユーザー アカウント」の「パスワード リセット ディスクの作成」で作成してください。

チェック

お使いのコンピュータの管理者（Administrator）権限を持つユーザーすべてのパスワードを忘れてしまった場合、Windowsの設定のほとんどは変更できなくなってしまうので注意してください。

スーパバイザパスワードを忘れてしまった場合

A：NECにお問い合わせください。

チェック

- パスワード解除処置は、保証期限内でも有償です。
- パスワード解除処置は、NECでの対応となります。
- パスワード解除処置は、原則として修理対応となりますので、121コンタクトセンターへお問い合わせください。

参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定＆修理に関するご案内』

SSDのパスワードを忘れてしまった場合

A:パスワードの解除はできません。SSDおよびSSD内のデータの利用ができなくなります。

チェック

この場合、SSDは有償交換となり、SSDに保存したデータは、お客様ご自身で作成されたデータも利用できなくなります。

Q：電源が切れない

[100112-27]

A：アプリケーションに異常が起きていないか確認してください。

「電源の入れ方と切り方」の手順で電源が切れない場合、アプリケーションがフリーズ（ハングアップ）するなどの異常を起こしていることが考えられます。
異常を起こしているアプリケーションがないか確認し、あった場合は「アプリケーション」の「アプリケーションを強制的に終了させたい (P. 496)」の手順で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してから、もう一度、電源を切る操作を行ってください。

チェック

アプリケーションを強制的に終了させると、保存していないデータの変更が反映されない場合や、データが消えてしまう場合があります。

参照

正しい電源の入れ方と切り方
「本機の機能」の「電源」-「電源の入れ方と切り方 (P. 25)」

この方法でも正常に電源を切ることができない場合は、次の手順で本機を強制的に終了させてください。

●強制的に電源を切る

チェック

- 強制的に電源を切って終了させた場合、保存していないデータは消えてしまいます。また、直前に保存したデータが破損、または消えてしまう場合があります。
- SSDへアクセス中は電源スイッチを押さないでください。SSDへアクセス中に電源スイッチを押すと、パソコンが故障する原因となることがあります。
- 電源スイッチでスリープ状態や休止状態になるように設定されている場合、以下の操作をすると、電源が切れずに省電力状態になることがあります。そのようなときは、いったん電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを4秒以上押し続けて本機を強制的に終了させてください。なお、工場出荷時の状態では、電源スイッチでスリープ状態になるように設定されています。

本機の電源を強制的に切る場合は、4秒以上電源スイッチを押し続けてください。

●電源を強制OFFできない場合

4秒以上電源スイッチを押し続けても電源が切れない場合には、もう一度4秒以上電源スイッチを押し続けてください。
それでも電源が切れない場合は、ご購入元、またはNECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定＆修理に関するご案内』

Q：自動的にスリープ状態にならない

[100201-27]

A：使用中の電源プランの設定を確認してください。

電源プランの設定で、自動でスリープ状態にならない設定にしていないか確認してください。

参照

電源プランの設定
「本機の機能」の「電源」-「電源の設定 (P. 34)」

A：一定間隔で本機にアクセスする周辺機器を使用していないか確認してください。

双方向通信をするプリンタなど、一定間隔で本機にアクセスする周辺機器を接続している場合、自動的にスリープ状態にならない場合があります。

A：実行中のアプリケーションがある場合は終了してみてください。

A：NXパッドの「Elan Smart-Pad」画面を表示している場合は、自動的にスリープ状態になりません。

NXパッドの「Elan Smart-Pad」画面（設定項目と操作イメージの動画が表示されている画面）を表示している場合は、自動的にスリープ状態になりません。「Elan Smart-Pad」画面を閉じてください。

参照

「Elan Smart-Pad」画面
「本機の機能」の「NXパッド」-「NXパッドの設定 (P. 75)」

Q：スリープ状態または休止状態から復帰しようとしたらWindowsのログオン画面が表示された

[100203-07]

A：ログオンするユーザーを選択し、パスワードを入力してWindowsにログオンしてください。

スリープ状態または休止状態から復帰するときに、ログオン画面が表示されないようにするには、次の手順を行ってください。

チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「スリープ解除時のパスワードの要求」をクリック

3 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリック

4 「スリープ解除時のパスワード保護」欄で「パスワードを必要としない」を選択し、「変更の保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

Q：スリープ状態にできない

[100204-07]

A：USB接続の光学ドライブにセットされたディスクにあるファイルやプログラムを使用していないか確認してください。

USB接続の光学ドライブにセットされたディスクにあるファイルやプログラムを使用している場合は、スリープ状態にできない場合があります。
ファイルを開いている場合はファイルを閉じ、プログラムを実行している場合はプログラムを終了してください。

Q：スリープ状態から復帰できない、復帰に失敗した

[100205-27]

A：電源ランプの状態とバッテリ残量を確認してください。

●電源ランプが点滅しているが、バッテリ残量が少ない場合

ACアダプタを取り付けACコンセントに接続し、液晶ディスプレイを開いた状態で本機の電源を入れると、データが復帰できる場合があります。

●電源ランプが消灯している場合

スリープ状態中に電源が切れてしまったか、バッテリ残量が少なくなり休止状態に移行した（工場出荷時の設定）可能性があります。
ACアダプタを取り付けACコンセントに接続し、本機の電源を入れてください。休止状態に移行している場合は、休止状態から復帰し、スリープ状態になる前の状態に復帰できます。

チェック

休止状態に移行せずに電源が切れた場合は、スリープ状態になる前の状態に復帰できません。
作業中だったデータは失われます。

A：スリープ状態への移行処理中に、次の操作を行わなかったか確認してください。

- **ディスプレイを閉じる**

このような操作を行うと、スリープ状態から復帰できなくなる場合があります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。エラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従ってください。

チェック

この場合、スリープ状態になる前の状態に復帰できません。保存していなかったデータは失われます。

Q：休止状態にできない

[100207-07]

A：電源プランの設定で「ハイブリッドスリープ」を使用する設定にしている場合、「スタート」ボタンから休止状態にできません。

詳しくは、「「スタート」ボタンから休止状態にできない (P. 362)」をご覧ください。

A：SSDの空き領域が不足している可能性があります。

休止状態はSSDに本機のメモリなどの状態を記録するため、SSDに一定の空き領域が必要です。
SSDの空き領域が十分にあるか確認してください。

A：USB接続の光学ドライブにセットされたディスクにあるファイルやプログラムを使用していないか確認してください。

USB接続の光学ドライブにセットされたディスクにあるファイルやプログラムを使用している場合は、休止状態にできない場合があります。
ファイルを開いている場合はファイルを閉じ、プログラムを実行している場合はプログラムを終了してください。

Q：「スタート」ボタンから休止状態にできない

[100208-27]

A：電源プランの設定で「ハイブリッドスリープ」を使用する設定にしている場合、「スタート」ボタンから休止状態にできません。

電源プランの設定で「ハイブリッドスリープ」を使用する設定にしている場合、「スタート」ボタンをクリックし、「シャットダウン」ボタンの横の をクリックして表示されるメニューに「休止状態」は表示されません。
「スタート」ボタンから休止状態にできるようにするには、Windowsの電源プランの設定でハイブリッドスリープを使用しない設定にしてください。

メモ

「ハイブリッドスリープ」とは、スリープ状態に移行する際に、SSDにもメモリの情報をすべて保存するスリープ状態です。SSDにもメモリの情報が保存されているため、スリープ状態中に電源が切れた場合でもSSDから復帰することができます。

チェック

本機は、工場出荷時の状態ではハイブリッドスリープを使用しないように設定されています。

参照

- **ハイブリッドスリープについて**
  Windowsのヘルプ
- **電源プランの設定**
  「本機の機能」の「電源」-「電源の設定 (P. 34)」

Q：休止状態から復帰できない、復帰に失敗した

[100209-07]

A：休止状態の間に、周辺機器の取り外しなど機器構成の変更をしなかったか確認してください。

休止状態の間に、周辺機器の取り外しなど機器構成の変更をすると、休止状態からの復帰ができなくなり、作業中のデータが失われる場合があります。
機器構成を変更する場合は、一度休止状態から復帰し、本機の電源を切ってから行ってください。

Q：Windowsの電源設定ができない

[100210-07]

A：権限を制限されたユーザーでログオンしていないか確認してください。

本機を複数の人で使用している場合は、管理者によってユーザーの設定できる項目に制限がかけられている場合があります。
このような場合は、管理者に依頼して制限を解除してもらうか、または管理者（Administrator）権限を持つユーザーでログオンして省電力の設定を行う必要があります。

Q：本機を一定時間放置すると、スリープ状態になってしまう

[100211-27]

A：工場出荷時は、省電力のため自動でスリープ状態になるように設定してあります。

自動でスリープ状態になるのを無効にしたい場合は、Windowsの電源プランの設定を変更してください。

参照

電源プランの設定

「本機の機能」の「電源」-「電源の設定 (P. 34)」

Q：USBマウスでスリープ状態から復帰する／しないを設定したい

[100212-27]

A：次の手順で設定を行ってください。

1 **「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く**

2 **「マウスとそのほかのポインティング デバイス」をダブルクリック**

3 **設定を変更するUSBマウスをダブルクリック**

4 **「電源の管理」タブをクリック**

5 **次のように設定する**

- **スリープ状態から復帰するように設定する場合**
  「このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」にチェックを付ける
- **スリープ状態から復帰しないように設定する場合**
  「このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」のチェックを外す

6 **「OK」ボタンをクリック**

以上で設定は完了です。

チェック

USBマウスでスリープ状態から復帰する設定にしても、USBマウス操作でスリープ状態から復帰できない場合があります。その場合は他の方法でスリープ状態から復帰を行ってください。

Q：USBキーボードから復帰する際に使用したキーが復帰後に入力されていることがある

[100213-27]

A：次の手順で設定を行ってください。

チェック

- 管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。
- これらの手順を行う前に、実行中のアプリケーションを全て終了してください。
- 別売りのUSBテンキーボード２（PC-VP-KB13）を利用している場合、この手順を実行後、USBテンキーボード２でスリープから復帰するとUSBテンキーボード２のキー入力ができなくなる場合があります。その場合は、電源ボタンでスリープから復帰するなど他の方法で復帰してください。また、現象が発生した場合はUSBテンキーボード２を接続し直してください。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

2 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥DRV¥FHCROR

3 表示されたフォルダにある「FHCROR」を右クリックし「管理者として実行」をクリック

コマンド プロンプトが表示されますが、しばらくすると自動的に閉じます。

4 Windowsを再起動する

以上で設定は完了です。

Q&A：バッテリ

[100300-27]

- 本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続してもバッテリの充電が始まらない. 369
- タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示されない. 370
- 満充電したのに、バッテリ充電ランプが点灯する. 371
- バッテリ充電ランプが点滅する. 372

Q：本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続してもバッテリの充電が始まらない

[100301-27]

A：バッテリ充電ランプを確認してください。

- **バッテリ充電ランプが点滅している場合**
  バッテリにエラーが発生しています。ACアダプタを取り外し、取り付けなおしてください。
  それでもエラーが発生する場合は、バッテリの交換が必要です。
  バッテリの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。
- **バッテリ充電ランプが消灯している場合**
  バッテリが満充電、または満充電に近い状態の可能性があります。そのような状態では、充電が始まらない場合があります。

Q：タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示されない

[100302-07]

A：次の手順で設定してください。

1. 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「タスク バーと［スタート］メニュー」をクリック
3. 「タスク バー」タブをクリックし、「通知領域」の「カスタマイズ」ボタンをクリック
4. 「電源」の動作欄で「アイコンと通知を表示」を選択する
5. 「OK」ボタンをクリック
6. 「OK」ボタンをクリック

Q：満充電したのに、バッテリ充電ランプが点灯する

[100303-27]

A：故障ではありません。バッテリは少しずつ自然放電しているので、それを補充するため、本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続しているときは自動的に充電が始まります。

Q：バッテリ充電ランプが点滅する

[100304-27]

A：電源を切り、ACアダプタを取り外してからもう一度正しく取り付けなおしてください。

ACアダプタを取り付けなおしても直らない場合は、バッテリの寿命ですので、バッテリの交換が必要です。
バッテリの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。

Q&A：NXパッド

[100400-27]

- NXパッドが動作しない. 374
- NXパッドの反応が鈍い. 377
- NXパッドの拡張機能を使用したい. 378
- 文字入力中に、NXパッドのタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう. 379
- 一時的にNXパッドを無効にしたい. 380

Q：NXパッドが動作しない

[100401-27]

A：NXパッドや操作する指が汚れていないか確認してください。

NXパッドや操作する指に水分や脂分が付いていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

A：NXパッドを操作する際は次の点に注意してください。

- **指先で操作する**
  指先以外で操作すると、正常に動作しない場合があります。
- **力をかけすぎない**
  必要以上に力をかけると、正常に動作しない場合があります。

A：NXパッドの2カ所以上に同時に触れていないか確認してください。

本機のNXパッドはマルチタッチに対応しています。NXパッドの2カ所以上に同時に触れていると、別の操作となる場合があります。

A：NXパッド上のスクロール領域で操作していないか、確認してください。

NXパッドドライバ使用時、NXパッドドライバでNXパッドのスクロール機能を有効に設定していると、パッドのスクロール領域（右端、下端）でポインタの移動やドラッグなどの操作をすることができません。
右端や下端でも操作したい場合は、スクロール機能を無効にするか操作領域を変更してください。

参照

スクロール機能の有効／無効、領域の設定方法
「本機の機能」の「NXパッド」-「NXパッドの設定 (P. 75)」

A：マウスポインタがになっていないか確認してください。

マウスポインタがになっている場合は、本機がプログラムの処理をしているので、NXパッドなどのポインティングデバイスをクリックしても操作は受け付けられません。処理が終わるまでお待ちください。
しばらく待ってもNXパッドなどのポインティングデバイスの操作ができない場合は、プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）可能性があります。アプリケーションを強制終了してください。この場合、保存していなかったデータは消去されます。

参照

アプリケーションの強制終了
「アプリケーション」の「アプリケーションを強制的に終了させたい (P. 496)」

A：マウスドライバの変更などで一時的にNXパッドが使用できなくなっている可能性があります。

マウスポインタが動かない場合は、次の手順で、キーボードを使用して本機を再起動してください。

1 【⊞】（Windowsキー）を押す

「スタート」メニューが表示されます。

2 【→】を2回押す

3 【↑】【↓】で表示されたメニューから「再起動」を選択し、【Enter】を押す

A：【Fn】＋スペースキーを押し、NXパッドがオンになるか確認してください。

NXパッドドライバ使用時は、【Fn】＋スペースキーを押すことで、NXパッドのオン／オフを切り替えることができます。
【Fn】＋スペースキーを押して、NXパッドがオンになるか確認してください。

参照

【Fn】について

「本機の機能」の「キーボード」-「キーの使い方 (P. 70)」

A：NXパッドドライバで、USBマウス接続時にNXパッドを使用しない設定になっていないか確認してください。

次の手順で設定を確認してください。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック

「マウスのプロパティ」が表示されます。

3 「NXパッド」タブをクリック

「マウスを接続した場合、NX パッドを無効にする。」にチェックが付いている場合、USBマウスを接続しているとNXパッドでの操作が行えません。
USBマウスと同時にNXパッドを使用する場合は、チェックを外してください。

チェック

工場出荷時の設定では、「マウスを接続した場合、NX パッドを無効にする。」が選択されています。

4 「OK」ボタンをクリック

A：BIOSセットアップユーティリティでNXパッドを使用しない設定になっていないか確認してください。

参照

- **BIOSセットアップユーティリティについて**
  「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」
- **BIOSセットアップユーティリティの設定項目**
  「システム設定」の「設定項目一覧」-「「Advanced」メニュー (P. 224)」

Q：NXパッドの反応が鈍い

[100402-27]

A：NXパッドや操作する指が汚れていないか確認してください。

NXパッドや操作する指に水分や脂分が付いていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

A：NXパッドを操作する際は次の点に注意してください。

- **指先で操作する**
  指先以外で操作すると、正常に動作しない場合があります。
- **力をかけすぎない**
  必要以上に力をかけると、正常に動作しない場合があります。

A：マウスポインタが になっていないか確認してください。

マウスポインタが になっている場合は、本機がプログラムの処理をしているので、NXパッドなどのポインティングデバイスをクリックしても反応が鈍くなる場合があります。処理が終わるまでお待ちください。
しばらく待っても処理が終了しない場合は、プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）可能性があります。アプリケーションを強制終了してください。この場合、保存していなかったデータは消去されます。

参照

アプリケーションの強制終了
「アプリケーション」の「アプリケーションを強制的に終了させたい (P. 496)」

A：ポインタの移動速度が遅く設定されていないか確認してください。

次の手順でポインタの移動速度の設定を確認し、必要に応じて設定しなおしてください。

1. **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**
2. **「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック**
3. **「ポインター オプション」タブをクリックし、「速度」欄でポインタの速度を確認し、必要に応じて設定しなおす**
4. **「OK」ボタンをクリック**

Q：NXパッドの拡張機能を使用したい

[100403-27]

A：次の手順で、NXパッドドライバの設定画面を表示し設定を行ってください。

1 **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**

2 **「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリックし、「NXパッド」の「オプション」をクリック**

チェック

NXパッドのドライバを「標準 PS/2 ポート マウス」に変更した場合、NXパッドの拡張機能を使用するには、ドライバをNXパッドドライバへ戻す必要があります。

参照

- **NXパッドドライバへ戻す**
  「本機の機能」の「NXパッド」-「NXパッドドライバへ戻す (P. 81)」
- **NXパッドの拡張機能を使用する**
  「本機の機能」の「NXパッド」-「NXパッドの設定 (P. 75)」

Q：文字入力中に、NXパッドのタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう

[100704-27]

A：文字入力中にNXパッドに手が触れたり、NXパッドの近くに手が行ったりしたためです。

NXパッドに手が触れたり、NXパッドの近くに手が行ったりすると、手が触れていなくてもNXパッドで使用している静電容量式という仕組みのためにタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう場合があります。

NXパッドドライバを使用している場合、パッドの感度を調整したり、【Fn】＋スペースキーを押して、NXパッドのオン／オフを切り替えることができます。

参照

- **パッドの感度の調整**
  「本機の機能」の「NXパッド」-「NXパッドの設定 (P. 75)」
- **【Fn】について**
  「キーボード」の「キーの使い方 (P. 70)」

また、BIOSセットアップユーティリティの「Advanced」メニュー-「Device Configuration」-「Internal Mouse」を「Disabled」に設定することで、NXパッドを無効にできます。

メモ

NXパッドのドライバを「標準 PS/2 ポート マウス」に変更している場合でも無効にできます。

参照

NXパッドを無効にする
「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」および「設定項目一覧 (P. 222)」

Q：一時的にNXパッドを無効にしたい

[100405-27]

A：【Fn】＋スペースキーを押すごとにNXパッドのオン／オフが切り替わります。

NXパッドのオン／オフは、タスク バーの通知領域の をクリックすると表示されるNXパッドのアイコンで確認できます。
の場合は、パッド部分での操作が有効になっています。
の場合は、パッド部分での操作が無効になっています。

参照

【Fn】について
「本機の機能」の「キーボード」-「キーの使い方 (P. 70)」

Q&A：タッチパネル

[102800-27]

- タッチパネルで操作できない. 382
- タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネルに反応しない領域がある. 383

Q：タッチパネルで操作できない

[102801-27]

A：タッチパネルで操作する設定になっているか確認してください。

タッチパネルで操作する設定が解除されている可能性があります。マウスを取り付けて、次の手順で確認してください。

1. **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**
2. **「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「ペンとタッチ」をクリック**
3. **「タッチ」タブをクリックし、「入力デバイスとして指を使う」にチェックを付ける**
4. **「OK」ボタンをクリック**

Q：タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネルに反応しない領域がある

[102802-27]

A：タッチパネルの設定をリセットしてみてください。

タッチパネルの設定をリセットし、ご購入時の状態に戻してみてください。
タッチパネルの設定をリセットしても、問題が解決しない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元に相談するか、NECにご相談ください。

参照

- **タッチパネルの設定のリセットについて**
  「本機の機能」の「タッチパネル」-「タッチパネルの設定」-「タッチパネル操作時の表示に関する設定をする (P. 65)」
- **NECのお問い合わせ先について**
  『保証規定＆修理に関するご案内』

Q&A：マウス

[100500-27]

- はじめに確認してください. 385
- マウスを動かしても、何も反応しない. 386
- マウスの動きが悪い. 387

はじめに確認してください

[100503-27]

マウスと本機が正しく接続されていることを確認してください。

マウスが反応しない、動きが悪い場合は、マウスと本機との接続が緩んだり外れたりしていないか確認してください。

Q：マウスを動かしても、何も反応しない

[100501-27]

A：マウスポインタが になっていないか確認してください。

マウスポインタが になっている場合は、本機がプログラムの処理をしているので、マウスをクリックしても操作は受け付けられません。処理が終わるまでお待ちください。
しばらく待ってもマウスからの操作ができない場合は、プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）可能性があります。アプリケーションを強制終了してください。この場合、保存していなかったデータは消去されます。

参照

アプリケーションの強制終了
「アプリケーション」の「アプリケーションを強制的に終了させたい (P. 496)」

A：マウスの設定が正しく行われているか確認してください。

他社製USBマウスを使用している場合は、ドライバなどの設定が必要になる場合があります。設定が正しく行われているか確認してください。

参照

マウスの設定について
「本機の機能」の「マウス」-「マウスを接続するための設定方法 (P. 87)」

Q：マウスの動きが悪い

[100502-00]

A：マウスのセンサー周辺が汚れていないか確認し、汚れている場合は掃除してください。

レーザー式や光学式マウスをお使いの場合、底面のセンサーにほこりなどが付着して、マウスの移動を正しく読み取ることができなくなる場合があります。センサーの周辺の汚れやほこりを軽く払ってください。

チェック

マウスのお手入れについては、『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

A：レーザー式や光学式マウスをお使いの場合は、光沢のない無地の紙の上で動作するか確認してください。

レーザー式や光学式マウスは、マウス底面に光源があり、それをセンサーで検知することでマウスの動きを判断しています。次のような表面では正しく動作しない（操作どおりにマウスポインタが動かない）場合があります。

- 反射しやすいもの（鏡、ガラスなど）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光学式マウスの場合、光沢があるもの（透明、半透明な素材を含む）

操作どおりにマウスポインタが動かないときは、光沢がない無地の印刷用紙やそれぞれのマウス（レーザー式または光学式）に対応したマウスパッドなどの上で操作してください。

Q&A：表示

[100600-27]

- はじめに確認してください. 389
- 電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる. 390
- 表示できるはずの高解像度を選択できない. 391
- ディスプレイに何も表示されない. 392
- 画面が回転しない. 394
- 画面の解像度を変更すると色数も変更される. 395
- 画面の色調を調整したい. 396
- 再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない. 397
- 動画の再生中に画面が消えてしまう. 398
- Windows Media PlayerでDVDが再生できない. 399
- Windows Media Playerでディスクが認識されない、自動再生が始まらない. 400
- Windows Media PlayerでDVDがなめらかに再生されない、画面が乱れる. 401
- CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない. 402
- CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない. 403
- 個人設定で、Aero®に設定できない. 404
- 画面の表示位置やサイズがおかしい. 405
- 外部ディスプレイで画面が流れるように表示される. 406
- 外部ディスプレイ接続時にアイコンの位置がおかしい. 407
- HDMI接続したテレビや外部ディスプレイに映像が表示されない. 408
- HDMIでテレビに接続すると、画面の周りがはみ出してしまい、表示されない部分がある. 409

はじめに確認してください

[100618-27]

本機や外部ディスプレイの電源の状態を確認してください。

画面が表示されない、途中で消えるなどの場合は、本機がスリープ状態や休止状態になっていたり、外部ディスプレイ使用時は外部ディスプレイの省電力機能が動作したり、電源が切れていないか確認してください。

外部ディスプレイ使用時は、本機と外部ディスプレイの接続を確認してください。

外部ディスプレイを使用している場合は、本機と外部ディスプレイが正しく接続されているか、また正しいケーブルを使用しているか確認してください。

Q：電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

[100601-27]

A：液晶ディスプレイの電源が切れている可能性があります。

使用中の電源プランで「ディスプレイの電源を切る」が設定されている場合、液晶ディスプレイの電源が切れている可能性があります。NXパッドなどのポインティングデバイスやキーボードを操作することで、液晶ディスプレイの電源が入り、画面が表示されます。元に戻らない場合は、本機がスリープ状態になっている可能性があります。

A：本機がスリープ状態になっている可能性があります。

電源ランプで本機の状態を確認し、本機がスリープ状態になっている場合は復帰させてください。
一定時間経過後にスリープ状態にならないように設定したい場合は、Windowsの電源プランの設定を変更してください。

チェック

本機は、バッテリの残量が残りわずかの状態になると、電源が入っているかスリープ状態になっているかに関わらず、電源ランプがオレンジ色に点滅します。本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続してから、電源ランプの状態を確認してください。

参照

- **電源ランプについて**
  「本機の機能」の「各部の名称」-「表示ランプ (P. 23)」
- **電源プランの設定**
  「本機の機能」の「電源」-「電源の設定 (P. 34)」

Q：表示できるはずの高解像度を選択できない

[100602-27]

A：外部ディスプレイを使用している場合、プラグアンドプレイ（DDC）対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度などサポートしている表示モードの一部を選べないことがあります。

「本機の機能」の「外部ディスプレイ」-「ディスプレイに合わせた設定 (P. 120)」をご覧になり、ディスプレイの種類を指定してください。

Q：ディスプレイに何も表示されない

[100603-27]

A：電源ランプを確認してください。

チェック

本機は、バッテリの残量が残りわずかの状態になると、電源が入っているかスリープ状態になっているかに関わらず、電源ランプがオレンジ色に点滅します。その場合は、本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続してから、電源ランプの状態を確認してください。

参照

電源ランプについて

「本機の機能」の「各部の名称」-「表示ランプ (P. 23)」

●電源ランプが点灯していない場合

本機の電源が入っていないか、休止状態になっています。電源スイッチを押して、本機を起動するか、休止状態から復帰させてください。

●電源ランプが点滅している場合

本機はスリープ状態になっています。本機をスリープ状態から復帰させてください。

参照

スリープ状態からの復帰について

「本機の機能」の「電源」-「スリープ状態 (P. 30)」

●電源ランプが点灯している場合

本機の電源は入っています。次のことを試して、ディスプレイが表示されないか確認してください。

- **外部ディスプレイのみに画面を出力する設定になっていないか確認してください**
  外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイのみにしている場合、本機の液晶ディスプレイに画面は表示されません。画面の出力先を確認してください。

  参照

  画面の出力先の切り替えについて

  「本機の機能」の「外部ディスプレイ (P. 101)」

- **NXパッドなどのポインティングデバイスを操作してみてください**
  電源プランの設定などにより、ディスプレイが省電力状態になっている可能性があります。NXパッドなどのポインティングデバイスを操作して、ディスプレイの省電力状態が解除されないか確認してください。
- **液晶ディスプレイの輝度が適切か確認してください**
  液晶ディスプレイの輝度が、画面が見えにくい値になっている可能性があります。
  液晶ディスプレイの輝度を調整してみてください。

参照

液晶ディスプレイの輝度の調整について
「本機の機能」の「液晶ディスプレイ」-「画面表示の調整 (P. 93)」

- **液晶ディスプレイで表示できない解像度になっていないか確認してください**
  強制的に本体の電源を切った後、セーフモードでWindowsを起動して解像度を確認し、表示できない解像度だった場合は、表示可能な解像度に設定してください。

参照

- **強制的に電源を切る方法**
  「電源」の「電源が切れない」-「強制的に電源を切る (P. 355)」
- **セーフモードでWindowsを起動する方法**
  「周辺機器」の「別売の周辺機器を取り付けたが動作しない、周辺機器を取り付けたら本機が起動しなくなった、他の機能が使えなくなった」-「セーフモードでWindowsを起動する (P. 481)」

- **DirectXを使用するアプリケーションを使用している場合は、アプリケーションの設定を確認してください**
  DirectXを使用するアプリケーションを実行すると、画面が表示されなくなることがあります。アプリケーションに添付のマニュアルを参照し、表示解像度を320×200ドット、640×400ドット以外に変更すると、障害を回避できることがあります。

メモ

本機では、320×200ドット、640×400ドットの解像度でしか使えないアプリケーションは、正常に動作しない場合があります。

チェック

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されない場合は、故障が考えられます。ご購入元、またはNECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定＆修理に関するご案内』

Q：画面が回転しない

[100620-27]

A：BIOSセットアップユーティリティで画面回転ボタンを無効に設定していないか確認してください。

BIOSセットアップユーティリティの「Advanced」メニューで「Rotate Function」が「Disabled」に設定されていると、画面回転ボタンが動作しません。
BIOSセットアップユーティリティの設定を確認してください。

参照

BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について
「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」および「設定項目一覧 (P. 222)」

Q：画面の解像度を変更すると色数も変更される

[100604-07]

A：画面の設定で「解像度」の変更を行うと、「色調整」がその解像度で使用できる最も多い色数の設定に変更されます。

「解像度」だけ変更し「色調整」は変更したくない場合には、解像度を変更した後に「色調整」を設定しなおしてください。

Q：画面の色調を調整したい

[100606-27]

A：次の手順で調整してください。

1. 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック
2. 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック
3. 「詳細設定」をクリック
4. 「インテル(R) HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリック
5. 「グラフィックス・プロパティー」ボタンをクリック
6. 「ディスプレイ」をクリック
7. 左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「一般設定」をクリック
8. 「色設定」タブをクリック

表示される画面で色調の調整を行ってください。

Q：再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

[100607-27]

A：動画の再生を行うアプリケーション以外のアプリケーションを終了してください。

動画の再生には処理能力を多く必要とするものもあり、複数のアプリケーションを使用中に動画の再生を行うと、再生がとぎれる場合や、なめらかに再生ができない場合があります。

A：ECOモード機能で選択しているモードを確認してください。

ECOモード機能で、省電力を優先するモードを選択している場合、動画の再生などの映像を表示するアプリケーションで、再生品質が低下する可能性があります。そのような場合は、「標準」などの性能を優先するモードを選択してください。

参照

ECOモード機能について

「本機の機能」の「省電力機能」-「ECOモード機能 (P. 40)」

A：再生中はウィンドウの大きさや位置を変更しないでください。

動画の再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変更すると、音飛びや画像の乱れの原因になる場合があります。

A：Intel® WiDiで接続した外部ディスプレイやテレビに表示している場合は、解像度を低くしてください。

Intel® WiDiで接続した外部ディスプレイやテレビに表示している映像が乱れやすい場合は、解像度を1,280×720に設定してください。
画質は低下しますが、転送するデータ量が減るため映像が安定する場合があります。

Q：動画の再生中に画面が消えてしまう

[100608-07]

A：電源の設定を確認してください。

MPEG形式の動画を再生中にスリープ状態や休止状態に移行した場合や、ディスプレイの省電力機能やパワーマネジメント機能が働いた場合、再生画面が消えてしまいます。
動画を再生するときは、スリープ状態や休止状態およびディスプレイの省電力機能やパワーマネジメント機能をオフにしてください。

Q：Windows Media PlayerでDVDが再生できない

[101902-07]

A：CPRM（Content Protection for Recordable Media）方式で著作権保護されているタイトルを再生しようとしていないか確認してください。

Windows Media Playerは、CPRM（Content Protection for Recordable Media）方式で著作権保護されているタイトルの再生には対応していません。

メモ

CPRM方式による著作権保護は、デジタルテレビ放送番組をDVDに記録するためなどに用いられています。

Q：Windows Media Playerでディスクが認識されない、自動再生が始まらない

[101904-07]

A：Windows Media Playerで使用可能な規格のディスクか、また使用しているディスクや光学ドライブの状態に問題はないか確認してください。

本機の光学ドライブで使用できるディスクであっても、本機やWindows Media Playerで使用できない規格で記録されていると認識ができない場合があります。
また、使用しているディスクや光学ドライブの状態によってはディスクの認識ができない場合があります。
使用しているディスクや光学ドライブの確認を行ってください。

Q：Windows Media PlayerでDVDがなめらかに再生されない、画面が乱れる

[101905-27]

A：再生するディスクの種類によっては、コマ落ちが発生することがあります。

Windows Media Playerで、DVDやビデオCDを再生する場合、再生するディスクの種類によっては、コマ落ちが発生することがあります。

A：ECOモード機能で選択しているモードを確認してください。

ECOモード機能で、省電力を優先するモードを選択している場合、DVDの再生などの映像を表示するアプリケーションで、再生品質が低下する可能性があります。そのような場合は、「標準」などの性能を優先するモードを選択してください。

参照

ECOモード機能について

「本機の機能」の「省電力機能」-「ECOモード機能 (P. 40)」

A：電源オプションの設定を確認してください。

次の手順で電源オプションの設定を確認してください。

1. **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**
2. **「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック**
3. **現在選択している電源プランの「プラン設定の変更」をクリック**
4. **「詳細な電源設定の変更」をクリック**
5. **「マルチメディアの設定」→「ビデオの再生時」をクリック**
6. **それぞれの電源状態の欄が「ビデオ品質の最適化」に設定されているか確認する**

   「ビデオ品質の最適化」に設定されていない場合は、「ビデオ品質の最適化」に設定してください。
7. **「OK」ボタンをクリック**

Q：CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない

[101914-00]

A：CPRM（Content Protection for Recordable Media）方式で著作権保護されているタイトルを再生しようとしていないか確認してください。

インターネット経由でのアクティベーションにより、CPRMの著作権保護機能に対応することができます。

チェック

外部ディスプレイ使用時、接続しているディスプレイが、HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応していない場合は、著作権保護された映像をデジタル出力できません。

メモ

CPRM方式による著作権保護は、デジタルテレビ放送番組をDVDに記録するためなどに用いられています。

Q：CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない

[101906-07]

A：CyberLink PowerDVDで使用可能な規格のディスクか、また使用しているディスクや光学ドライブの状態に問題はないか確認してください。

本機の光学ドライブで使用できるディスクであっても、本機やCyberLink PowerDVDで使用できない規格で記録されていると認識ができない場合があります。
また、使用しているディスクや光学ドライブの状態によってはディスクの認識ができない場合があります。使用しているディスクや光学ドライブの確認を行ってください。

参照

CyberLink PowerDVDで使用できるディスクの規格、ディスクや光学ドライブの確認について
「便利な機能とアプリケーション」の「CyberLink PowerDVD」-「使用上の注意 (P. 325)」

Q：個人設定で、Aero®に設定できない

[100609-07]

A：「Aero テーマ」からテーマを選択して、設定を行ってください。

Aero®を使用する場合は、「Aero テーマ」からテーマを選択し、設定を行ってください。「ベーシック テーマとハイコントラスト テーマ」のテーマではAero®は使用できません。

A：Aero®の実行に必要な事項を満たしていない場合は、Aero®は選択できません。

参照

Aero®の実行に必要な事項、およびAero®の実行
Windowsのヘルプ

Q：画面の表示位置やサイズがおかしい

[100610-27]

A：ディスプレイストレッチ機能の設定を確認してください。

ディスプレイストレッチ機能が無効の状態で、デスクトップの解像度を液晶ディスプレイの解像度よりも小さい解像度に設定した場合、画面は液晶ディスプレイ中央に表示され、周辺には黒い枠が表示されます。
画面を液晶ディスプレイ全体に拡大表示したい場合は、ディスプレイストレッチ機能を有効にしてください。

参照

ディスプレイストレッチ機能について
「本機の機能」の「液晶ディスプレイ」-「ディスプレイストレッチ機能 (P. 100)」

A：外部ディスプレイを使用している場合は、ディスプレイ側で表示位置やサイズを調整してください。

参照

表示位置やサイズの調整について
ディスプレイに添付のマニュアル

Q：外部ディスプレイで画面が流れるように表示される

[100611-27]

A：お使いのディスプレイのディスプレイ情報ファイルを最新のものに更新してください。

一部のDDC対応ディスプレイにおいて、ディスプレイ情報ファイルがないためにディスプレイの同期がとれず、画面が流れるように表示される場合があります。
この場合には、ディスプレイ製造元より最新のディスプレイ情報ファイルを入手し、セットアップしてください。

Q：外部ディスプレイ接続時にアイコンの位置がおかしい

[100612-27]

A：メイン ディスプレイの切り替え操作を行うとデスクトップ アイコンがメイン ディスプレイに正しく表示されない場合があります。

参照

文書番号：2475327
「Windows 7 で複数台のモニターを使用し、プライマリ ディスプレイの切り替えを行うと、デスクトップ上のアイコンが変更したディスプレイに表示されない場合がある」

詳しくは「サポート技術情報について (P. 13)」を参照してください。

Q：HDMI接続したテレビや外部ディスプレイに映像が表示されない

[100616-27]

A：出力先がHDMIコネクタに設定されているか確認してください。

参照

画面の出力先の切り替えについて
「本機の機能」の「外部ディスプレイ (P. 101)」

A：I/O制限で、HDMIコネクタの接続を使用不可に設定していないか確認してください。

参照

I/O制限について
「本機の機能」の「セキュリティ機能」-「I/O制限 (P. 207)」

A：接続しているテレビや外部ディスプレイの設定を確認してください。

接続しているテレビや外部ディスプレイのマニュアルをご覧になり、次のことを確認してください。

- 入力信号の設定はあっているか
- 複数の入力に対応している場合、本機と接続したHDMIコネクタからの信号を表示する設定になっているか

Q：HDMIでテレビに接続すると、画面の周りがはみ出してしまい、表示されない部分がある

[100617-27]

A：テレビの設定をアンダースキャンに変更してください。

テレビのオーバースキャン機能（従来のテレビ方式との互換性を持たせるために、画面の周囲を表示しない機能）によるものです。テレビの設定をアンダースキャンに変更してください。
設定方法について詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

A：表示の大きさを調節してください。

次の手順で表示の大きさを調節してください。

1. **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**
2. **「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック**
3. **「詳細設定」をクリック**
4. **「インテル(R) HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリック**
5. **「グラフィックス・プロパティー」ボタンをクリック**
6. **「ディスプレイ」をクリック**
7. **左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「一般設定」をクリック**
8. **「ディスプレイの選択」欄で「デジタルテレビ」をクリック**
9. **「スケーリング」の項目で任意の設定に変更する**

Q&A：文字入力

[100700-27]

- はじめに確認してください. 411
- キーボードのキーを押しても、何も反応しない. 412
- 記号などで入力できない文字がある. 413
- 別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある. 414
- 文字入力中に、NXパッドのタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう. 415

はじめに確認してください

[100701-27]

キャップスロックキーランプ（）でキャップスロックの状態を確認してください。

キャップスロックキーランプ（）が点灯していればキャップスロックがオン、消灯していればキャップスロックがオフになっています。
キャップスロックの状態により、大文字／小文字の入力が変わります。

- **キャップスロックがオン**
  【Shift】を押していないときは大文字が、押しているときは小文字が入力されます。
- **キャップスロックがオフ**
  【Shift】を押していないときは小文字が、押しているときは大文字が入力されます。

キャップスロックのオン／オフは【Shift】＋【Caps Lock】で切り替えることができます。

日本語入力の入力モードを確認してください。

日本語入力が入力したいモードになっているか確認し、必要に応じてモードを切り替えてください。
工場出荷時の状態で日本語入力と英字入力を切り替えるには、【半角/全角】または【Caps Lock】を押します。

日本語入力モードのときに、かな入力とローマ字入力を切り替えるには、次の手順で行います。

1 【Alt】＋【カタカナ ひらがな ローマ字】を押す

2 確認のメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリック

Q：キーボードのキーを押しても、何も反応しない

[100706-27]

A：マウスポインタがになっていないか確認してください。

マウスポインタがになっている場合は、本機がプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまでお待ちください。
しばらく待ってもキーボードからの操作ができない場合は、プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）可能性があります。アプリケーションを強制終了してください。この場合、保存していなかったデータは消去されます。

参照

アプリケーションの強制終了
「アプリケーション」の「アプリケーションを強制的に終了させたい (P. 496)」

A：別売のキーボードを使用している場合は、本機との接続を確認してください。

Q：記号などで入力できない文字がある

[100702-07]

A：日本語入力システムを使用しても入力できない文字は、文字コード表を使って入力します。

文字コード表は次の手順で起動します。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」をクリック

2 「アクセサリ」→「システムツール」→「文字コード表」をクリック

参照

文字コード表の使い方
Windowsのヘルプ

Q：別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある

[100703-07]

A：キーボードの設定を行ってください。

使用しているキーボードにマニュアルやドライバが添付されている場合は、キーボードのマニュアルに従って設定やドライバのインストールを行ってください。

マニュアルやドライバが添付されていない場合は、次の手順でキーボードの設定を行ってみてください。

チェック

この方法で設定すると別売のキーボードも使えますが、キーボードによっては、一部のキーが使えなくなることがあります。

1. 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
2. 「キーボード」をダブルクリック
3. 表示されたキーボードから設定するキーボード名をダブルクリック
4. 「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新」ボタンをクリック
5. 「コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します」をクリック
6. 「コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します」をクリック

以後は、接続したキーボードの種類などを参考に画面の指示に従って設定してください。

Q：文字入力中に、NXパッドのタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう

[100704-27]

A：文字入力中にNXパッドに手が触れたり、NXパッドの近くに手が行ったりしたためです。

NXパッドに手が触れたり、NXパッドの近くに手が行ったりすると、手が触れていなくてもNXパッドで使用している静電容量式という仕組みのためにタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう場合があります。

NXパッドドライバを使用している場合、パッドの感度を調整したり、【Fn】＋スペースキーを押して、NXパッドのオン／オフを切り替えることができます。

参照

- **パッドの感度の調整**
  「本機の機能」の「NXパッド」-「NXパッドの設定 (P. 75)」
- **【Fn】について**
  「キーボード」の「キーの使い方 (P. 70)」

また、BIOSセットアップユーティリティの「Advanced」メニュー-「Device Configuration」-「Internal Mouse」を「Disabled」に設定することで、NXパッドを無効にできます。

メモ

NXパッドのドライバを「標準 PS/2 ポート マウス」に変更している場合でも無効にできます。

参照

NXパッドを無効にする
「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」および「設定項目一覧 (P. 222)」

Q&A：ファイル保存

[100800-27]

- はじめに確認してください. 417
- SSDに保存できない. 418
- DVD、CDにデータを書き込めない（保存できない） 419

はじめに確認してください

[100801-27]

DeviceLockで光学ドライブの機能を制限していないか確認してください。

DeviceLockは周辺機器の使用を制限するアプリケーションです。
DeviceLockをインストールしている場合は、DeviceLock管理コンソールを起動し、設定を確認してください。

参照

DeviceLockについて
「便利な機能とアプリケーション」の「DeviceLock Lite (P. 310)」

Q：SSDに保存できない

[101602-27]

A：SSDの空き領域を確認してください。

SSDの空き領域を確認してください。足りない場合は「SSDの空き領域が足りない (P. 453)」に従って空き領域を増やしてください。SSDの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

Q：DVD、CDにデータを書き込めない（保存できない）

[101711-07]

A：「光学ドライブ」の「はじめに確認してください (P. 459)」の内容をご確認ください。

Q&A：LAN機能

[100900-27]

- はじめに確認してください. 421
- ネットワークに接続できない. 422
- ドライブやフォルダが共有できない. 423
- 動作が不安定になった. 426

はじめに確認してください

[100905-27]

本機とLANケーブル、ハブなどのネットワーク機器が正しく接続されているか確認してください。

ネットワークに接続できない、ネットワークを利用した機能が使えない場合は、本機とLANケーブル、ハブなどのネットワーク機器が正しく接続されているか確認してください。

Q：ネットワークに接続できない

[100901-00]

A：プロトコルやドメイン、ワークグループの設定を間違えていないか確認してください。

詳しくはネットワークの管理者にご相談ください。

Q：ドライブやフォルダが共有できない

[100902-07]

A：「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」を使用する設定になっているか確認してください。

次の手順で確認してください。

チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

3 左のメニューから「アダプターの設定の変更」をクリック

4 LAN接続のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック

5 「ネットワーク」タブの「この接続は次の項目を使用します」欄に「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」が表示され、チェックが付いていることを確認する

チェックが付いていない場合は、チェックを付けてください。

チェック

「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンター共有」が組み込まれていない場合は、共有ドライブやフォルダを使うことはできません。このサービスは、「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンター共有」をインストールすると使えるようになります。

6 「OK」ボタンをクリック

7 をクリック

A：「共有の詳細設定」で設定を確認してください。

次の手順で確認してください。

チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

3 左のメニューから「共有の詳細設定の変更」をクリック

4 ネットワーク プロファイルごとに、設定を確認し必要に応じて設定を変更する

メモ

ネットワーク プロファイルの設定項目が表示されていない場合は、をクリックしてください。

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
ネットワーク探索	他のネットワーク コンピュータやデバイスを参照できるかどうか、また、本機が他のネットワーク コンピュータから参照できるかどうかを設定します。
ファイルとプリンターの共有	本機で共有しているファイルとプリンタをネットワーク上のユーザーからアクセスできるようにするかどうかを設定します。
パブリック フォルダーの共有	ネットワーク上のユーザーが、本機のパブリックフォルダ内のファイルにアクセスできるようにするかどうかを設定します。
メディア ストリーミング	ネットワーク上のユーザーやデバイスが、本機のピクチャ、ミュージック、ビデオにアクセスできるかどうか、また、本機でネットワーク上のメディアを検出できるようにするかどうかを設定します。
ファイル共有の接続	ファイル共有の接続で使用する暗号化のビット数を設定します。
パスワード保護共有	共有ファイルや、本機に接続しているプリンタ、パブリックフォルダへのアクセスを、本機のユーザー アカウントとパスワードを持つ人のみに制限するかどうかを設定できます。
ホームグループ接続※	ホームグループ接続の管理を、Windowsが行うか、ユーザー アカウントとパスワードで行うかを設定します。

※ ネットワーク プロファイル「パブリック」では設定できません。

5 「変更の保存」ボタンをクリック

A：ドライブやフォルダを共有する設定にしているか確認してください。

ネットワークに接続された他のコンピュータから本機のドライブやフォルダを参照するには、共有したいドライブやフォルダを共有するように設定する必要があります。
共有したいドライブ、フォルダを右クリックし、表示されたメニューの「共有」から設定を行ってください。

A：共有するドライブやフォルダのアクセス許可の設定を確認してください。

共有するドライブやフォルダは、共有するユーザーごとにアクセス許可の設定を行うことができます。アクセス許可の設定を確認し、必要に応じて設定を変更してください。

Q：動作が不安定になった

[100904-07]

A：LANに接続して通信中にスリープ状態や休止状態にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。

LANに接続して通信中にスリープ状態や休止状態にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。通信中にスリープ状態や休止状態にしないでください。

Windowsの電源プランで自動的にスリープ状態になる設定をしている場合は、設定を解除してください。

Q&A：無線LAN機能

[101000-27]

- はじめに確認してください. 428
- 通信ができない. 429
- 通信がとぎれる、または通信速度が遅い. 430
- 「ネットワーク」で相手のコンピュータが表示されない. 432
- 「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない. 433
- 接続している無線LANアクセスポイントから、いつのまにか切断されてしまう. 434

はじめに確認してください

[101006-27]

無線LAN機能がオンになっていることを確認してください。

参照

無線LAN機能のオン／オフについて

「本機の機能」の「無線LAN機能」-「無線LAN機能のオン／オフ (P. 162)」

接続先の機器の電源が入っているか確認してください。

参照

接続先の機器に添付のマニュアル

ネットワーク名（SSID）が正しく設定されているか確認してください。

- 無線LANアクセスポイントと接続する場合は、ネットワーク名（SSID）の設定を無線LANアクセスポイントと同じ設定にする必要があります。
- 複数の無線LANアクセスポイントが存在する環境で、接続する無線LANアクセスポイントを限定したい場合は、無線LANアクセスポイントごとに異なるネットワーク名（SSID）を設定してください。

接続しようとしている機器が、無線LAN対応機器か確認してください。

無線LAN対応機器以外は使用できません。

Q：通信ができない

[101001-27]

次の項目を確認してください。また、「通信がとぎれる、または通信速度が遅い (P. 430)」もあわせてご覧ください。

A：データ暗号化の設定を行っている場合、ネットワーク セキュリティ キーが正しく設定されているか確認してください。

接続先の無線LANアクセスポイントやコンピュータには、すべて同じネットワーク セキュリティ キーを設定する必要があります。

A：使用するチャンネルは正しく設定されているか確認してください。

本機が対応しているチャンネルは、次の通りです。
無線LANアクセスポイントのチャンネルを本機が使用できるチャンネル範囲に設定してください。

- **IEEE802.11b（2.4GHz）対応機器、またはIEEE802.11g（2.4GHz）対応機器と通信する場合**
  1～13chまでのチャンネル
- **IEEE802.11a（5GHz）対応機器、またはIEEE802.11ac（5GHz）対応機器と通信する場合**
  36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140chのいずれか
- **IEEE802.11n（2.4/5GHz）対応機器と通信する場合**
  1～13chまでのチャンネル
  36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140chのいずれか

チェック

以下のチャンネルは、無線LANアクセスポイントからの電波を受信してから通信を開始するため、接続するまでに時間がかかる場合があります。
12、13、36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch

A：本機や接続したい無線LAN対応機器の環境設定が、正しく設定されているか確認してください。

設定を確認し、必要に応じてもう一度設定してください。

Q：通信がとぎれる、または通信速度が遅い

[101002-27]

A：接続したい無線LAN対応機器との距離が遠すぎないか確認してください。

電波環境を確認し、電波環境が悪い場合は、無線LAN対応機器までの距離を近づけてみてください。
無線LAN対応機器間の距離は、機器の仕様により異なります。

参照

電波環境の確認について
「本機の機能」-「無線LAN機能」-「無線LANの設定と接続」の「接続の確認 (P. 174)」

A：接続先のIEEE802.11g対応無線LANアクセスポイントの電波到達範囲内に、IEEE802.11bのみに対応した他の無線機器が存在する場合、IEEE802.11gでの通信速度が低下します。

チェック

IEEE802.11bのみに対応した無線機器が別の無線LANアクセスポイントに接続していても、電波が到達するだけで速度に影響があります。

A:周囲で2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）を使用していると、2.4GHz無線LAN対応機器の通信が不安定になる場合があります。

2.4GHz無線LAN対応機器と2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）は離して使用することをおすすめします。

A：2.4GHz無線LAN対応機器とBluetooth機器など同じ周波数帯を利用する機器を同時に通信をした場合、それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があります。

2.4GHz無線LAN対応機器とBluetooth機器など、同じ周波数帯を利用する機器のいずれか一方をオフにするか離して使用することをおすすめします。

A：1つの無線LANアクセスポイントに接続する機器の台数が増えると、1台あたりの転送速度が低下する場合があります。

A：大きなサイズのファイルを転送すると、途中で通信が切断される場合があります。

大きなサイズ（約100MB以上）のファイルを転送すると、途中で通信が切断される場合があります。無線LANで接続するときは、転送するファイルのサイズに注意してください。

A : IEEE802.11n（2.4/5GHz）に対応した無線LAN機器と接続する際に、データ転送レートが54Mbps以下になる場合があります。

次の設定を確認してください。

- 無線LANアクセスポイントと本機の暗号化方式がAESとなっていること
- 無線LANアクセスポイントのWMM（Wi-Fi Multimedia）の機能が有効になっていること

参照

接続先の機器に添付のマニュアル

A : Intel® WiDiと無線LAN機能を同時に使用した場合、それぞれの通信速度や通信距離が低下する場合があります。

Q：「ネットワーク」で相手のコンピュータが表示されない

[101003-20]

A：ネットワークに接続されているコンピュータに、同一のコンピュータ名が使用されている可能性があります。

コンピュータ名を確認し、他のコンピュータの名前とは異なるコンピュータ名を設定してください。

A：相手のコンピュータに「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」が組み込まれているか確認してください。

相手のコンピュータに「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」が組み込まれていないと、「ネットワーク」で相手のコンピュータは表示されません。相手のコンピュータに「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」を組み込んでください。

A：TCP/IPが組み込まれているか確認してください。

TCP/IPが組み込まれているかを確認し、接続するネットワークにあわせてIPアドレスを正しく設定してください。

A：周囲の電波状況は適切な状態か確認してください。

電波状態が悪い場合、接続する相手との距離を短くする、または本機と相手との間に障害物があるときは障害物をなくしてから再度接続してください。

A：相手のコンピュータが起動した直後で、ネットワークへの接続が完了していない可能性があります。

相手のコンピュータが起動した直後の場合は、数分たってからもう一度接続状況を確認してください。

Q：「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない

[101004-20]

A：相手のコンピュータに共有しているフォルダやプリンタなどがない可能性があります。

相手のコンピュータ上で共有化したいフォルダやプリンタを共有する設定にしてください。

Q：接続している無線LANアクセスポイントから、いつのまにか切断されてしまう

[101005-20]

A：周囲に複数の無線LANアクセスポイントが存在する場合、無線LANアクセスポイントの設定によっては電波の状況に応じて自動的に他の無線LANアクセスポイントに接続が切り替わることがあります。

Q&A：サウンド

[101200-27]

- はじめに確認してください. 436
- 音が出ない. 437
- HDMI接続した機器から音声が出力されない. 438
- 音楽CDの再生音を調節したい. 440
- 音楽CDが再生されない. 441
- 音楽CDの再生中に音飛びする. 442

はじめに確認してください

[101205-27]

本機の音量が適切に設定されているか確認してください。

適切な音量に設定されているか確認し、必要に応じて調節してください。

参照

音量の調節について

「本機の機能」の「サウンド機能」-「音量の調節 (P. 142)」

外部の機器に接続している場合は、接続している機器の音量、本機と外部の機器との接続を確認してください。

Q：音が出ない

[101201-27]

A：HDMI接続で音声を出力する設定にしていないか確認してください。

HDMI接続で音声を出力する設定にしている場合、本機のスピーカやヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャックから音声は出力されません。
本機のスピーカやヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャックから音声を出力する場合は、次の手順で設定を変更してください。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ハードウェアとサウンド」をクリック

3 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。

4 「再生」タブをクリック

5 「スピーカー」をクリックし、「既定値に設定」をクリック

6 「スピーカー」にチェックが付いていることを確認し、「OK」をクリック

Q：HDMI接続した機器から音声が出力されない

[101209-27]

A：HDMIの映像が正しく表示されているか確認してください。

映像が正しく表示されていない場合は、「表示」の「HDMI接続したテレビや外部ディスプレイに映像が表示されない (P.408)」を参照し、テレビや外部ディスプレイとの接続、設定を確認してください。

A：接続している機器が、HDMIの音声出力のサンプリングレートに対応しているか確認してください。

次の手順で確認してください。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ハードウェアとサウンド」をクリック

3 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。

> **チェック**
>
> 「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」にチェックが付いていない場合は、チェックを付けて「既定値に設定」をクリックしてください。

4 「再生」タブをクリック

5 「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」をクリックし、「プロパティ」をクリック

6 「詳細」タブをクリック

7 「既定の形式」欄の設定が接続先の機器に対応していることを確認する

> **参照**
>
> **対応しているサンプリングレートについて**
> 接続している機器のマニュアル

A：音声の出力設定を確認してください。

音声を、本機のスピーカやヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャックから出力する設定になっている場合、HDMI接続で音声は出力されません。
HDMI接続で音声を出力するには、次の手順で出力先を設定してください。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ハードウェアとサウンド」をクリック

3 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。

4 「再生」タブをクリック

5 「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」をクリックし、「既定値に設定」をクリック

6 手順5で選択した項目にチェックが付いていることを確認し、「OK」をクリック

A：I/O制限で、HDMIコネクタの接続を使用不可に設定していないか確認してください。

参照

I/O制限について
「本機の機能」の「セキュリティ機能」-「I/O制限 (P. 207)」

Q：音楽CDの再生音を調節したい

[101202-07]

A：次の手順で音量を調節してください。

チェック

- 工場出荷時の状態で、Windows Media Playerで再生した場合を例にして説明します。その他の再生用アプリケーションを使用する場合は、それぞれのアプリケーションのマニュアルやヘルプをご覧になり、再生音量を調整してください。
- お使いの機種によって表示が異なることがあります。

1 Windows Media Playerを起動する

チェック

Windows Media Playerを起動していないと、「音量ミキサー」に「Windows Media Player」が表示されません。

2 タスク バーの通知領域の をクリック

3 表示されたウィンドウから「ミキサー」をクリック

「音量ミキサー」が表示されます。

4 「デバイス」欄の「スピーカー」、または「アプリケーション」欄の「Windows Media Player」の音量つまみをドラッグして音量を調節する

Q：音楽CDが再生されない

[101203-00]

A：コピーコントロールCDなど、一部のCompact Discの規格外の音楽ディスクは再生できない場合があります。

Q：音楽CDの再生中に音飛びする

[101204-00]

A：音楽CDに傷や汚れがないか確認してください。

音楽CDに傷が付いていると、使用できない場合があります。
また、汚れている場合は、乾いたやわらかい布で内側から外側に向かってふいてから使用してください。

A：音楽CDを再生中の光学ドライブや本機に何らかの振動を与えた場合、音飛びや故障の原因になる場合があります。

音楽CDを再生中は光学ドライブや本機に振動を与えないでください。

Q&A：印刷

[101300-27]

- はじめに確認してください. 444
- プリンタから印刷が正しくできない. 445
- PDF形式のマニュアルがうまく印刷できない. 446

はじめに確認してください

[101303-27]

プリンタの接続や状態を確認してください。

プリンタのマニュアルをご覧になり、プリンタが正しく接続されているか、プリンタの状態は正常か確認してください。

プリンタのケーブルが指定または推奨のものか確認してください。

プリンタによっては、プリンタの製造元が指定または推奨するケーブルを使用しないと、印刷がうまくいかないものがあります。使用しているプリンタのマニュアルをご覧になり、ケーブルを確認してください。

使用するプリンタ用のドライバがインストールされているか、またドライバは正しく設定されているか確認してください。

新しくプリンタを使用する場合は、プリンタドライバのセットアップが必要です。また、プリンタドライバの設定によっては正しく印刷されない場合があります。

参照

プリンタドライバのセットアップ、プリンタドライバの設定
プリンタに添付のマニュアル

使用したいプリンタが「通常使うプリンター」に設定されているか確認してください。

使用したいプリンタが「通常使うプリンター」に設定されていないと、アプリケーションで印刷先を指定しない限り、印刷されない場合や、別のプリンタから印刷される場合があります。
「通常使うプリンター」の設定をする場合は、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」をクリック

3 「プリンターとFAX」欄で、使用したいプリンタのアイコンにチェックが付いているか確認する

チェックが付いていない場合には、使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンターに設定」をクリックしてください。

Q：プリンタから印刷が正しくできない

[101301-20]

A：プリントサーバに接続されているプリンタの場合、プリントサーバを確認してください。

プリンタがプリントサーバに接続されている場合は、プリントサーバでエラーが表示されていないか確認してください。

A：ネットワークに接続されているプリンタの場合、ネットワークの機器を確認してください。

ネットワークに接続しているプリンタの場合、本機からプリンタまでの経路にあるネットワーク機器にエラーが発生したり、電源が切れていたりしないか確認してください。

A：プリンタのテスト印字を実行してみてください。

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタのテスト印字を行ってください。テスト印字ができない場合は、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

Q：PDF形式のマニュアルがうまく印刷できない

[101302-00]

A：白抜きの文字やグラデーション、図形などがうまく印刷できない場合は次の対処方法を試してみてください。

- Adobe Readerの「印刷」ダイアログボックスの「詳細設定」ボタンをクリックして、「画像として印刷」にチェックを付けるか、プリンタのプロパティの中から「きれい」、「高品位」などを選択する
- プリンタドライバを最新のものにする
- プリンタが複数ある場合は、印刷先を別のプリンタに切り替え、同様に試してみる

Q&A：セキュリティチップ機能

[102200-27]

- パスワードを忘れてしまった. 448
- 「Security Platform サービスとの接続に失敗しました。」と表示される. 449

Q：パスワードを忘れてしまった

[102201-27]

A：BIOSセットアップユーティリティでセキュリティチップを初期化してください。

Security Platformで設定したパスワードを解除することはできません。
次の手順で、セキュリティチップを初期化してください。

1 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

> **参照**
>
> **BIOSセットアップユーティリティについて**
> 「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」

2 「Security」メニューで「Security Chip Configuration」を選択し、【Enter】を押す

3 「Current TPM State」が「Enabled&Activated」になっていることを確認する

「Current TPM State」が「Enabled&Activated」になっていない場合は、「セキュリティチップを有効にする (P. 238)」の手順でセキュリティチップを有効にしてから、セキュリティチップの初期化を行ってください。

4 「Change TPM State」を「Clear」にする

5 【F10】を押す

確認の画面が表示されます。

6 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了します。

7 本機の再起動後、確認画面が表示された場合は【Shift】＋【F10】を押す

設定値が保存され、本機が再起動します。

これでセキュリティチップが初期化されました。 セキュリティチップを使用する場合は、再度、「セキュリティチップを有効にする (P. 238)」の手順で、セキュリティチップを有効にしてください。

Q：「Security Platform サービスとの接続に失敗しました。」と表示される

[102202-27]

A：セキュリティチップ機能が有効になっているか確認してください。

「セキュリティチップを有効にする (P. 238)」をご覧になり、セキュリティチップ機能が有効になっているか確認してください。

A：自己診断テストを行ってください。

次の手順で、自己診断テストを行って問題点を明確にできます。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Infineon Security Platform ソリューション」→「Security Platform の管理」をクリック

「Infineon Security Platform 設定ツール」画面が表示されます。

2 「全般」タブをクリックし、「自己診断テスト」ボタンをクリック

エラーが発見された場合、画面の指示に従って対処してください。

A：セキュリティチップが破損している可能性があります。

自己診断テストで提示された対処方法を行っても問題が解決しない場合は、NECにお問い合わせになり、セキュリティチップを交換してください。
セキュリティチップを交換した後は、セキュリティチップ機能を復元してください。

参照

- **セキュリティチップ機能のバックアップと復元について**
  「セキュリティチップ ユーティリティ」の「セキュリティチップ機能のバックアップと復元 (P. 267)」
- **NECのお問い合わせ先について**
  『保証規定＆修理に関するご案内』

Q&A：SSD

[101600-27]

- SSDに障害が起きた. 451
- SSDに保存できない. 452
- SSDの空き領域が足りない. 453
- 領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない. 454
- 複数のパーティションを利用したい. 455
- SSDをメンテナンスする方法を知りたい. 457

Q：SSDに障害が起きた

[101601-07]

A：エラーチェックプログラムで、SSDの障害を確認してください。

軽い障害であれば、ディスクのエラーチェックプログラムを使って障害を修復することができます。

参照

SSDのエラーチェックプログラムについて
『メンテナンスとアフターケアについて』

Q：SSDに保存できない

[101602-27]

A：SSDの空き領域を確認してください。

SSDの空き領域を確認してください。足りない場合は「SSDの空き領域が足りない (P. 453)」に従って空き領域を増やしてください。SSDの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

Q：SSDの空き領域が足りない

[101603-07]

A：ディスク クリーンアップを実行し、不要なファイルを削除してください。

次の手順でディスク クリーンアップを起動し、不要なファイルを削除してください。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」をクリック

2 「アクセサリ」→「システム ツール」→「ディスク クリーンアップ」をクリック

「ディスク クリーンアップ」が起動します。

以後は画面の指示に従って操作してください。

参照

ディスク クリーンアップについて
Windowsのヘルプ

A：使用しないアプリケーションをアンインストールしてください。

使用しないアプリケーションをSSDからアンインストールすると、SSDの空き領域を増やすことができます。

参照

- **添付アプリケーションのアンインストール**
  「便利な機能とアプリケーション (P. 283)」
- **別売のアプリケーションのアンインストール**
  アプリケーションに添付のマニュアル

Q：領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

[101604-27]

A：計算方法の違いによるもので、故障ではありません。

カタログなどに記載されているSSDの容量は、1MB=1,000,000バイトで計算しています。これに対し、SSDを領域作成するときには、1MB=1,024×1,024=1,048,576バイトで計算しているので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

GB（ギガバイト）についても、同様の記述となっています。

A：SSDに、「再セットアップ用データ」などを格納する領域があるためです。

本機のSSDには、Windowsの起動に必要なファイルや「再セットアップ用データ」などを格納するための領域として約15GBの領域が確保されています。そのため、使用可能な容量が、その領域の分だけ少なくなります。この領域を削除することはできません。

Q：複数のパーティションを利用したい

[101605-27]

A：「ディスクの管理」でドライブ構成を変更することができます。

工場出荷時において1台目の内蔵SSDでお客様が利用可能な領域はCドライブのみの1パーティション（ボリューム）です。
Cドライブを分割して、複数のパーティションを利用することもできます。
工場出荷時の構成から、Cドライブを縮小して作成された未割り当ての領域に1つのパーティションを作成する場合は、次の手順で行います。

チェック

Cドライブの容量は60GB以上に設定してください。 Cドライブの容量を60GB未満に設定した状態では、「Cドライブのみ再セットアップ」を行うことができません。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「管理ツール」をクリック

3 「コンピューターの管理」をダブルクリック

4 左側のツリーの「記憶域」→「ディスクの管理」をクリック

5 (C:)と表示されているボリュームを選択し、右クリック

6 「ボリュームの縮小」をクリック

7 「縮小する領域のサイズ (MB)」欄に任意のサイズを入力する

ここで入力するサイズが、新たに作成するパーティションの最大値になります。

8 「縮小」ボタンをクリック

9 ボリュームの縮小後に確保された未割り当て領域を選択し、右クリック

10 「新しいシンプル ボリューム」をクリック

11 「次へ」ボタンをクリック

12 「シンプル ボリューム サイズ (MB)」欄に任意のボリュームサイズを入力し、「次へ」ボタンをクリック

13 「次のドライブ文字を割り当てる」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

14 「このボリュームを次の設定でフォーマットする」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

15 「完了」ボタンをクリック

チェック

- 作成したパーティションに対して「パーティションをアクティブとしてマーク」を選択しないでください。
- 「回復パーティション」は、縮小することはできません。

メモ

- 必要に応じて、ドライブ文字を変更することもできます。
- 「ボリュームの縮小」は、環境によっては実施できない場合があります。

参照

- **「ボリュームの縮小」について**
  「コンピューターの管理」のヘルプ
- **ディスクの管理の使用方法**
  「ディスクの管理」のヘルプ
- **SSDについて**
  「本機の機能」の「SSD (P. 125)」

Q：SSDをメンテナンスする方法を知りたい

[101606-07]

A：SSDのメンテナンスについては以下をご覧ください。

SSDを長時間使用している間に、まれにSSD自体や保存されているデータに障害を起こすことがあります。しかし、小さな障害であれば、付属のユーティリティを使うことですぐに復旧することができます。小さな障害であっても、放置すると被害が拡大するおそれがあります。これを防ぐために、こまめにSSDをメンテナンスしてください。

参照

SSDのメンテナンスについて
『メンテナンスとアフターケアについて』

メンテナンスをするためのユーティリティには、ドライブのエラーをチェックするためのエラーチェックプログラムがあります。

◆エラーチェックプログラムについて

エラーチェックプログラムを使うと、SSD自体やSSDに保存されているデータに障害がないかどうか調べることができます。

参照

SSDのエラーチェックプログラムについて
Windowsのヘルプ

◆不良セクタ、スキップセクタについて

SSDは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」といいます。
エラーチェックプログラムを実行すると「不良セクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタを使わないように予防されたことを表しており、異常ではありません。

Q&A：光学ドライブ

[101700-27]

- はじめに確認してください. 459
- 「コンピューター」に光学ドライブが表示されない. 460
- 光学ドライブのディスクトレイを出し入れできない. 461
- DVD、CDをセットしても自動再生しない. 462
- DVD、CDからデータを読み出せない. 463
- DVD、CDの読み取りエラーメッセージが表示された. 464
- DVD、CDにデータを書き込めない（保存できない）. 465
- DVD、CDへの書き込み中にエラーになった. 466
- Roxio Creator LJBでデータディスクを作成できない. 467
- ドライブ文字がおかしい. 468
- 光学ドライブから異常な音がする. 469
- 添付されていたDVD、CDが使えなくなった、壊れた. 471
- Windows Media PlayerでDVDが再生できない. 472
- Windows Media Playerでディスクが認識されない、自動再生が始まらない. 473
- Windows Media PlayerでDVDがなめらかに再生されない、画面が乱れる. 474
- CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない. 475
- CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない. 476
- 音楽CDの再生中に音飛びする. 477
- 音楽CDが再生されない. 478

はじめに確認してください

[101718-27]

光学ドライブの接続を確認してください。

USB接続の光学ドライブを使用するモデルをお使いの場合、光学ドライブが正しく取り付けられているかどうか確認してください。

DeviceLockで光学ドライブを制限していないか確認してください。

DeviceLockは周辺機器の使用を制限するアプリケーションです。
DeviceLockをインストールしている場合は、設定を確認してください。

参照

DeviceLockについて
「便利な機能とアプリケーション」の「DeviceLock Lite (P. 310)」

ディスクが正しくセットされているか確認してください。

セットされているDVD、CDの表裏を確認して、光学ドライブのディスクトレイ中心の軸に、きちんとセットしてください。

参照

光学ドライブ使用上の注意
「本機の機能」の「光学ドライブ (P. 127)」

本機のドライブで使用できるディスクか確認してください。

お使いのモデルにより光学ドライブで使えるディスクは異なります。使用できるディスクについては、電子マニュアルビューアでお使いの機種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

Q：「コンピューター」に光学ドライブが表示されない

[101701-27]

A：BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で使用不可に設定していないか確認してください。

BIOSセットアップユーティリティのI/O制限は、本機と各種デバイスのI/O（データの入出力）を制限する機能です。BIOSセットアップユーティリティでUSB接続の光学ドライブを使用するモデルの場合は、USBコネクタを使用不可に設定していないか確認してください。

参照

BIOSセットアップユーティリティについて

「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」

Q：光学ドライブのディスクトレイを出し入れできない

[101702-27]

A：本機の電源が入っているか確認してください。

本機の電源が入っていない場合は、電源を入れてからディスクトレイを取り出してください。
本機の電源が入っているのにディスクトレイが出てこない場合は、非常時ディスク取り出し穴を使って、手動でディスクを取り出すことができます。

参照

非常時のディスクの取り出し方について
「本機の機能」の「光学ドライブ」-「非常時のディスクの取り出し方 (P. 135)」

Q：DVD、CDをセットしても自動再生しない

[101708-07]

A：ディスクが自動再生に対応しているかどうか確認してください。

自動再生に対応したディスクでなければ、自動再生は行われません。
そのようなディスクの場合は、ディスクのマニュアルがある場合は使用方法を確認するか、マニュアルがない場合は「コンピューター」から手動で開いてください。

A：自動再生の設定を確認してください。

自動再生の設定、設定の確認は次の手順で行います。

1. **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**
2. **「ハードウェアとサウンド」をクリック**
3. **「自動再生」をクリック**
4. **それぞれのメディアやデバイスの自動再生の設定、設定の確認を行う**
5. **「保存」ボタンをクリック**

Q：DVD、CDからデータを読み出せない

[101709-07]

A：DVD、CDに傷や汚れがないか確認してください。

DVD、CDに傷が付いていると、使用できない場合があります。
また、汚れている場合は、乾いたやわらかい布で内側から外側に向かってふいてから使用してください。

A：DVD、CDをセットした光学ドライブや本機に何らかの振動を与えた場合、エラーや故障の原因になる場合があります。

DVD、CDを使用中は光学ドライブや本機に振動を与えないでください。

Q：DVD、CDの読み取りエラーメッセージが表示された

[101710-07]

A：DVD、CDを使用するプログラムを実行中に、ディスクを取り出すと、エラーメッセージが表示されます。

取り出したディスクをセットしなおして、【Enter】を押してください。

Q：DVD、CDにデータを書き込めない（保存できない）

[101711-07]

A：「光学ドライブ」の「はじめに確認してください (P. 459)」の内容をご確認ください。

Q：DVD、CDへの書き込み中にエラーになった

[101712-27]

A：DVD、CDへのデータの書き込み中に、他のアプリケーションが起動していたり、電源状態の変更や省電力機能が働いたりすると書き込みエラーになることがあります。

DVD、CDへのデータの書き込みを行う場合には、次の操作をおすすめします。

- スクリーンセーバーを起動させないようにする
- スリープ状態に移行させないようにする
- 他のアプリケーションを終了する
- 常駐プログラムをオフにする

A：DVD、CDへのデータの書き込み中にバッテリの残量がなくなると、データの書き込みに失敗します。

データを書き込むときには、必ず本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続してお使いください。

Q：Roxio Creator LJBでデータディスクを作成できない

[101713-07]

A：DVD、CD内のファイルをコピー元として、データディスクの作成を行おうとしていないか確認してください。

DVD、CD内のファイルを書き込む場合は、ファイルを一度SSDにコピーしてから書き込みを行ってください。

参照

Roxio Creator LJB使用上の注意

「便利な機能とアプリケーション」の「Roxio Creator LJB」-「使用上の注意 (P. 322)」

Q：ドライブ文字がおかしい

[101715-07]

A：周辺機器を接続したままスリープ状態や休止状態にすると、光学ドライブのドライブ文字が変更される場合があります。

このような場合は、Windowsを再起動してください。

Q：光学ドライブから異常な音がする

[101716-00]

A：重心バランスの悪いディスクを使用していないか確認してください。

特殊な形状のディスクや、ラベルがはってあるなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、ディスク使用時に異音や振動が発生する場合があります。このようなディスクは故障の原因になるため、使用しないでください。

A：ディスクは高速で回転するために風切音や振動が発生する場合があります。

風切音や振動は、ディスクの種類や、読み書きの位置によっても変化します。
異常ではありませんが、気になる場合は121コンタクトセンター等にご相談ください。

A：ディスクに汚れや傷が付いている場合、読み込みを繰り返すことがあります。

ディスクに汚れがある場合、傷を付けないように拭き取ってください。
ディスクに傷が付いている場合、傷のないディスクで確認してください。

A：ディスクを正しくセットしているか確認してください。

ディスクトレイに、ディスクを正しく置いてください。
ディスクの穴をディスクトレイの軸に固定するタイプの光学ドライブをお使いの場合、カチッと音がするまで、ディスクの穴をディスクトレイの軸にはめ込んでください。

A：ディスクにラベルが貼られていないか確認してください。

ディスクの回転が不安定になったり、ラベルが剥がれドライブ故障の原因となりますので、ディスクにラベルは貼らないでください。

A：ディスクが変形、または反っていないか確認してください。

変形している、あるいは反っているディスクは使用しないでください。
ディスク自体に問題がある場合は、中身のデータを別のディスクにコピーし、コピー後のディスクを使用することをおすすめします。

A：ディスクの読み書きをしているときに本機を移動させると、異音の原因になる場合があります。

ディスクの動作中は本機を移動させないでください。

A：休止状態、またはスリープ状態から復帰するときに、ドライブが初期化の動作を行うため音がする場合があります。

ドライブ内の読み書きをする部分が、位置合わせの初期化動作を行うため、音がする場合があります。また、DVDなどの媒体を入れたままにしておくと、休止状態、またはスリープ状態から復帰するときに回転することがあります。
どちらも異常ではありません。

Q：添付されていたDVD、CDが使えなくなった、壊れた

[101717-00]

A：本機に添付されているDVD、CDに傷が付いて使えなくなったときなどは、有償で交換いたします。

参照

DVD、CDの交換のお問い合わせ先
『保証規定＆修理に関するご案内』

Q：Windows Media PlayerでDVDが再生できない

[101902-07]

A：CPRM（Content Protection for Recordable Media）方式で著作権保護されているタイトルを再生しようとしていないか確認してください。

Windows Media Playerは、CPRM（Content Protection for Recordable Media）方式で著作権保護されているタイトルの再生には対応していません。

メモ

CPRM方式による著作権保護は、デジタルテレビ放送番組をDVDに記録するためなどに用いられています。

Q：Windows Media Playerでディスクが認識されない、自動再生が始まらない

[101904-07]

A：Windows Media Playerで使用可能な規格のディスクか、また使用しているディスクや光学ドライブの状態に問題はないか確認してください。

本機の光学ドライブで使用できるディスクであっても、本機やWindows Media Playerで使用できない規格で記録されていると認識ができない場合があります。
また、使用しているディスクや光学ドライブの状態によってはディスクの認識ができない場合があります。
使用しているディスクや光学ドライブの確認を行ってください。

Q：Windows Media PlayerでDVDがなめらかに再生されない、画面が乱れる

[101905-27]

A：再生するディスクの種類によっては、コマ落ちが発生することがあります。

Windows Media Playerで、DVDやビデオCDを再生する場合、再生するディスクの種類によっては、コマ落ちが発生することがあります。

A：ECOモード機能で選択しているモードを確認してください。

ECOモード機能で、省電力を優先するモードを選択している場合、DVDの再生などの映像を表示するアプリケーションで、再生品質が低下する可能性があります。そのような場合は、「標準」などの性能を優先するモードを選択してください。

参照

ECOモード機能について

「本機の機能」の「省電力機能」-「ECOモード機能 (P. 40)」

A：電源オプションの設定を確認してください。

次の手順で電源オプションの設定を確認してください。

1. **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**
2. **「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック**
3. **現在選択している電源プランの「プラン設定の変更」をクリック**
4. **「詳細な電源設定の変更」をクリック**
5. **「マルチメディアの設定」→「ビデオの再生時」をクリック**
6. **それぞれの電源状態の欄が「ビデオ品質の最適化」に設定されているか確認する**

   「ビデオ品質の最適化」に設定されていない場合は、「ビデオ品質の最適化」に設定してください。
7. **「OK」ボタンをクリック**

Q：CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない

[101914-00]

A：CPRM（Content Protection for Recordable Media）方式で著作権保護されているタイトルを再生しようとしていないか確認してください。

インターネット経由でのアクティベーションにより、CPRMの著作権保護機能に対応することができます。

チェック

外部ディスプレイ使用時、接続しているディスプレイが、HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応していない場合は、著作権保護された映像をデジタル出力できません。

メモ

CPRM方式による著作権保護は、デジタルテレビ放送番組をDVDに記録するためなどに用いられています。

Q：CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない

[101906-07]

A：CyberLink PowerDVDで使用可能な規格のディスクか、また使用しているディスクや光学ドライブの状態に問題はないか確認してください。

本機の光学ドライブで使用できるディスクであっても、本機やCyberLink PowerDVDで使用できない規格で記録されていると認識ができない場合があります。
また、使用しているディスクや光学ドライブの状態によってはディスクの認識ができない場合があります。使用しているディスクや光学ドライブの確認を行ってください。

参照

CyberLink PowerDVDで使用できるディスクの規格、ディスクや光学ドライブの確認について
「便利な機能とアプリケーション」の「CyberLink PowerDVD」-「使用上の注意 (P. 325)」

Q：音楽CDの再生中に音飛びする

[101204-00]

A：音楽CDに傷や汚れがないか確認してください。

音楽CDに傷が付いていると、使用できない場合があります。
また、汚れている場合は、乾いたやわらかい布で内側から外側に向かってふいてから使用してください。

A：音楽CDを再生中の光学ドライブや本機に何らかの振動を与えた場合、音飛びや故障の原因になる場合があります。

音楽CDを再生中は光学ドライブや本機に振動を与えないでください。

Q：音楽CDが再生されない

[101203-00]

A：コピーコントロールCDなど、一部のCompact Discの規格外の音楽ディスクは再生できない場合があります。

Q&A：周辺機器

[101800-27]

- はじめに確認してください. 480
- 別売の周辺機器を取り付けたが動作しない、周辺機器を取り付けたら本機が起動しなくなった、他の機能が使えなくなった. 481
- 周辺機器のドライバをインストールできない、ドライバを更新できない. 484

はじめに確認してください

[101803-27]

お使いの周辺機器が、本機やWindows 7に対応しているか確認してください。

周辺機器によっては、本機やWindows 7で動作しないものや、別途Windows 7に対応したドライバが必要なものがあります。
また、32ビット版と64ビット版では、使用するドライバが異なります。周辺機器のマニュアルで確認してください。

周辺機器が正しく接続されているか確認してください。

コネクタやネジが緩んだり外れたりしていないか、接続が正しく行われているか確認してください。

参照

周辺機器の接続について
周辺機器に添付のマニュアル

DeviceLockで無効に設定していないか確認してください。

DeviceLockは周辺機器の使用を制限するアプリケーションです。
DeviceLockをインストールしている場合は、DeviceLock管理コンソールを起動し、該当する周辺機器を無効に設定していないか確認してください。

参照

DeviceLockについて
「便利な機能とアプリケーション」の「DeviceLock Lite (P. 310)」

Q：別売の周辺機器を取り付けたが動作しない、周辺機器を取り付けたら本機が起動しなくなった、他の機能が使えなくなった

[101801-27]

A：周辺機器の設定を確認してください。

周辺機器によっては、設定の変更やドライバなどのインストールが必要な場合があります。

参照

周辺機器の設定やドライバのインストールについて
周辺機器に添付のマニュアル

周辺機器のドライバのインストールによりトラブルが発生し、Windowsの通常起動ができなくなった場合など、次の手順に従って、セーフモードでWindowsを起動し、トラブルを起こしたドライバのアンインストールを行うことができます。

Ⅰ．セーフモードでWindowsを起動する

1 電源を入れ、すぐに【F8】を数回押す

「詳細ブート　オプション」画面が表示されます。

メモ

「詳細ブート　オプション」画面が表示されず、本機が通常のように起動した場合は、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

2 【↑】、【↓】で「セーフ　モード」を選択し、【Enter】を押す

3 Windowsのログオン画面が表示された場合は、ユーザー名を選択し、パスワードを入力する

Ⅱ．取り付けた周辺機器のドライバを無効にする

1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2 取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリック

3 「ドライバー」タブをクリックして「無効」ボタンをクリック

4 「はい」ボタンをクリック

5 「OK」ボタンをクリック

6 Windowsを再起動し、通常のモードで起動する

Ⅲ．周辺機器を使いたいときはドライバを更新する

周辺機器の最新のドライバを用意してください。

1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2 取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリック

3 「ドライバー」タブをクリックして「ドライバーの更新」ボタンをクリック

以降は画面の指示に従ってください。

メモ

最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどからダウンロードしてください。また、Windows® Updateでも周辺機器のドライバを更新できることがあります。

A：リソースの設定を確認してください。

古い周辺機器などには、リソースが競合していると動作しない場合や、リソースの競合により本機の動作が不安定になる場合があります。次の手順でリソースの設定を確認してください。

チェック

- 使用中のアプリケーションがある場合は、すべて終了しておいてください。
- 次の手順を行う場合は、管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。

1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2 設定を確認するデバイスの種類をダブルクリック

3 設定を確認するデバイスをダブルクリック

4 「リソース」タブをクリック

チェック

「リソース」タブが表示されていない場合は、そのデバイスのリソースの確認、変更はできません。

5 「競合するデバイス」欄を確認する

- **競合しているデバイスがない場合**
  「競合なし」と表示されます。
- **競合しているデバイスがある場合**
  競合しているデバイスの名前が表示されます。

6 「OK」ボタンをクリック

競合しているデバイスがあった場合、リソースの設定を変更することで正常に動作するようになる場合があります。
リソースの設定変更の方法については、次の手順で表示される「Microsoft 管理コンソール」のヘルプをご覧ください。

1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2 「ヘルプ」メニュー→「トピックの検索」をクリック

A：BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で、周辺機器を取り付けたインターフェイスを使用不可に設定していないか確認してください。

BIOSセットアップユーティリティのI/O制限は、本機と各種デバイスのI/O（データの入出力）を制限する機能です。
BIOSセットアップユーティリティで、USBなど周辺機器を取り付けたインターフェイスを使用不可に設定していないか確認してください。

参照

BIOSセットアップユーティリティについて
「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 217)」

Q：周辺機器のドライバをインストールできない、ドライバを更新できない

[101802-07]

A：権限を制限されたユーザーでログオンしていないか確認してください。

本機を複数の人で使用している場合は、管理者によってユーザーの設定できる項目に制限がかけられている場合があります。
このような場合は、管理者に依頼して制限を解除してもらうか、または管理者（Administrator）権限を持つユーザーでログオンしてドライバのインストールや更新を行う必要があります。

Q&A：Bluetooth機能

[102600-27]

- はじめに確認してください. 486

はじめに確認してください

[102601-27]

Bluetooth機能がオンになっていることを確認してください。

参照

Bluetooth機能のオン／オフについて
「本機の機能」の「Bluetooth機能」-「Bluetooth機能のオン／オフ (P. 201)」

Bluetooth機能を「デバイス マネージャー」でオンにしているにも関わらず、Bluetooth機能が使用できない場合（「デバイス マネージャー」でBluetoothに「！」が付くなど）は、ワイヤレススイッチ（【Fn】＋【F2】）でBluetooth機能を含むワイヤレス機能をオフにして、再度オンにしてみてください。

Q&A：アプリケーション

[101900-27]

- はじめに確認してください. 488
- 起動しなくなった、動作が遅い、動かなくなることがある. 489
- Windows Media PlayerでDVDが再生できない. 490
- Windows Media Playerでディスクが認識されない、自動再生が始まらない. 491
- Windows Media PlayerでDVDがなめらかに再生されない、画面が乱れる. 492
- CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない. 493
- CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない. 494
- アプリケーションをインストールできない. 495
- アプリケーションを強制的に終了させたい. 496
- アプリケーションが本機で使用できるか知りたい. 497
- 使用しているWindowsへの対応が明記されていないWindows用アプリケーションを使用したい. 498
- Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい. 499

はじめに確認してください

[101903-27]

お使いのアプリケーションが、本機やWindows 7に対応しているか確認してください。

アプリケーションによっては、本機やWindows 7で動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

お使いのアプリケーションが、使用しているWindows 7に対応しているか確認してください。

Windows 7 32ビット版では、64ビット版のアプリケーションは使用できません。
Windows 7 64ビット版では、32ビット版のアプリケーションも使用可能ですが、アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
アプリケーションのマニュアルで確認してください。

本機のドライブで使用できるディスクか確認してください。

お使いのモデルにより光学ドライブで使えるディスクは異なります。使用できるディスクについては、電子マニュアルビューアでお使いの機種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

Q：起動しなくなった、動作が遅い、動かなくなることがある

[101901-27]

A：スリープ状態／休止状態に対応したアプリケーションか確認してください。

対応していないアプリケーションを使用中にスリープ状態／休止状態になると、正常に動作しなくなることがあります。
対応していないアプリケーションを使用中は、スリープ状態／休止状態にしないでください。
電源を切ることができなくなった場合には、4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。

参照

強制的に電源を切る方法

「電源」の「電源が切れない」-「強制的に電源を切る (P. 355)」

A：アプリケーションのアンインストールを中断した場合は、Windowsを再起動してください。

アプリケーションのアンインストールを中断した後に、そのアプリケーションが動作しなくなった場合は、Windowsを再起動してください。
それでも動作しない場合は、アプリケーションの再インストールが必要です。

A：SSDの中にデータがたくさん蓄積されたため空き領域が減っていないか確認してください。

SSDの中にデータがたくさん蓄積され、空き領域が減ると、Windowsの動作が遅くなる可能性があります。SSDに十分な空き領域があるか確認してください。
必要のないデータを削除したり、アプリケーションをCドライブ以外のドライブにインストールして、Cドライブからアンインストールしてください。詳しくは、「SSD」の「SSDの空き領域が足りない (P. 453)」をご覧ください。

A：メモリやシステムリソースが不足している可能性があります。

複数のアプリケーションを同時に起動したり、多くのメモリを使うアプリケーションを使用していると、メモリやシステムリソースが不足し、新たにアプリケーションが起動できなくなったり、動作が遅くなる、動かなくなることがあります。
他のアプリケーションを起動しているときは、それらを終了してから使用してください。それでも起動できなかったり、動作が遅いときは本機を再起動してください。

A：ユーザー名に環境依存文字を使用していないか確認してください。

ユーザー名に環境依存文字を使用していると、アプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。

Q：Windows Media PlayerでDVDが再生できない

[101902-07]

A：CPRM（Content Protection for Recordable Media）方式で著作権保護されているタイトルを再生しようとしていないか確認してください。

Windows Media Playerは、CPRM（Content Protection for Recordable Media）方式で著作権保護されているタイトルの再生には対応していません。

メモ

CPRM方式による著作権保護は、デジタルテレビ放送番組をDVDに記録するためなどに用いられています。

Q：Windows Media Playerでディスクが認識されない、自動再生が始まらない

[101904-07]

A：Windows Media Playerで使用可能な規格のディスクか、また使用しているディスクや光学ドライブの状態に問題はないか確認してください。

本機の光学ドライブで使用できるディスクであっても、本機やWindows Media Playerで使用できない規格で記録されていると認識ができない場合があります。
また、使用しているディスクや光学ドライブの状態によってはディスクの認識ができない場合があります。
使用しているディスクや光学ドライブの確認を行ってください。

Q：Windows Media PlayerでDVDがなめらかに再生されない、画面が乱れる

[101905-27]

A：再生するディスクの種類によっては、コマ落ちが発生することがあります。

Windows Media Playerで、DVDやビデオCDを再生する場合、再生するディスクの種類によっては、コマ落ちが発生することがあります。

A：ECOモード機能で選択しているモードを確認してください。

ECOモード機能で、省電力を優先するモードを選択している場合、DVDの再生などの映像を表示するアプリケーションで、再生品質が低下する可能性があります。そのような場合は、「標準」などの性能を優先するモードを選択してください。

参照

ECOモード機能について

「本機の機能」の「省電力機能」-「ECOモード機能 (P. 40)」

A：電源オプションの設定を確認してください。

次の手順で電源オプションの設定を確認してください。

1. **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**
2. **「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック**
3. **現在選択している電源プランの「プラン設定の変更」をクリック**
4. **「詳細な電源設定の変更」をクリック**
5. **「マルチメディアの設定」→「ビデオの再生時」をクリック**
6. **それぞれの電源状態の欄が「ビデオ品質の最適化」に設定されているか確認する**

   「ビデオ品質の最適化」に設定されていない場合は、「ビデオ品質の最適化」に設定してください。
7. **「OK」ボタンをクリック**

Q：CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない

[101914-00]

A：CPRM（Content Protection for Recordable Media）方式で著作権保護されているタイトルを再生しようとしていないか確認してください。

インターネット経由でのアクティベーションにより、CPRMの著作権保護機能に対応することができます。

チェック

外部ディスプレイ使用時、接続しているディスプレイが、HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応していない場合は、著作権保護された映像をデジタル出力できません。

メモ

CPRM方式による著作権保護は、デジタルテレビ放送番組をDVDに記録するためなどに用いられています。

Q：CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない

[101906-07]

A：CyberLink PowerDVDで使用可能な規格のディスクか、また使用しているディスクや光学ドライブの状態に問題はないか確認してください。

本機の光学ドライブで使用できるディスクであっても、本機やCyberLink PowerDVDで使用できない規格で記録されていると認識ができない場合があります。
また、使用しているディスクや光学ドライブの状態によってはディスクの認識ができない場合があります。使用しているディスクや光学ドライブの確認を行ってください。

参照

CyberLink PowerDVDで使用できるディスクの規格、ディスクや光学ドライブの確認について
「便利な機能とアプリケーション」の「CyberLink PowerDVD」-「使用上の注意 (P. 325)」

Q：アプリケーションをインストールできない

[101908-07]

A：権限を制限されたユーザーでログオンしていないか確認してください。

本機を複数の人で使用している場合は、管理者によってユーザーの設定できる項目に制限がかけられている場合があります。
このような場合は、管理者に依頼して制限を解除してもらうか、または管理者（Administrator）権限を持つユーザーでログオンしてアプリケーションのインストールを行う必要があります。

A：ユーザー名に環境依存文字を使用していないか確認してください。

ユーザー名に環境依存文字を使用していると、アプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。

A：アプリケーションのインストール先がSSD以外のドライブになっていないか確認してください。

SSDにインストールして使用するアプリケーションのインストール先がSSD以外のドライブになっていた場合は、インストール先をSSDに変えて、インストールしなおしてください。

A：アプリケーションを新しくインストールするときに、SSDに一定の空き領域が必要な場合があります。

アプリケーションを新しくインストールするときに、SSDに一定の空き領域が必要な場合があります。アプリケーションに添付のマニュアルをご覧になり、SSDに必要な空き領域を確認してください。
SSDの空き領域が足りない場合は、空き領域のある他のドライブにインストールしてください。

メモ

アプリケーションによっては、必要最低限の機能だけをインストールしたり、使用する機能だけを選択してインストールすることで、必要な空き容量を減らせる場合があります。

参照

SSDの空き領域を増やすには
「SSD」の「SSDの空き領域が足りない (P. 453)」

Q：アプリケーションを強制的に終了させたい

[101909-27]

A：アプリケーションがフリーズするなどの異常を起こしていて、電源が切れないなどの問題が起きている場合、次の方法で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してください。

チェック

この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまうことがあります。

1 【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】を1回押す

2 「タスク マネージャーの起動」をクリック

3 「アプリケーション」タブをクリック

4 「状態」のところに「応答なし」と表示されているタスク（アプリケーション）をクリックし、「タスクの終了」ボタンをクリック

この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。

この方法で異常を起こしていたアプリケーションが終了できた場合は、「本機の機能」の「電源」-「電源の入れ方と切り方」の手順で電源を切ってください。

参照

正しい電源の入れ方と切り方

「本機の機能」の「電源」-「電源の入れ方と切り方 (P. 25)」

Q：アプリケーションが本機で使用できるか知りたい

[101910-00]

A：アプリケーションのカタログなどで必要な動作環境を確認するか、製造元に確認してください。

アプリケーションが必要とする動作環境は、アプリケーションによって異なります。アプリケーションのカタログなどで必要な動作環境について確認するか、アプリケーションの製造元に確認してください。

Q：使用しているWindowsへの対応が明記されていないWindows用アプリケーションを使用したい

[101911-07]

A：アプリケーションの製造元に確認してください。

Windows 7への対応が明記されていない、Windows用アプリケーションが使用できるかどうかは、アプリケーションによって異なります。
アプリケーションの製造元に確認してください。アプリケーションの使用についての情報や、使用に必要なアップデートプログラムなどが入手できる場合があります。

Q：Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい

[101913-07]

A：Internet Explorerやその関連製品に関するサポート技術情報は、次の手順で調べることができます。

1 インターネットに接続する

2 Internet Explorerを起動し、【Alt】を押し、「ヘルプ」→「Internet Explorer ヘルプ」をクリック

Microsoft社のサポートページが表示されます。この後は、そのページの説明に従って操作してください。

Q&A：再セットアップ

[102000-27]

- 「再セットアップをすることはできません。」と表示される. 501
- 「再セットアップ用ディスク」を要求する画面が繰り返し表示され、先に進めない. 502

Q：「再セットアップをすることはできません。」と表示される

[102001-07]

A：本機の機種情報が書き換わっている可能性があります。

ご購入元、またはNECにお問い合わせください。

参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定＆修理に関するご案内』

Q :「再セットアップ用ディスク」を要求する画面が繰り返し表示され、先に進めない

[102002-27]

A :「再セットアップ用ディスク」が必要です。「再セットアップ用ディスク」を持っている／持っていないにあわせて、次のように対処してください。

●「再セットアップ用ディスク」を持っている場合

お手持ちのDVDがお使いの装置の「再セットアップ用ディスク」であること、すべての「再セットアップ用ディスク」が揃っていることをご確認の上、再セットアップの操作を継続してください。

チェック

「再セットアップ用ディスク」を作成した場合、ディスクの枚数はOSとDVDの種類によって以下のように異なります。

- Windows 7 Professionalで、DVD-Rを使用して作成した場合 :「再セットアップ用ディスク1」と「再セットアップ用ディスク2」の2枚
- Windows 7 Professionalで、DVD-R DLを使用して作成した場合 :「再セットアップ用ディスク1」の1枚のみ

●「再セットアップ用ディスク」を持っていない場合

再セットアップの操作を継続することはできません。本機の電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ってください。
なお、「再セットアップ用ディスク」は、別途入手することもできます。

参照

- **再セットアップの方法について**
  『再セットアップガイド』
- **「再セットアップ用ディスク」の入手について**
  『メンテナンスとアフターケアについて』

Q&A：その他

[102100-27]

- 日付や時刻が正しく表示されない. 504
- クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった. 505
- 本機が動かなくなった（フリーズした）. 506
- マニュアルをなくしてしまった. 507

Q：日付や時刻が正しく表示されない

[102101-27]

A：日付や時刻を設定しなおしてください。

日付や時刻がずれた場合は、次の手順に従って日付と時刻を設定しなおしてください。

チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)」

1. **「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック**
2. **「時計、言語、および地域」をクリックし、「日付と時刻」をクリック**
3. **「日付と時刻の変更」をクリック**
4. **日付と時刻を設定する**
5. **「OK」ボタンをクリック**
6. **「OK」ボタンをクリック**

以上で日付と時刻の設定は完了です。

A：内蔵のカレンダ用電池が十分に充電されていない可能性があります。

本機の内蔵時計はカレンダ用電池で動いています。内蔵のカレンダ用電池が十分に充電されていないと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。
本機購入後すぐや、本機を電源に接続せずに2カ月以上使用しないでいた後などには、本機にACアダプタを取り付け、約40時間以上、ACコンセントに接続したままにして、カレンダ用電池を充電してから、日付と時刻を設定しなおしてください。

Q：クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった

[102102-20]

A：異物が入り込んでしまった場合は、すぐに電源を切ってACアダプタを取り外し、ご購入元にお問い合わせください。

チェック

そのままお使いになると、発煙、発火や故障の原因になります。

Q：本機が動かなくなった（フリーズした）

[102105-27]

A：Windowsの起動中やデータの処理中でないことを確認し、強制的に電源を切ってください。

本機が反応していないときは、電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度電源を入れます。
何か異常が発見された場合は、画面の指示に従ってください。問題が解決したら、そのままお使いください。

参照

強制的に電源を切る方法
「電源」の「電源が切れない」-「強制的に電源を切る (P. 355)」

システムに重大な問題が発見されたことを伝えるメッセージが表示された場合は、再セットアップが必要になります。
『再セットアップガイド』をご覧になり、再セットアップしてください。

Q：マニュアルをなくしてしまった

[102108-00]

A：NEC「ビジネスPC」サイトの「電子マニュアルビューア」では、本機のマニュアルをご覧いただけます。

仕様一覧（タイプ別仕様詳細）

[130000-00]

仕様一覧（タイプ別仕様詳細）. 509

仕様一覧（タイプ別仕様詳細）

[130100-00]

本機の仕様に関する詳細情報は、タイプ別仕様詳細に記載しております。

メモ

タイプ別仕様詳細をご覧になるには、インターネットへの接続環境が必要です。

電子マニュアルビューアでお使いの機種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

活用ガイド
UltraLite タイプ**VN**

初版 2015年2月
©NEC Personal Computers, Ltd. 2015
NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。